

令和元年度

甲州市母子保健調査報告書

令和3年3月

山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座
山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

はじめに

令和2年(2020年)は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックで世界中が混乱し、東京オリンピック・パラリンピック、夏の甲子園など様々なイベントの延期・中止が相次ぎ、これまであたりまえとっていた日常生活ができなくなった年でした。

その中で、今年も甲州市母子保健縦断調査(甲州プロジェクト)の報告書を作成することができました。COVID-19から命を守る対策が乳幼児健診の実施や医療受診に影響を及ぼす中、同じく子どもたちの命を守る乳幼児健診を粛々と行い、それにご参加いただいた保護者をはじめ関係者の皆さんの多大なご配慮とご尽力に敬意を表します。

未知のウイルスであるCOVID-19対策は2月の突然の全国一斉休校措置など当初は手探り状態でしたが、わが国は世界に先駆けて、手洗い、マスクと3密回避の重要性を示したことが功を奏し、欧米諸国に比べると感染者数、死亡者数が少なく済んでいます。また、子どもたちには感染や重症化のリスクが低いことが判明し、保護者や子どもの健康を支援する私たちが安堵させました。一方で、高齢者や基礎疾患を持つ人にとってはインフルエンザとは比較にならない程の重症化や後遺症を残す恐ろしい感染症です。2021年2月からワクチン接種が始まりましたが、これが新型コロナ禍の光明となればと期待しています。

「健康の社会的決定要因」という概念があります。健康は個人の遺伝子や生活習慣に加えて、ひとのつながりや種々の環境、健康サービスシステム、さらには、文化、伝統や習慣などによって決定されているというものです。COVID-19パンデミックはあらためてこの概念を認識させてくれました。飛沫感染と接触感染を感染経路とするCOVID-19は、社会的距離や衛生習慣、マスクの着用の有無が感染拡大の重要な要素となります。欧米と日本をはじめとするアジア諸国での感染者数の違いは、これらの違いが要因であるとされています。このことは幼少時からの健康教育に加えて、おかれた環境、習慣の重要性を示しています。

2020年度は新型コロナ禍一色でしたが、受動喫煙防止対策強化の全面施行や乳幼児健診結果の電子化とマイナポータルによる閲覧、成育基本法における成育医療基本方針の閣議決定(2021年2月9日)など、子どもたちを取り巻く新たな環境整備がなされた年でもありました。

今後も、甲州市と連携して市民の皆様の理解を得ながら、現実のデータによる科学的根拠に基づいて子どもたちの健康増進に寄与できるように役割を果たしたいと思います。

2021年(令和3年)3月

山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座
教授 山縣 然太郎

甲州市母子保健調査プロジェクト組織

甲州市役所 健康増進課

課長 藤 政司
課員 武藤 陽子 徳良 裕子 仲 美砂 鶴田 ちはる 雨宮 沙也香
高野 加恵 中村 恵理 木納 よし哉

山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座

教授 山縣 然太朗
准教授 横道 洋司
准教授 三宅 邦夫
助教 小島 令嗣 (報告書作成担当)
助教 秋山 有佳
助教 大岡 忠生
大学院生 太田 昭生 大岡 忠生 野田 北斗 長野 康平 山口 香
伊藤 桂 田中 深雪 岩淵 正博 山崎 さやか 浦中 桂一
松岡 翼 日吉 恭則 須田 みゆき **Huynh Trung Son**
小林 克也 大友 一央 池谷 政直 北山 哲也 佐藤 大地
今井 崇恵 元 振鮮 前嶋 康路

ライフサイエンス特進コース学生

服部 耕大 小村 慶和

技術専門職員 今井 小絵

技術補佐員等 山田 七重 川村 由美子 安達 麻衣子

小澤 有紀/岡田 あゆみ：報告書(表・グラフ)作成担当

山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

センター長 山縣 然太朗
特任准教授 篠原 亮次
特任助教 堀内 清華
特任助手 小田和 早苗

目次

I. 調査実施概要	1
II. 調査結果概要	5
III. 調査回答者の属性	15
III - 1. 母子健康手帳交付時	17
III - 2. 出生時	20
III - 3. 3ヶ月児健診時	27
III - 4. 1歳6ヶ月児健診時	29
III - 5. 2歳児健診時	41
III - 6. 3歳児健診時	47
III - 7. 5歳児健診時	59
IV. 調査結果	71
IV - 1. 母子健康手帳交付時	73
IV - 2. 1歳6ヶ月児健診時	105
IV - 3. 3歳児健診時	139
IV - 4. 5歳児健診時	175
V. 調査票	211
V - 1. 母子健康手帳交付時調査票	213
V - 2. 1歳6ヶ月児健診時調査票	216
V - 3. 3歳児健診時調査票	220
V - 4. 5歳児健診時調査票	224
VI. 個別研究	229
VI - 1. Problematic Internet use and its associations with health-related symptoms and lifestyle habits among rural Japanese adolescents.	231
VI - 2. Association between Maternal Smoking during Pregnancy and Missing Teeth in Adolescents.	232
VI - 3. Association of objectively measured physical activity and sedentary behavior with bone stiffness in peripubertal children.	233
VI - 4. 地域の母子保健縦断調査 30年の歩みー甲州プロジェクトー	234
VI - 5. 小学生における加速度計を用いて測定した中高強度身体活動と肥満の関連	235
VI - 6. 中学生におけるインターネット依存の軌跡 甲州思春期調査より	236
VI - 7. 思春期における食事バランスと1年後の抑うつ症状との関連	237
VI - 8. 1ヶ月間の短時間の運動遊びプログラムは子どもの自制心に影響を及ぼすのか？	238

VI - 9.	スマートフォンなどの ICT (Internet communication technology) 端末を用いた子育ての実態調査-----	239
VI - 10.	青少年のインターネット依存：甲州市思春期調査での結果から-----	240
VI - 11.	中学生におけるインターネット依存の軌跡 中学 3 年間の生活習慣に焦点を当てて-----	241

I. 調査実施概要

I. 調査実施概要

I. 調査実施概要

1. 調査の目的

甲州市における妊娠、出産、育児、母子の健康、生活習慣等の母子保健の現状を把握し、今後の母子健康行政に役立てることを目的とするものである。

2. 調査対象

妊婦に関しては令和元年度に母子健康手帳交付を甲州市で申請した妊婦に対して行った。児に対しては、令和元年度に甲州市で実施された1歳6ヵ月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診、5歳児健診受診者を対象とした。なお、体格データについては、上記の健診時に加え、出生時のデータを使用し、家族形態や生活様式、妊娠中の体重増加については、3ヵ月児健診時のデータから集計を行った。

3. 調査方法

調査の実施はアンケート用紙を各健診の受診予定者に、健診案内とともにあらかじめ郵送し、記入の上、健診時に持参する形式をとった。健診当日に記入漏れの事項や事故に関する二次質問などを面接で聴取した。

4. データの保管及び、集計方法

データの入力はMicrosoft Access2016を用い、統計ソフトSAS ver9.4による単純集計を行った。Microsoft Excel 2016を用いて図表化を行った。

I. 調査実施概要

II. 調查結果概要

II. 調查結果概要

Ⅱ. 調査結果概要

1. 対象と回収率

甲州市において、令和元年度（平成31年4月～令和2年3月の間）に、母子健康手帳交付をした妊婦、1歳6か月児(1.6歳児と略)健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査、5歳児健康診査を、それぞれ受診した幼児とその母親を対象として行った。妊婦に対しては母子健康手帳交付時に直接自記式調査を行った。1.6歳、3歳、5歳の各健診時では健診日の2、3週間前に自宅に郵送した調査票を前もって記入した上で健診日に持参してもらい、未記入者は当日記入する形で調査を行った。各健診における回収率は例年高く、これらの調査から得られる結果はほぼ悉皆調査と考えられ、甲州市の母子の実態を把握していると考えられる。

妊婦の調査年月		回答者数	対象者数	回収率
母子手帳交付時	平成31年4月～令和2年3月	134	-	-
児の出生期間		出生数		
出生時	平成31年4月～令和2年3月	135		
対象児の出生年月		受診者数	対象者数	回収率
1歳6か月児健診	平成29年9月～平成30年7月生	153	157	97.5%
2歳児健診	平成28年11月～平成29年9月生	160	165	97.0%
3歳児健診	平成27年10月～平成28年9月生	182	184	98.9%
5歳児健診	平成26年3月～平成27年1月生	191	200	95.5%

2. 分析対象者数、無回答の取り扱い

上記の解析対象者全員から、記入漏れや無回答を解析対象から除外し、各分類の頻度と有効回答数に対する割合を算出した。質問項目によっては、複数回答もしくは、前質問での選択者のみの回答もある。

3. 妊婦・母親の生活習慣及び就労

両親の年齢

母親の年齢は、母子手帳交付時、平均30.3歳と、昨年度平均31.1歳よりやや若かった。父親の年齢のばらつきが母親の年齢のばらつきよりも大きいことは例年と変わらなかった。

	母子手帳	1.6歳	3歳	5歳
母親の平均年齢±標準偏差(歳)	30.3±5.1	33.5±5.4	36.2±5.0	36.7±5.4
父親の平均年齢±標準偏差(歳)	32.6±6.5	35.7±6.5	37.6±5.6	39.1±6.2

届出

母子手帳交付の届出週数は平均 8.9 週であり、昨年度の 8.5 週よりやや遅かった。12 週までの届出は 95.5%であり、昨年度 95.4%と変わらなかった。9 週未満での届出は 53.4%と、昨年度の 57.6%より減少した。そして 21 週以降の届け出は 2 人 (1.5%) であった。

妊娠の計画

妊娠が計画的であったものの割合は 69.2%であり、昨年度の 56.3%より増加した。

育児希望数

子供の希望は本人が 2 人もしくは 3 人を希望する人が 83.9%を占めており、昨年度 78.6%より増加した。夫は 2 人もしくは 3 人を希望する人が 70.1%であった。4 人以上を希望している人は妻が 3.8%、夫が 3.2%であった。わからないと答えている人は妻が 9.9%、夫が 22.8%であった。

喫煙

妊娠初期の喫煙率は 2.3%であり、昨年度の 2.7%からやや減少した。

妊娠初期の夫の喫煙率は 48.1%であり、昨年度 45.9%とほぼ同等だった。夫の過去の喫煙率は 14.3%であった。妊娠を契機に禁煙を行っている割合は、妊婦 (6.0%) に比べ夫 (2.3%) は少なかった。夫以外の同居家族の喫煙率は 6.2%で、昨年度の 9.4%より減少した。1.6 歳児健診時における母親の喫煙率は 5.9%であり、昨年度の 4.2%から増加した。

飲酒

妊娠により飲酒をやめた割合は 31.6%であり、昨年度の 41.7%よりも減少した。妊娠中も飲酒をすると回答した割合は 1.3%→2.3%と増加していた。

妊婦の食生活

朝食を毎日食べている人は 70.7%であり、昨年度 68.2%と同程度だった。朝食をまったく食べないと回答した人は 13.9%→11.3%とやや減少していた。

就労状況(就労率)

妊娠時、1.6 歳、3 歳、5 歳児健診時それぞれの就労率は、昨年度と比較して 71.5%→79.7%、59.0%→69.7%、72.6%→72.5%そして 80.3%→84.7%と 3 歳以外で増加していた。また出産後パート職に就く人の割合は 30.3%～43.6%であった。

	母子手帳	1.6 歳	3 歳	5 歳
仕事をしている	106 (79.7)	106 (69.7)	132 (72.5)	160 (84.7)
仕事をしているが現在休職中	12 (9.0)	18 (11.8)	20 (11.0)	11 (5.8)
仕事はしていない(専業主婦)	15 (11.3)	27 (17.8)	30 (16.5)	18 (9.5)
学生である	0 (0.0)	1 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
合計	133 (100)	152 (100)	182 (100)	189 (100)

就労状況（就労日数、就労時間）

各年齢すべてにおいて、就労日数の最頻値は5日であった。就労時間は、昨年度と同様いずれの年齢も8時間と4～6時間の2峰性の分布が認められ最頻値は8時間であった。

4. 発育

1.6歳、3歳、5歳児の発育、肥満度

各年齢の身長、体重の平均値はほぼ例年通りであった。肥満度20%以上の割合は、1.6歳、3歳、5歳児でそれぞれ3.5%（5人）、1.9%（3人）、2.7%（5人）と、それぞれ増加した。

男児	1.6歳	3歳	5歳
平均身長±標準偏差(cm)	79.5±2.6	96.1±3.8	106.7±4.1
平均体重±標準偏差(kg)	10.6±0.9	14.6±1.7	17.7±2.2

女児	1.6歳	3歳	5歳
平均身長±標準偏差(cm)	77.9±2.4	94.6±3.4	106.0±3.8
平均体重±標準偏差(kg)	10.0±0.9	14.1±1.4	17.3±2.5

5. 子どもの生活

欠食

欠食がある子どもの割合は、3歳児では昨年度9人（4.3%）から今年度8人（4.4%）と変わらなかったが、5歳児では昨年度4人（2.0%）から今年度3人（1.6%）とやや減った。

	3歳	5歳
欠食あり	8 (4.4)	3 (1.6)
欠食なし	174 (95.6)	186 (98.4)
合計	182 (100)	189 (100)

おやつ

おやつは時間を決めて与えると回答した割合は、1.6歳児では昨年度の61.5%から減少し、3歳児では昨年度の60.4%から減少した。5歳児では昨年度の52.7%から増加した。

	1.6歳	3歳	5歳
時間を決めて与える	74 (49.0)	97 (53.6)	112 (59.6)
欲しがる時に与える	49 (32.5)	56 (30.9)	42 (22.3)
特に気をつけていない	28 (18.5)	28 (15.5)	34 (18.1)
合計	151 (100)	181 (100)	188 (100)

起床、就寝時刻、昼寝時間

起床時刻は各年齢において7時台と回答した人が29.0%~45.2%、6時台に起きると回答した人が35.7%~46.8%であり例年と同様の傾向であった。最頻値はいずれも7時であった。

就寝時刻は各年齢ともに21時台と回答した人が約60%で例年と傾向は変わらなかった。最頻値は1.6歳児と3歳児で21時、5歳児で21時半であった。22時以降の就寝は1.6歳児で13.2%（昨年度16.4%）、3歳児で23.2%（昨年度30.5%）、5歳児で22.4%（昨年度31.1%）といずれの年齢でも減少していた。また年齢にしたがって増加傾向であった。

昼寝時間は年齢と共に少なくなり、3歳児では2.4%（4名）、5歳児では26.5%（44名）が昼寝をしないと回答した。

	1.6 歳	3 歳	5 歳
しない	0 (0.0)	4 (2.4)	44 (26.5)
1 時間未満	2 (1.3)	7 (4.1)	4 (2.4)
1 時間	38 (25.3)	61 (35.9)	61 (36.8)
2 時間	88 (58.7)	94 (55.3)	51 (30.7)
3 時間以上	22 (14.7)	4 (2.4)	6 (3.6)
合計	150 (100)	170 (100)	166 (100)

戸外での遊び

「戸外でよく遊ぶ」と回答した割合が1.6歳では78.3%→83.6%、3歳では80.3%→86.3%といずれも増加した。

	1.6 歳	3 歳
よくある	127 (83.6)	157 (86.3)
ときどきある	20 (13.2)	23 (12.6)
あまりない	5 (3.3)	2 (1.1)
ほとんどない	0 (0.0)	0 (0.0)
合計	152 (100)	182 (100)

TVやビデオ・DVDの時間

TVやビデオ・DVDを見る時間は、いずれの年齢でも1時間～2時間が最も多く1.6歳36.8%、3歳48.1%、5歳47.1%であった。2時間以上見る児は、1.6歳で29.0%、3歳児で36.5%、5歳児で38.1%と5歳児で最も高かった。

	1.6 歳		3 歳		5 歳	
見ない	6	(4.0)	0	(0.0)	1	(0.5)
1 時間以下	46	(30.3)	28	(15.5)	27	(14.3)
1～2 時間	56	(36.8)	87	(48.1)	89	(47.1)
2～3 時間	30	(19.7)	50	(27.6)	59	(31.2)
3～4 時間	10	(6.6)	15	(8.3)	10	(5.3)
4～5 時間	4	(2.6)	1	(0.6)	3	(1.6)
5 時間以上	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	152	(100)	181	(100)	189	(100)

保育所・幼稚園への通園

1.6歳児で7割が通園していた。平成27年度1.6歳児の通園の「あり」と「なし」の割合が逆転したが、その傾向は変わらなかった。

	1.6 歳		3 歳	
通園あり	109	(71.7)	170	(93.4)
通園なし	43	(28.3)	12	(6.6)
合計	152	(100)	182	(100)

事故、病気

事故やケガで医療機関を受診した割合は、1.6歳児で14.5%→15.7%と昨年度よりやや増加し、3歳児でも11.6%→12.6%と昨年度よりやや増加した。救急外来の受診割合は、1.6歳児で52.1%→46.4%と昨年度より減少したが、3歳児でも39.8%→39.6%と昨年度よりやや減少した。また、病気で入院したことがある割合は、1.6歳児で35.8%→34.2%と昨年度よりやや減少したが、3歳児では19.2%→21.5%と昨年度よりやや増加した。

事故やケガで受診	1.6歳		3歳	
はい	24	(15.7)	23	(12.6)
いいえ	129	(84.3)	159	(87.4)
合計	153	(100)	182	(100)

救急外来の受診	1.6歳		3歳	
ある	71	(46.4)	72	(39.6)
ない	82	(53.6)	110	(60.4)
合計	153	(100)	182	(100)

病気で医療機関に入院	1.6歳		3歳	
ある	52	(34.2)	39	(21.5)
ない	100	(65.8)	142	(78.5)
合計	152	(100)	181	(100)

6. 育児の状況

母親のストレス

ストレスをいつも感じる母親は、例年同様 10～20%程度認められた。

ストレスを感じる	母子	1.6 歳	3 歳	5 歳
いつも	17 (12.8)	19 (12.7)	36 (19.8)	35 (18.5)
時々	88 (66.2)	105 (70.0)	122 (67.0)	122 (64.6)
ほとんど感じない	28 (21.1)	26 (17.3)	24 (13.2)	32 (16.9)
合計	133 (100)	150 (100)	182 (100)	189 (100)

ストレスの解消については、各調査時期とも約 80%がストレスを解消できている、まあまあできていると回答しており、例年と同様であった。

ストレスの解消	母子	1.6 歳	3 歳	5 歳
できている	26 (19.7)	31 (20.7)	40 (22.2)	49 (26.3)
まあまあできている	86 (65.2)	87 (58.0)	107 (59.4)	94 (50.5)
できていない	3 (2.3)	17 (11.3)	21 (11.7)	24 (12.9)
何ともいえない	17 (12.9)	15 (10.0)	12 (6.7)	19 (10.2)
合計	132 (100)	150 (100)	180 (100)	186 (100)

ストレスの内容

各健診時において家庭での人間関係が最も多いストレスの内容となった。次いで、育児に関してであり、1.6 歳児と 3 歳児では 3 番目が経済的な心配事であった。経済的な心配事を挙げる人の割合は約 25%であり、昨年度とほぼ同様であった。

夫の育児への関わり

夫が子どもによく接すると答えた割合は、1.6 歳児では 65.8%→71.7%、3 歳児では 71.4%→65.3%、5 歳児では 62.8%→62.3%と 1.6 歳児以外は昨年度より減少した。

	1.6 歳	3 歳	5 歳
よく接する	104 (71.7)	113 (65.3)	109 (62.3)
普通	36 (24.8)	52 (30.1)	55 (31.4)
あまりかまわない	5 (3.5)	8 (4.6)	11 (6.3)
合計	145 (100)	173 (100)	175 (100)

育児についての夫婦の会話

夫婦の会話をよくすると回答した割合は、例年約 70～80%であり、1.6 歳児では 82.6%→80.6%、3 歳児では 80.4%→70.1%、5 歳児では 77.5%→77.6%と 5 歳児以外で減少した。

	1.6 歳		3 歳		5 歳	
よくする	116	(80.6)	122	(70.1)	135	(77.6)
時々する	23	(16.0)	43	(24.7)	35	(20.1)
あまりしない	2	(1.4)	5	(2.9)	2	(1.2)
ほとんどしない	2	(1.4)	3	(1.7)	1	(0.6)
何ともいえない	1	(0.7)	1	(0.6)	1	(0.6)
合計	144	(100)	174	(100)	174	(100)

7. アレルギー

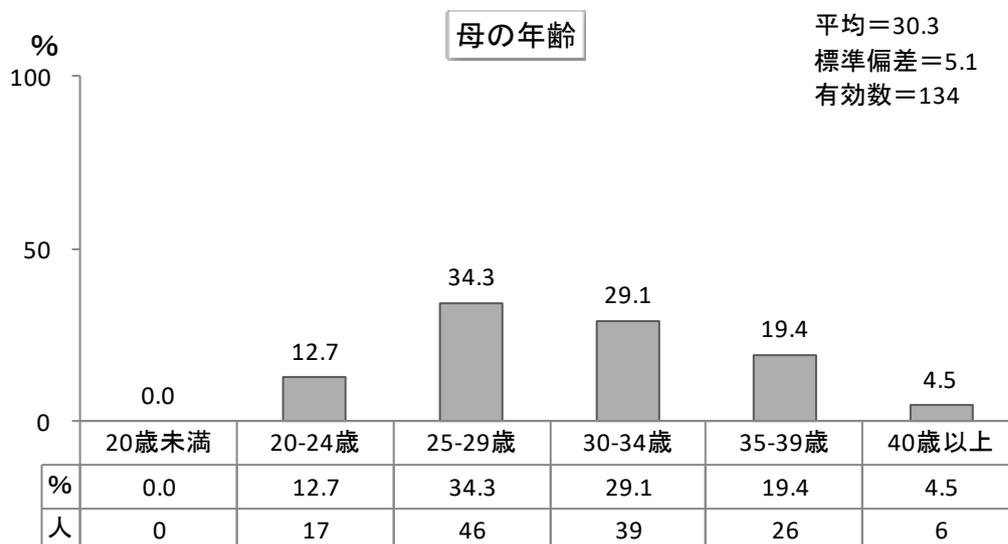
昨年度から 5 歳児健診にアレルギー疾患の調査項目を追加した。5 歳時のアレルギー疾患の有病率は、気管支喘息が 15.3%→16.2%、アトピー性皮膚炎が 21.7%→21.5%、アレルギー鼻炎が 39.6%→37.1%、スギ花粉症が 37.6%→29.7%、食物アレルギーが 9.9%→14.7%であった。

Ⅲ. 調査回答者の属性

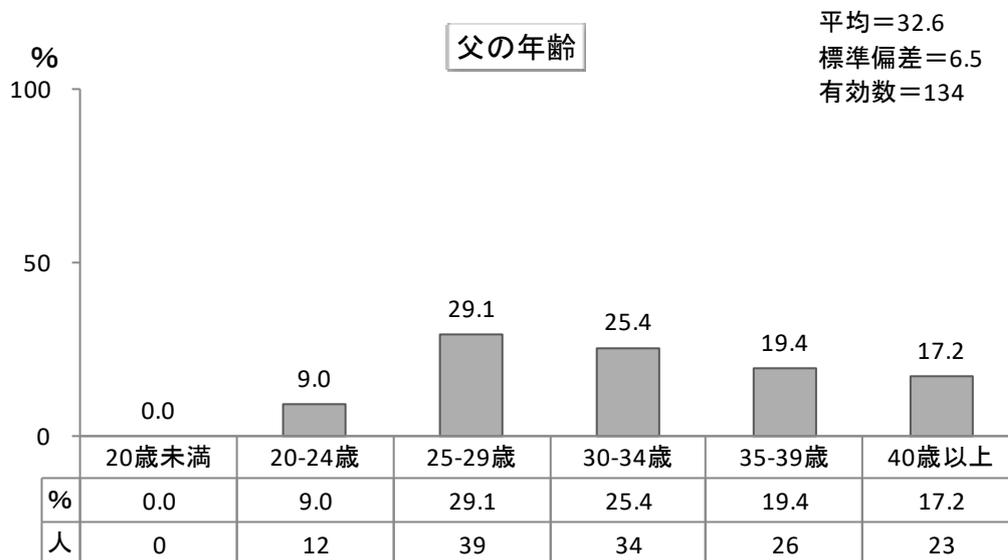
Ⅲ. 調査回答者の属性

1. 母子健康手帳交付時

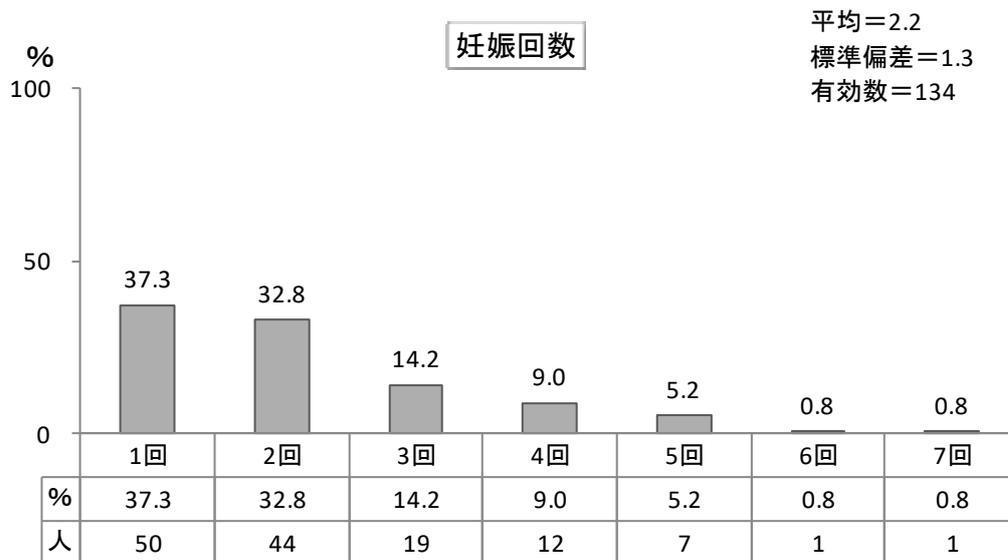
(1) 母親 (回答者) の年齢



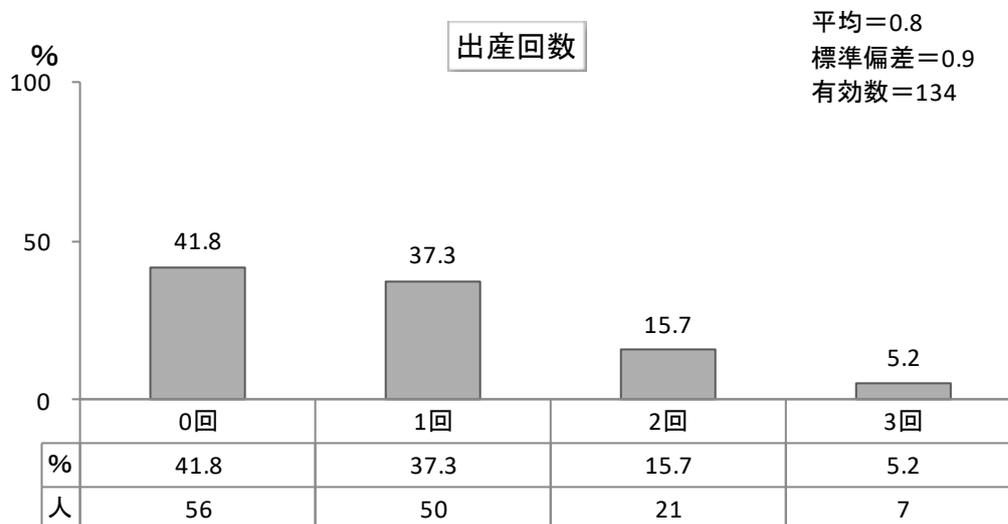
(2) 父親 (回答者の夫) の年齢



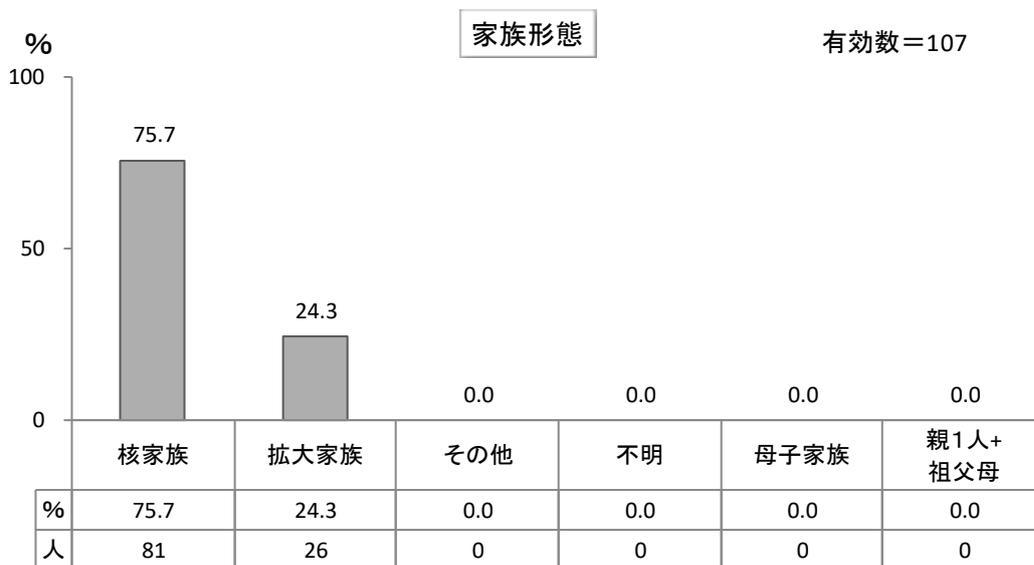
(3) 妊娠回数



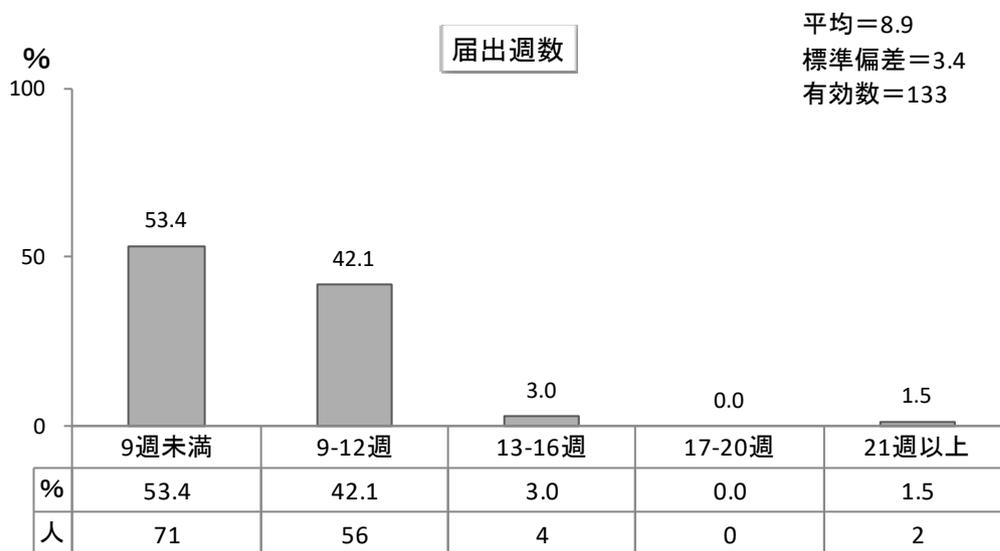
(4) 出産回数



(5) 家族形態

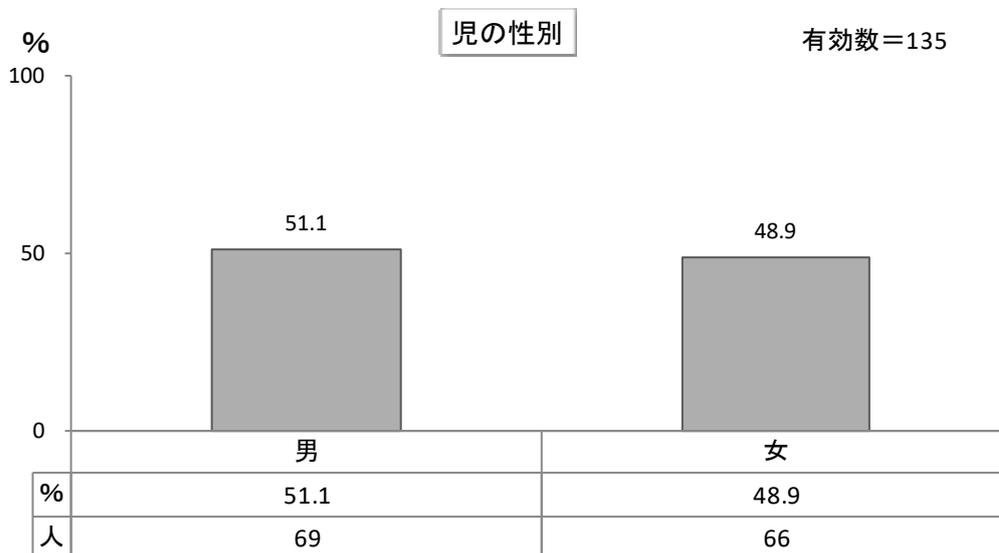


(6) 届出週数

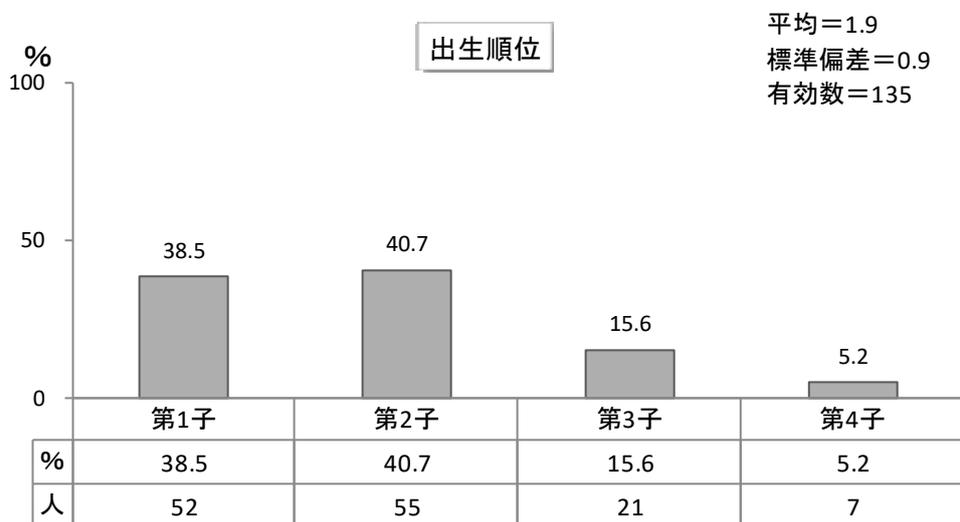


2. 出生時

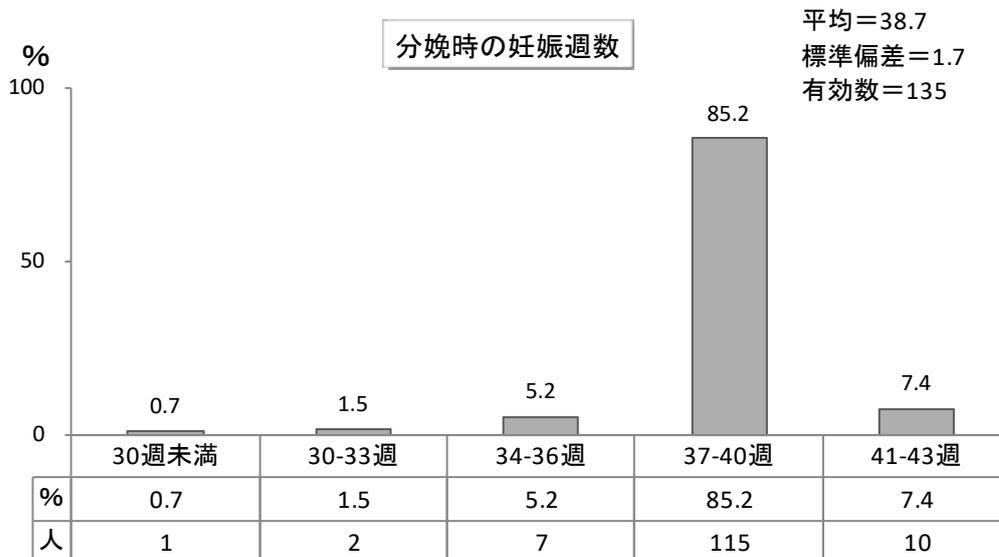
(1) 児の性別



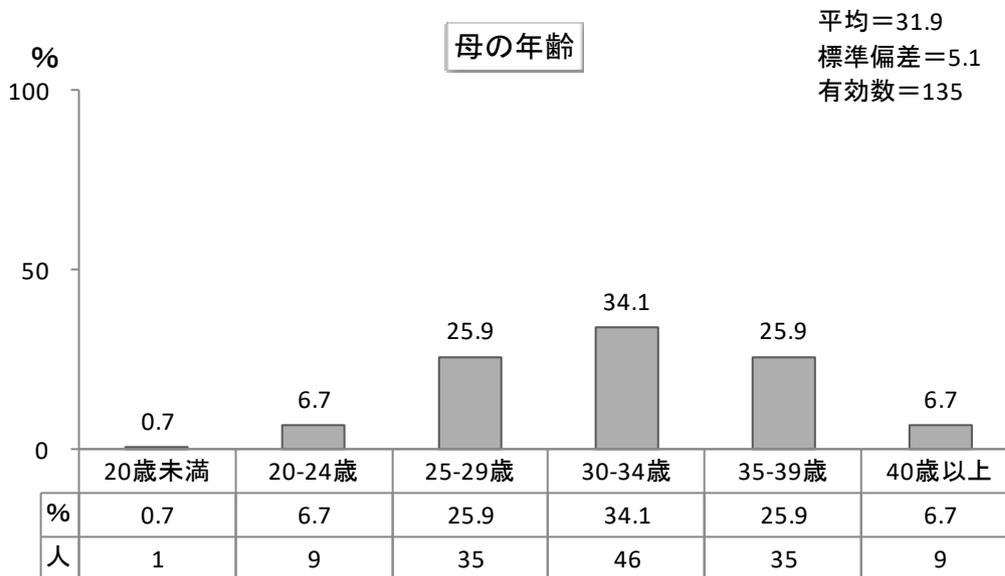
(2) 出生順位



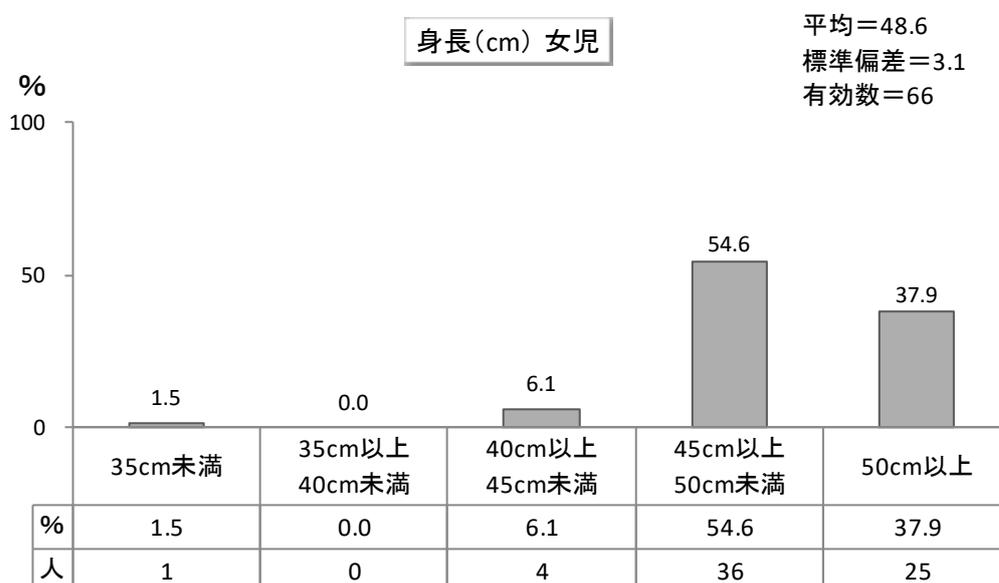
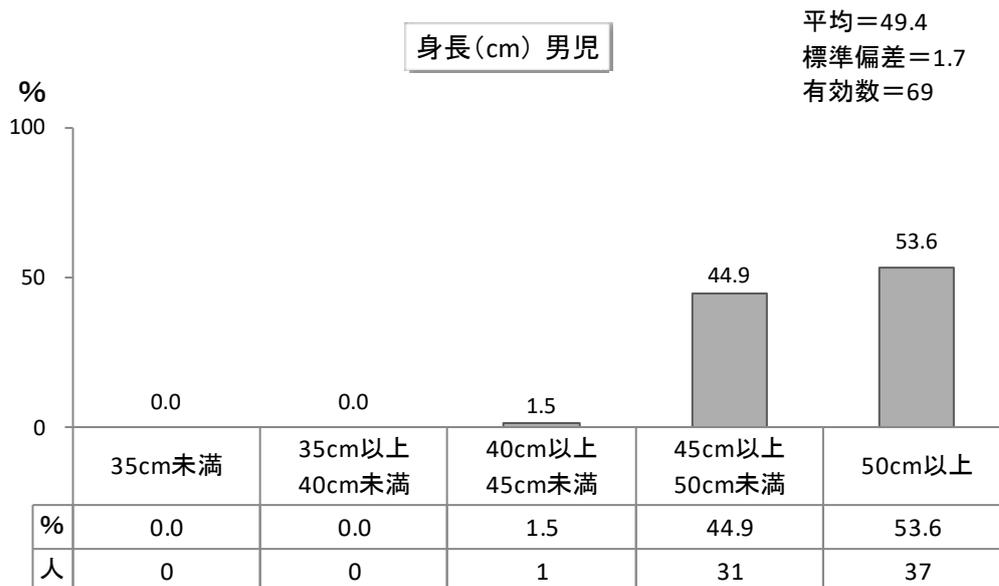
(3) 分娩時の妊娠週数



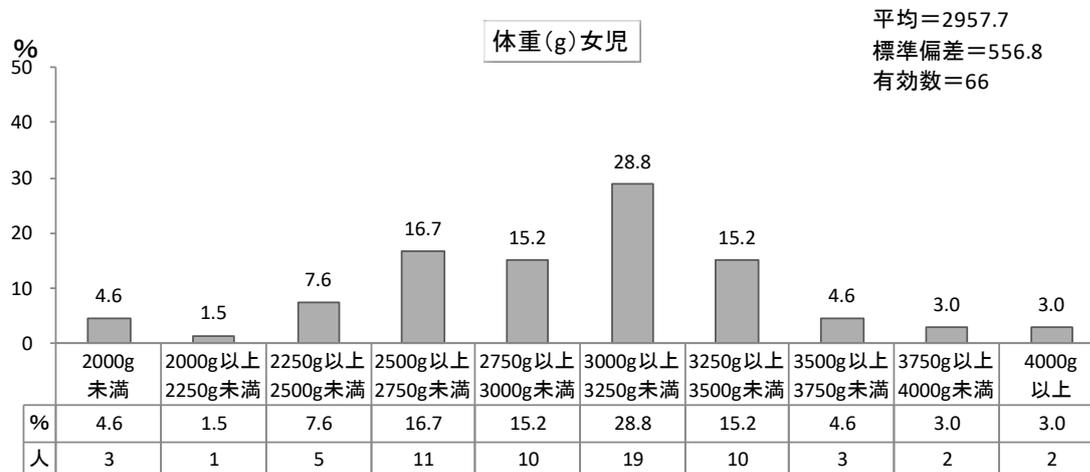
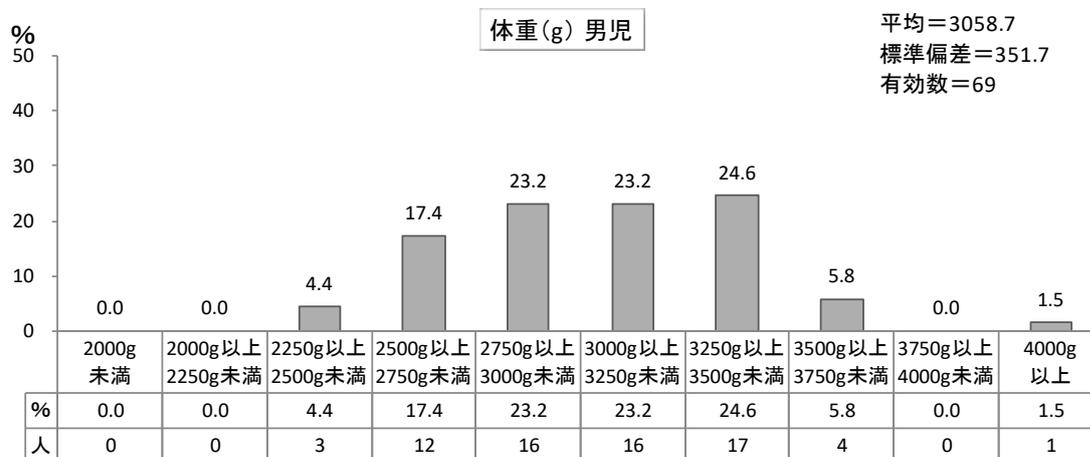
(4) 母親の年齢



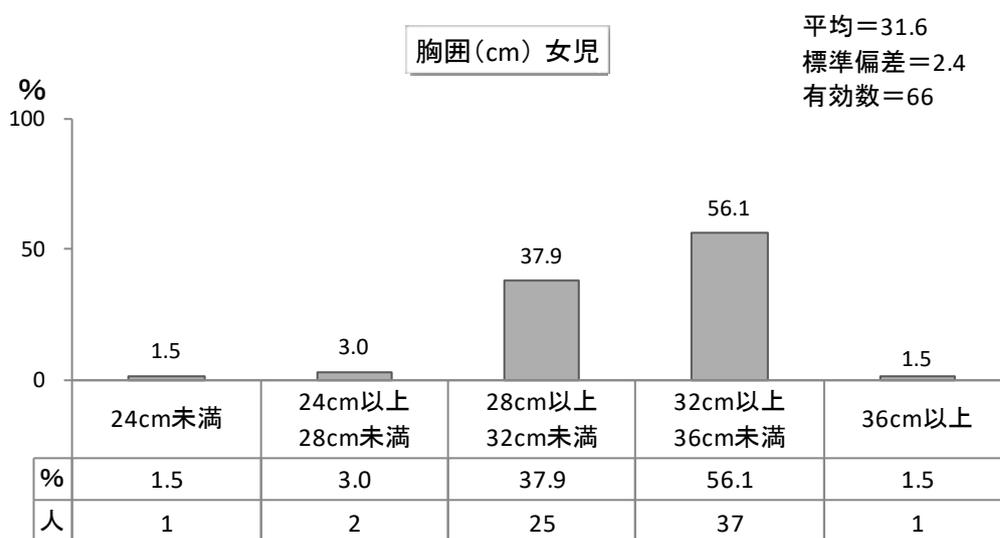
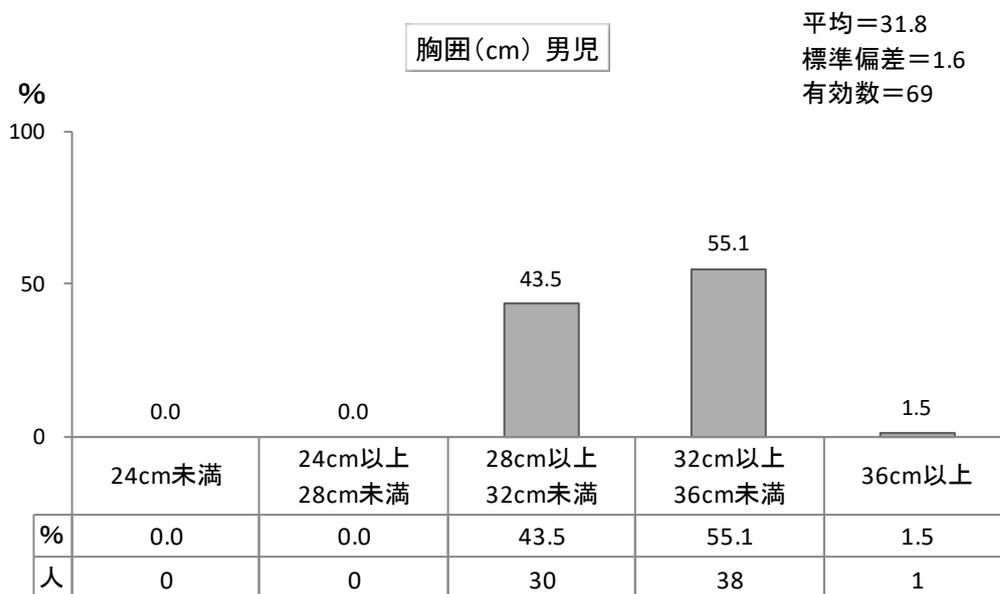
(5) 身長



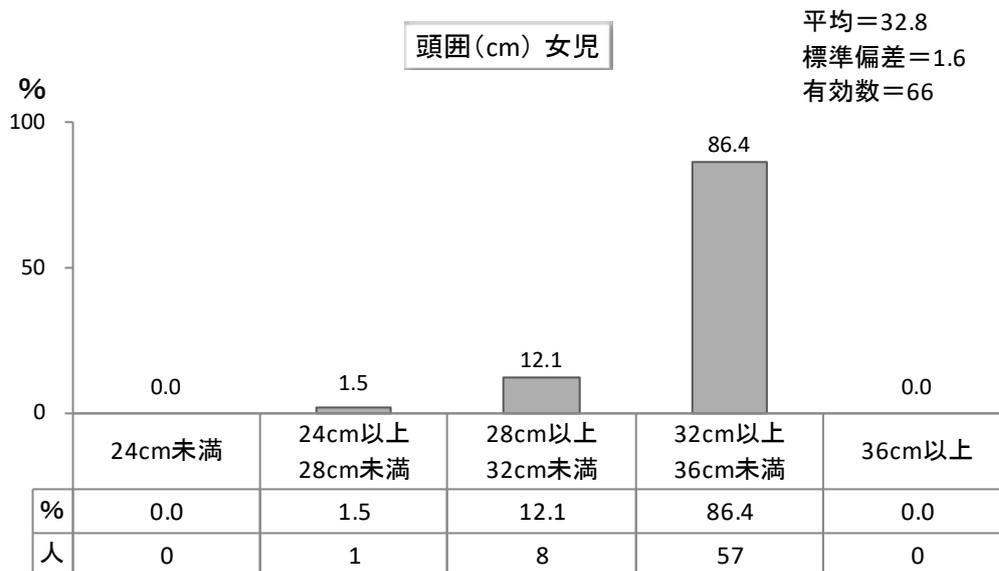
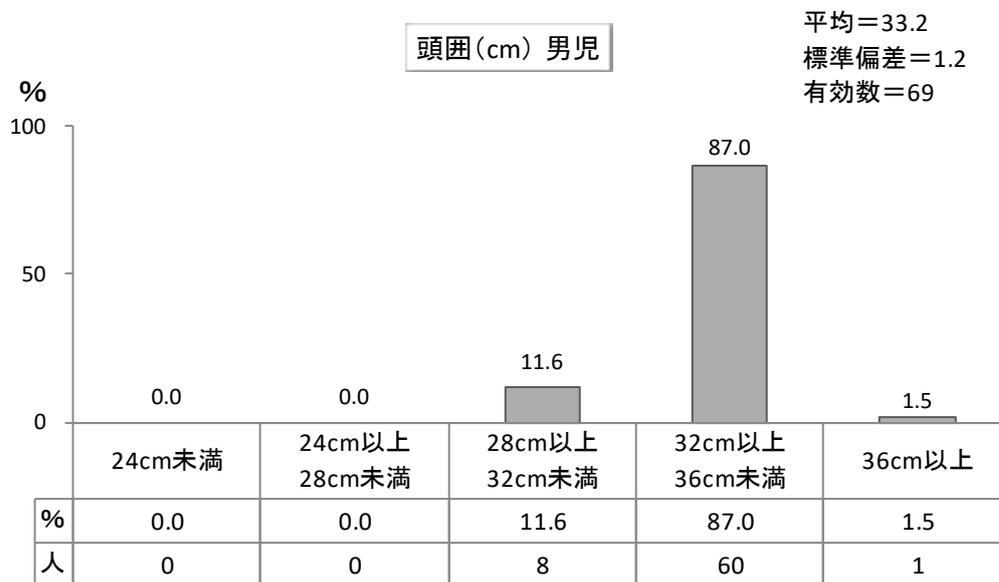
(6) 体重



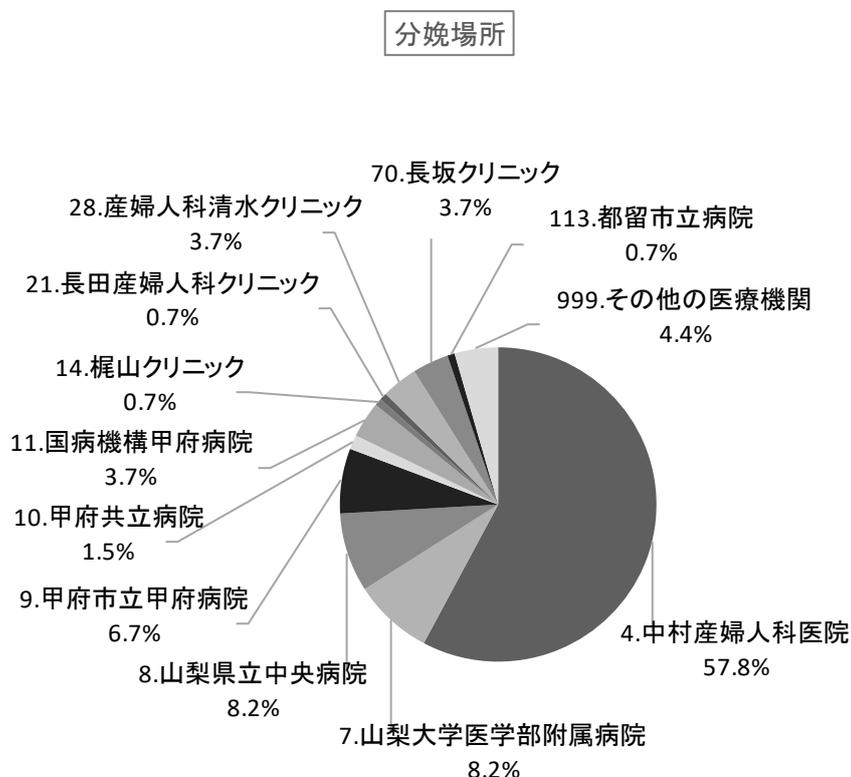
(7) 胸囲



(8) 頭囲



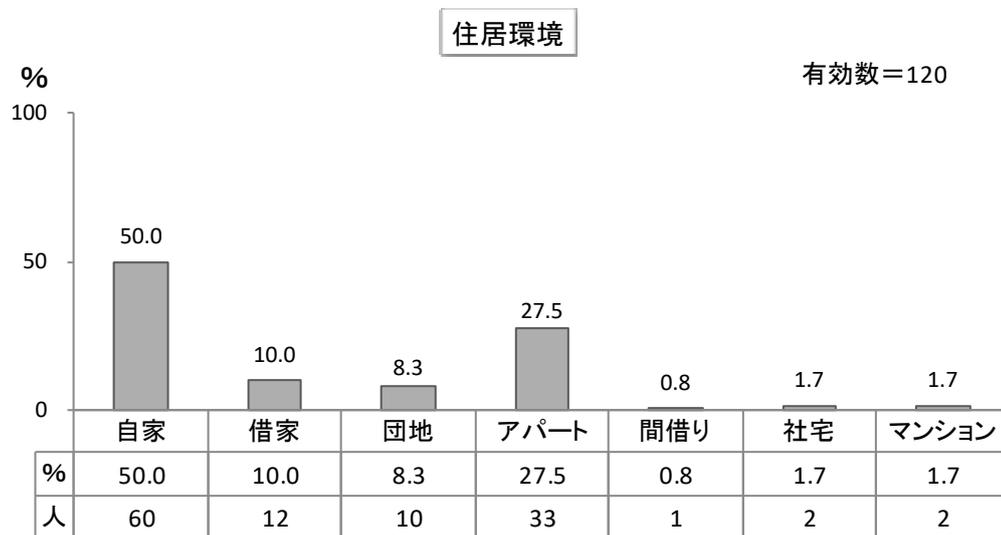
(9) 分娩場所



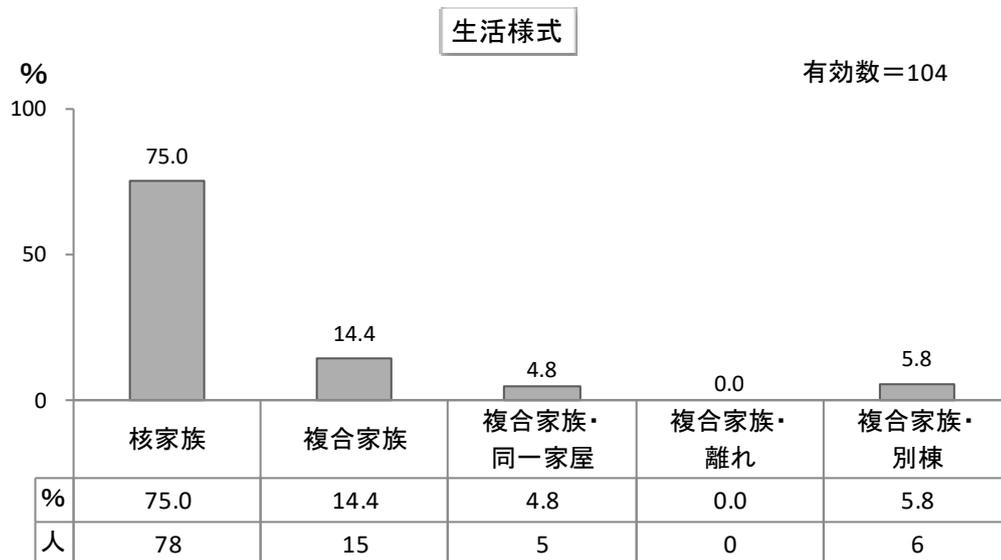
分娩場所	人数	%
4. 中村産婦人科医院	78	57.8
7. 山梨大学医学部附属病院	11	8.2
8. 山梨県立中央病院	11	8.2
9. 甲府市立甲府病院	9	6.7
10. 甲府共立病院	2	1.5
11. 国病機構甲府病院	5	3.7
14. 梶山クリニック	1	0.7
21. 長田産婦人科クリニック	1	0.7
28. 産婦人科清水クリニック	5	3.7
70. 長坂クリニック	5	3.7
113. 都留市立病院	1	0.7
999. その他の医療機関	6	4.4
	135	100

3.3ヶ月児健診時

(1) 住居環境



(2) 生活様式

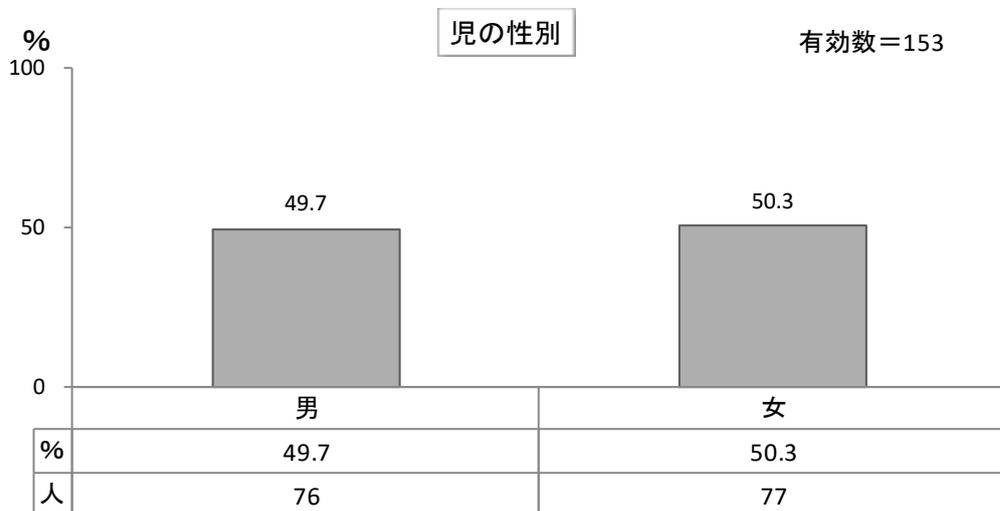


(3) 体重の変化

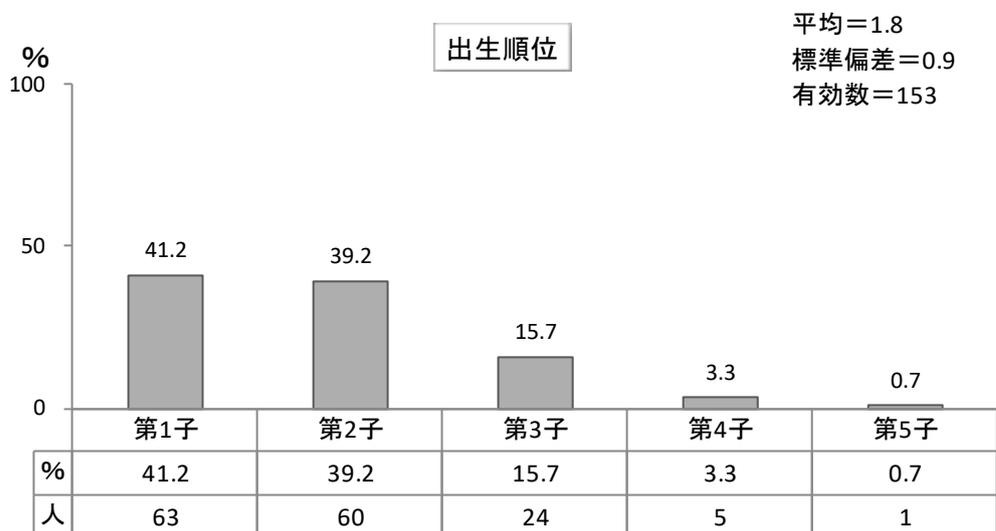
妊娠前の 体格	人数 (人)	平均体重 増加量 (kg)	標準偏差	最小値 (kg)	最大値 (kg)
やせ	23	11.8	3.4	4.4	17.1
標準	86	11.2	3.9	1.3	23.3
肥満	7	7.5	8.3	-10.2	14.1

4.1歳6ヶ月児健診時

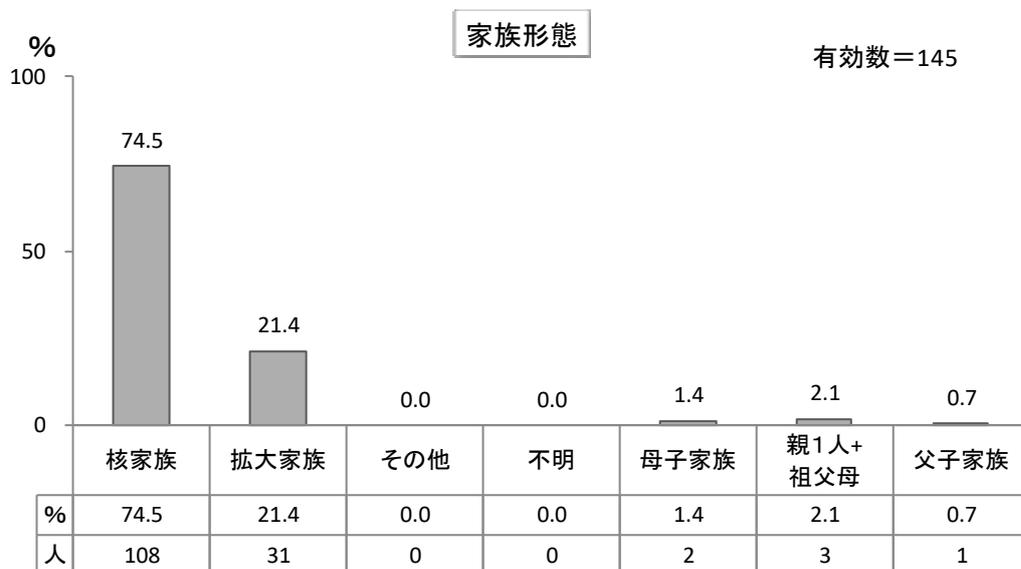
(1) 児の性別



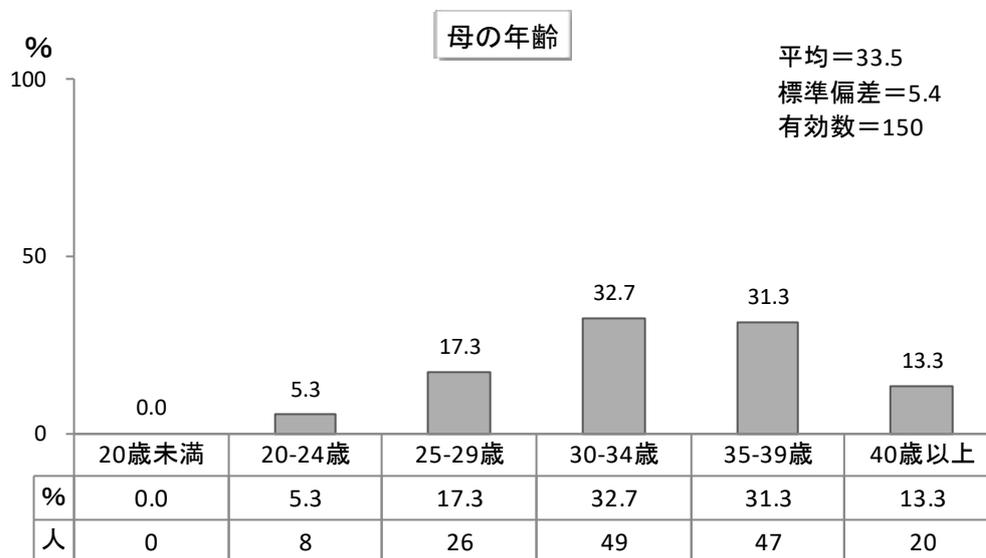
(2) 出生順位



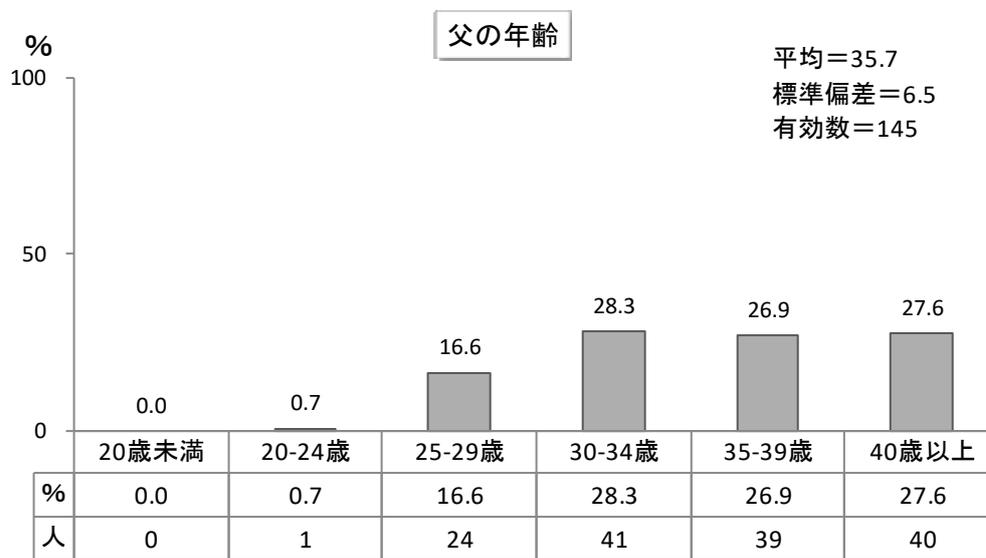
(3) 家族形態



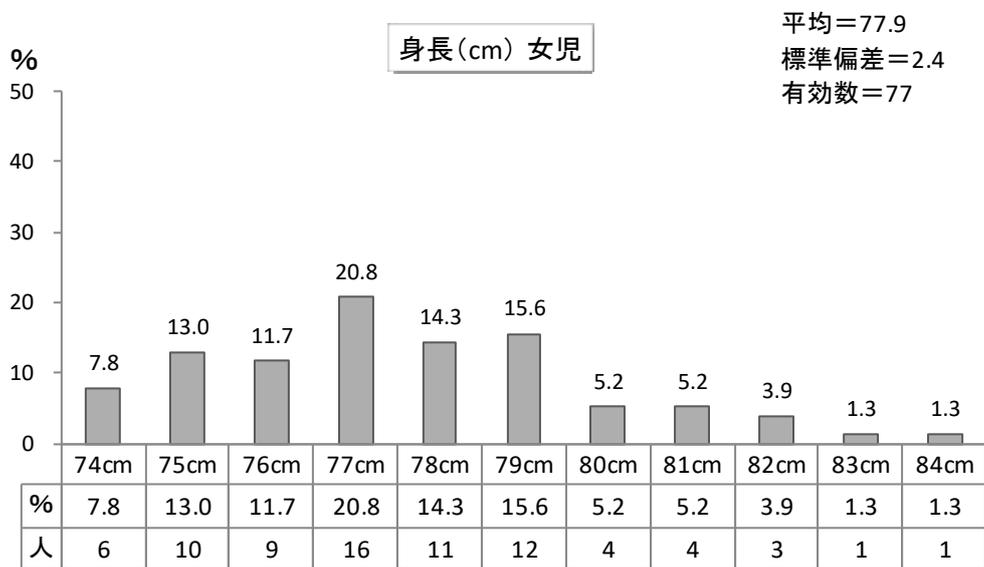
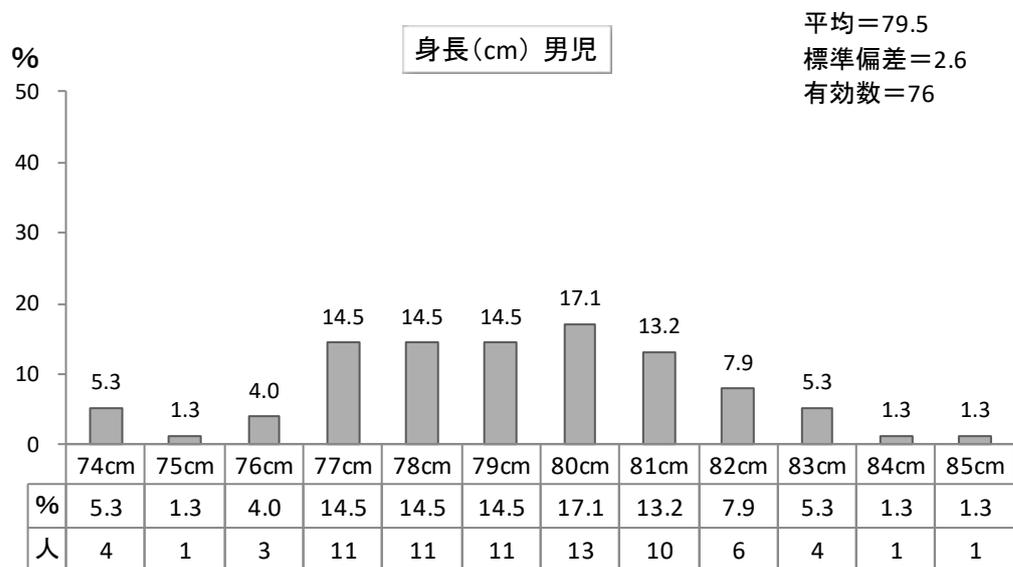
(4) 母親の年齢



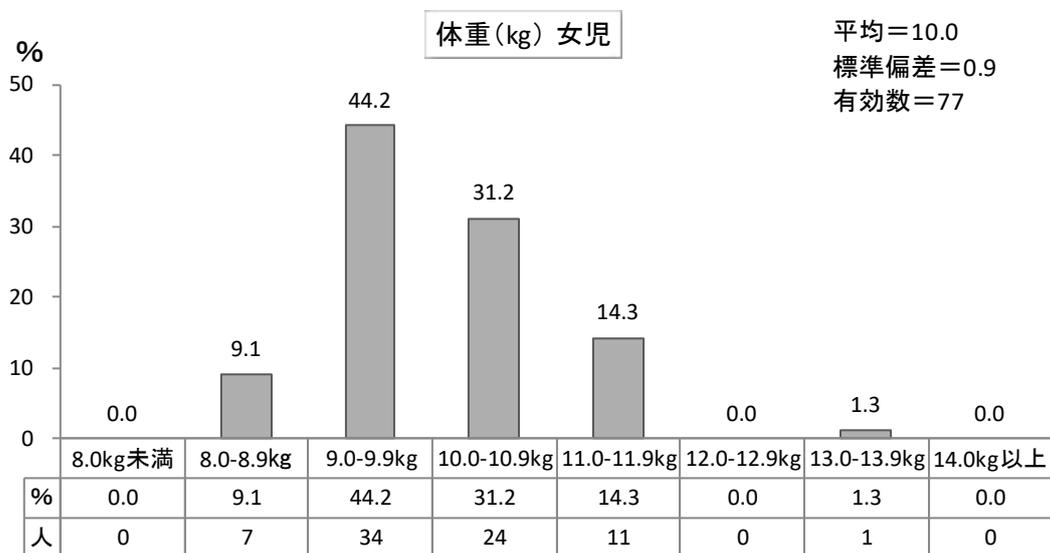
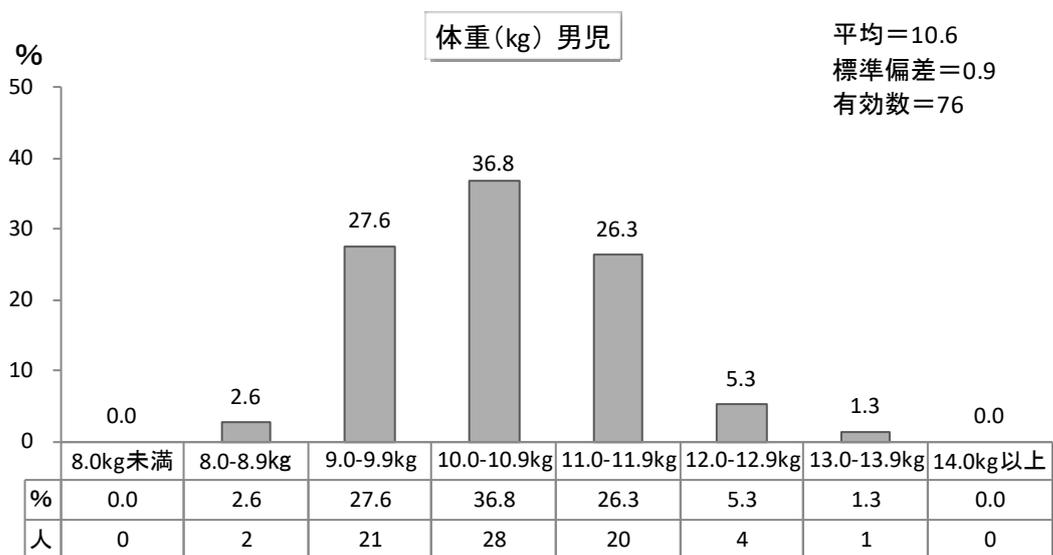
(5) 父親の年齢



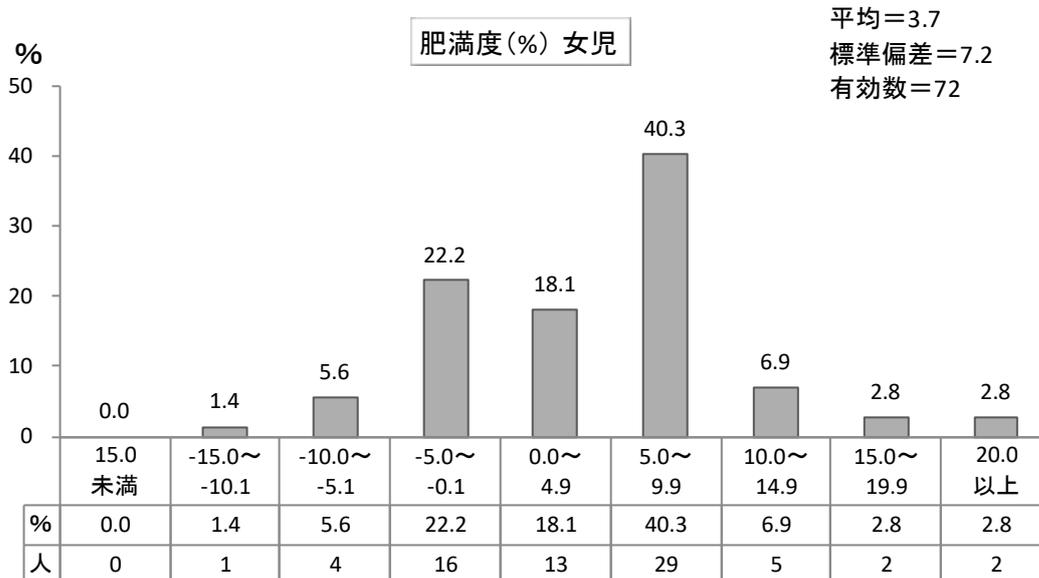
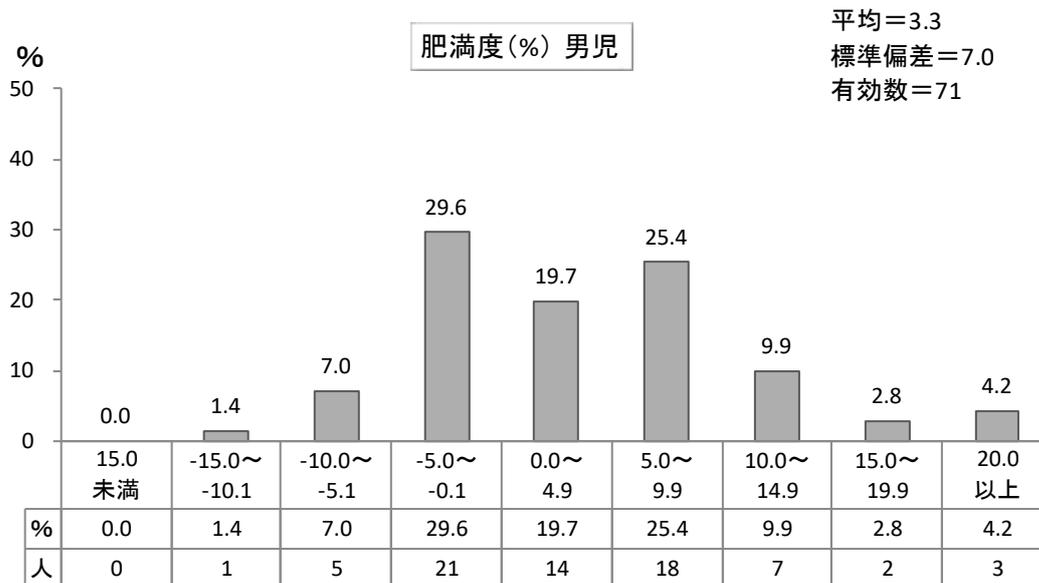
(6) 身長



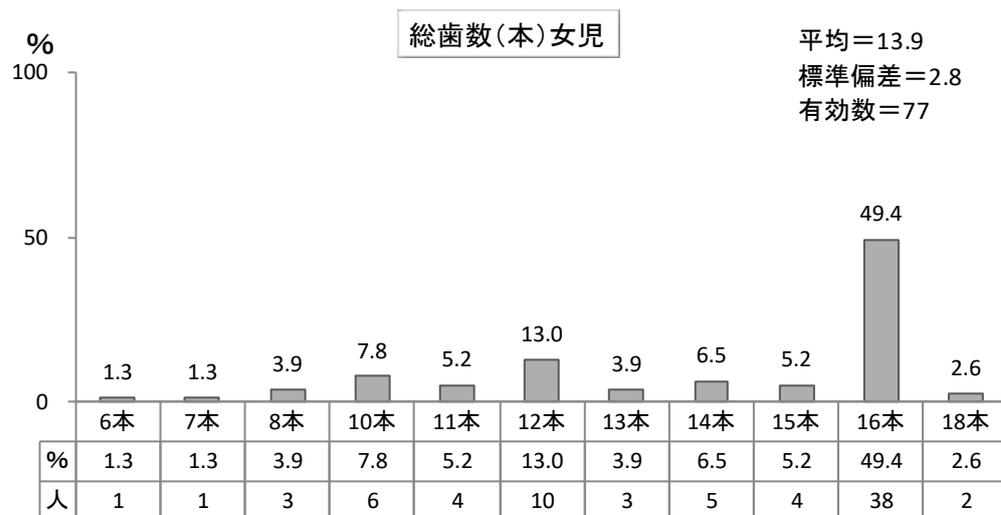
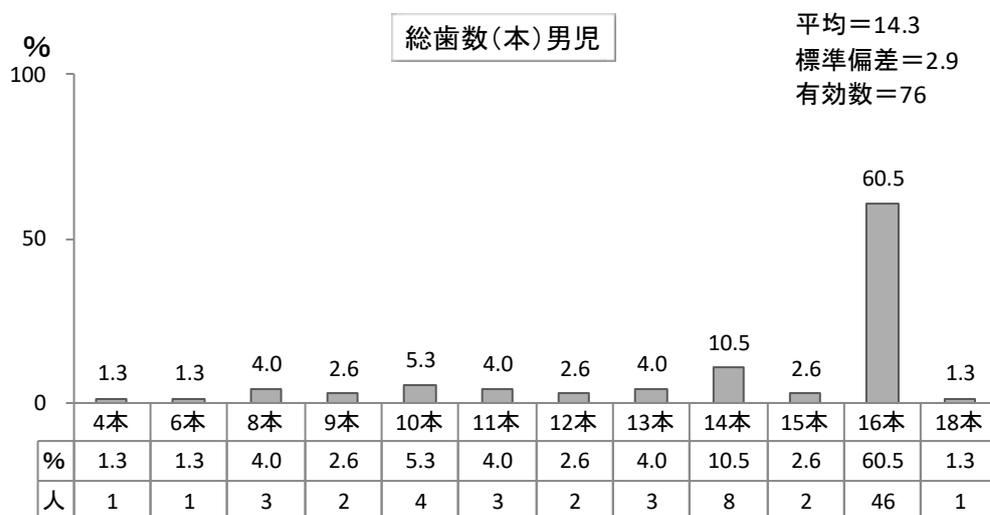
(7) 体重



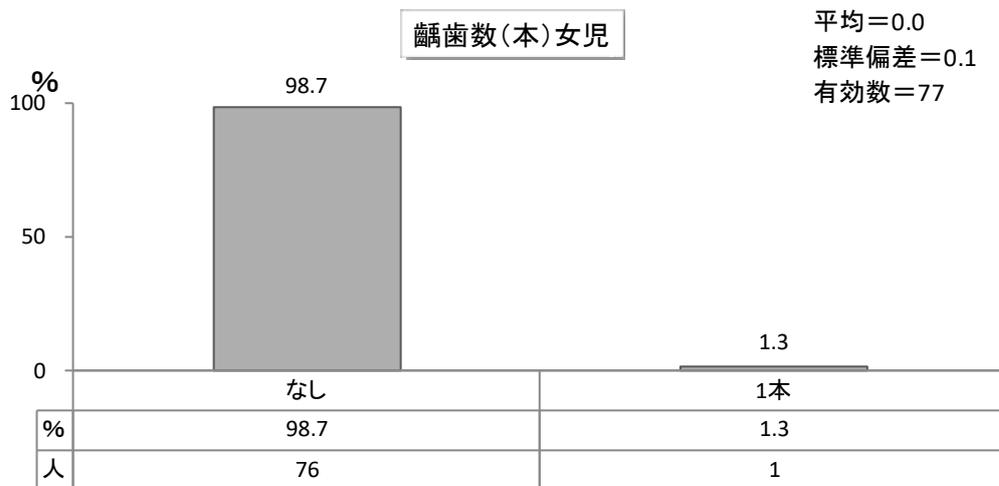
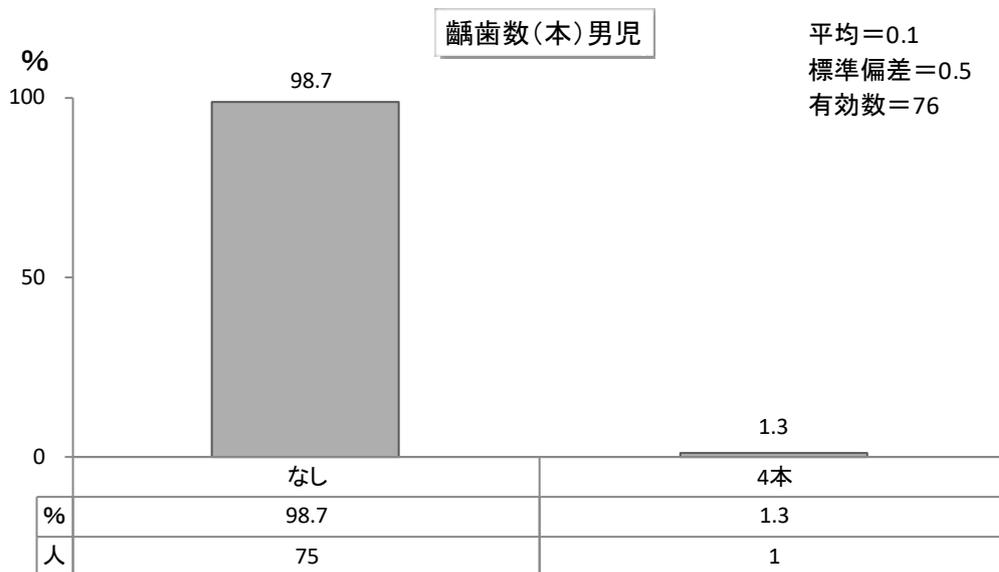
(8) 肥満度



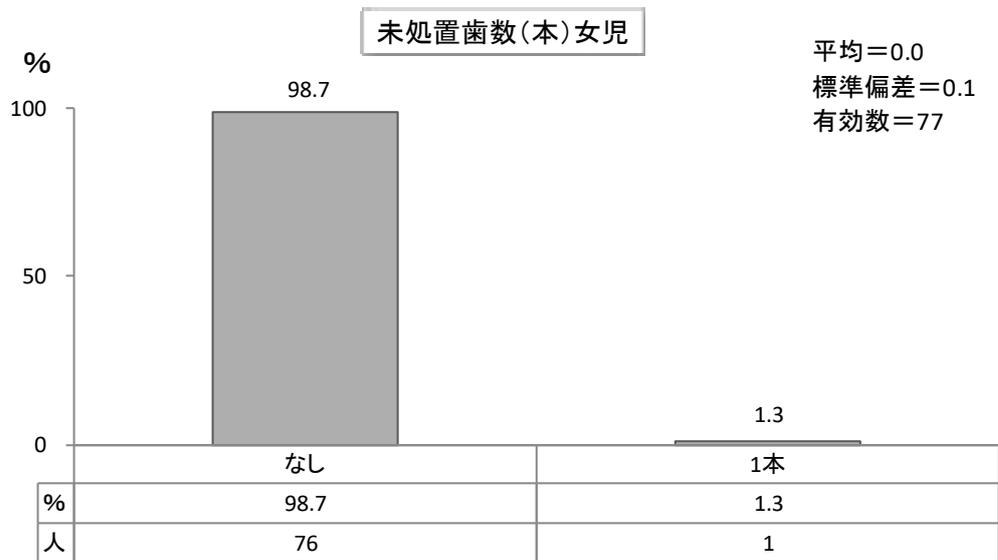
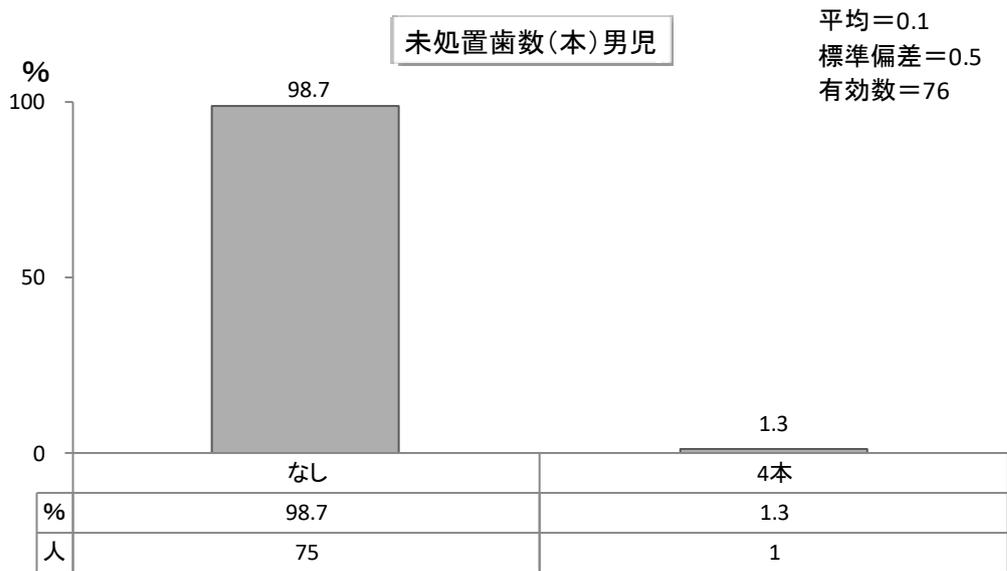
(9) 総歯数



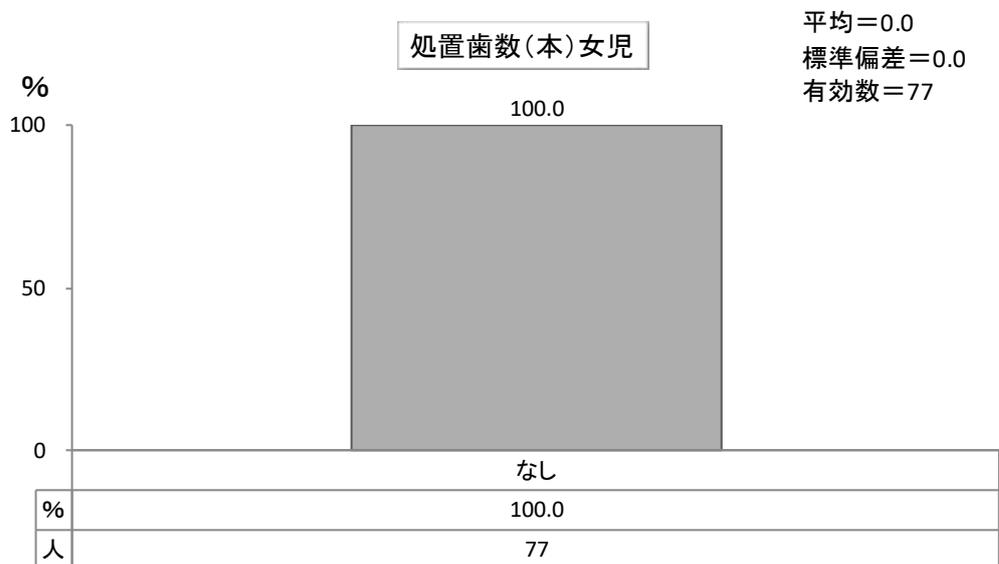
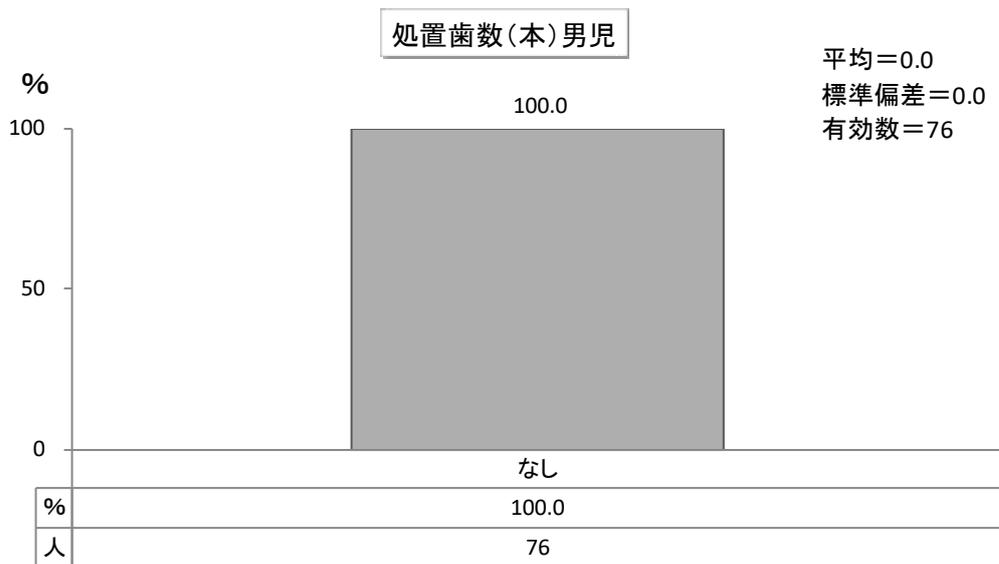
(10) 齲歯数



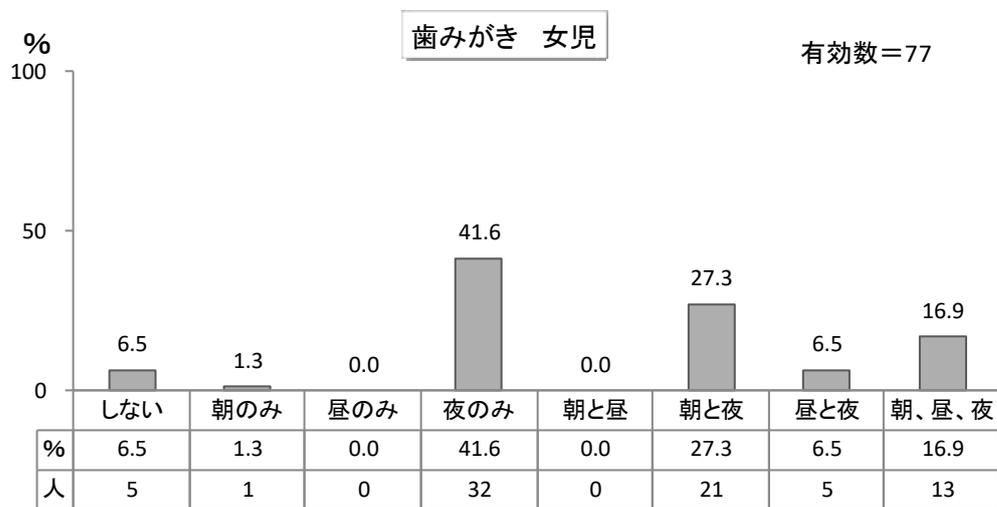
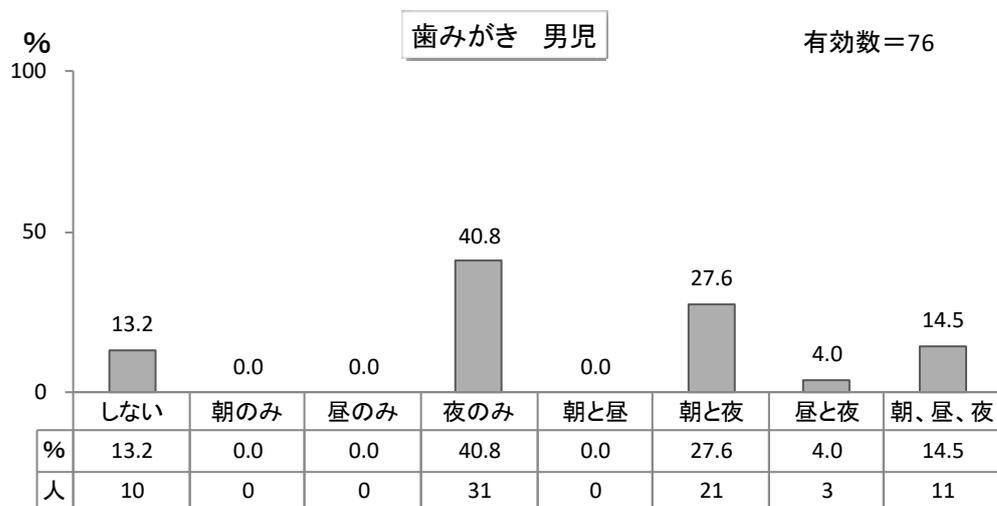
(11) 未処置歯数



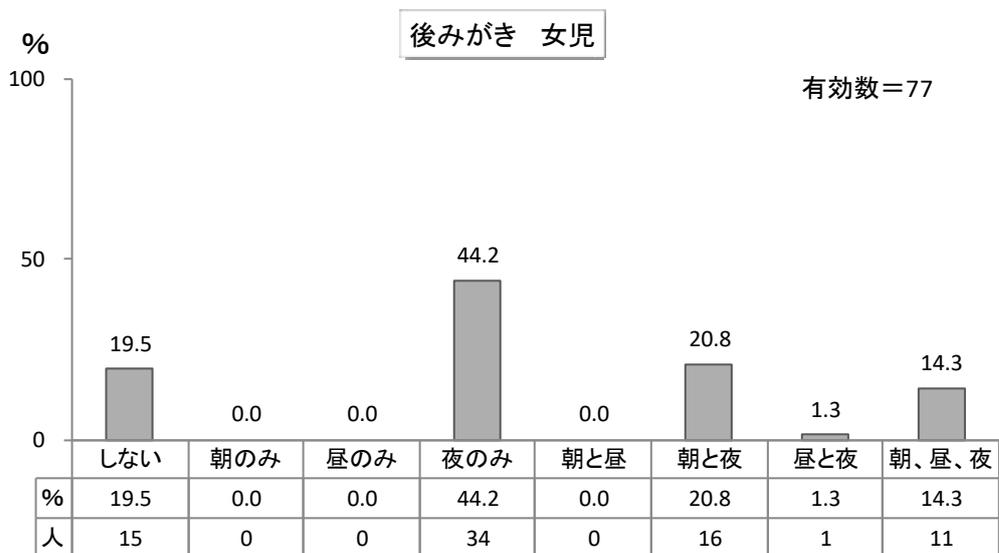
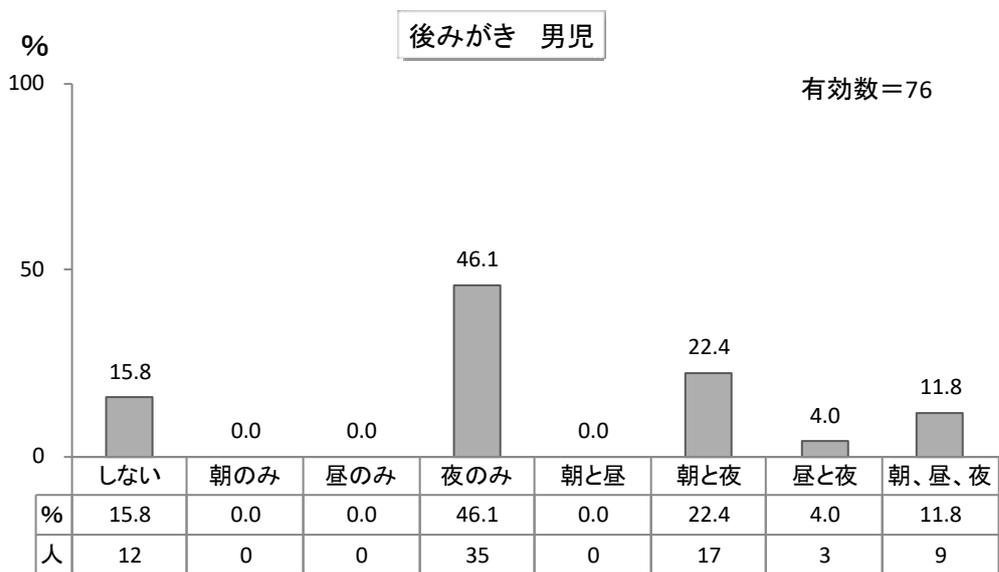
(12) 処置歯数



(13) 歯みがき

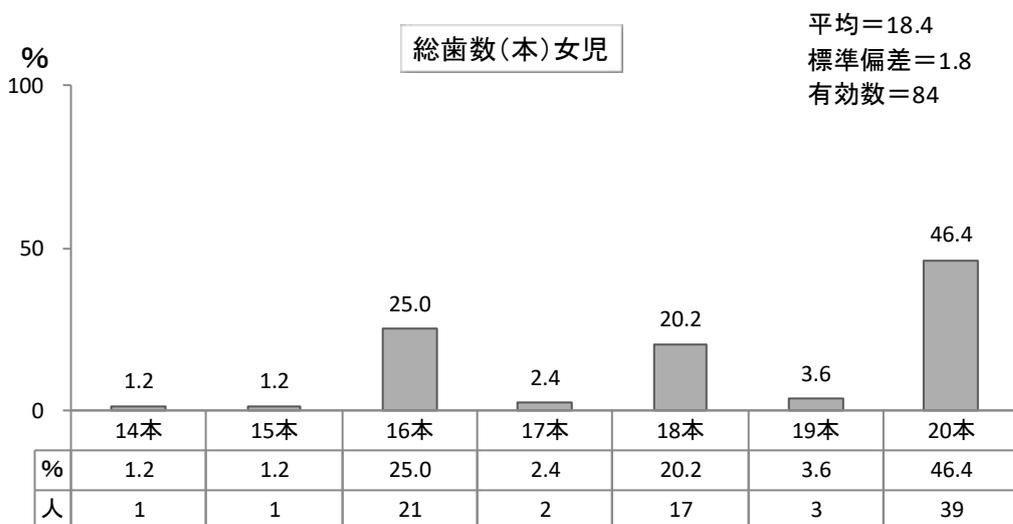
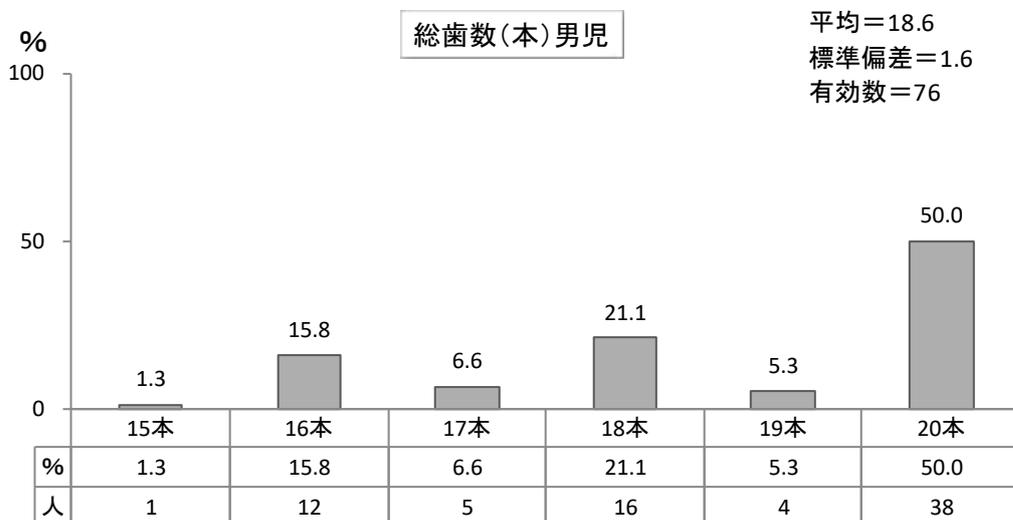


(14) 後みがき

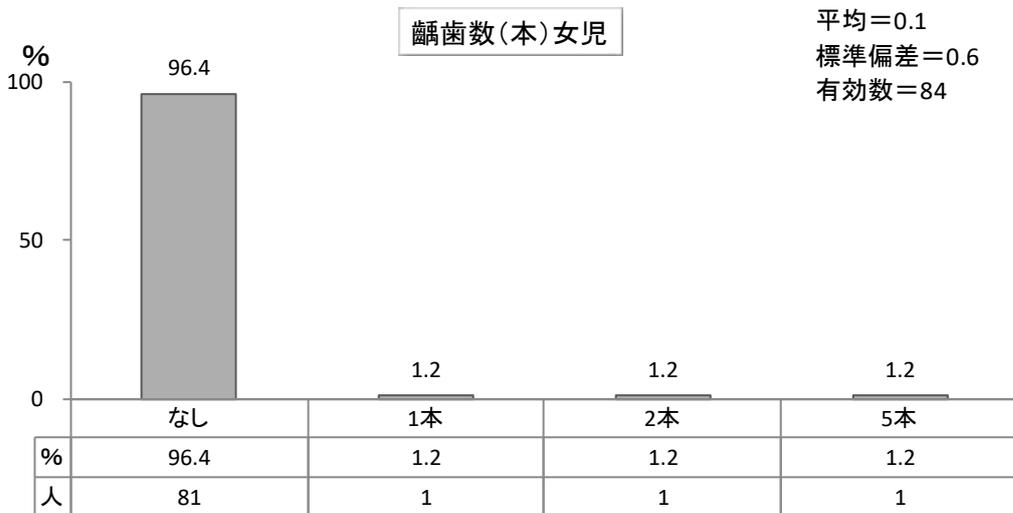
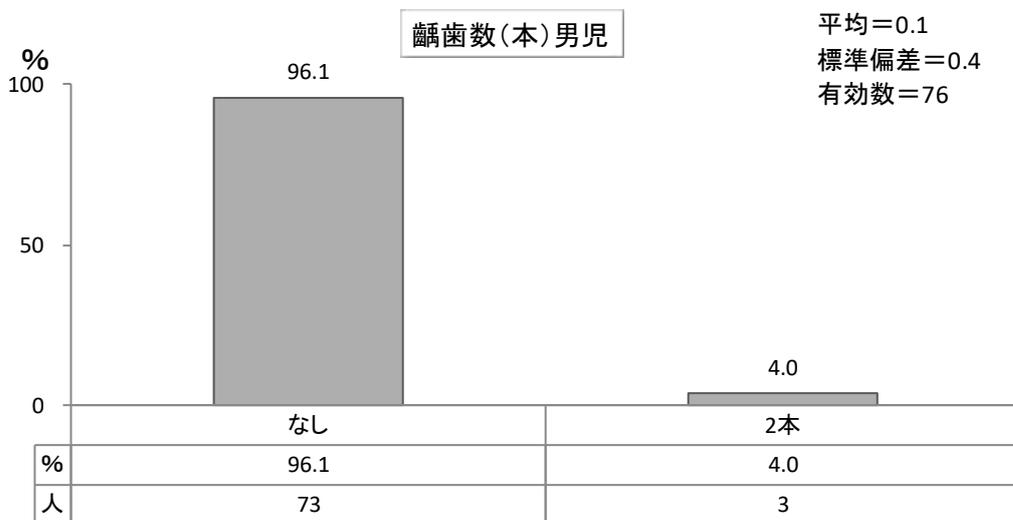


5.2 歳児健診時

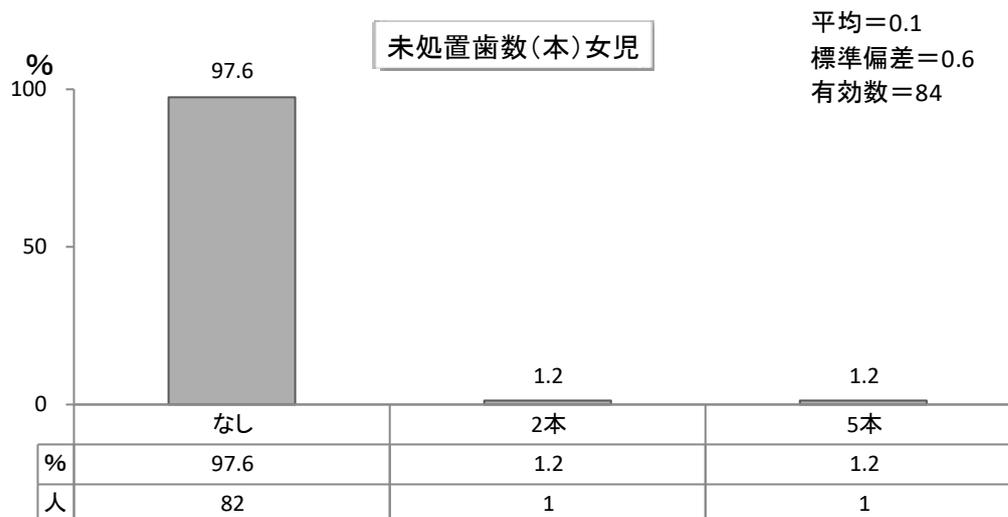
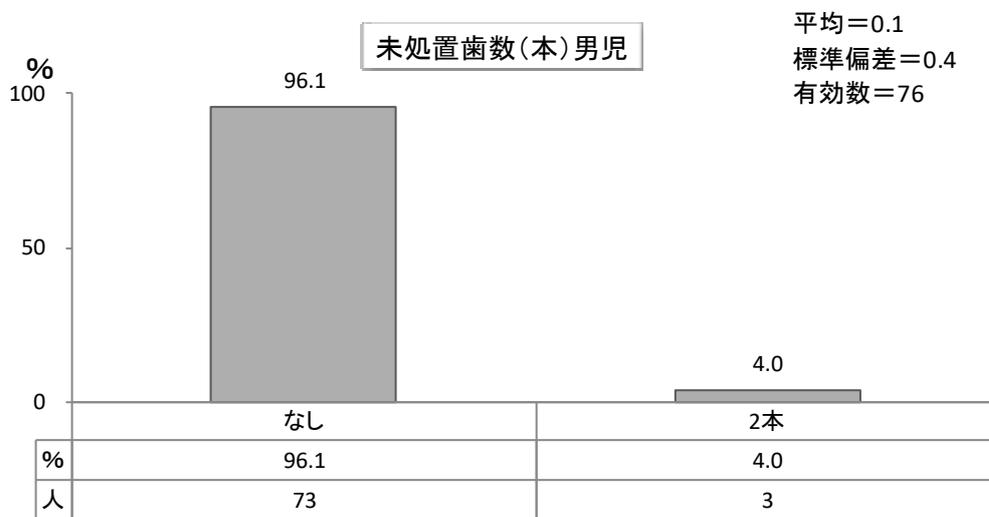
(1) 総歯数



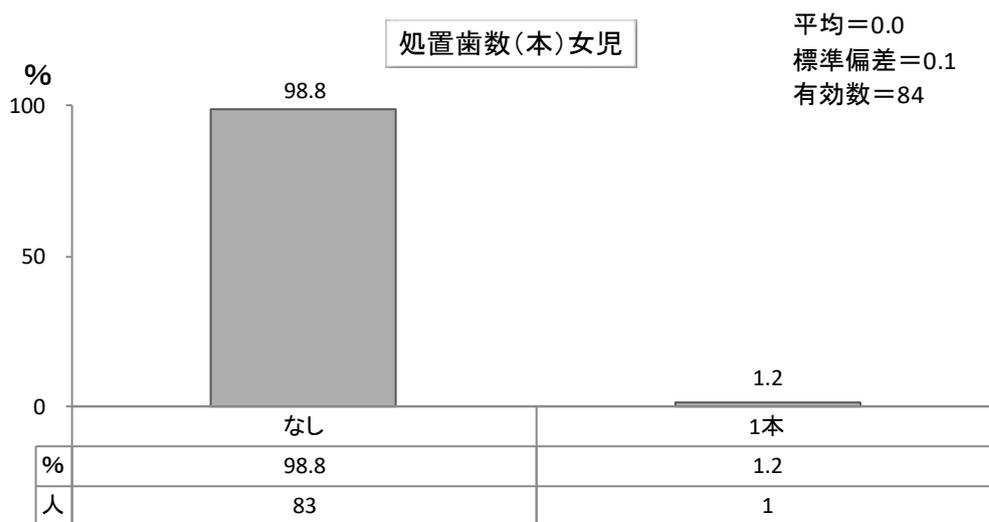
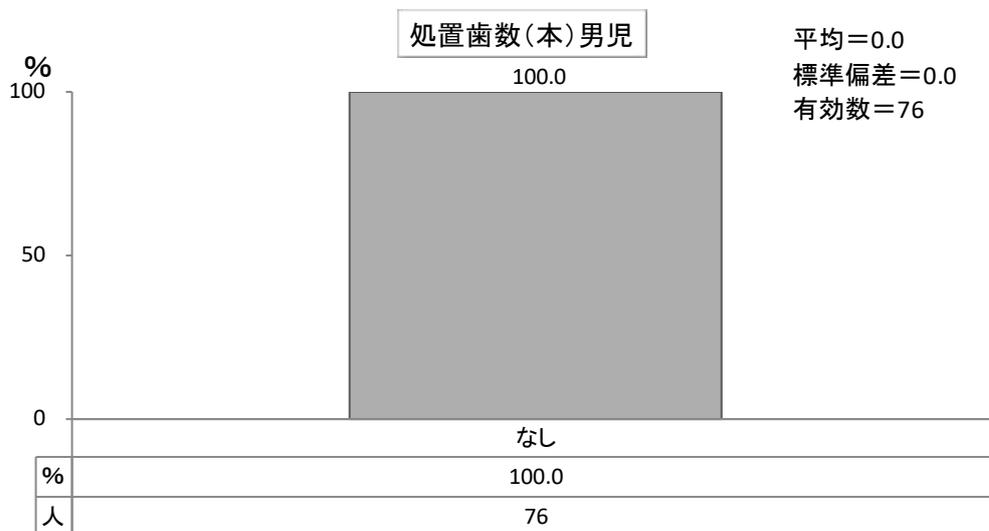
(2) 齲歯数



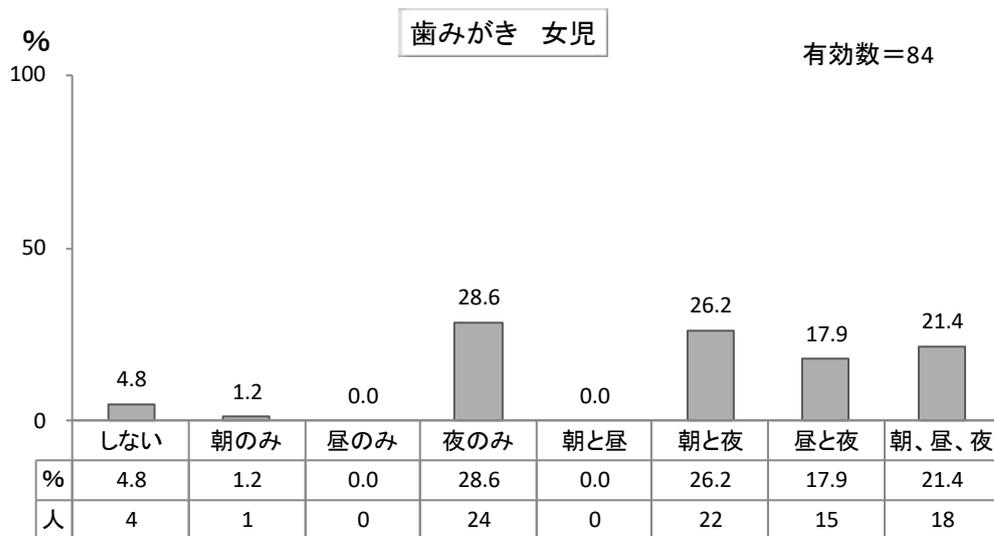
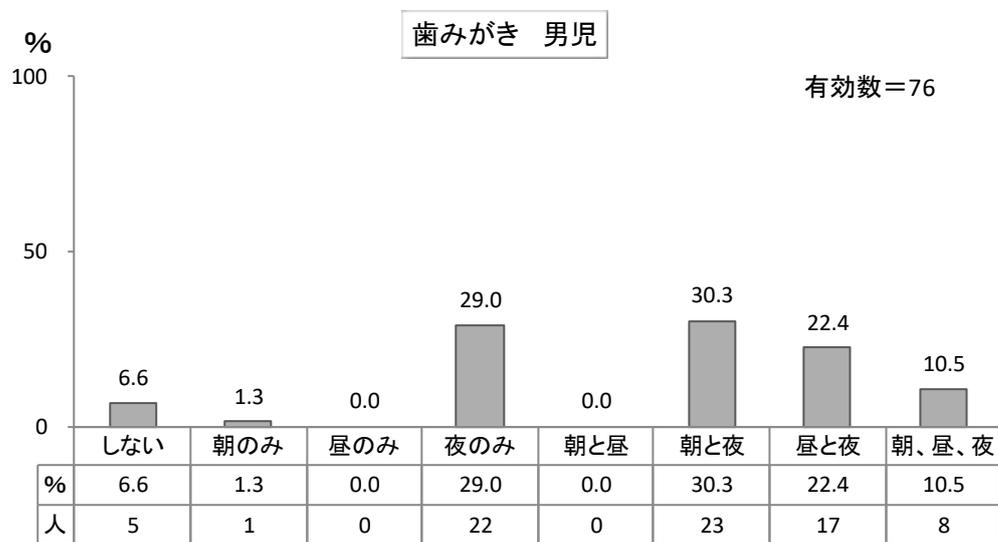
(3) 未処置歯数



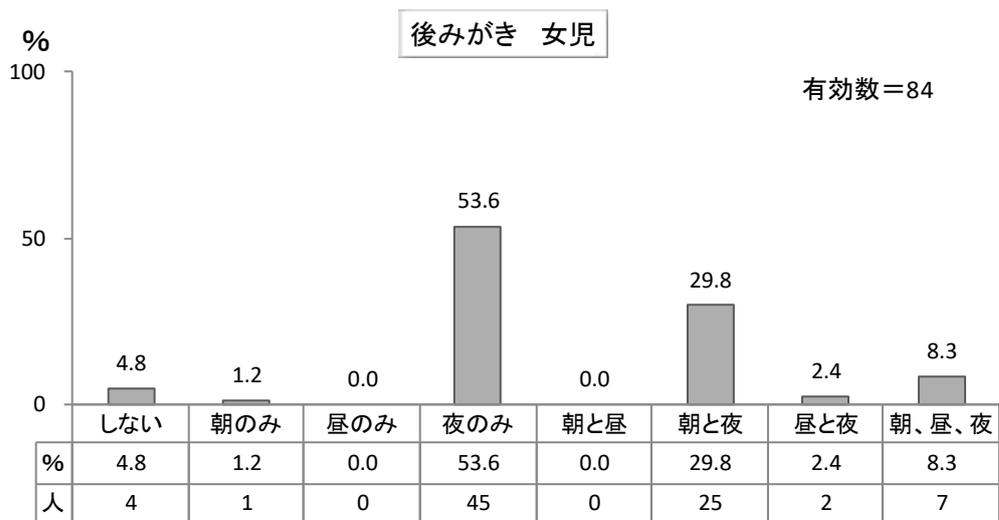
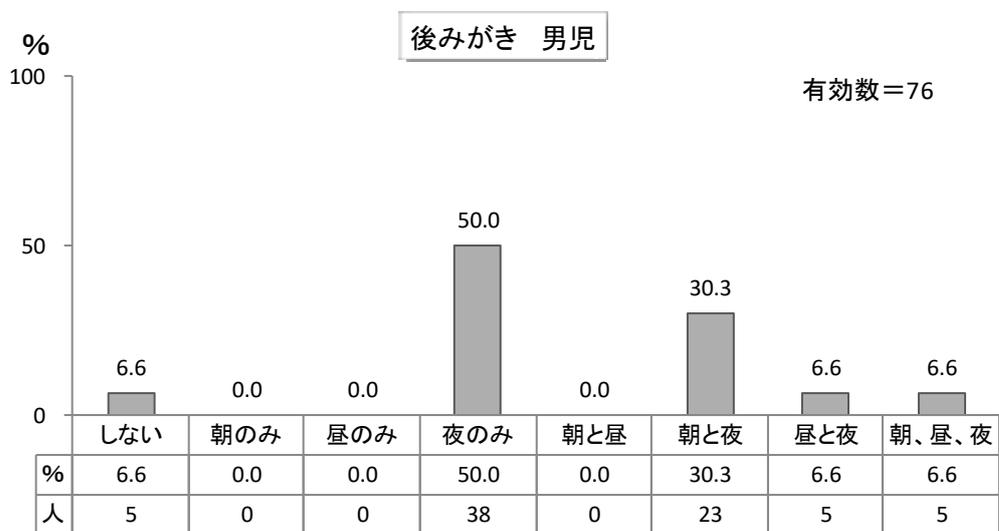
(4) 処置歯数



(5) 歯みがき

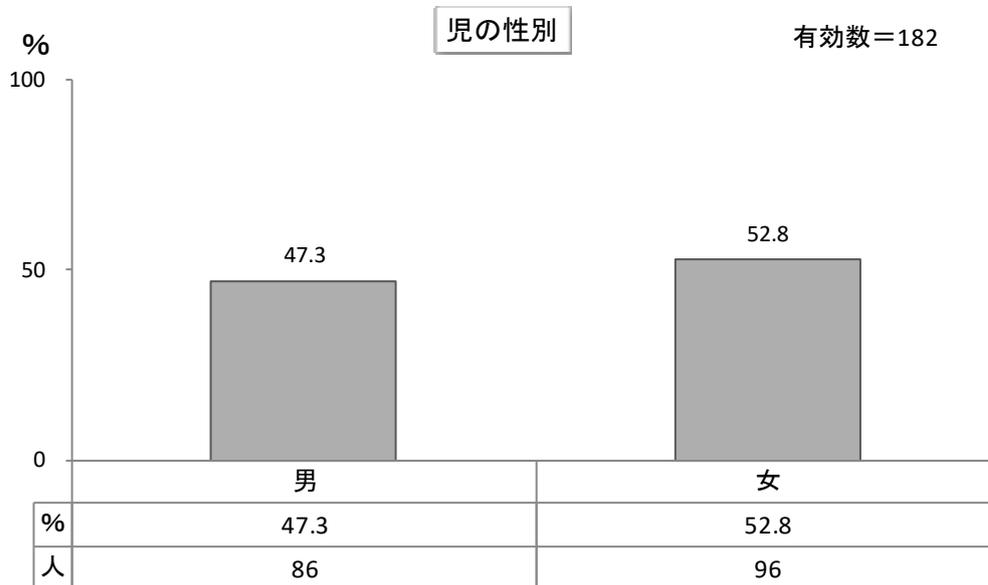


(6) 後みがき

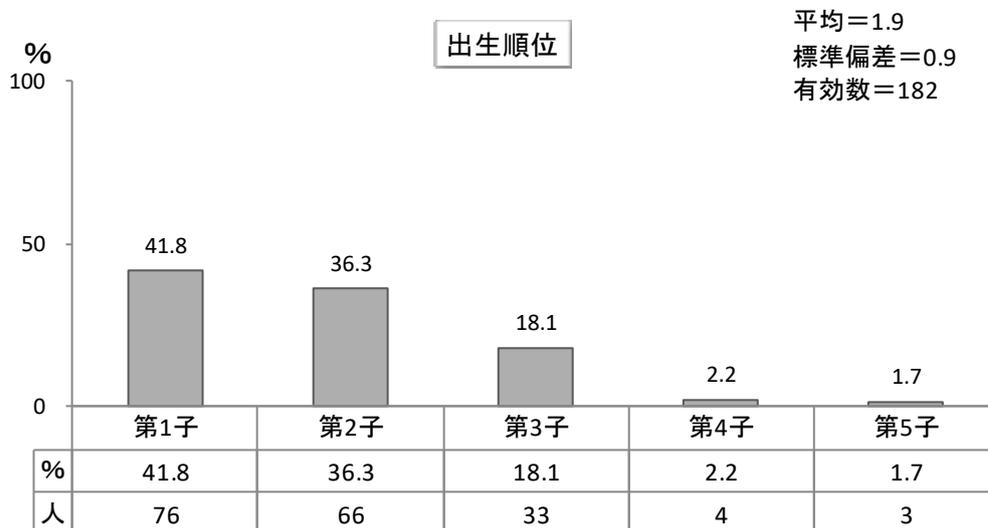


6.3 歳児健診時

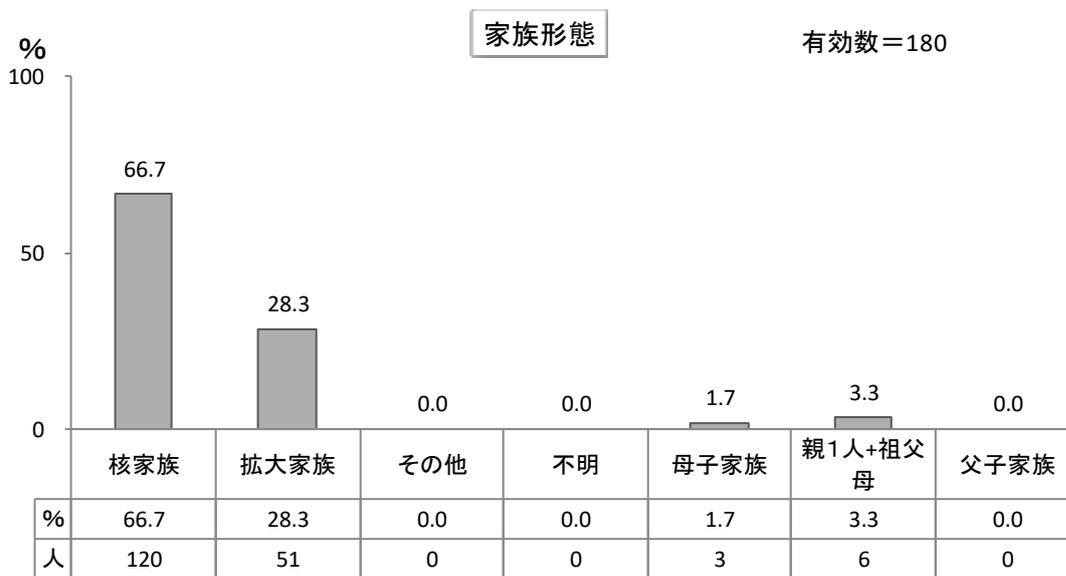
(1) 児の性別



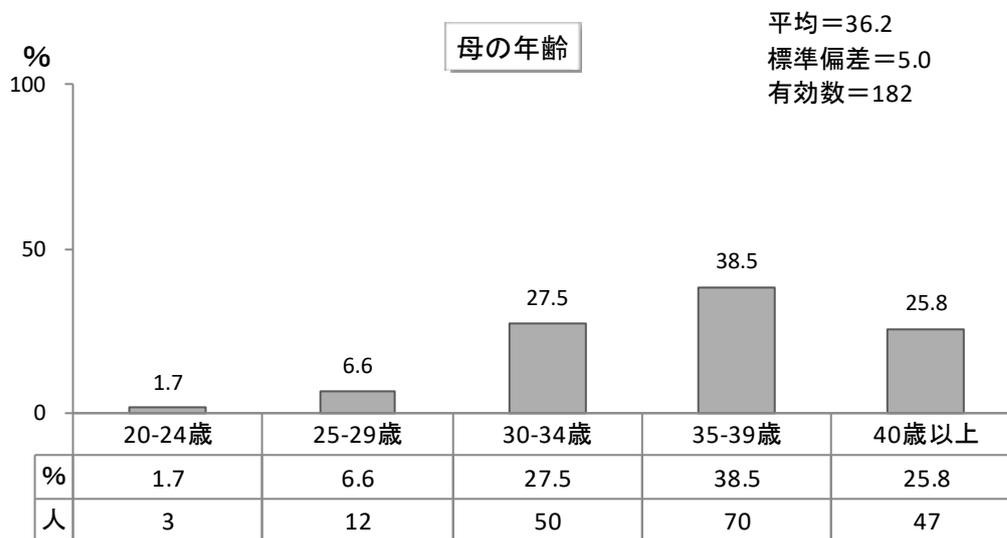
(2) 出生順位



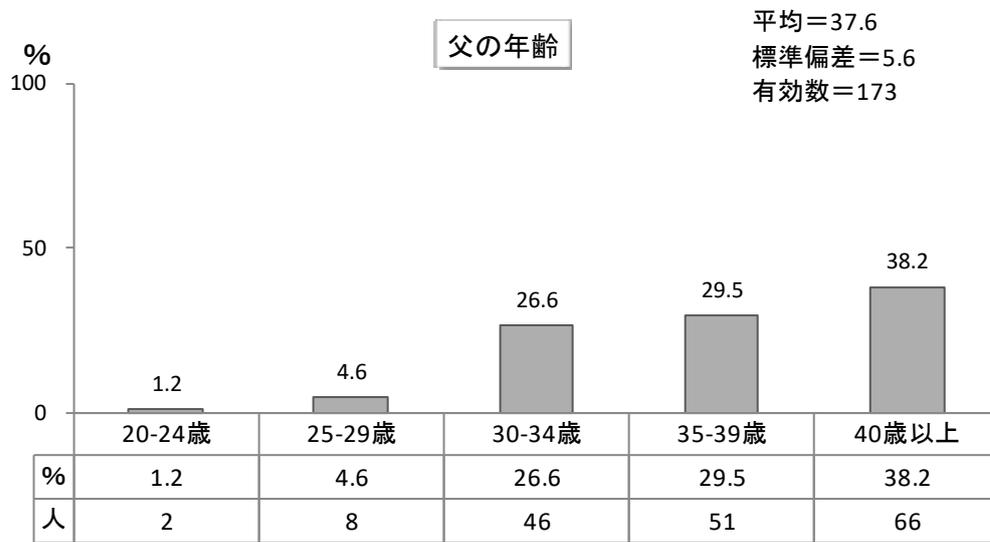
(3) 家族形態



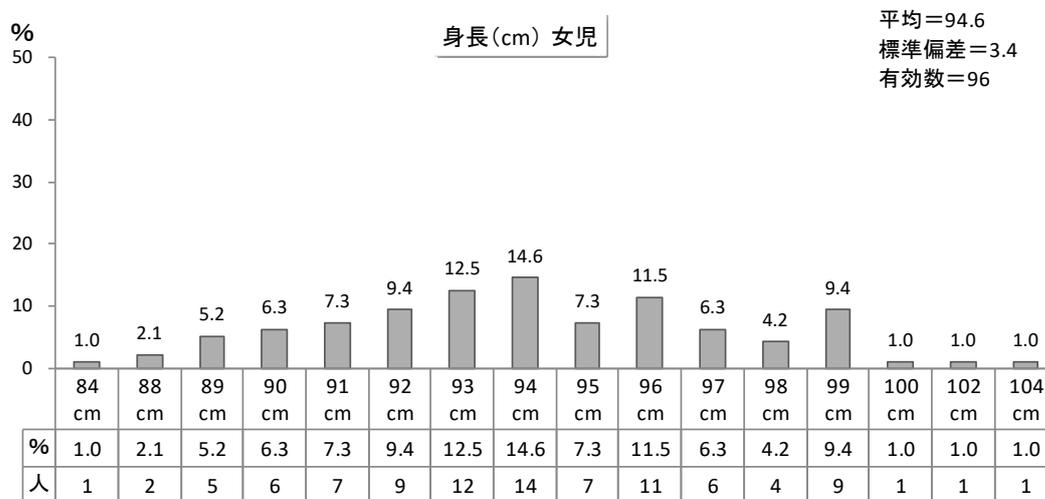
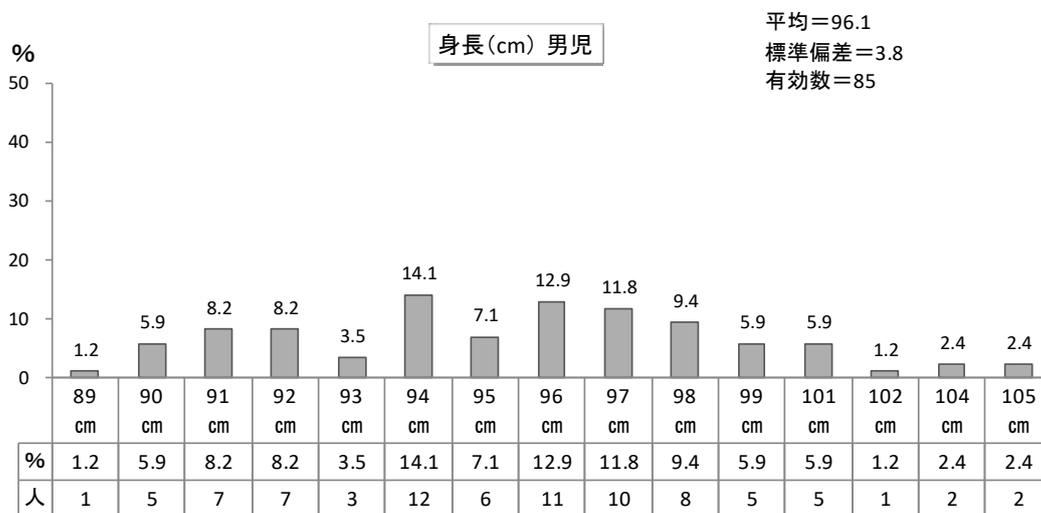
(4) 母親の年齢



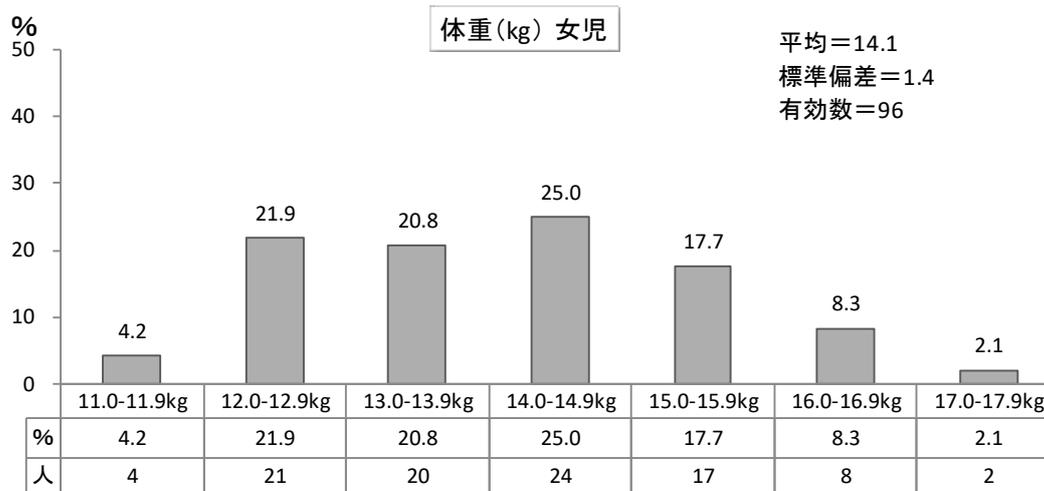
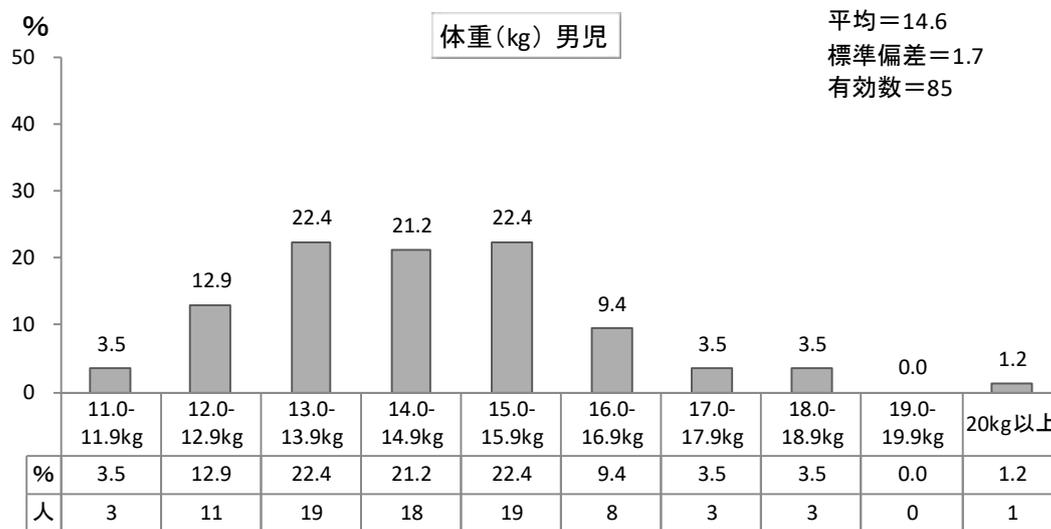
(5) 父親の年齢



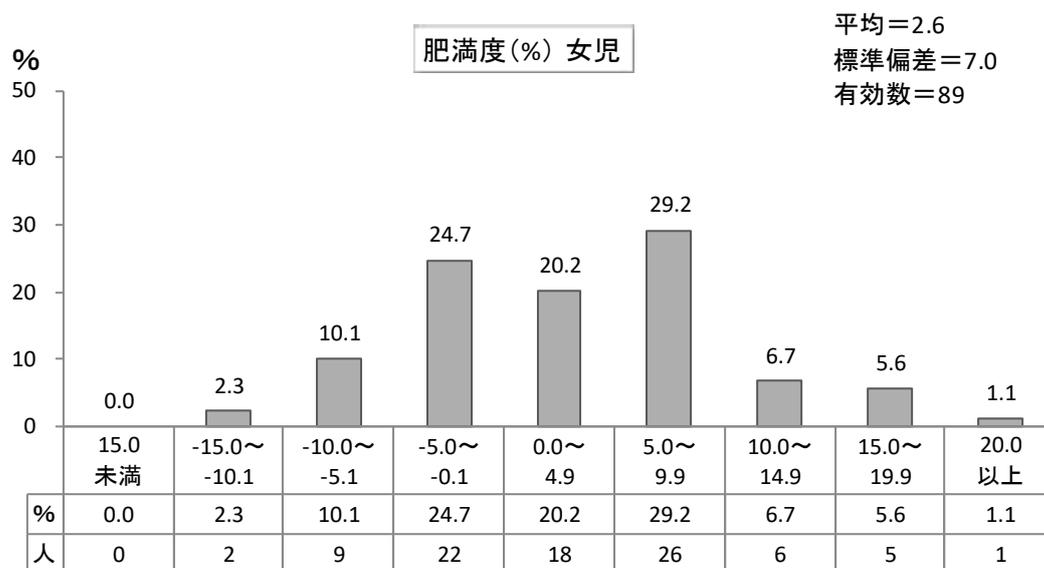
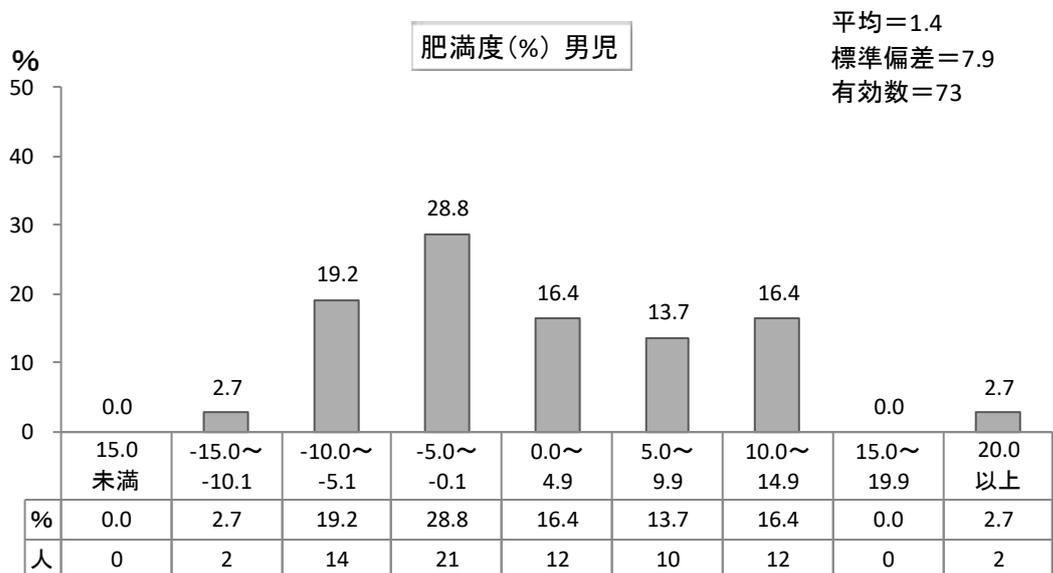
(6) 身長



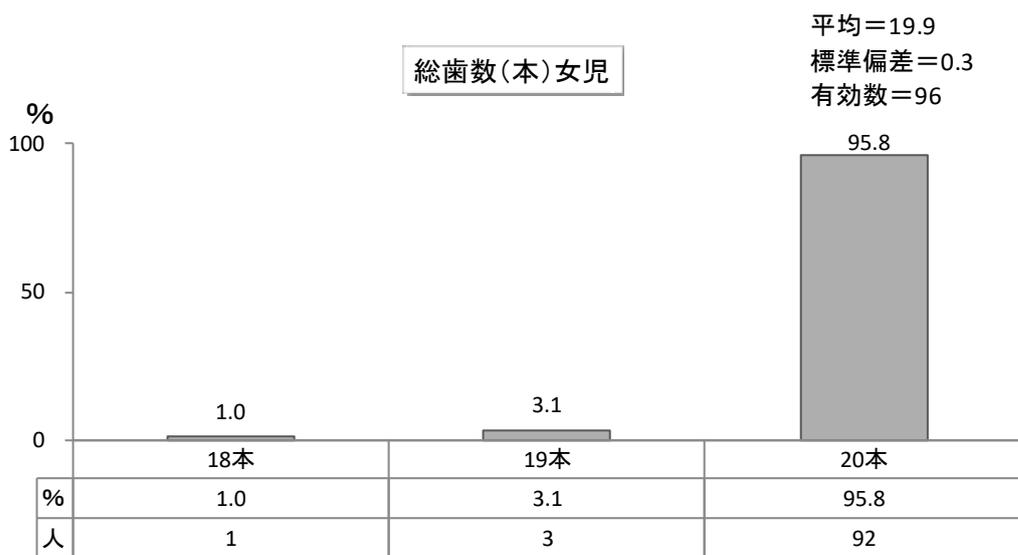
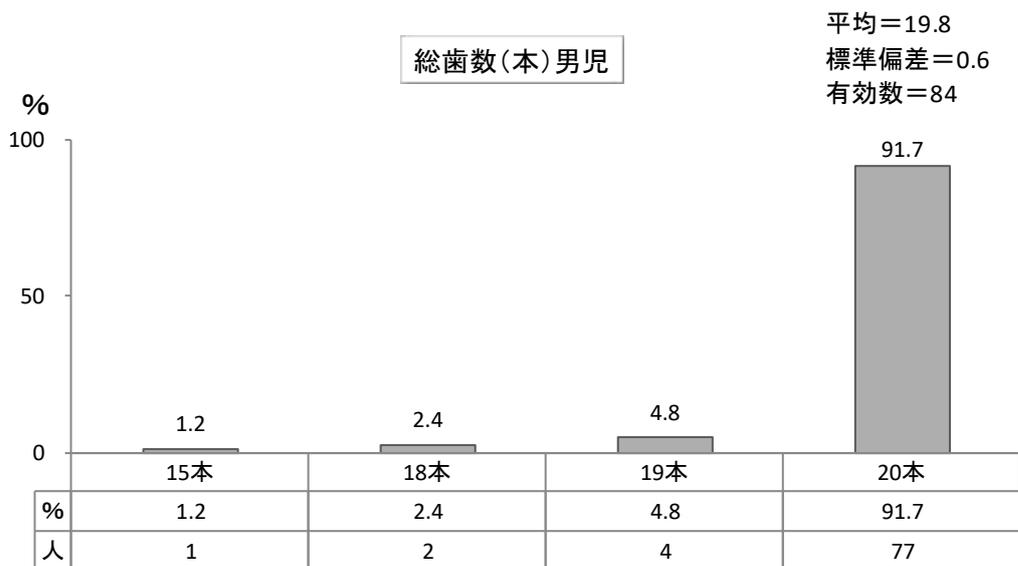
(7) 体重



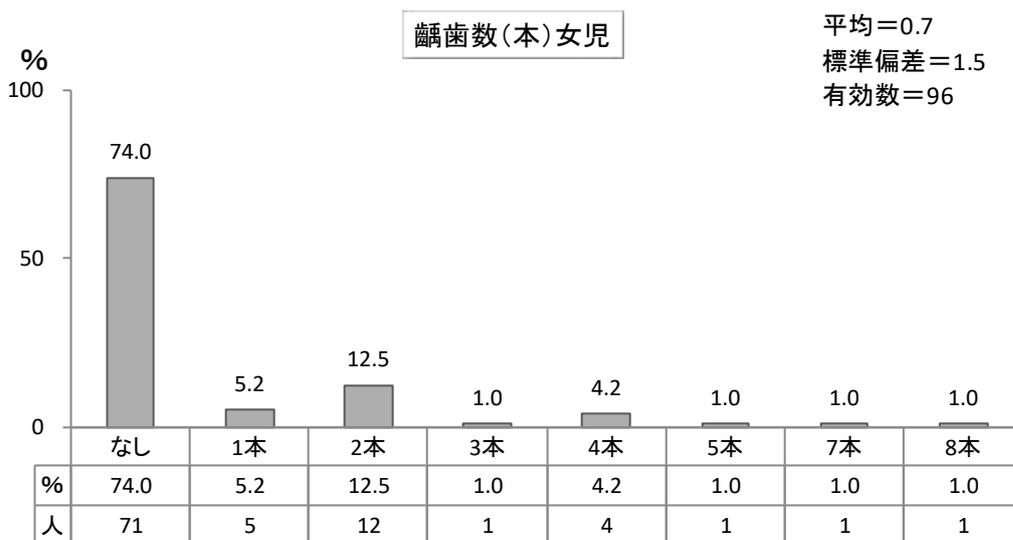
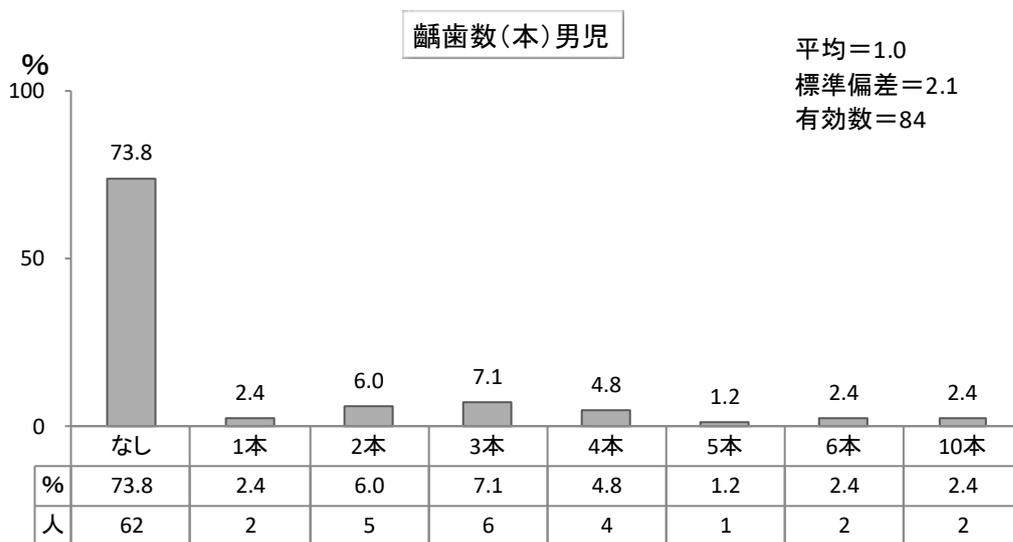
(8) 肥満度



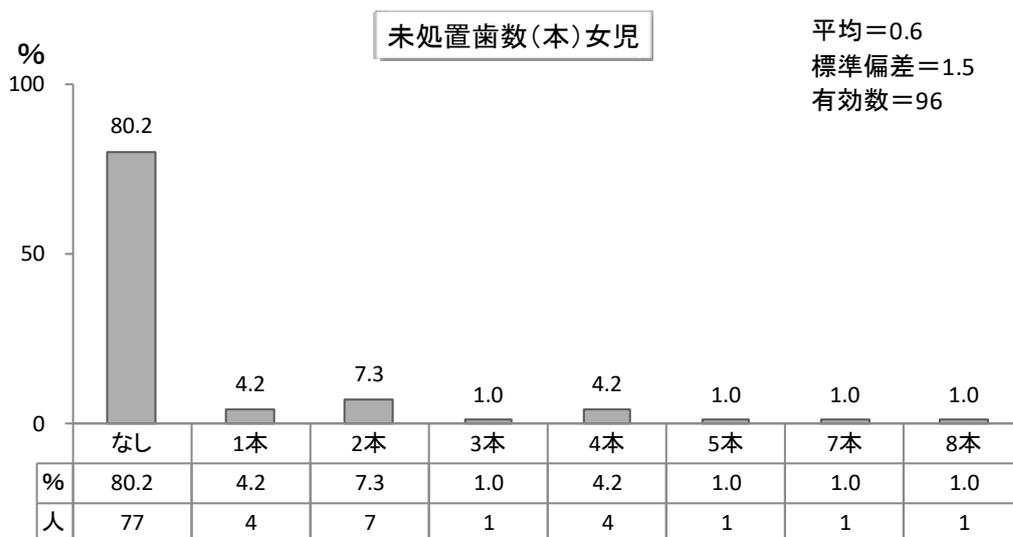
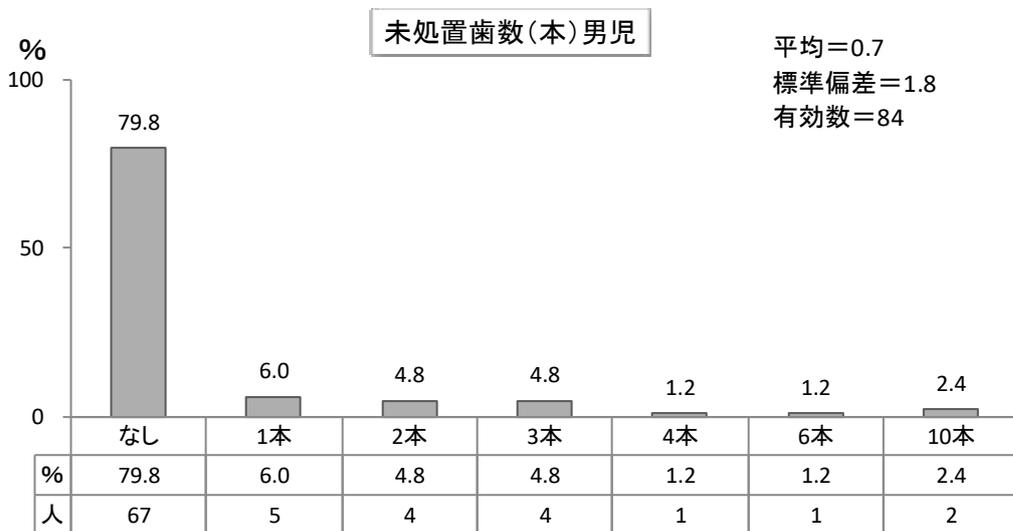
(9) 総歯数



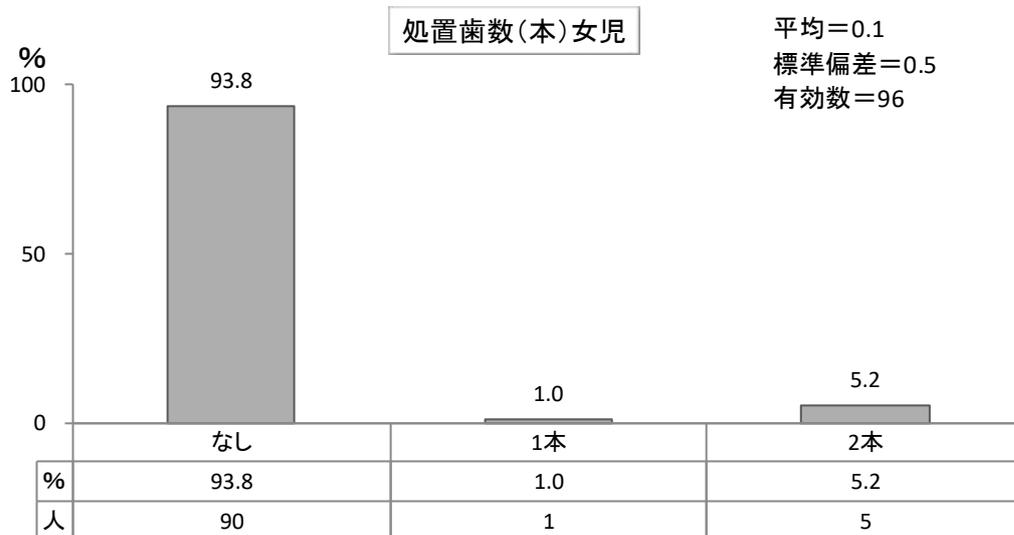
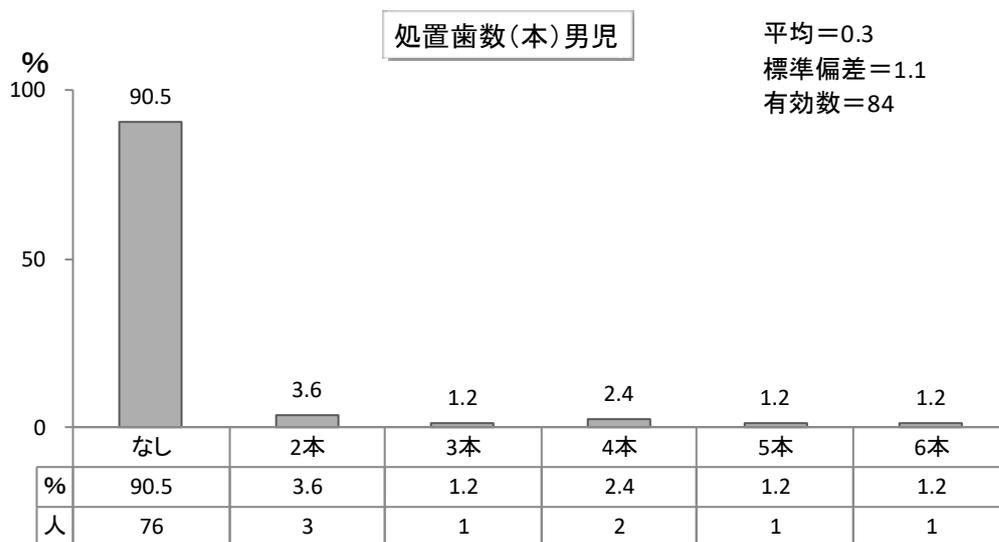
(10) 齲歯数



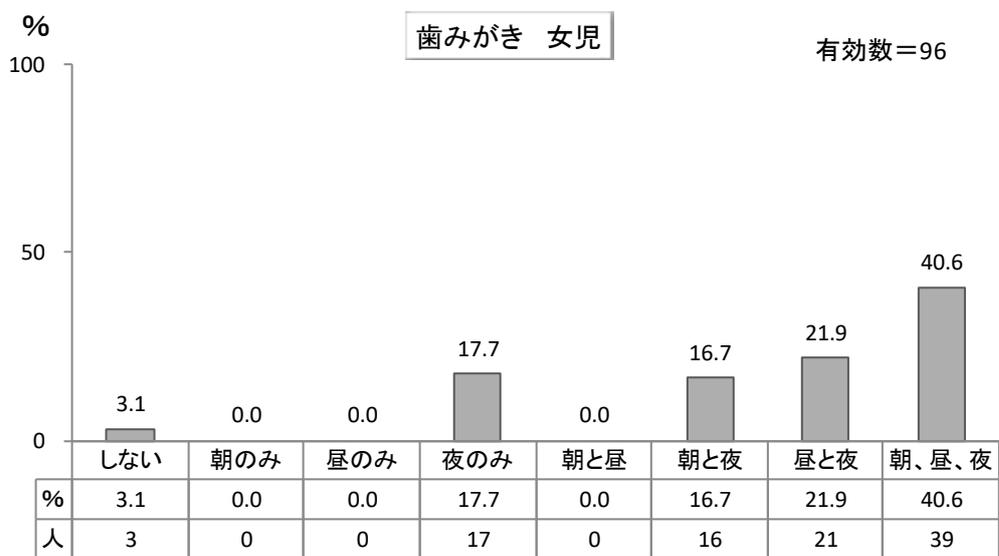
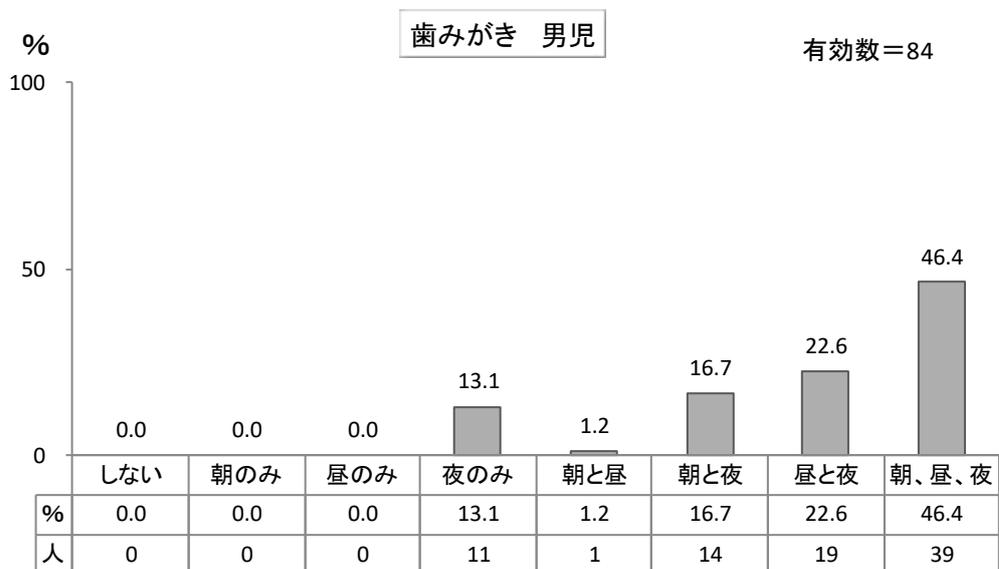
(11) 未処置歯数



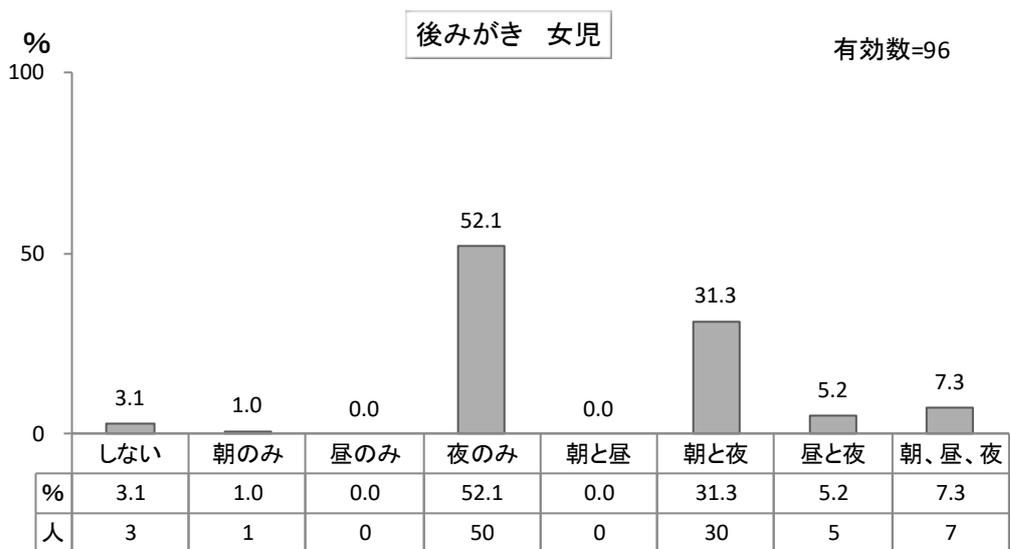
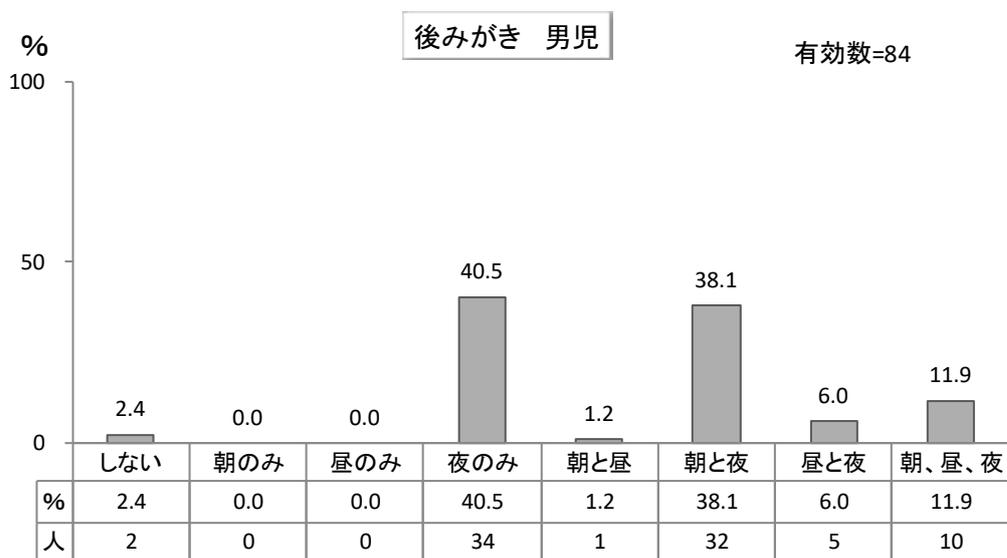
(12) 処置歯数



(13) 歯みがき

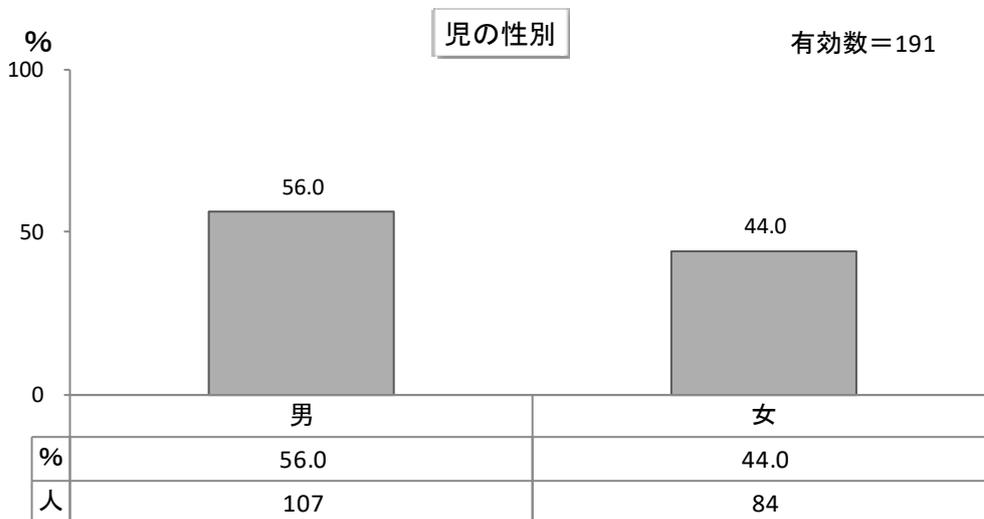


(14) 後みがき

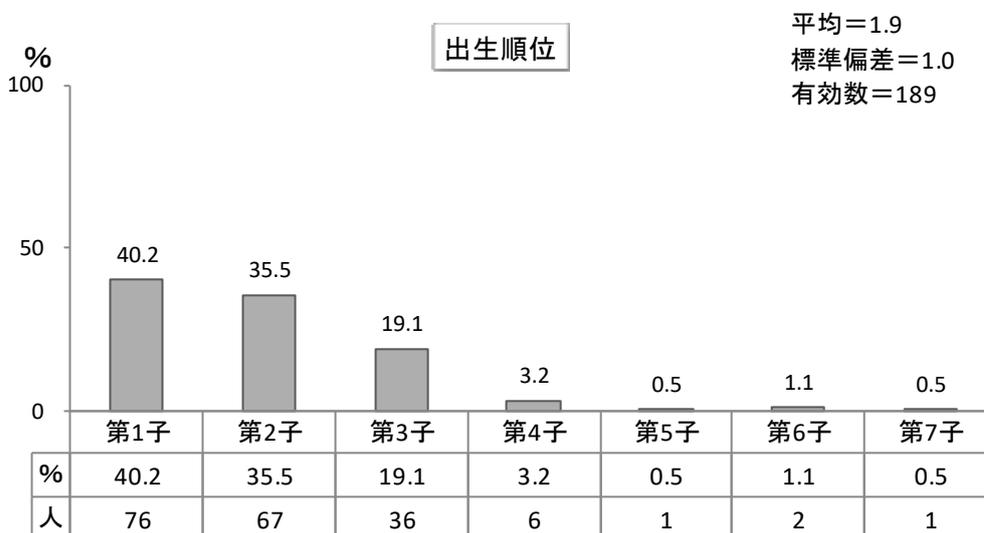


7.5 歳児健診時

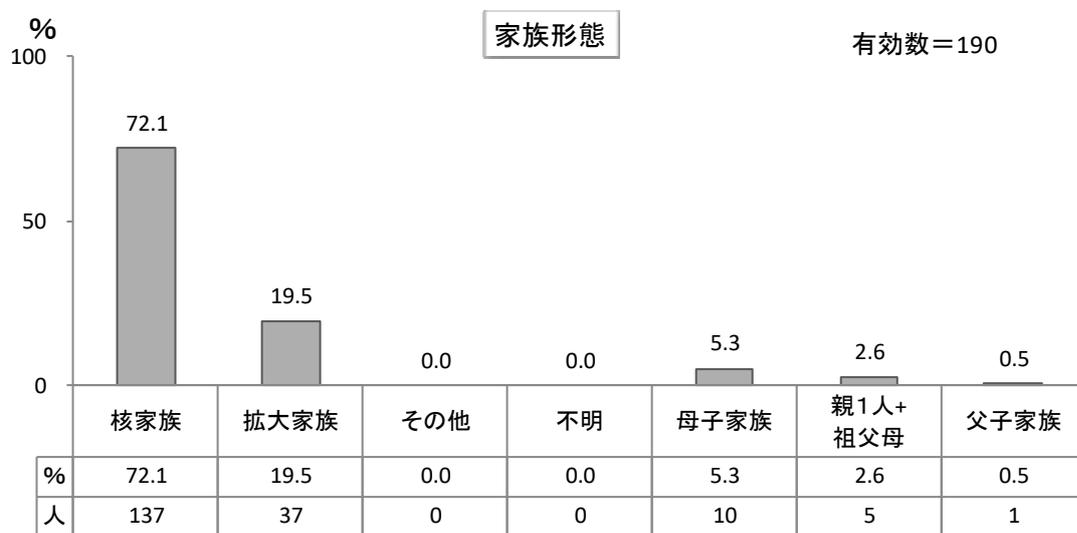
(1) 児の性別



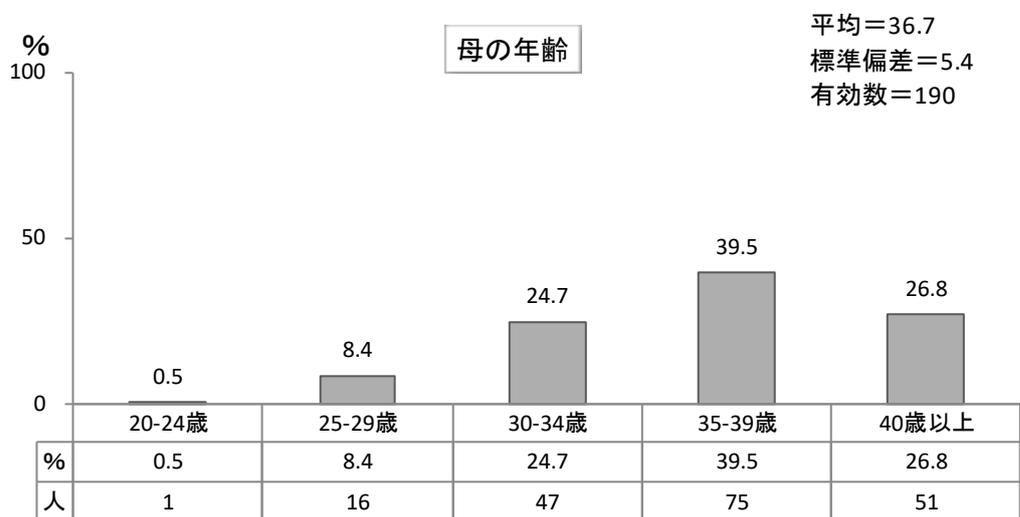
(2) 出生順位



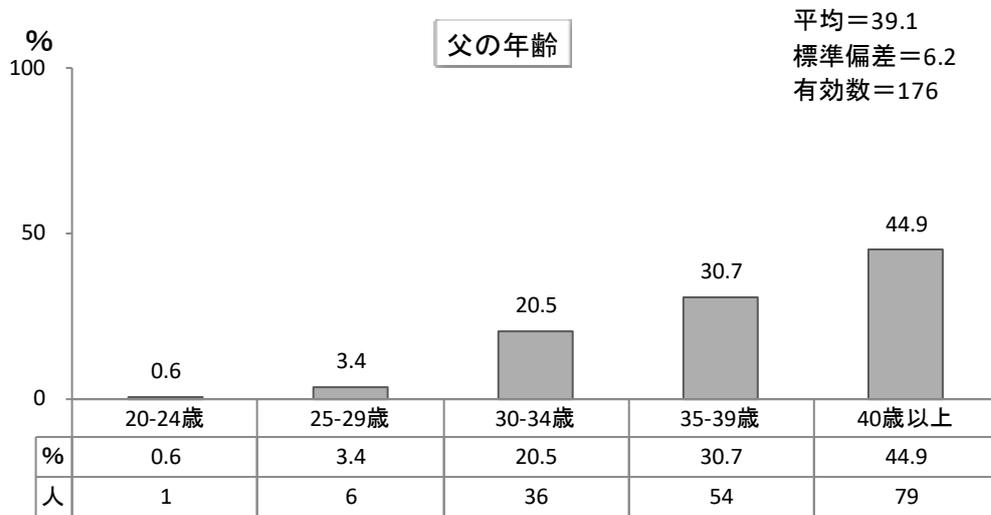
(3) 家族形態



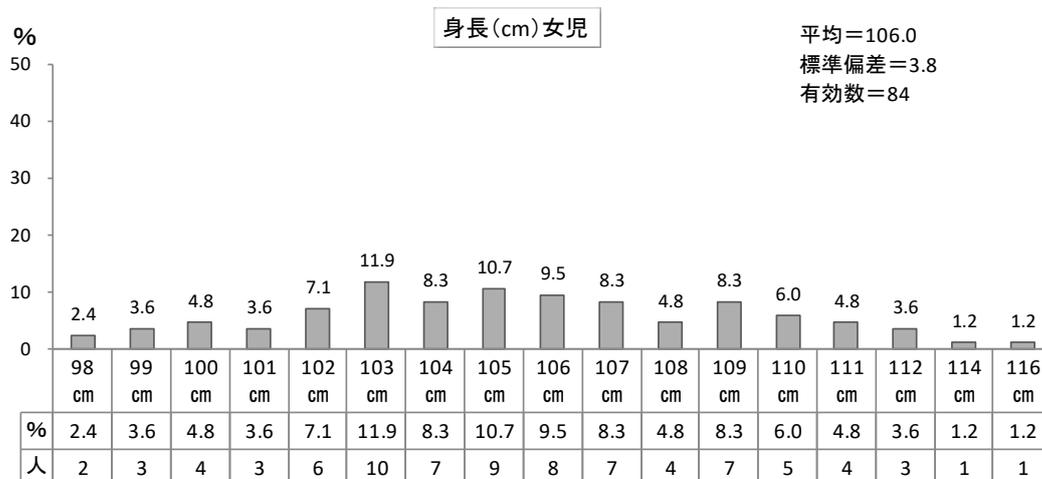
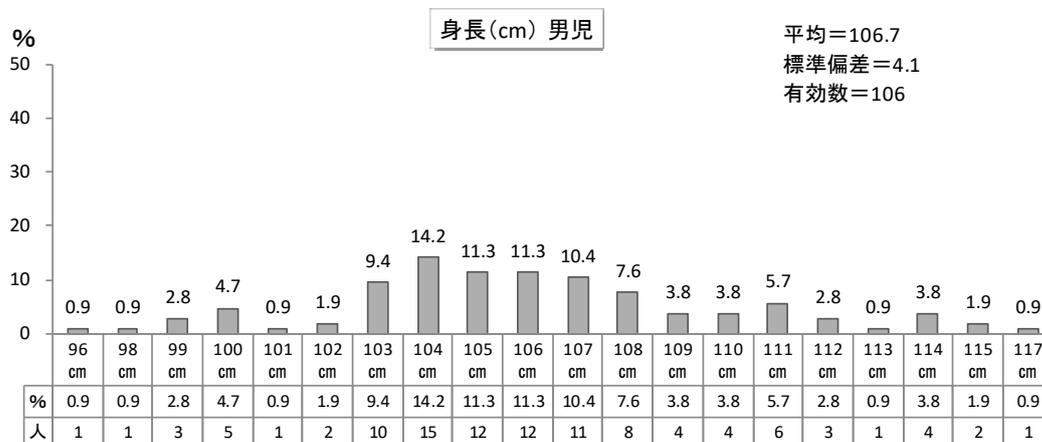
(4) 母親の年齢



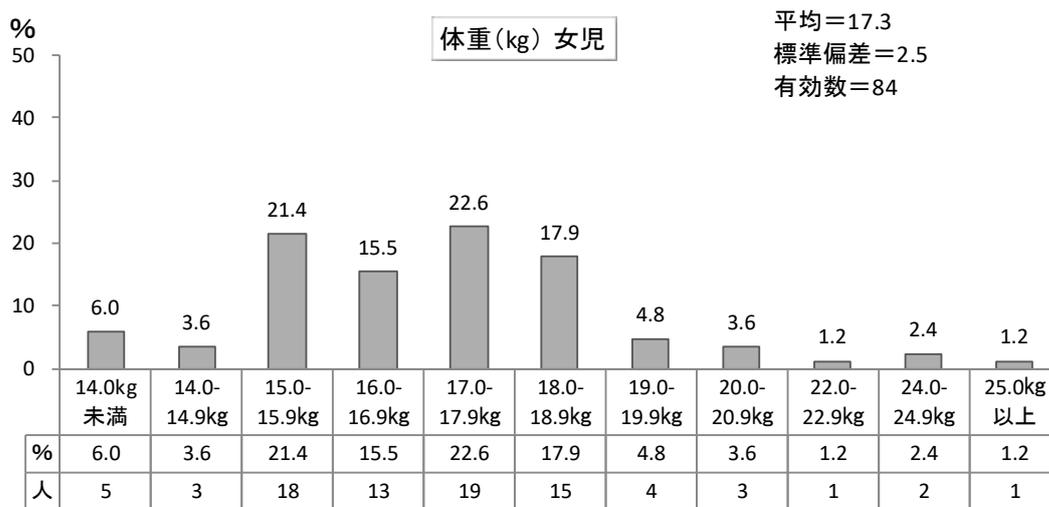
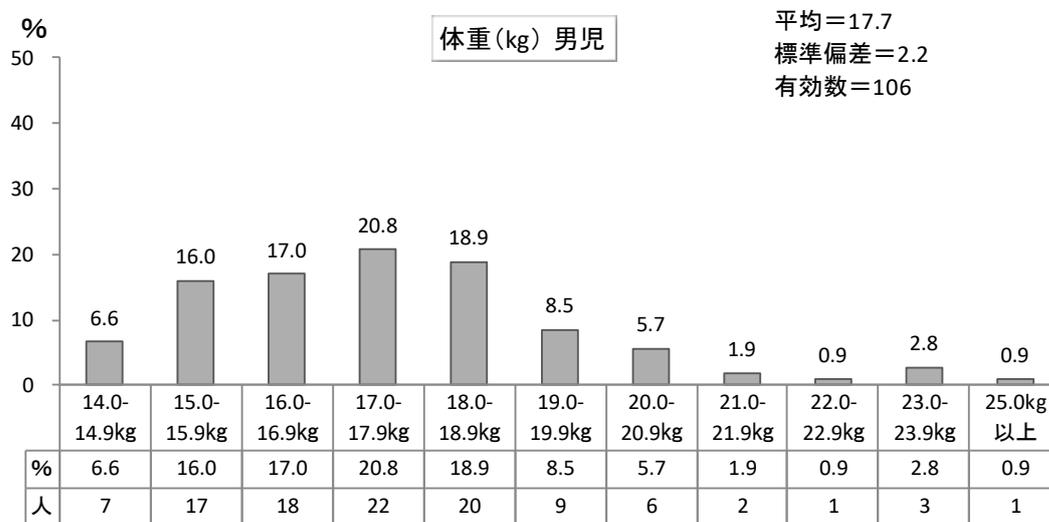
(5) 父親の年齢



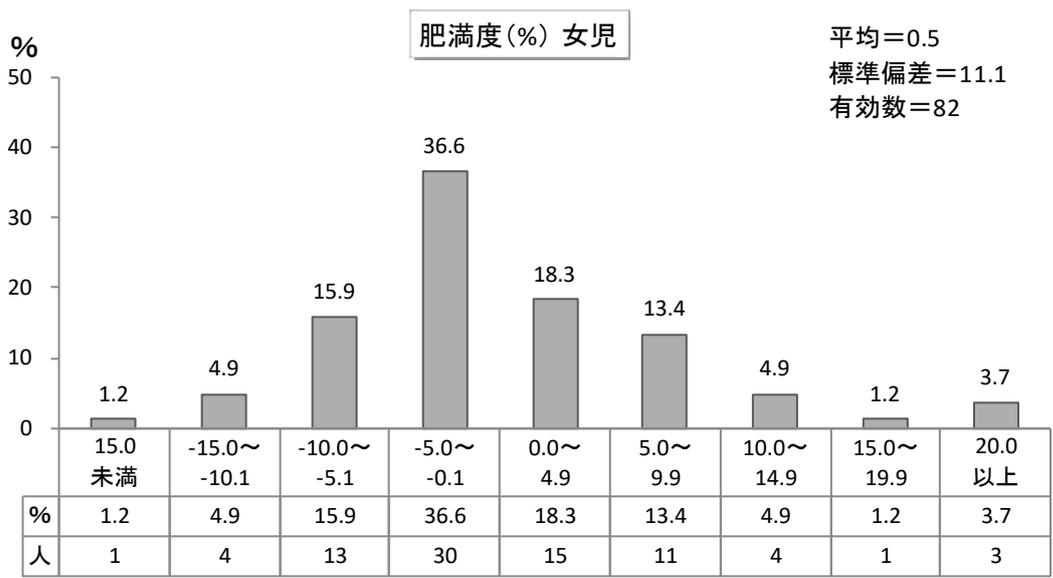
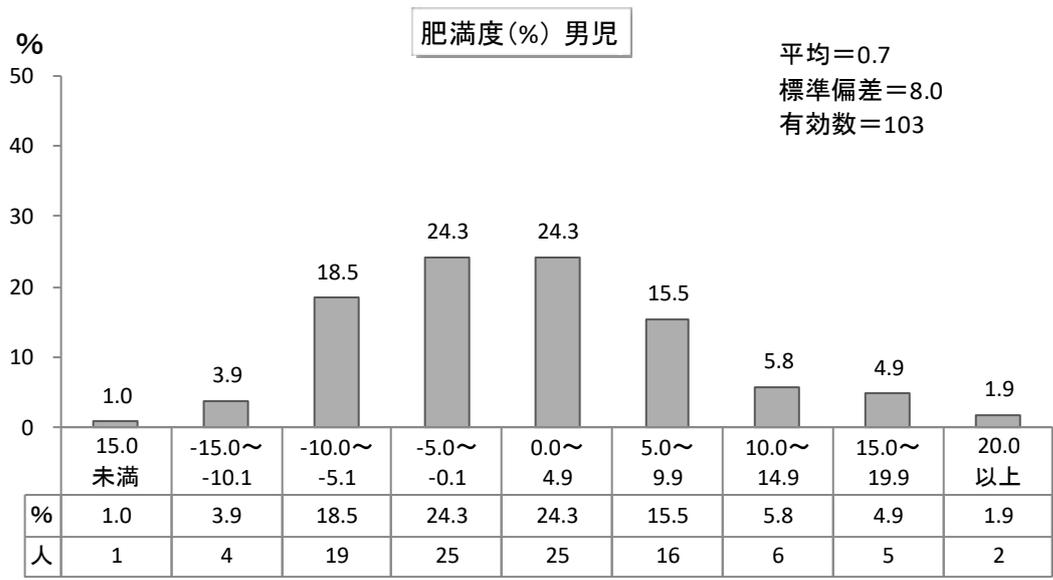
(6) 身長



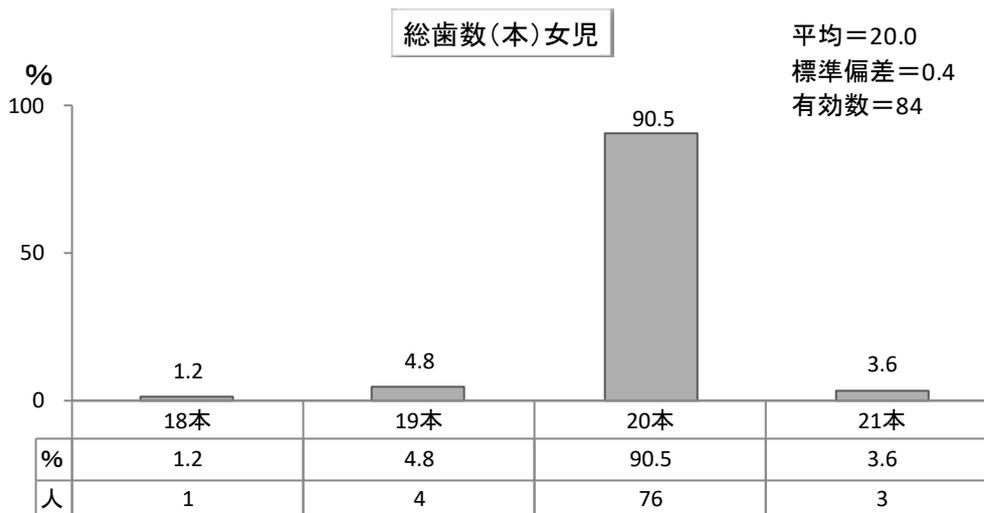
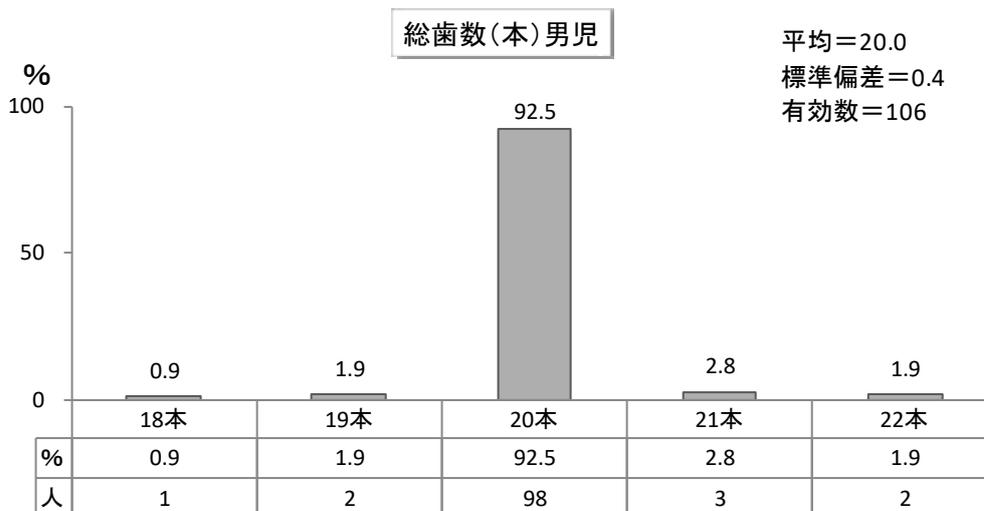
(7) 体重



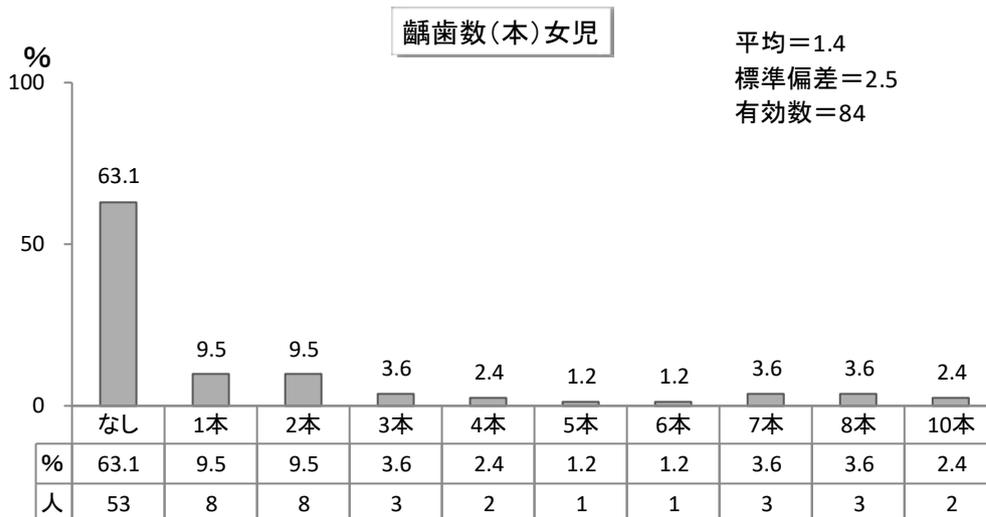
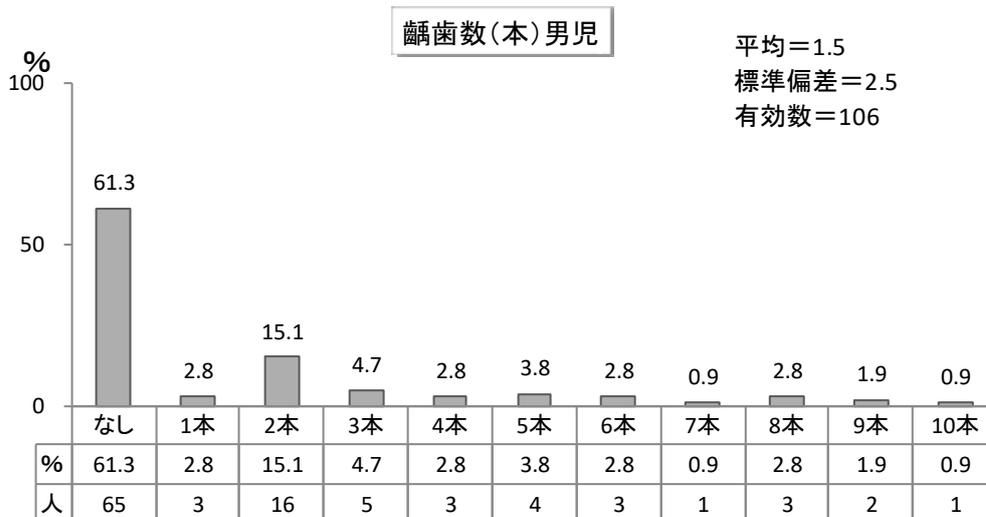
(8) 肥満度



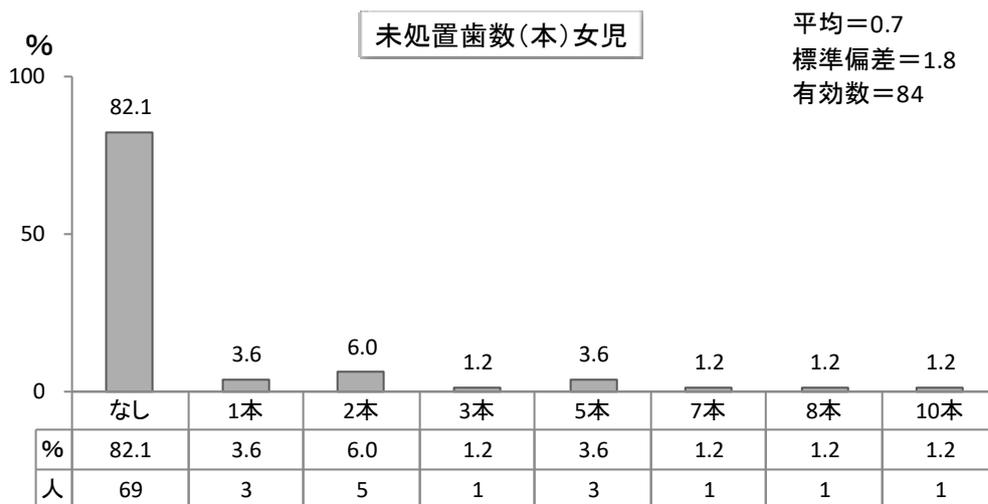
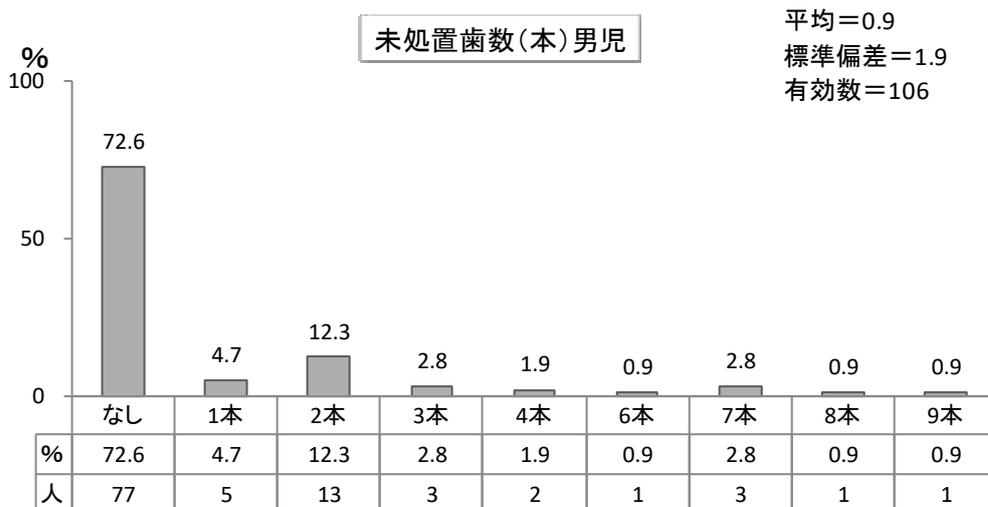
(9) 総歯数



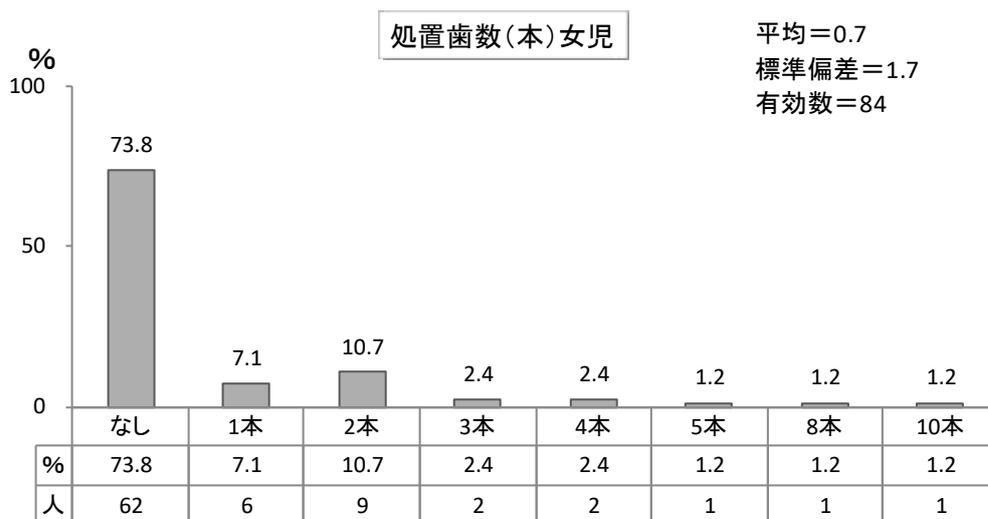
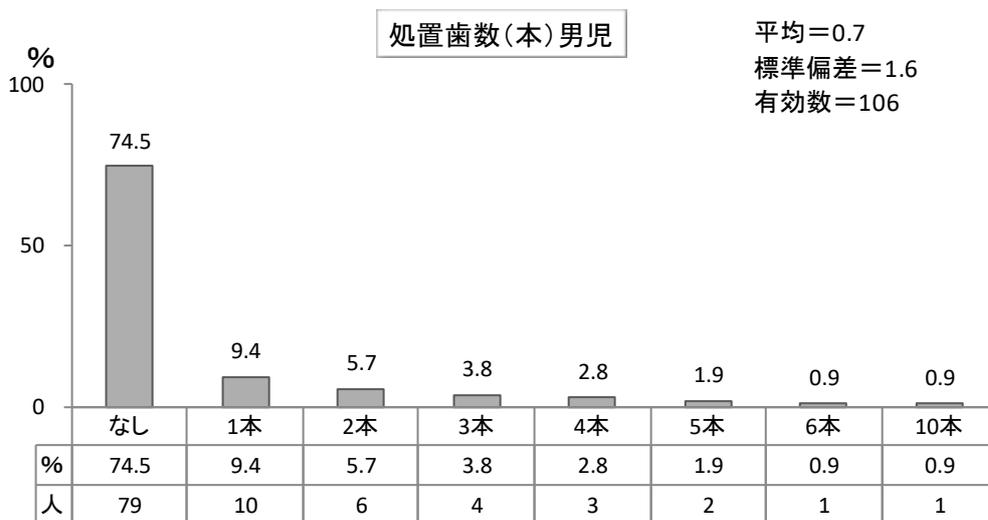
(10) 齲歯数



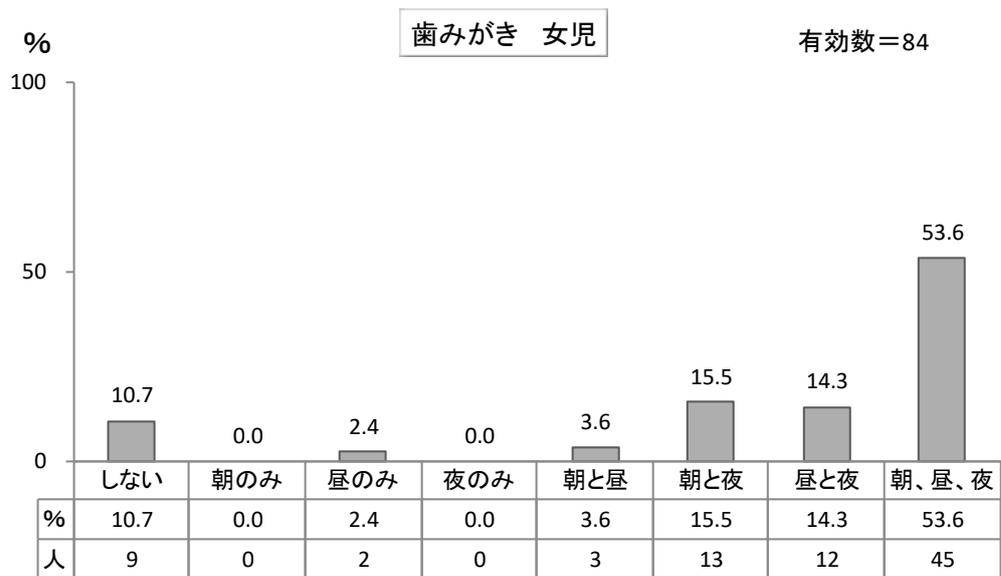
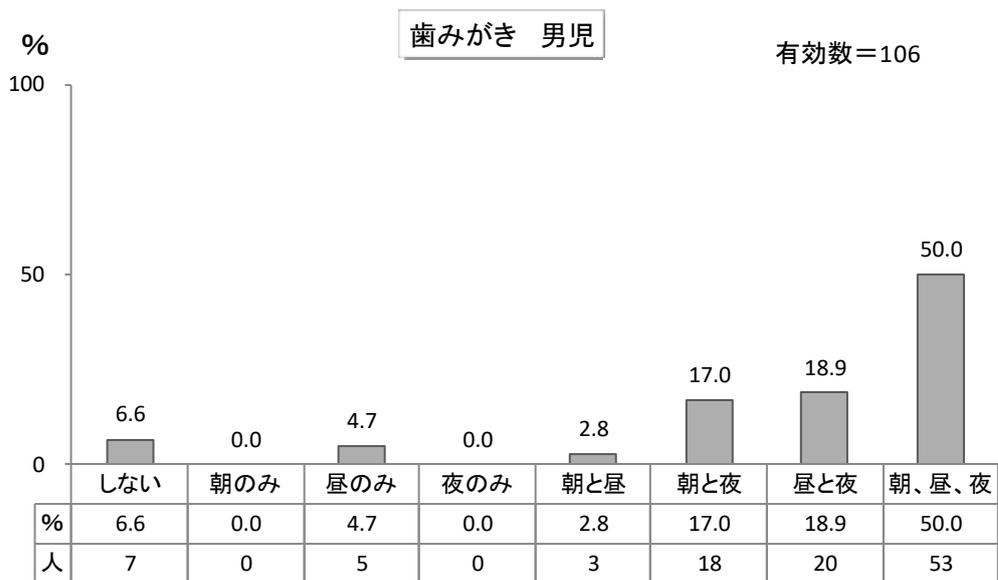
(11) 未処置歯数



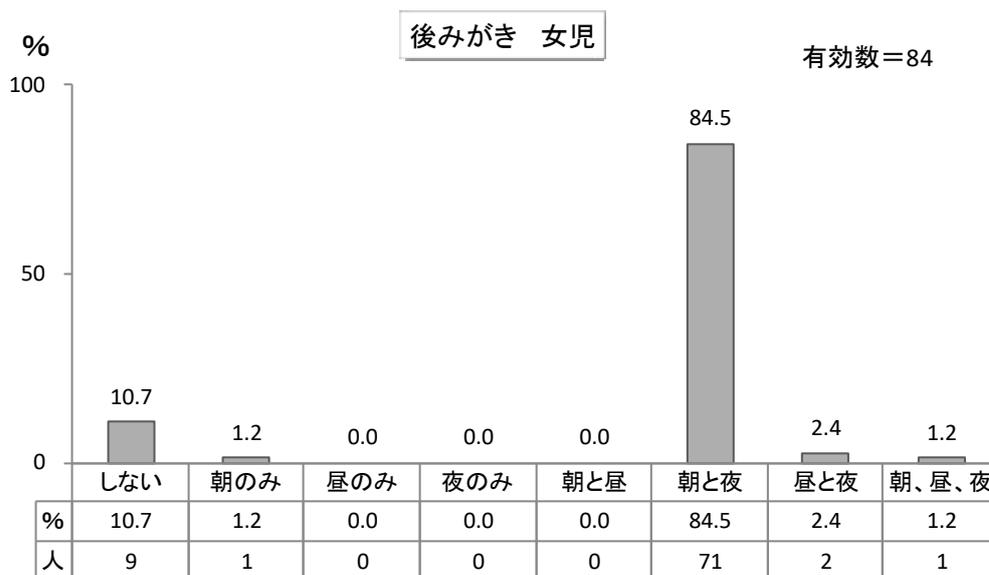
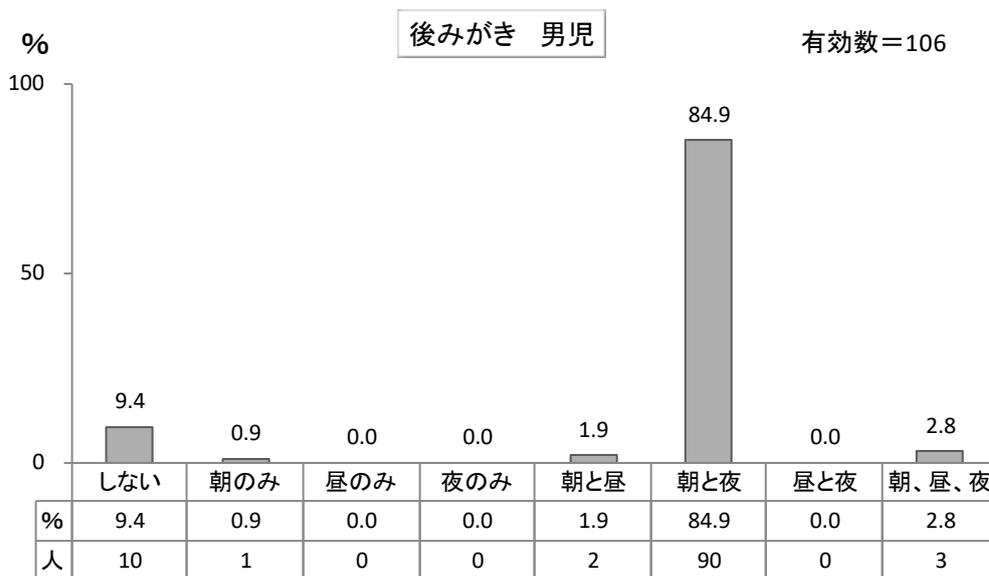
(12) 処置歯数



(13) 歯みがき



(14) 後みがき



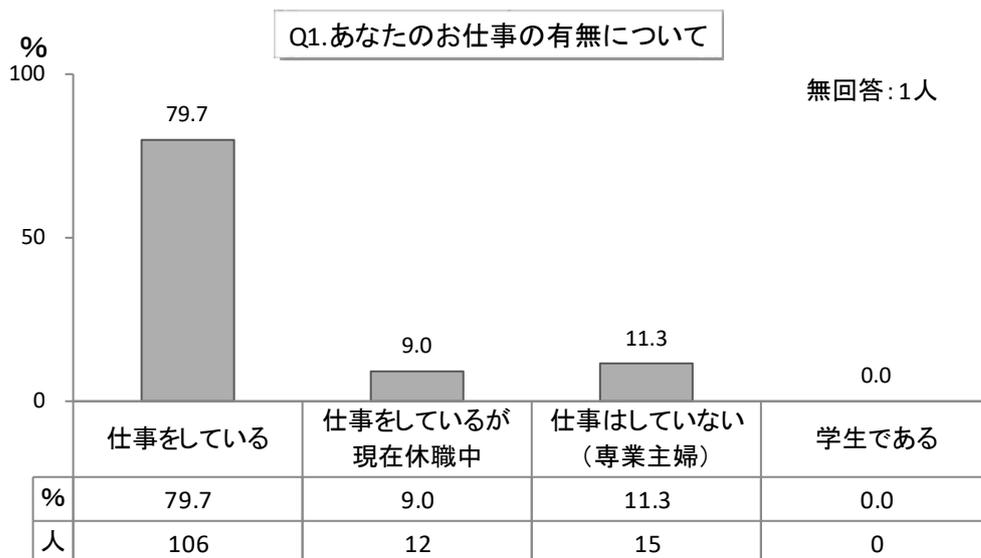
IV. 調查結果

IV-1. 母子健康手帳交付時

IV. 調査結果 (1. 母子健康手帳交付時)

Q1. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

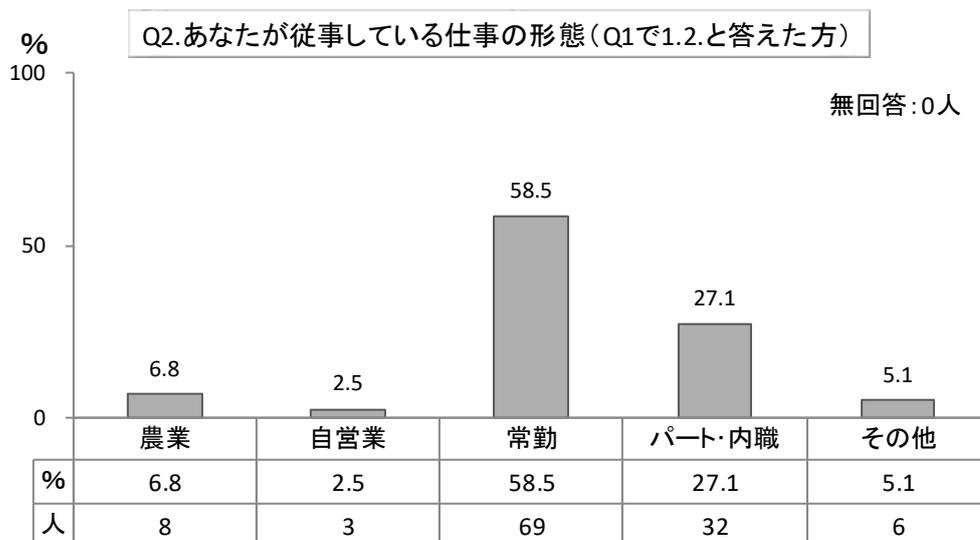
- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
 - 4. 学生である
- } →3. 4. と答えた方は
Q3. へお進みください



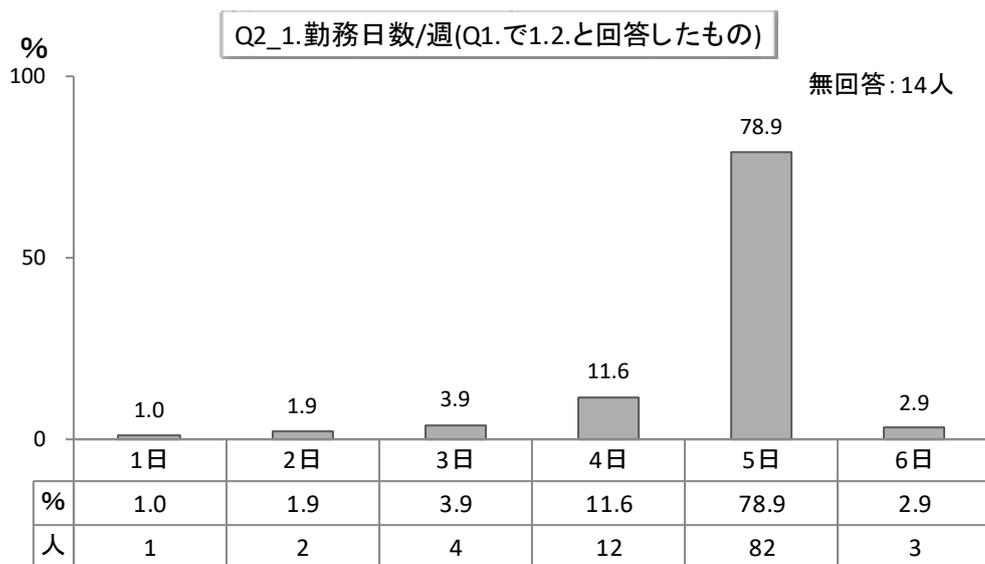
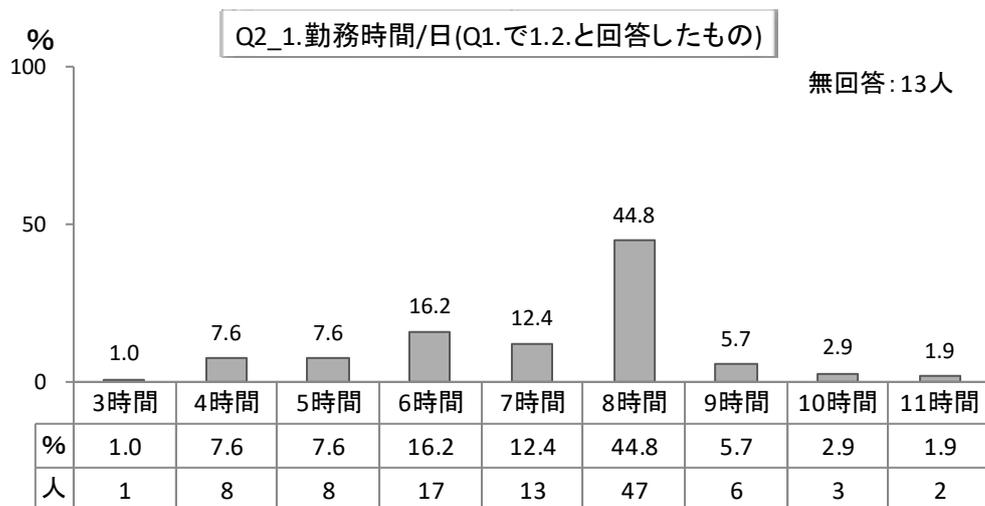
Q2. Q1 で 1. 2. と答えた方のみお答えください。

あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業
- 2. 自営業
- 3. 常勤
- 4. パート・内職
- 5. その他 ()

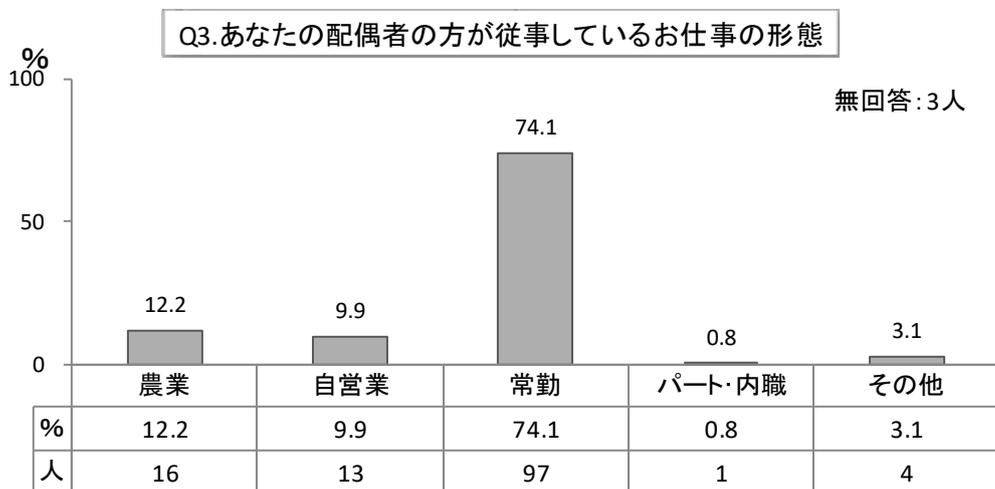


2-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

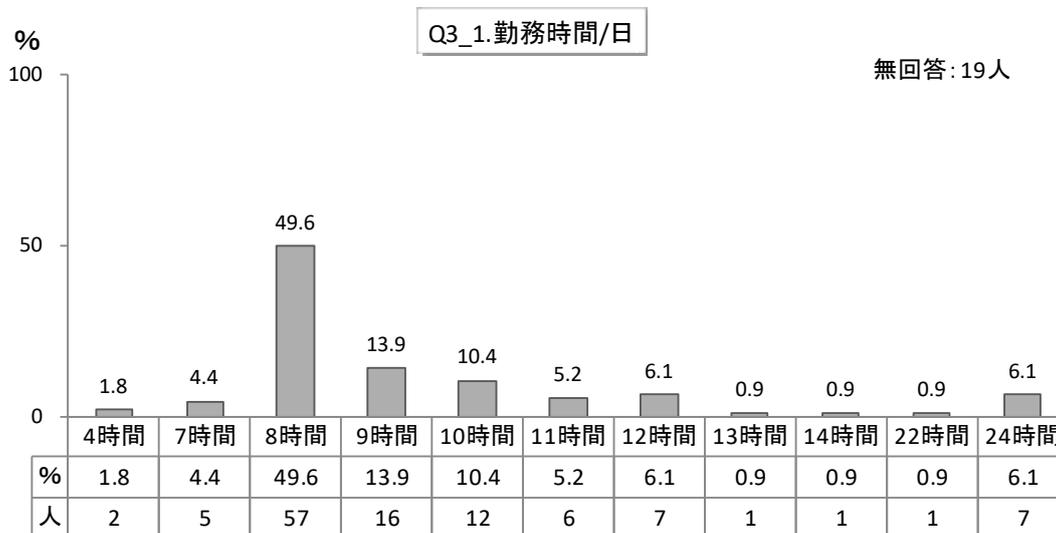


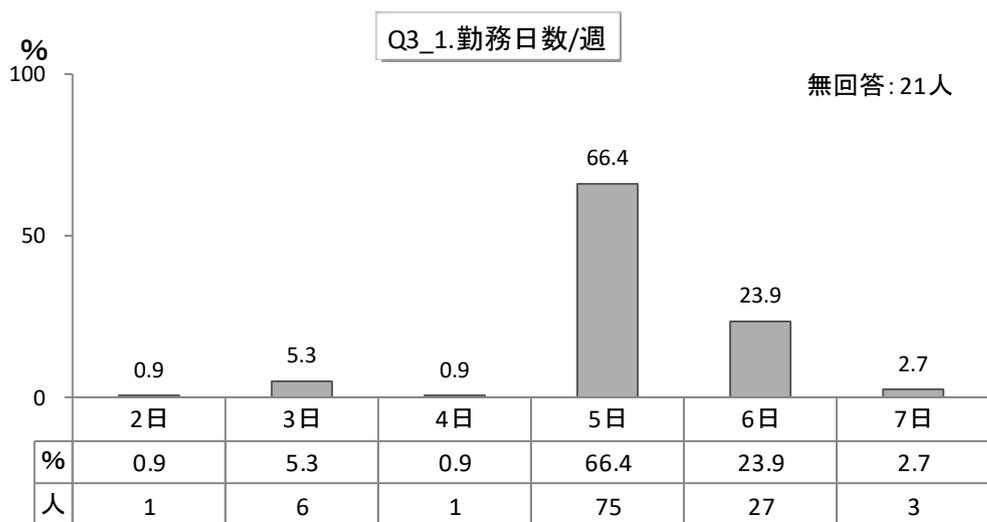
Q3. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中から選びください。

1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
5. その他 ()

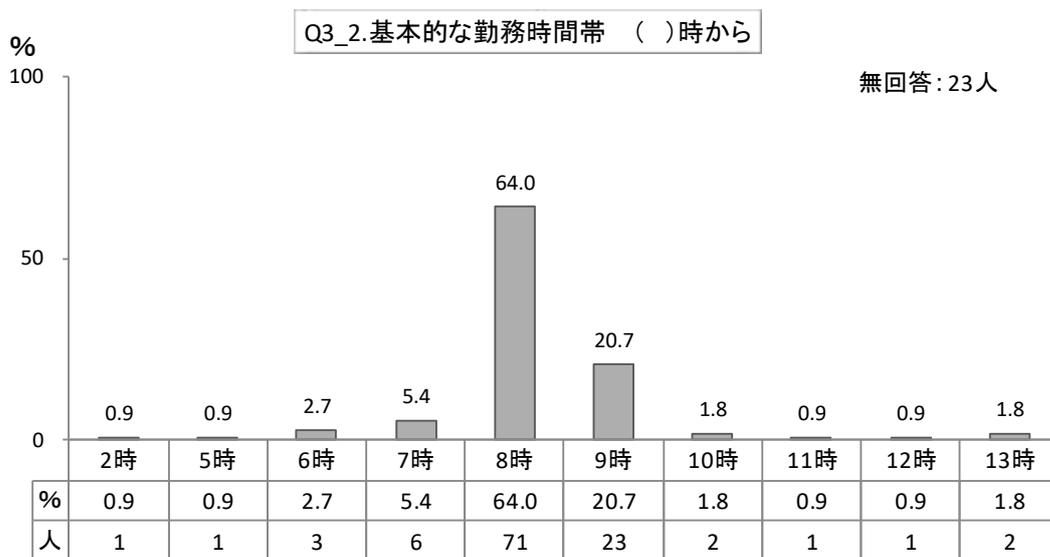


3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

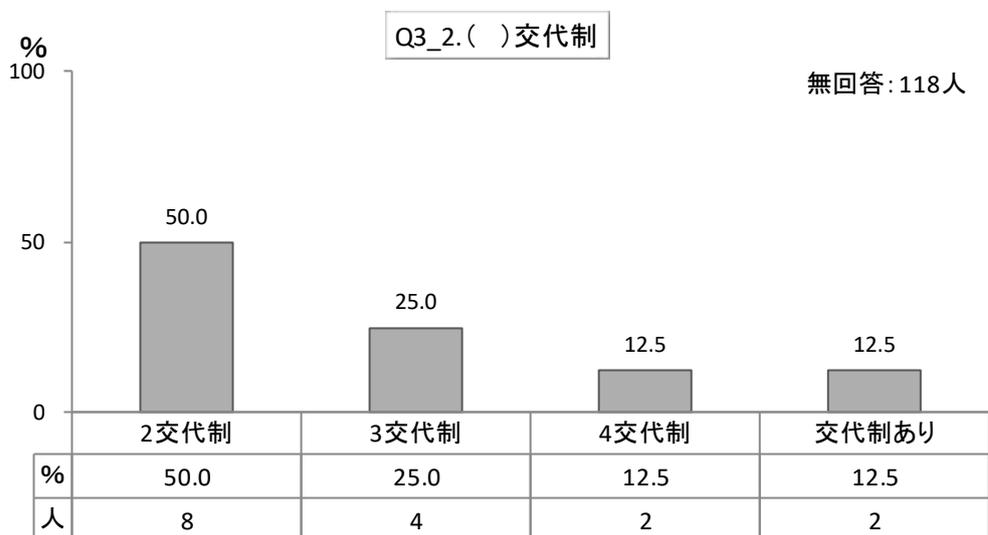
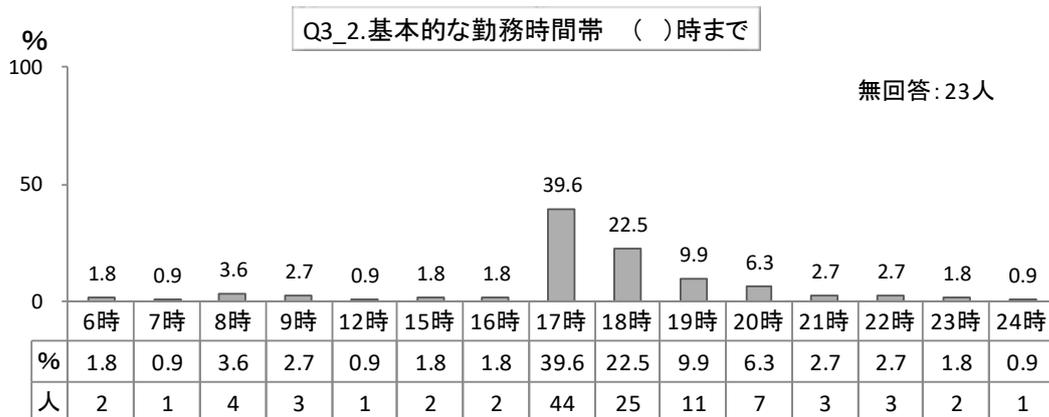




3-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。 () 時～ () 時 () 交代制



IV. 調査結果 (1. 母子健康手帳交付時)



Q4. 妊娠とわかった時の気持ちはどんなでしたか。

SQ1. あなた自身

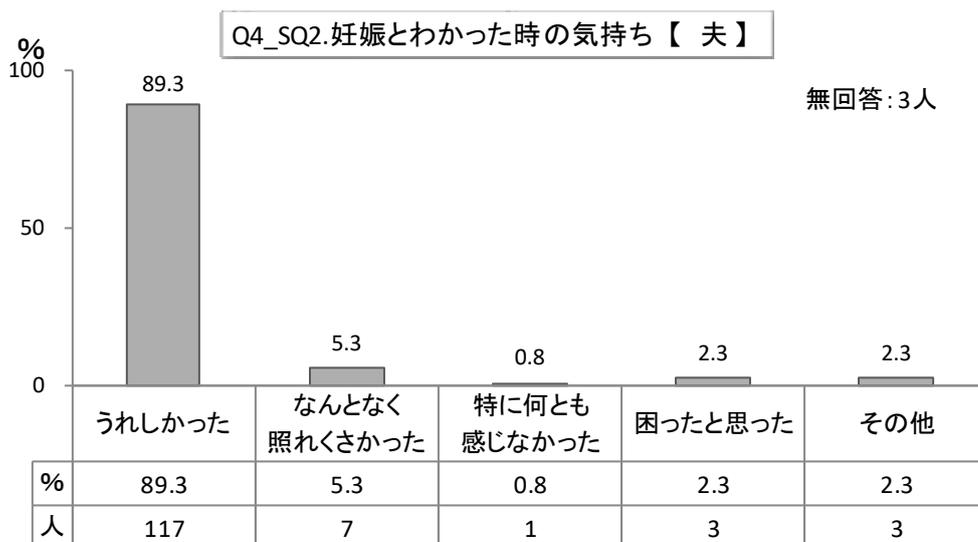
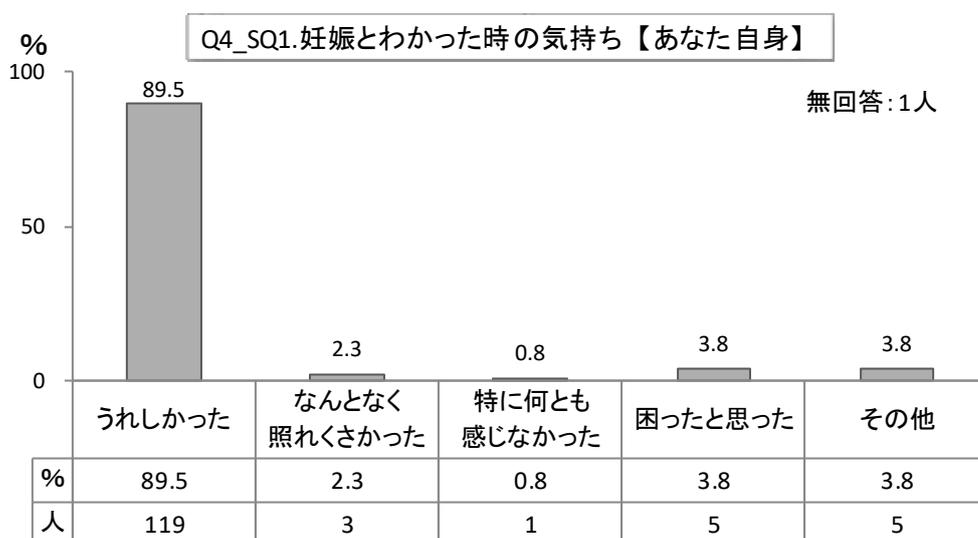


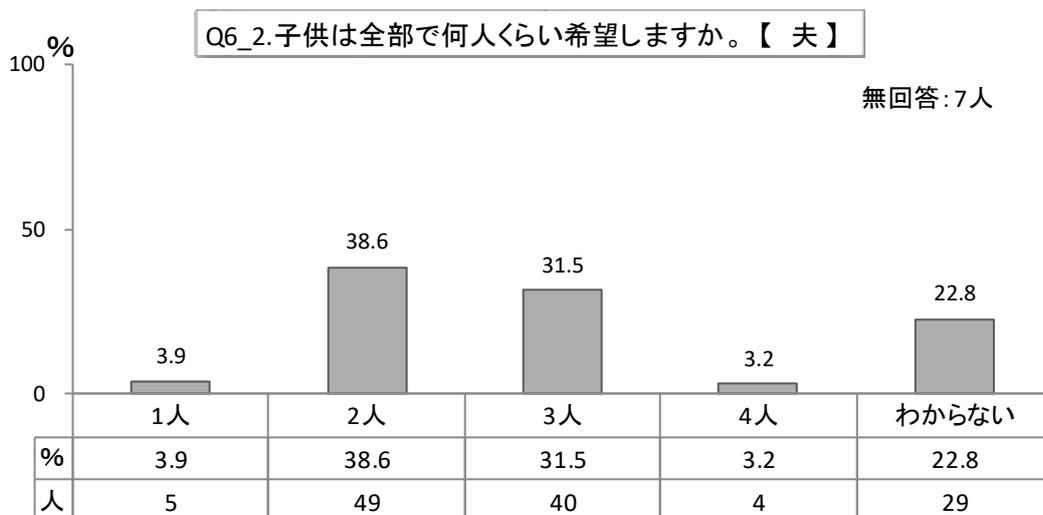
1. うれしかった
2. なんとなく照れくさかった
3. 特に何とも感じなかった
4. 困ったと思った
5. その他 ()

SQ2. 夫



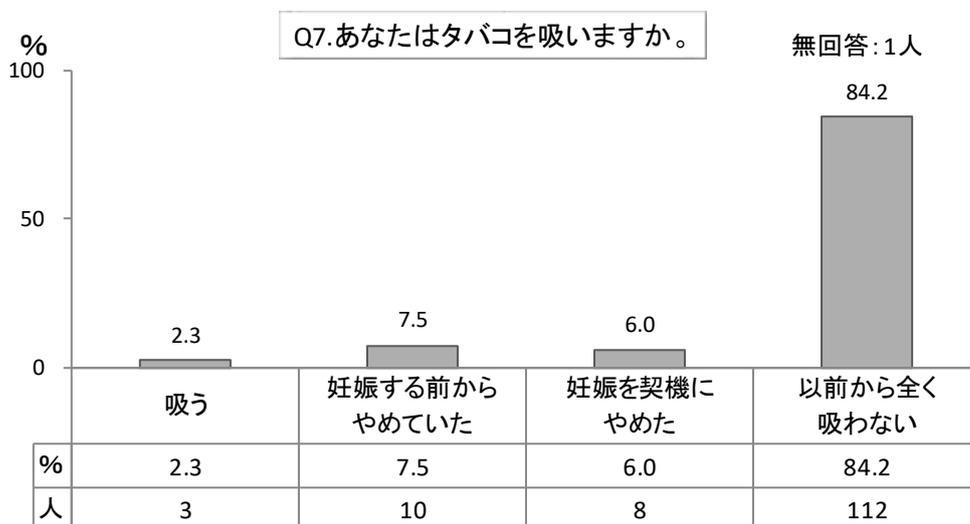
1. うれしかった
2. なんとなく照れくさかった
3. 特に何とも感じなかった
4. 困ったと思った
5. その他 ()

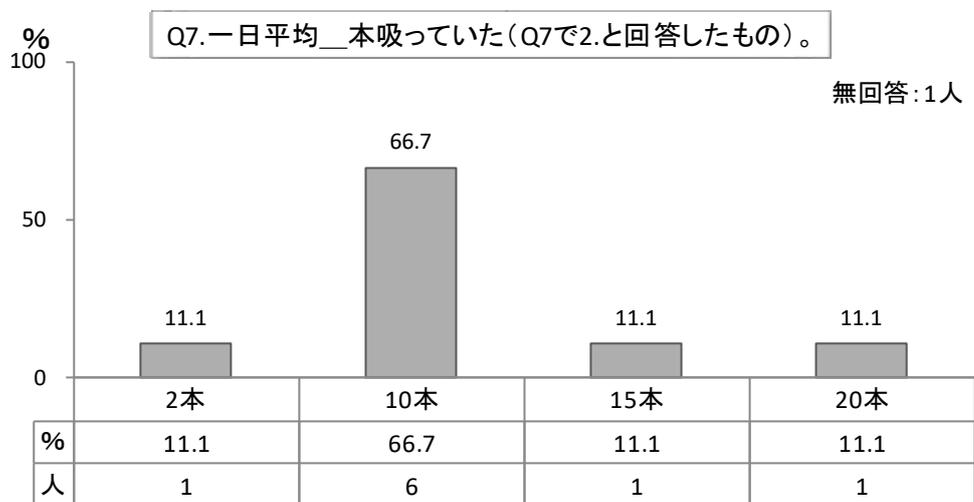
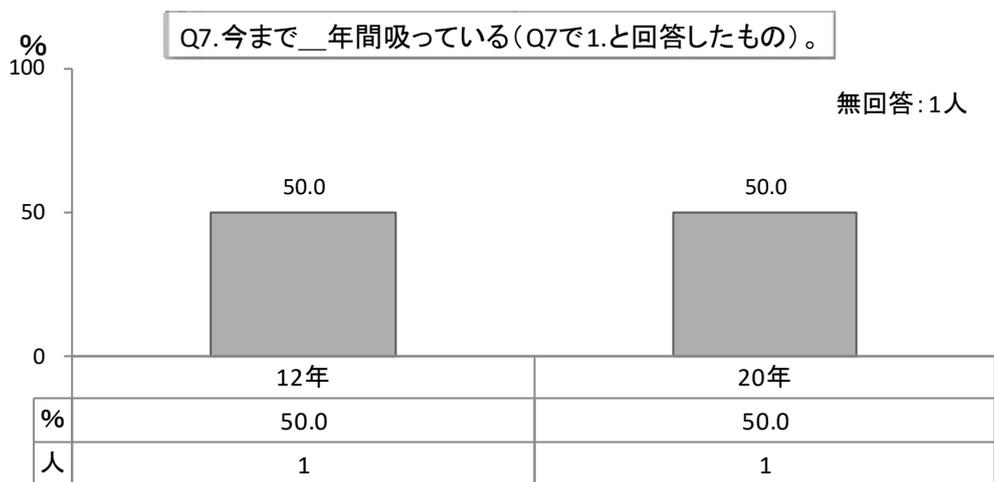
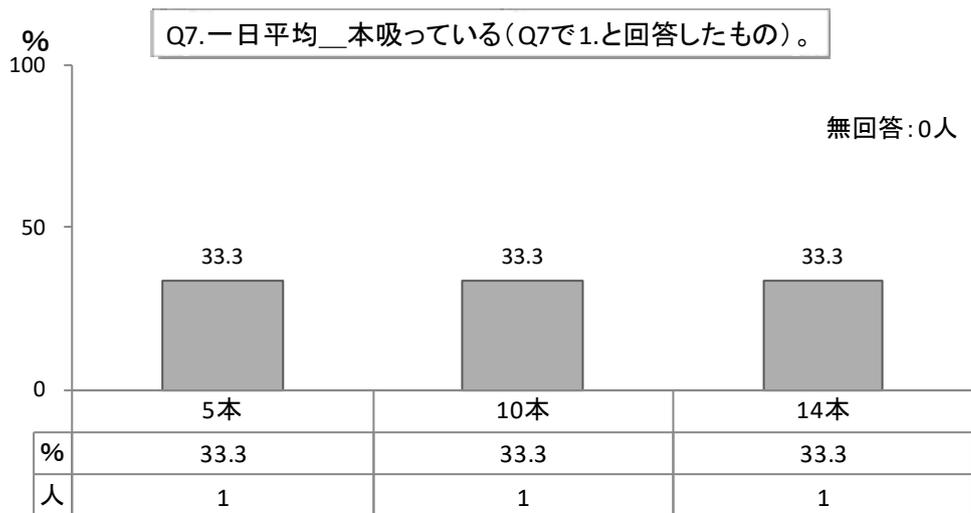




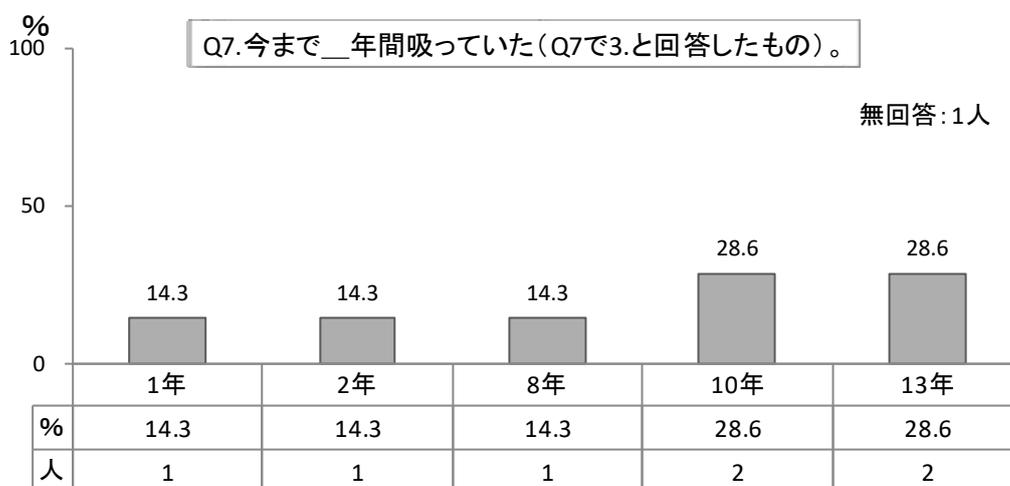
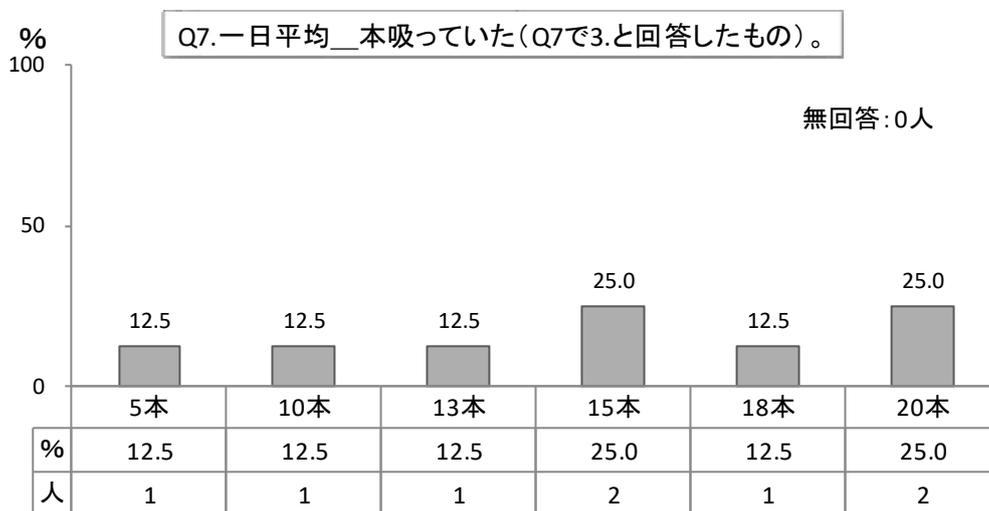
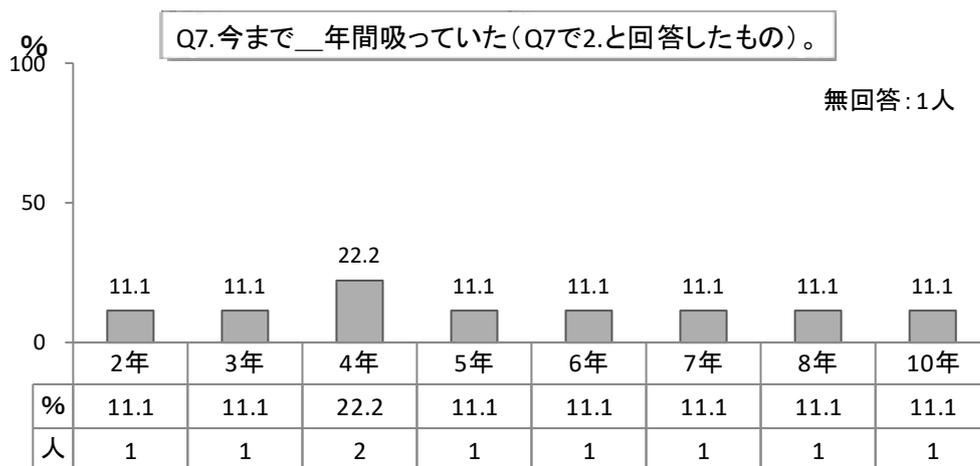
Q7. あなたはタバコを吸いますか。

1. 吸う (一日平均___本、今まで___年間吸っている)
2. 妊娠する前からやめていた (以前一日平均___本、今まで___年間吸った)
3. 妊娠を契機にやめた (以前一日平均___本、今まで___年間吸った)
4. 以前から全く吸わない





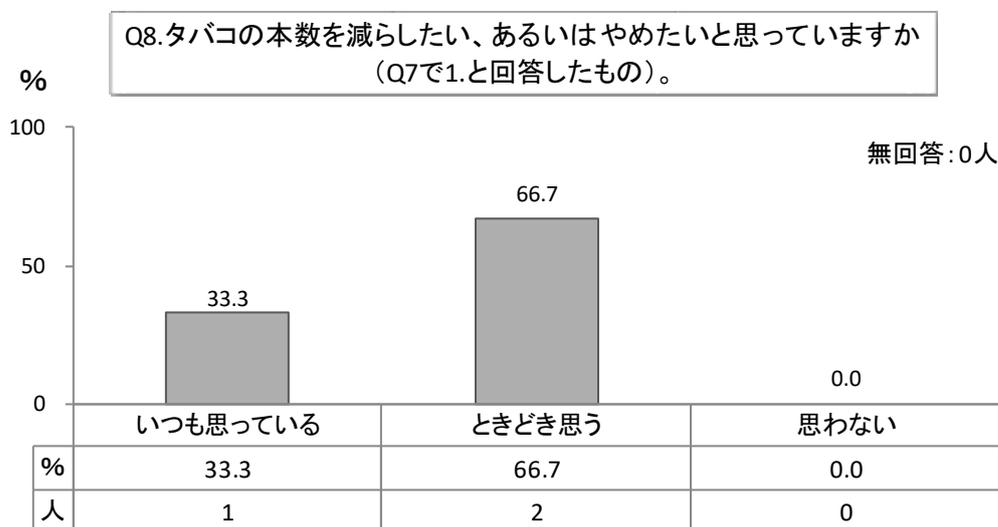
IV. 調査結果 (1. 母子健康手帳交付時)



Q8. Q7で1. と答えた方のみお答えください。

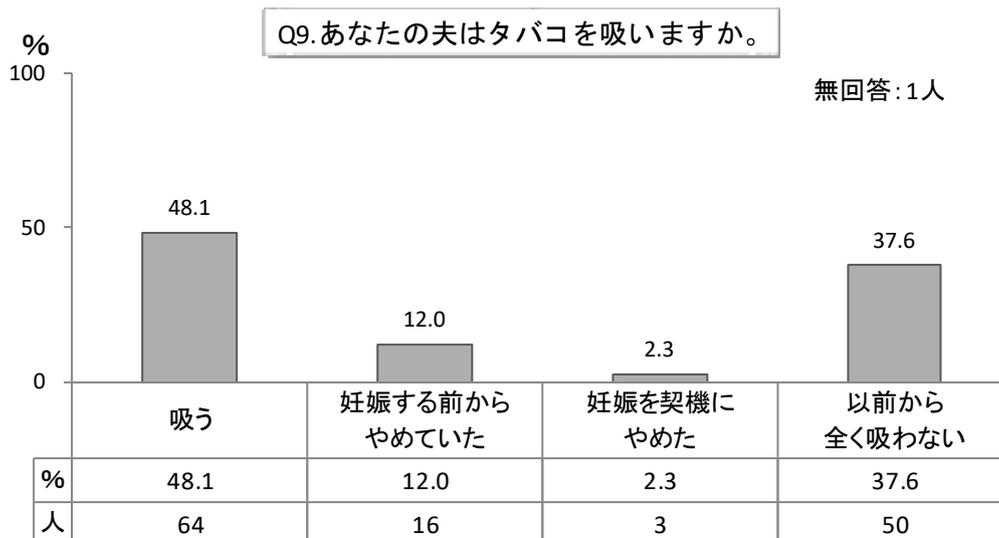
あなたはタバコの本数を減らしたい、あるいはやめたいと思っていますか。

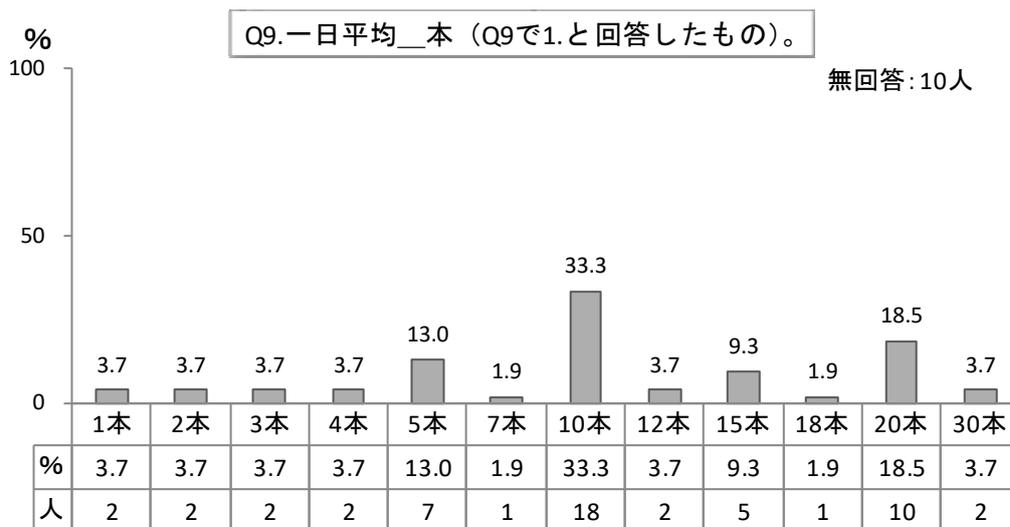
1. いつも思っている 2. ときどき思う 3. 思わない



Q9. あなたの夫はタバコを吸いますか。

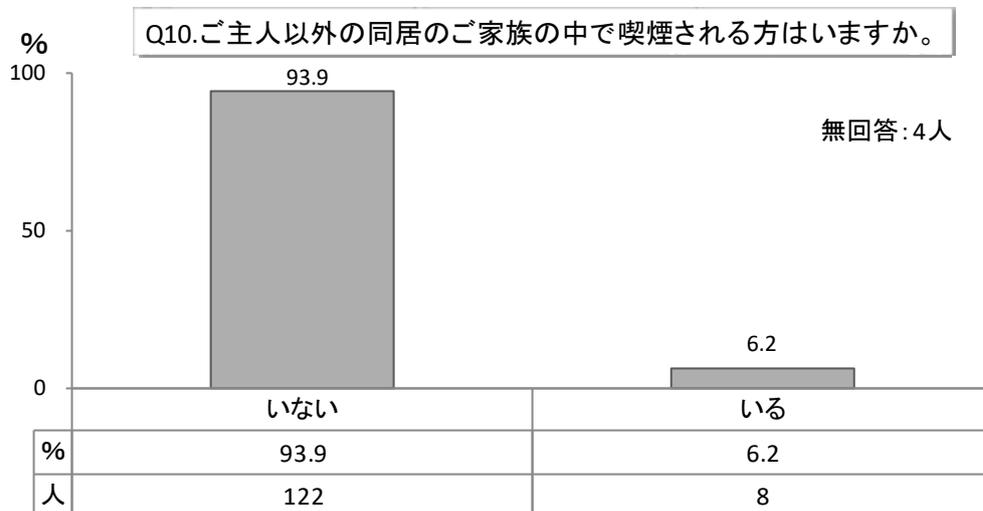
1. 吸う (一日平均___本)
2. 妊娠する前からやめていた
3. 妊娠を契機にやめた
4. 以前から全く吸わない





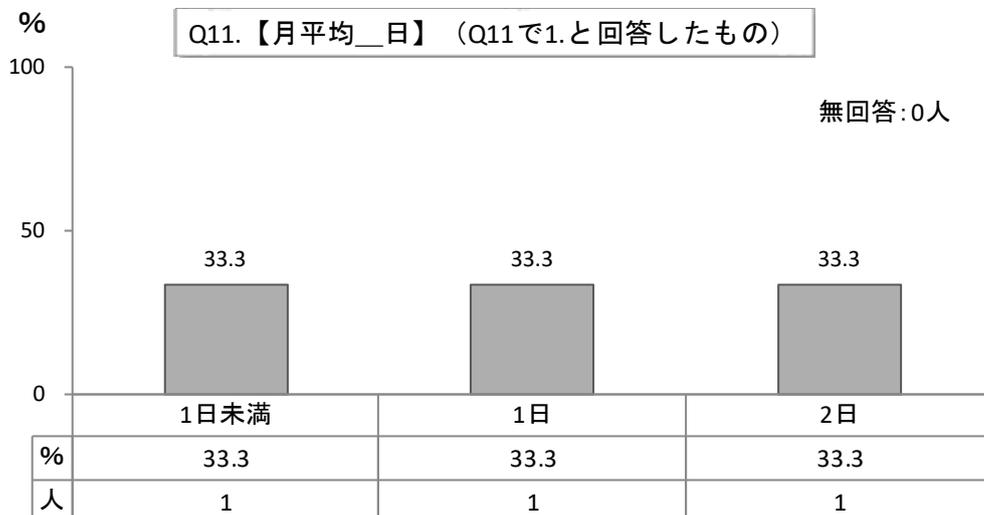
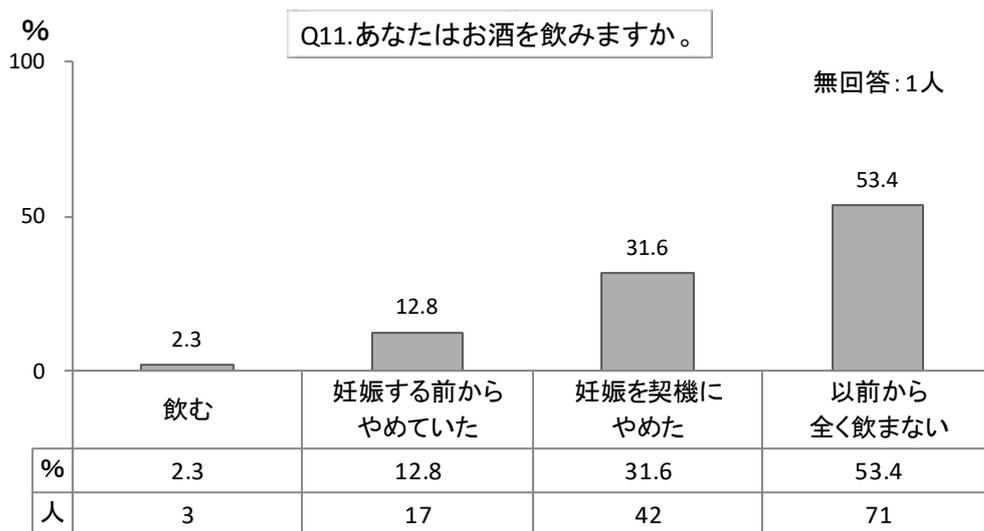
Q10. ご主人以外の同居のご家族の中で、喫煙される方はいますか。

1. いない 2. いる (どなたですか? :)

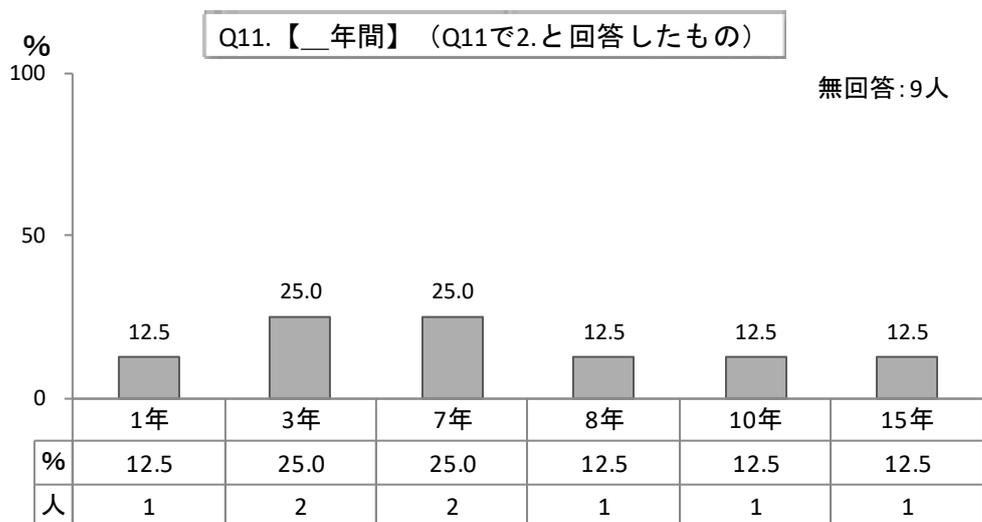
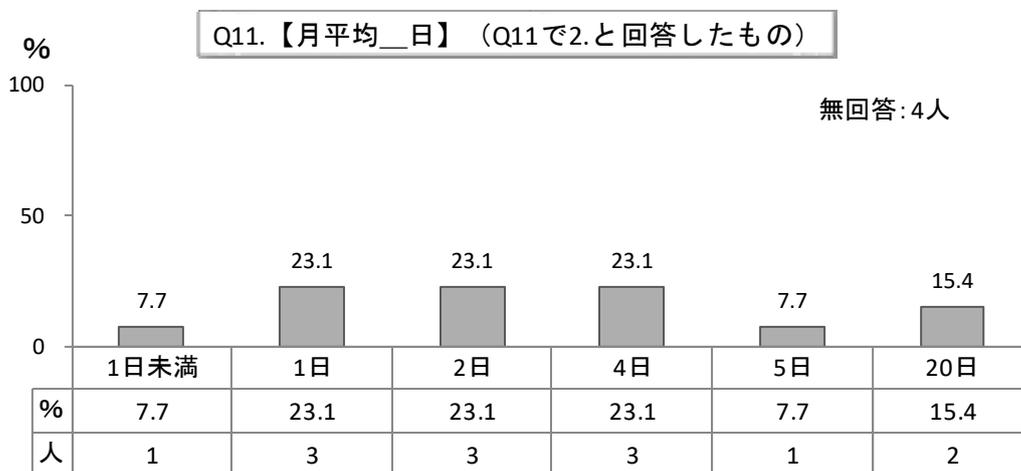
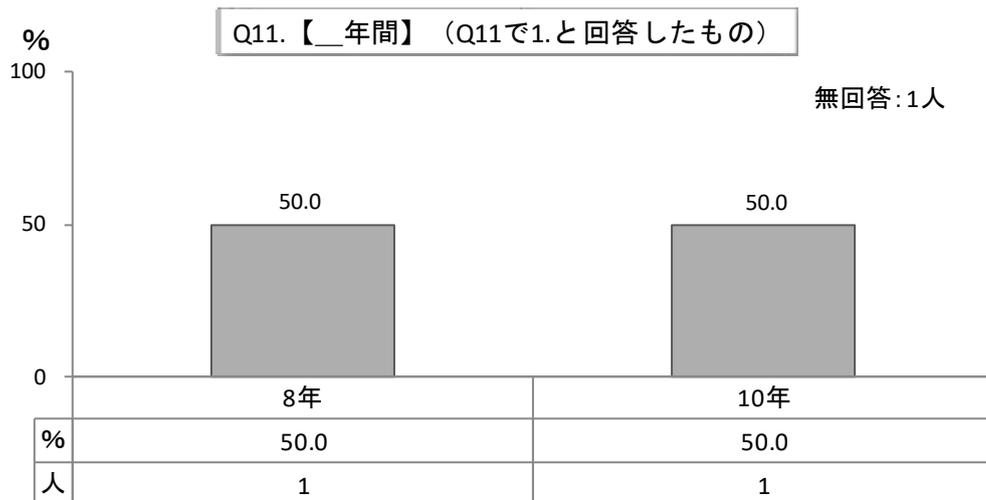


Q11. あなたはお酒を飲みますか。

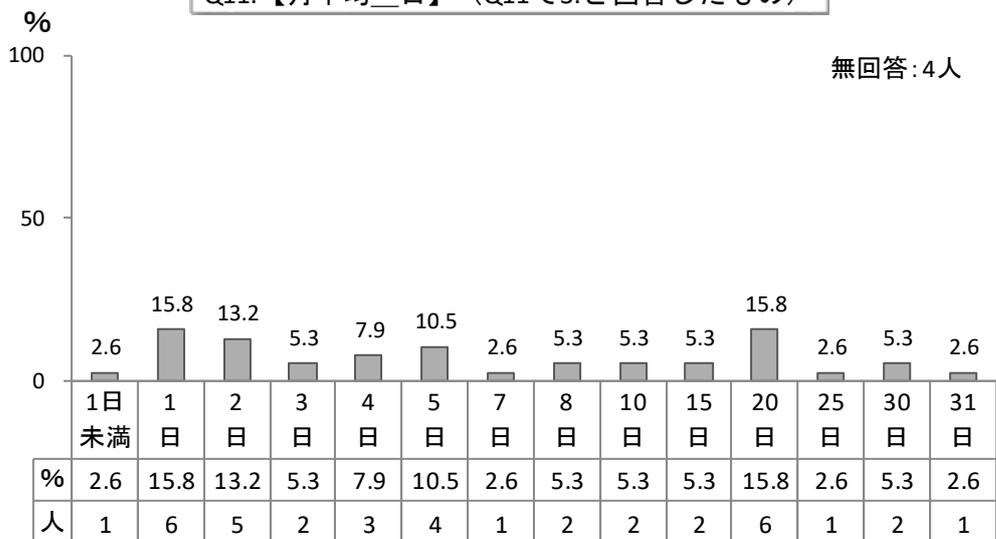
1. 飲む (月平均__日、__年間飲んでいる)
2. 妊娠する前からやめていた (以前、月平均__日、__年間飲んでいた)
3. 妊娠を契機にやめた (以前、月平均__日、__年間飲んでいた)
4. 以前から全く飲まない



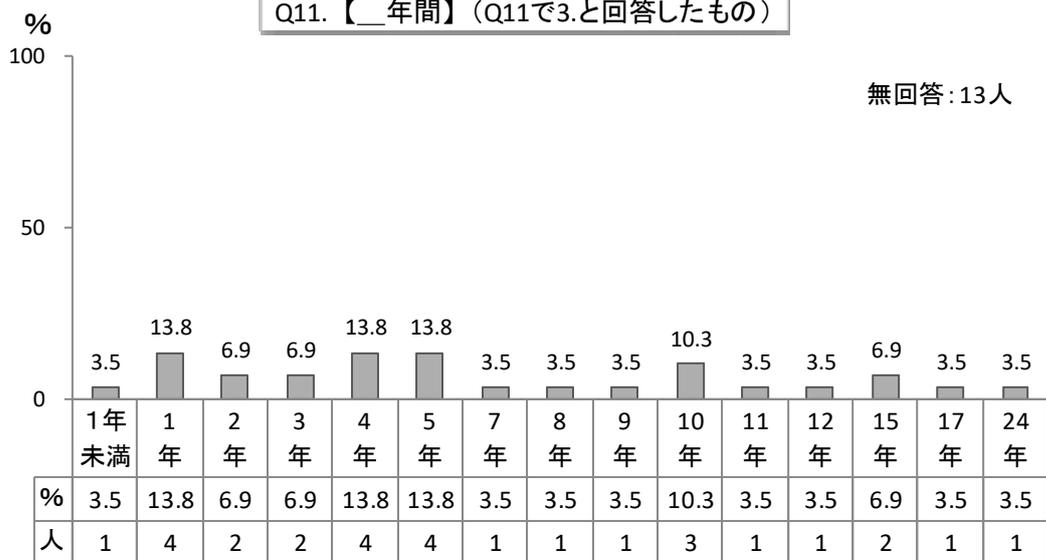
IV. 調査結果 (1. 母子健康手帳交付時)



Q11. 【月平均__日】 (Q11で3.と回答したもの)



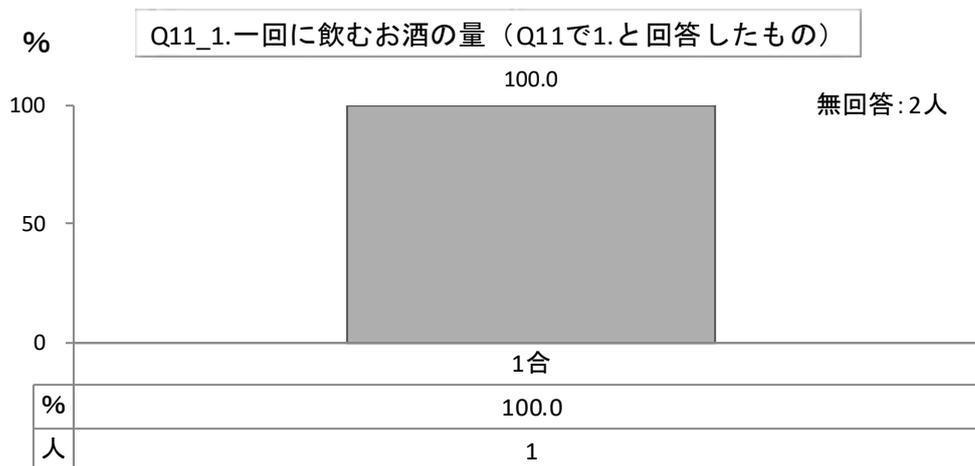
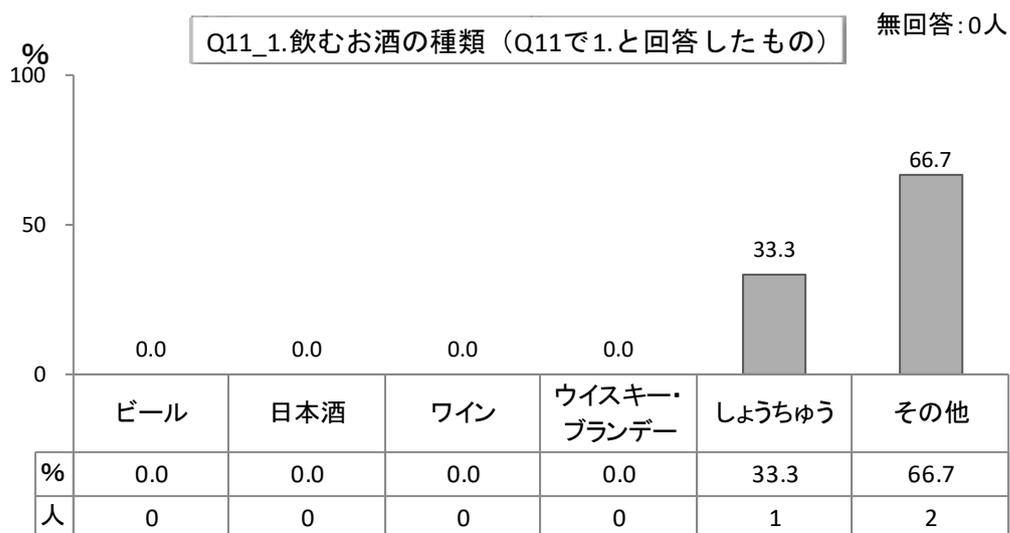
Q11. 【__年間】 (Q11で3.と回答したもの)



(Q11で1と答えた方のみお答えください。)

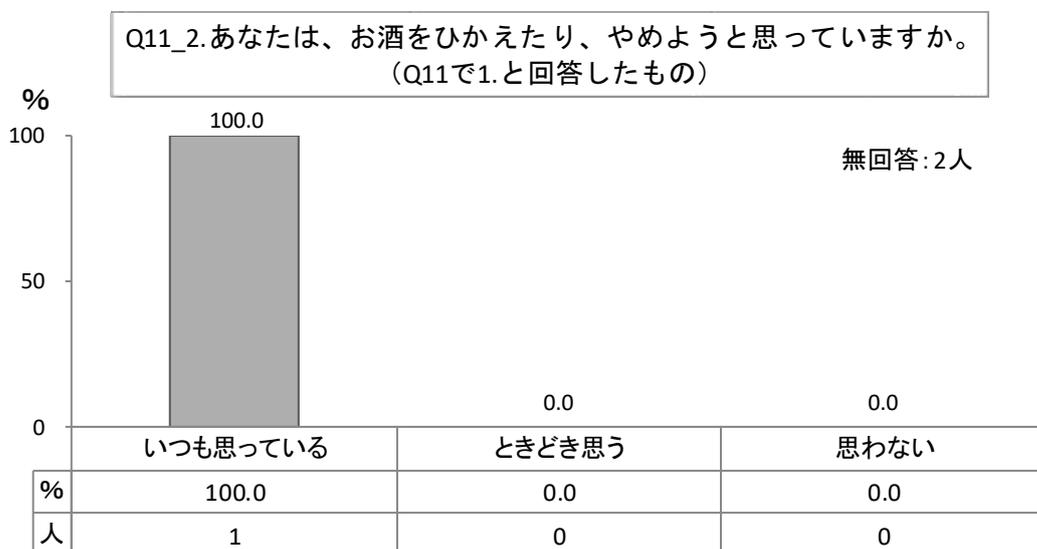
11-1. 飲むお酒の種類は何ですか。一番多いものひとつに○をつけて、一回に飲むお酒の量を記入してください。

- 1. ビール (大びん ___ 本)
- 2. 日本酒 (___ 合)
- 3. ワイン (___ 合)
- 4. ウイスキー・ブランデー (水割り ___ 杯)
- 5. しょうちゅう (水割り等 ___ 杯)
- 6. その他 ()



11-2. あなたは、お酒をひかえたり、やめようと思っていますか。

1. いつも思っている 2. ときどき思う 3. 思わない

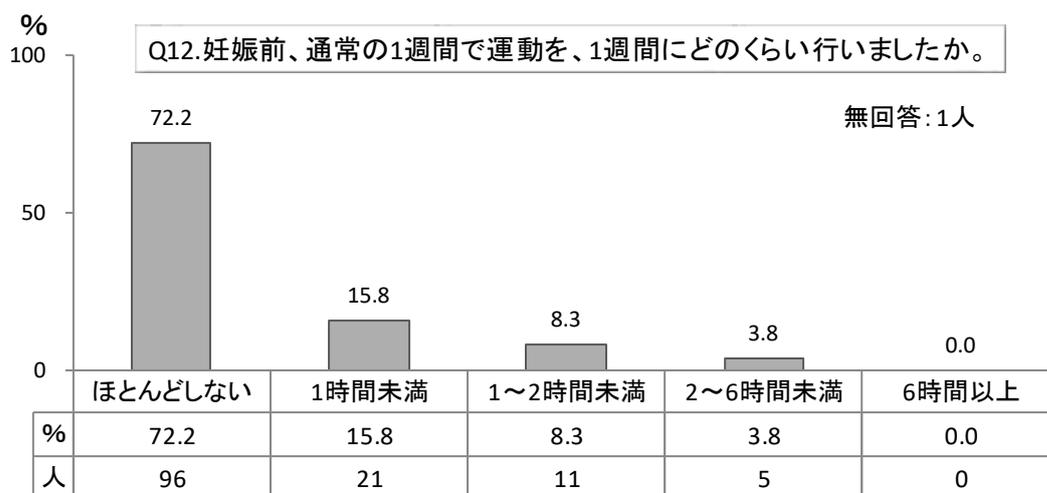


Q12. 妊娠前、通常の1週間で運動（体力の維持・向上を目的として、計画的・意図的に実施するウォーキングやスポーツなど）を1週間にどのくらい行いましたか。

1. ほとんどしない 2. 1時間未満 3. 1～2時間未満
4. 2～6時間未満 5. 6時間以上

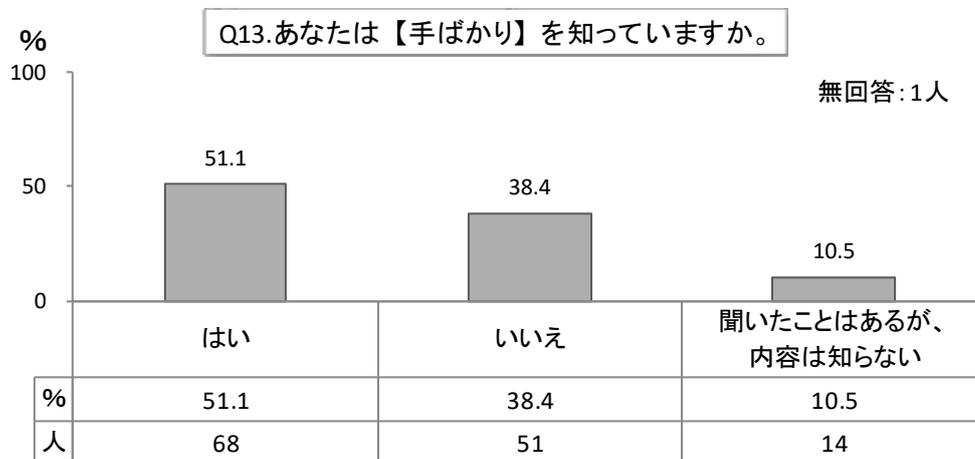
12-1. 行っているという方はどのような内容ですか。具体的にお書きください。

()



Q13. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

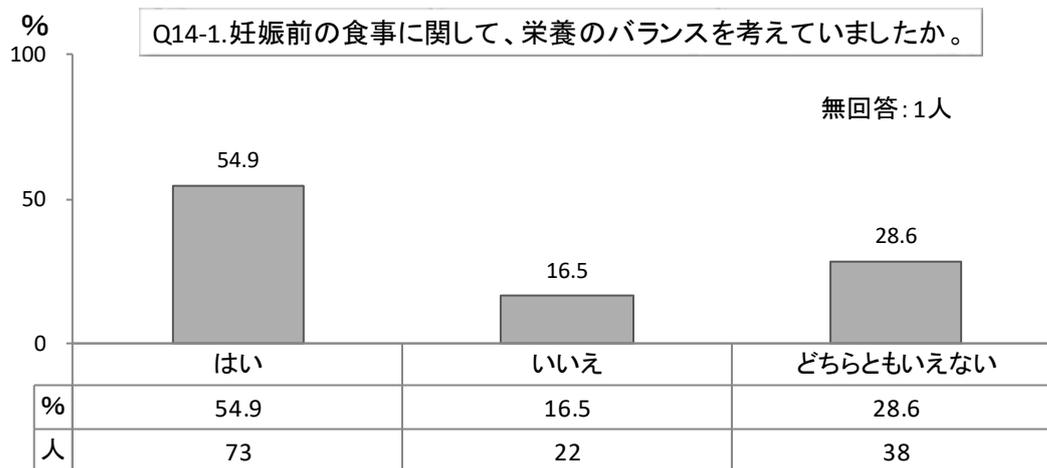


Q14. 妊娠前の食事に関してうかがいます。

※妊娠前とは、おおよそ妊娠する1年間くらい前までのこととお考えください。

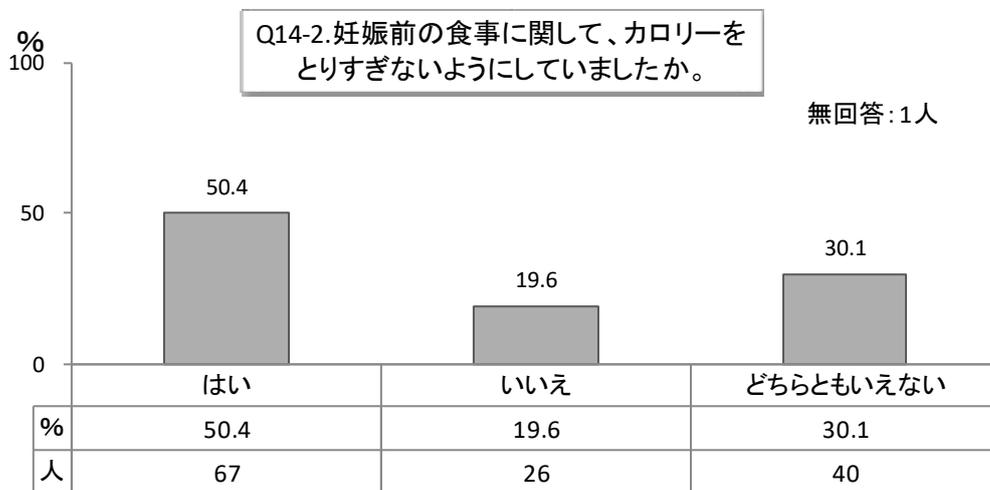
14-1. 栄養のバランスを考えていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



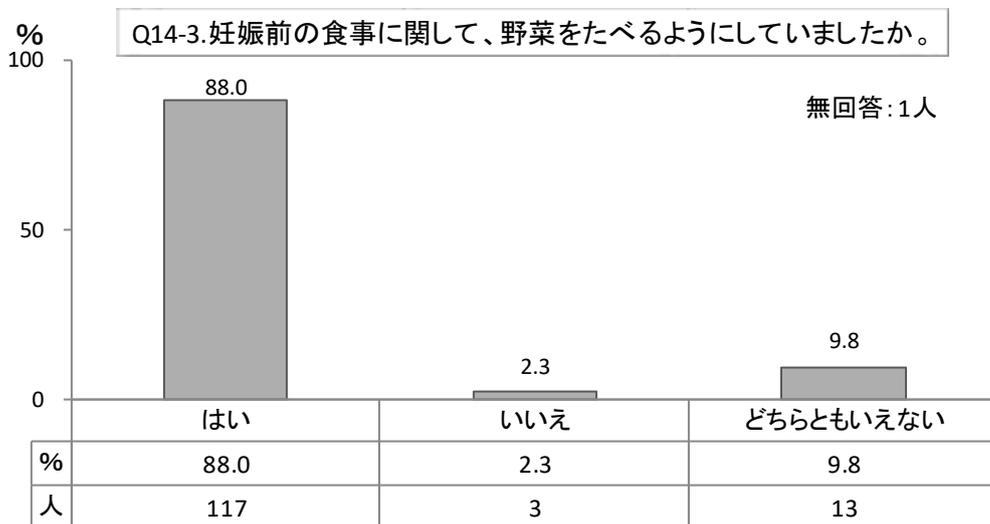
14-2. カロリーをとりすぎないようにしていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



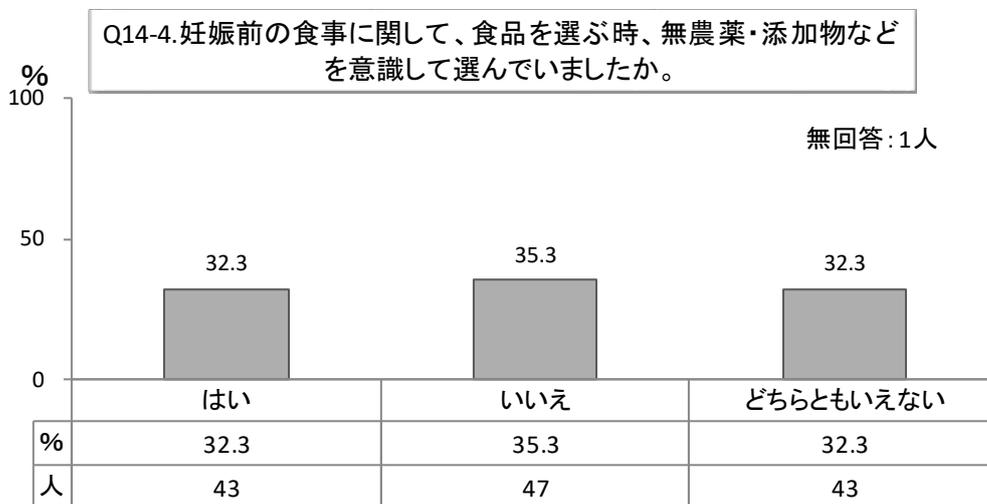
14-3. 野菜をたべるようにしていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



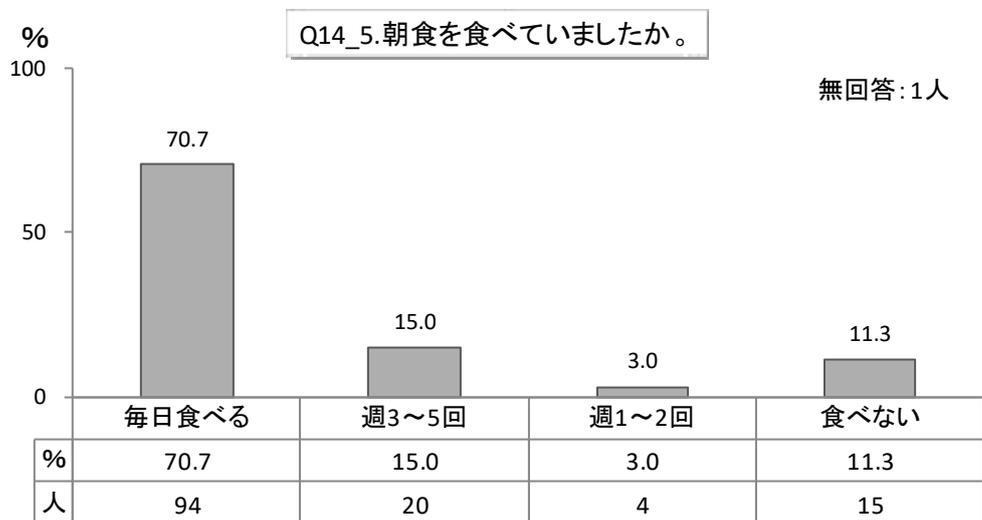
14-4. 食品を選ぶ時、無農薬・添加物などを意識して選んでいましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



14-5. 朝食を食べていましたか。

1. 毎日食べる 2. 週3~5回 3. 週1~2回 4. 食べない



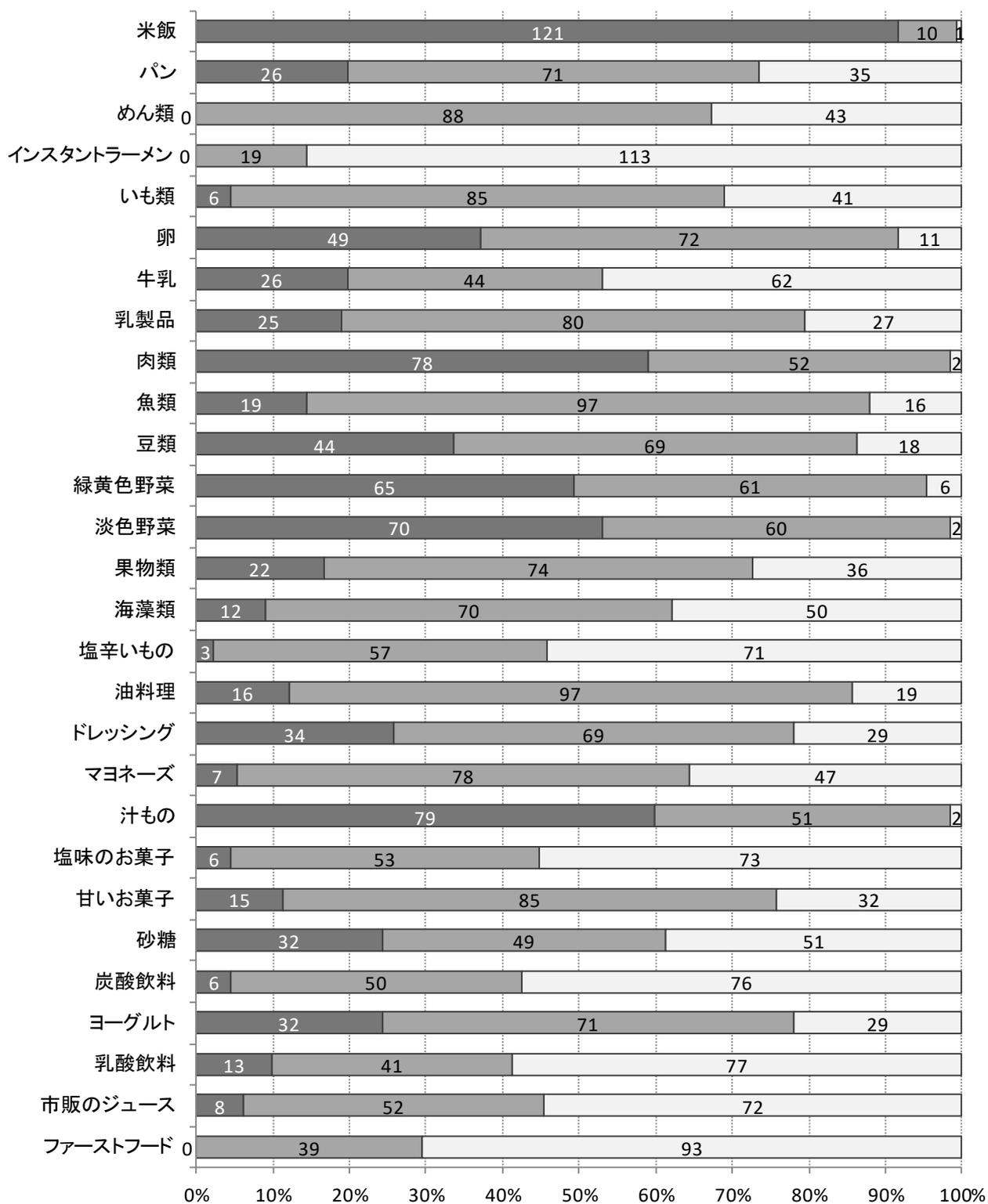
Q15. 妊娠前、以下に挙げる食品について、普通1週間にどのくらい食べていましたか。

当てはまる箇所に○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

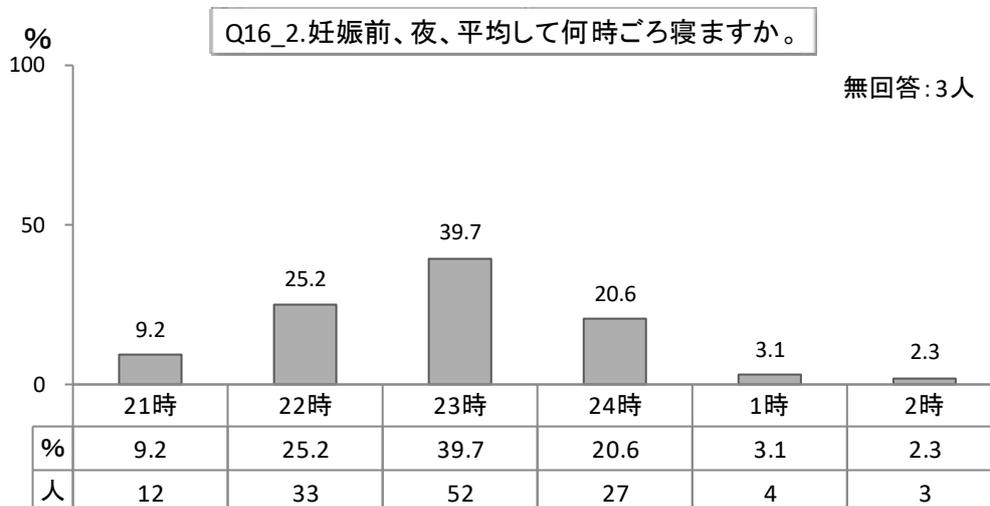
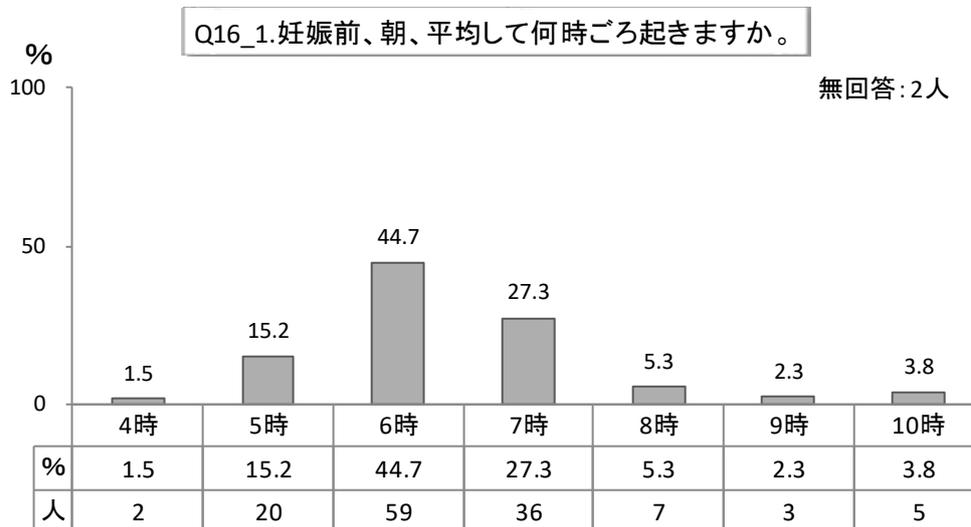
Q15.妊娠前、以下に挙げる食品について、普通1週間にどのくらい食べていましたか。

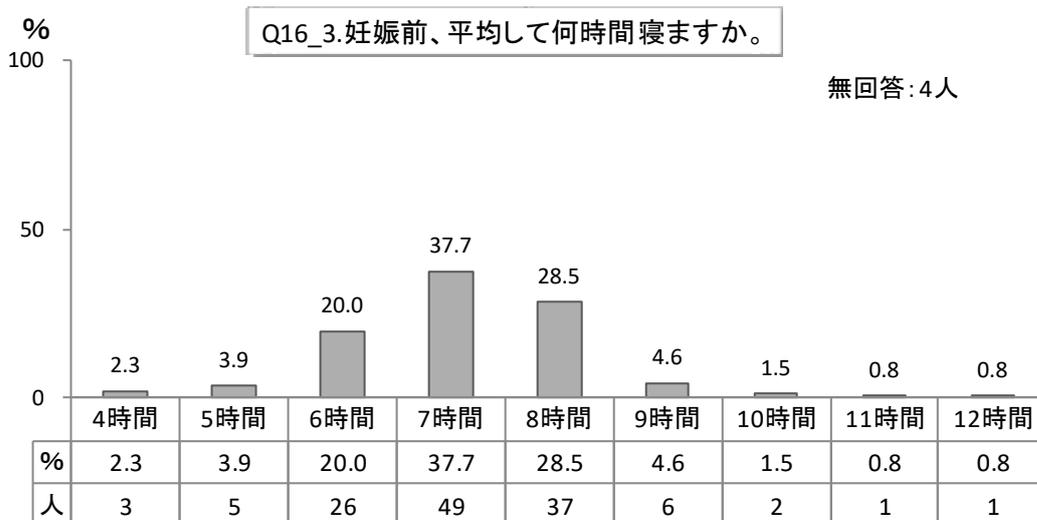
■ ほとんど毎日 ■ 週3回位 □ ほとんどとらない



Q16. 妊娠前のあなたの平日（土、日を除く）の起床・就寝時間についてうかがいます。

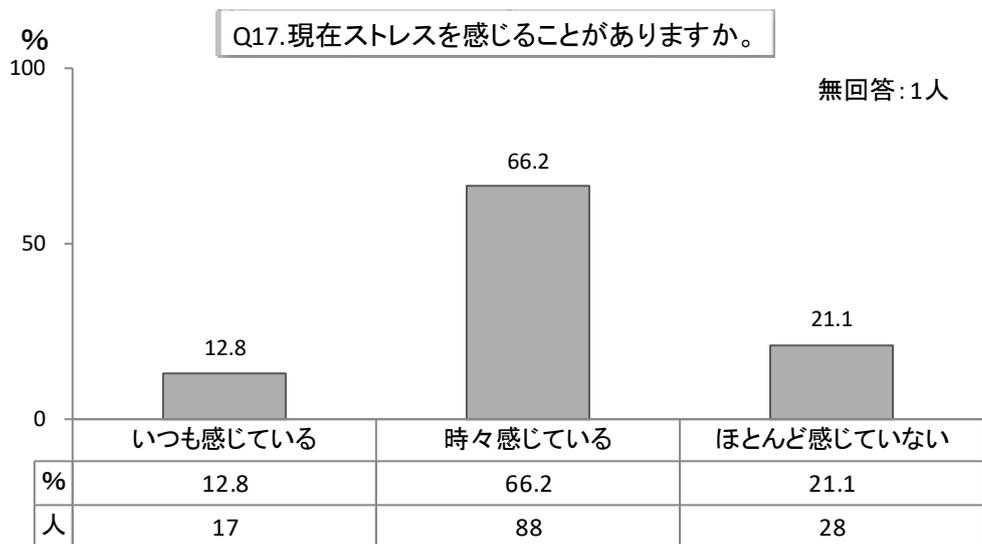
1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時ころ
2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時ころ
3. 平均して何時間寝ますか () 時間位





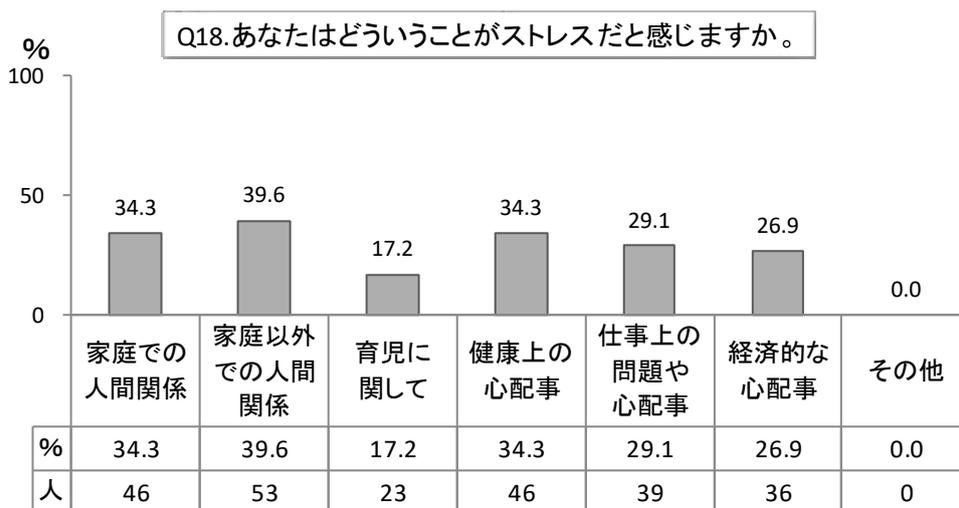
Q17. 現在ストレスを感じるがありますか。

1. いつも感じている 2. 時々感じている 3. ほとんど感じていない

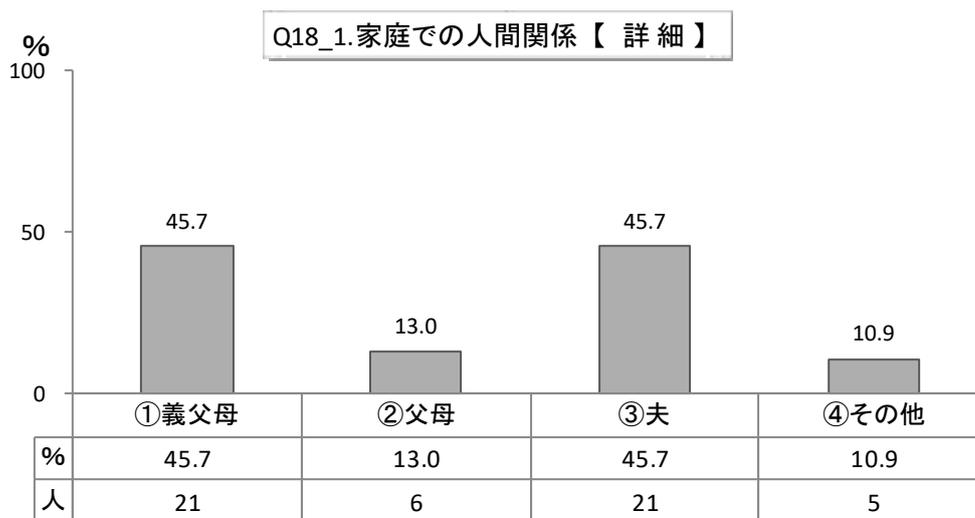


Q18. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることにすべてに○をつけてください。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

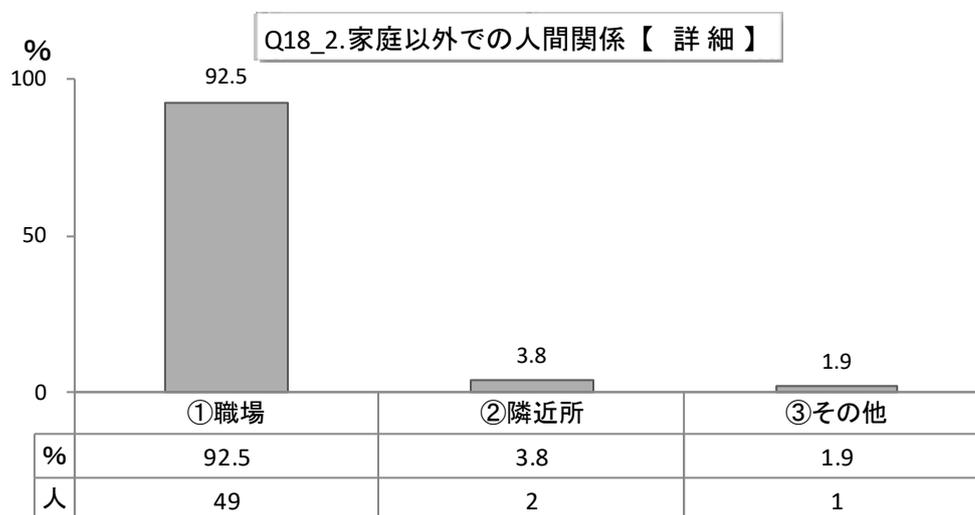
1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③夫
 - ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()



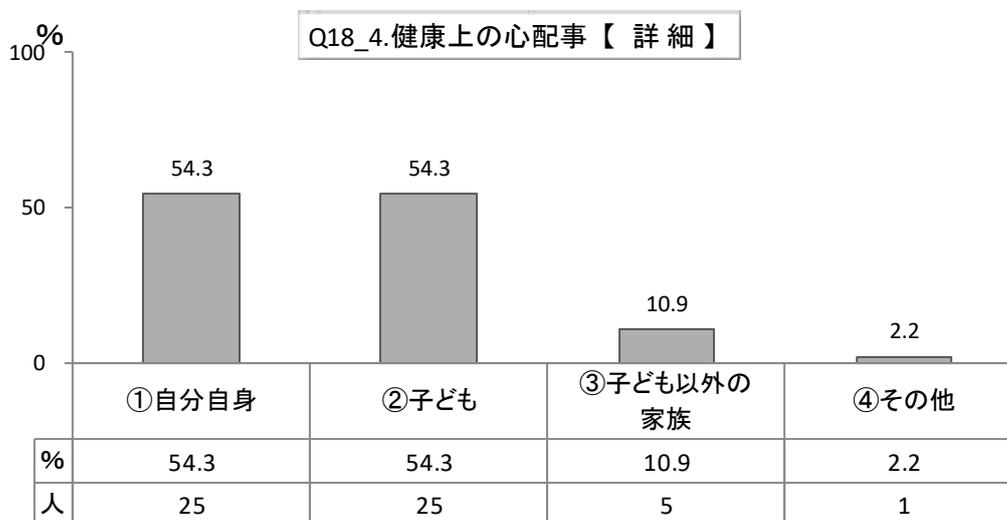
(◎と○の数 複数回答あり)



(◎と○の数 複数回答あり)



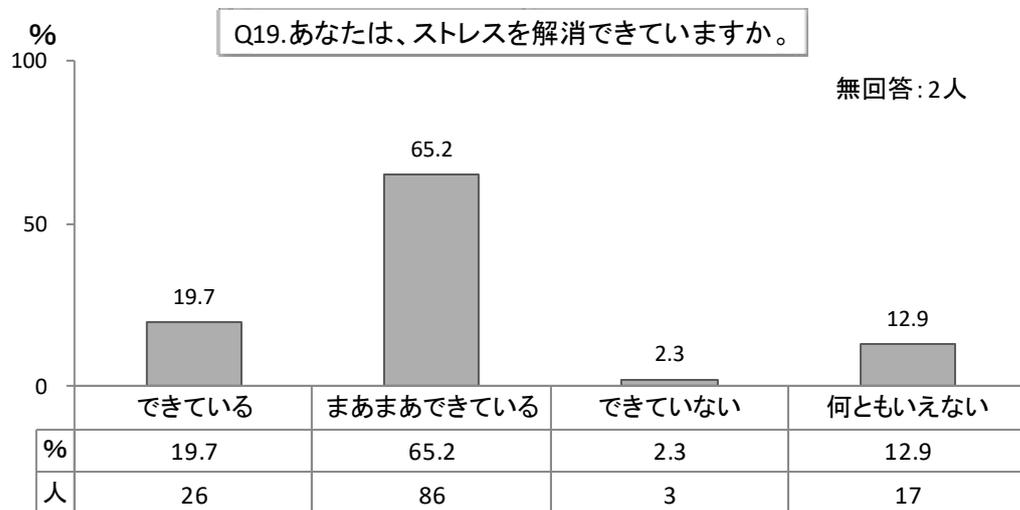
(◎と○の数 複数回答あり)



(◎と○の数 複数回答あり)

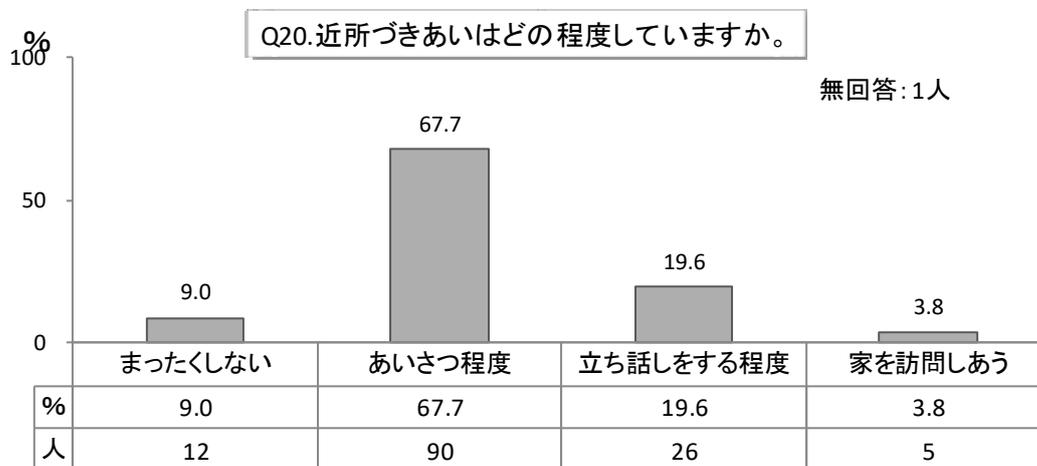
Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない



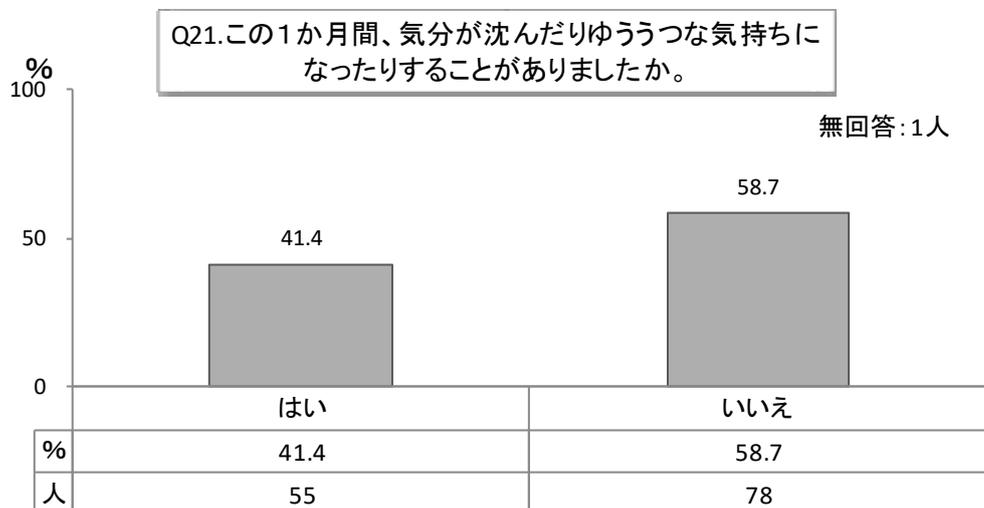
Q20. 近所づきあいほどの程度していますか。

1. まったくしない 2. あいさつ程度 3. 立ち話しをする程度 4. 家を訪問しあう



Q21. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

1. はい 2. いいえ



IV. 調査結果 (1. 母子健康手帳交付時)

IV-2.1 歳 6 ヶ月児健診時

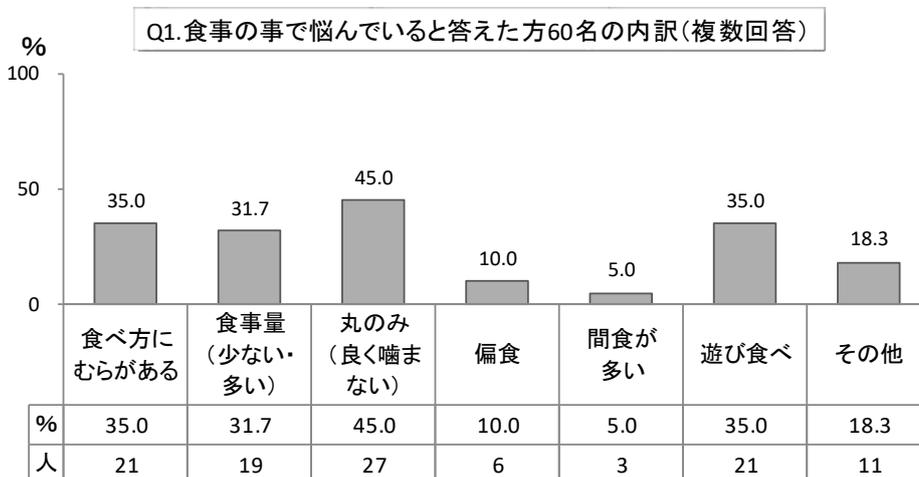
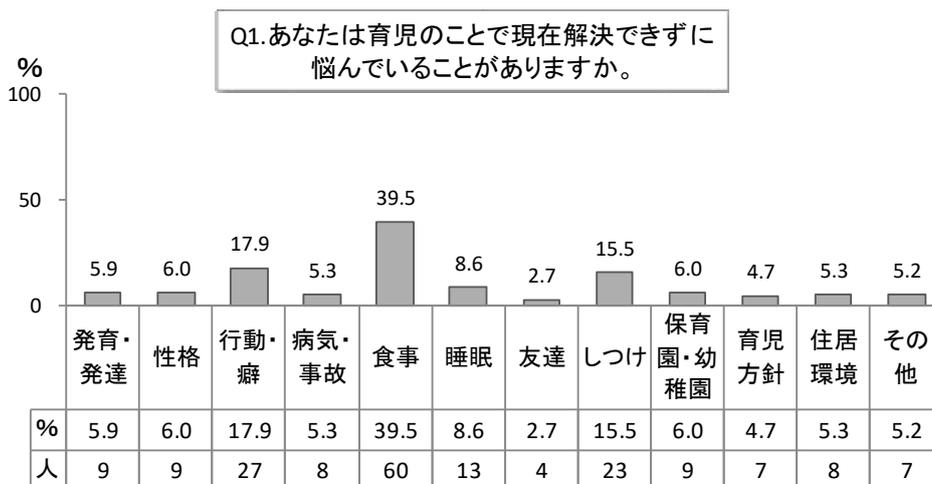
IV. 調査結果 (2.1 歳 6 ヶ月児健診時)

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ()
- ②性格のこと 1. ない 2. ある ()
- ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ()
- ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ()

あると答えた方はどのようなことですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

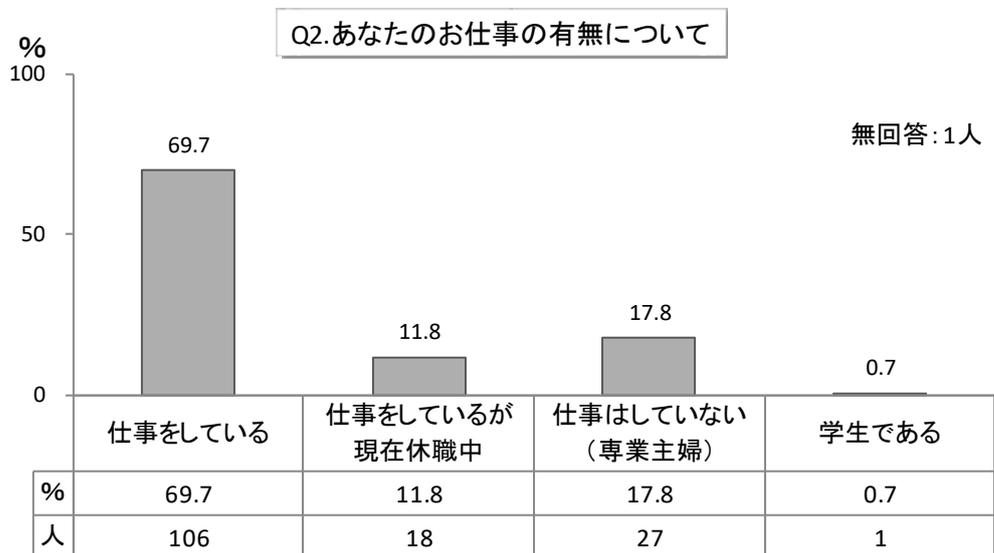
- 1. 食べ方にむらがある 2. 食事量 (少ない・多い) 3. 丸のみ (良く噛まない)
- 4. 偏食 5. 間食が多い 6. 遊び食べ 7. その他 ()
- ⑥睡眠のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑦お友達のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑧しつけについて (トイレトレーニング含む) 1. ない 2. ある ()
- ⑨保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ()
- ⑩祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ()
- ⑪住居環境のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑫その他 1. ない 2. ある ()



Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

1. 仕事をしている
2. 仕事はしているが現在休職中である
3. 仕事はしていない (専業主婦である)
4. 学生である

→3. 4. と答えた方は
Q4. へお進みください

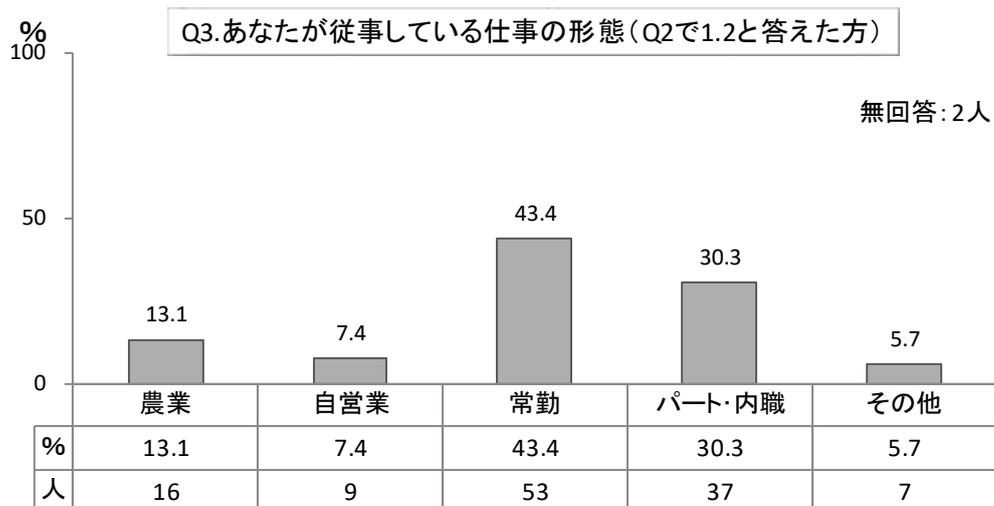


Q3. Q2で1. 2. と答えた方のみお答えください。

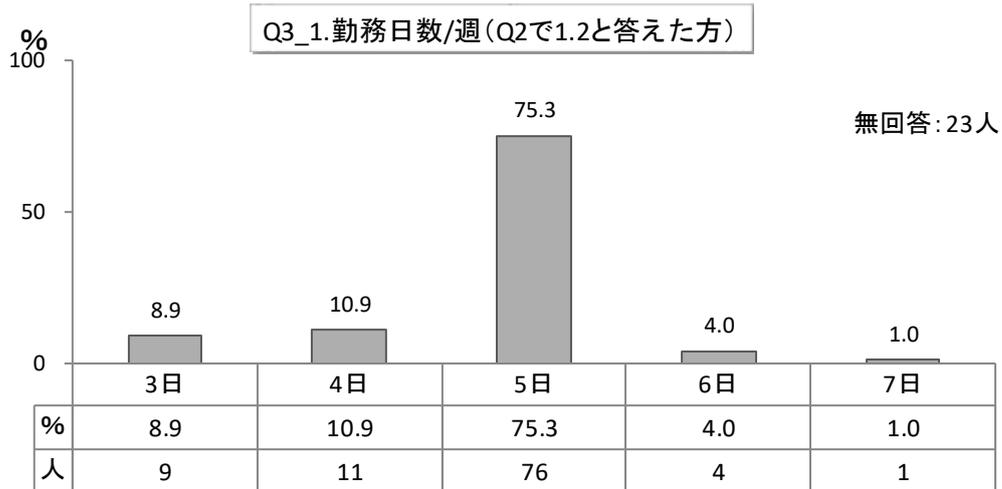
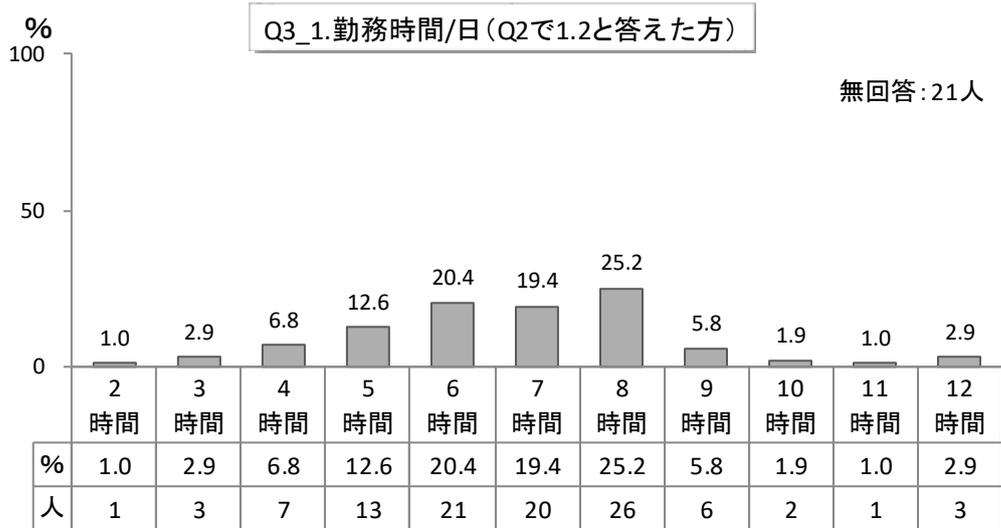
あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

1. 農業
2. 自営業
3. 常勤
4. パート・内職
5. その他 ()

3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

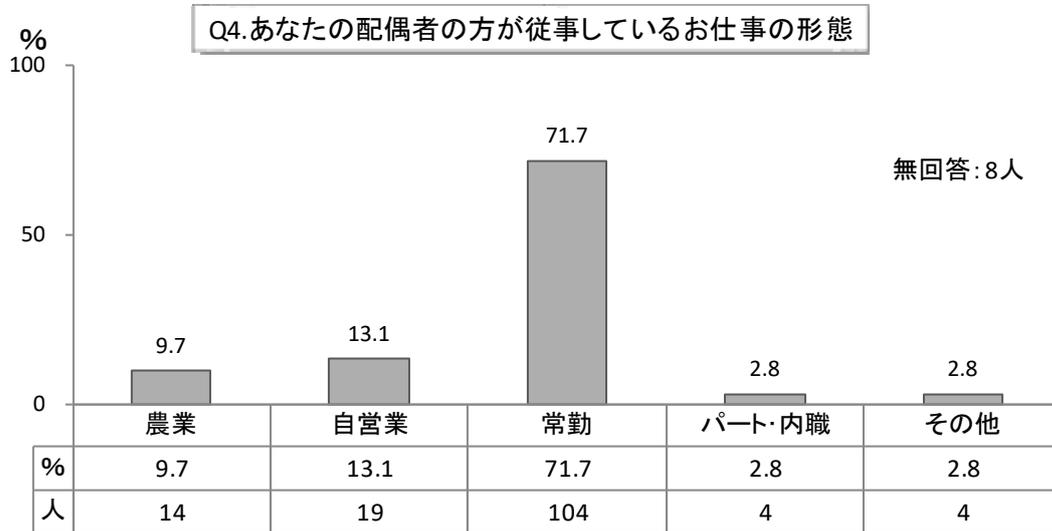


IV. 調査結果 (2.1歳6ヶ月児健診時)

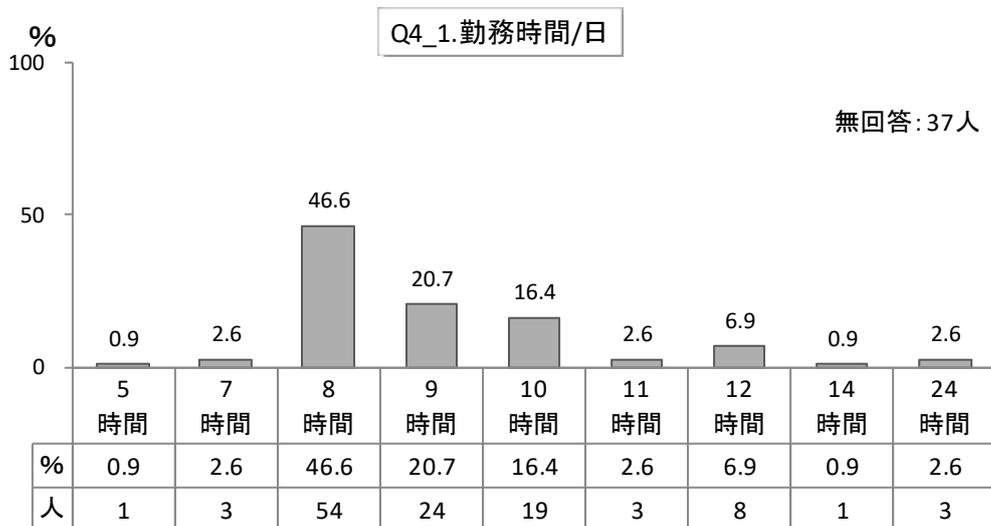


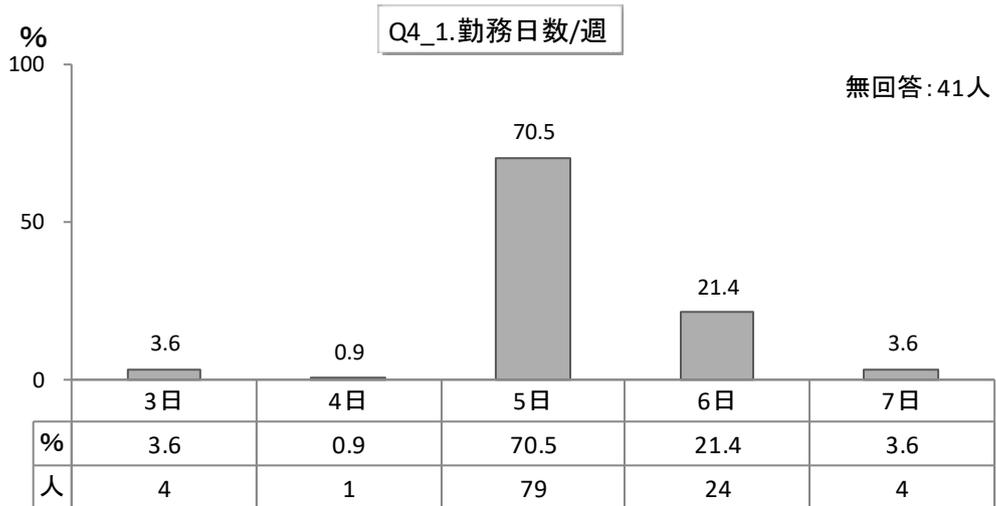
Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中から選びください。

1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
5. その他 ()

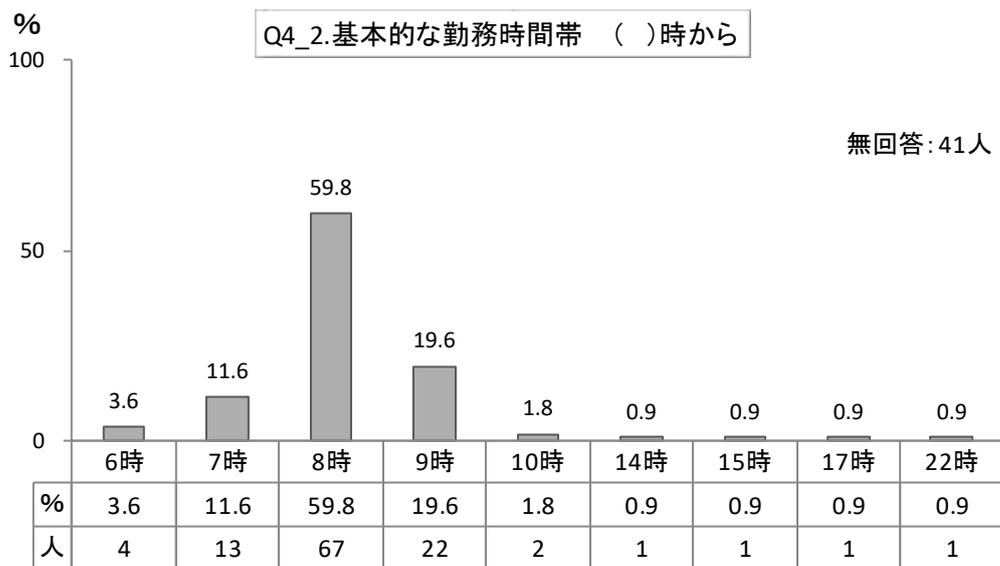


4-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

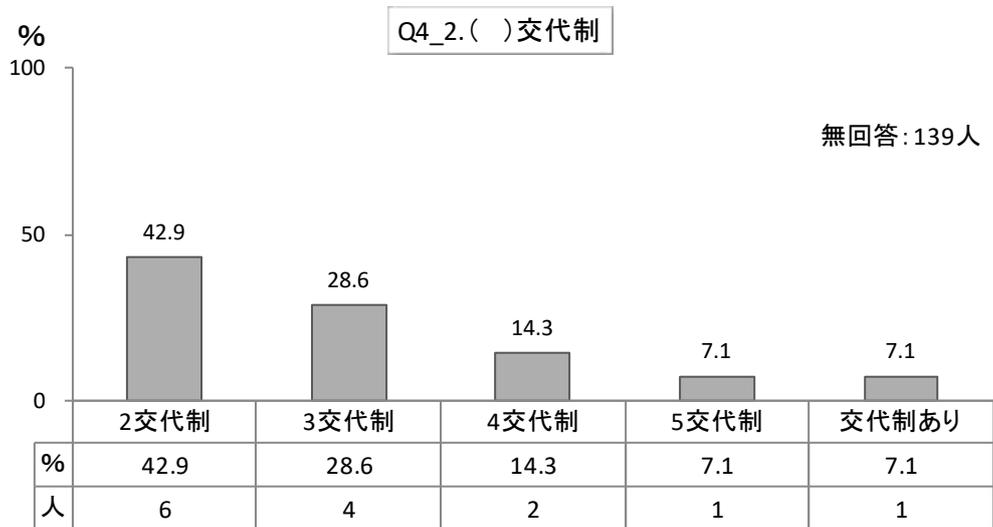
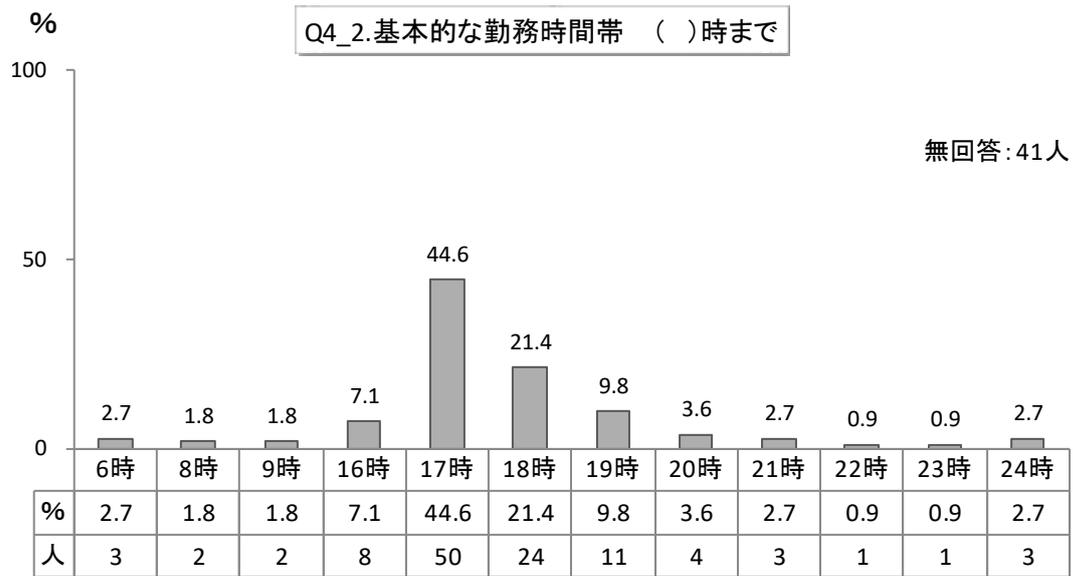




4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。()時～()時 ()交代制



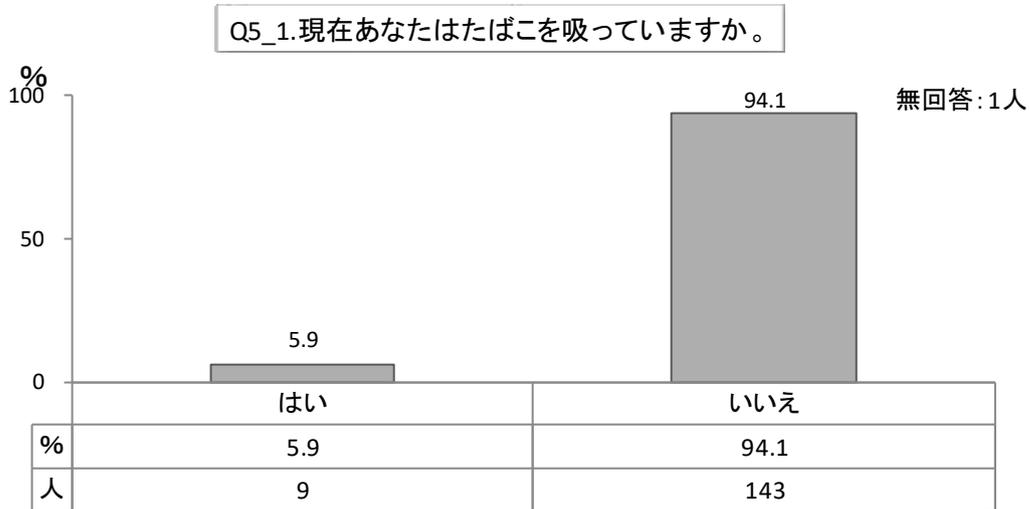
IV. 調査結果 (2.1 歳 6 ヶ月児健診時)



Q5. たばこについておききします。

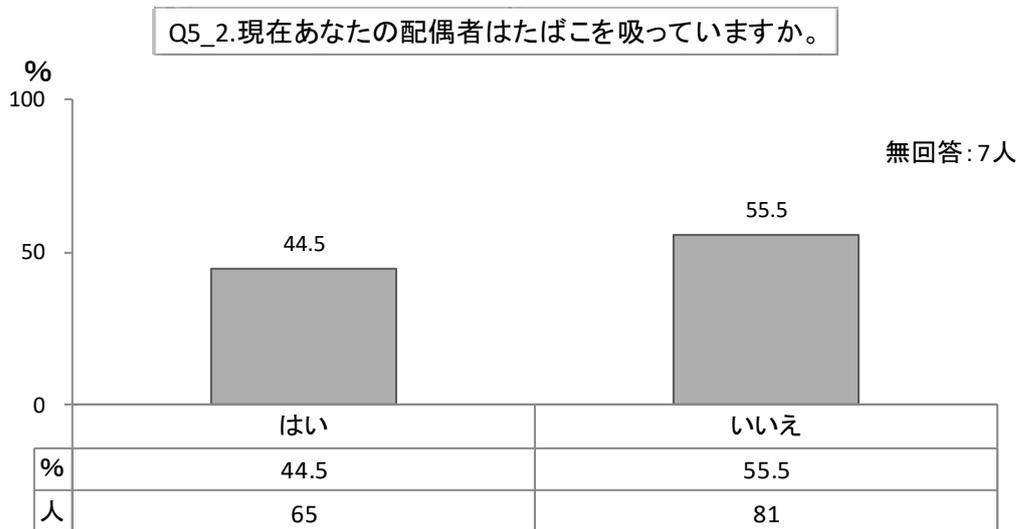
5-1. 現在あなたはたばこを吸っていますか。

1. はい 2. いいえ



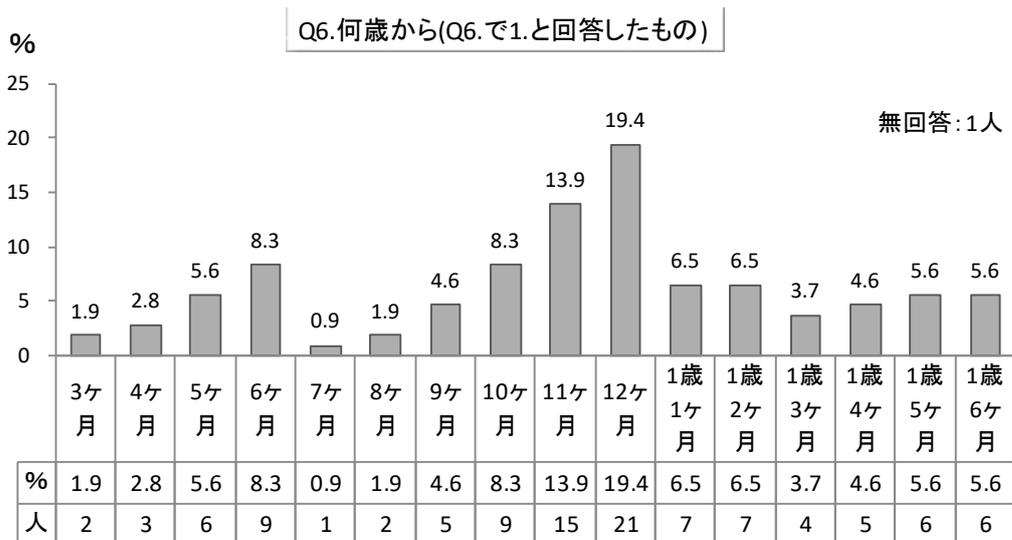
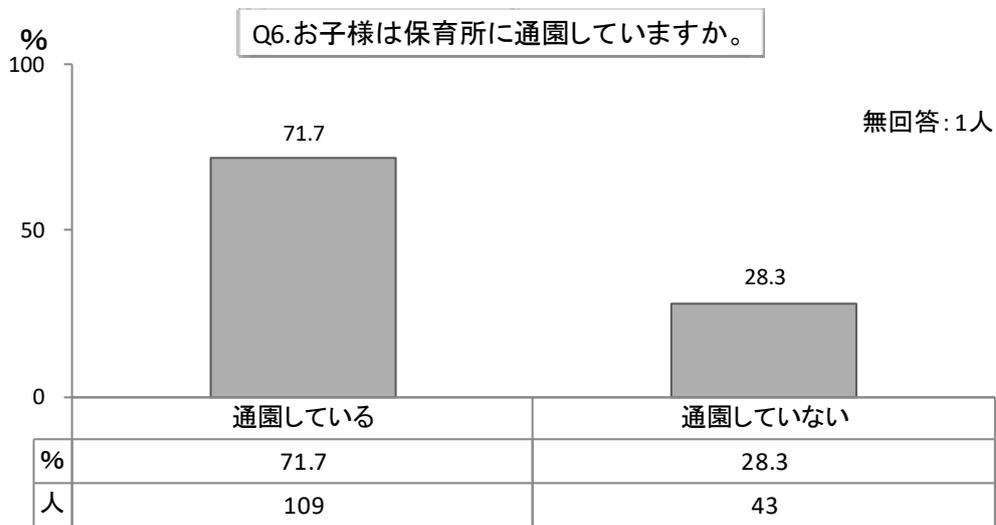
5-2. 現在あなたの配偶者はたばこを吸っていますか。

1. はい 2. いいえ



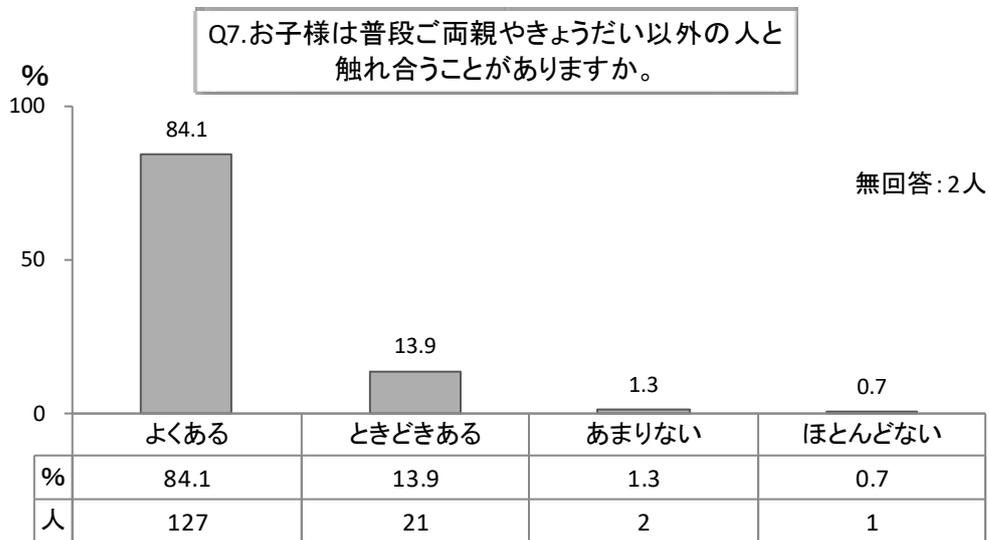
Q6. お子様は保育所に通園していますか。

1. 通園している (歳 カ月から) 2. 通園していない



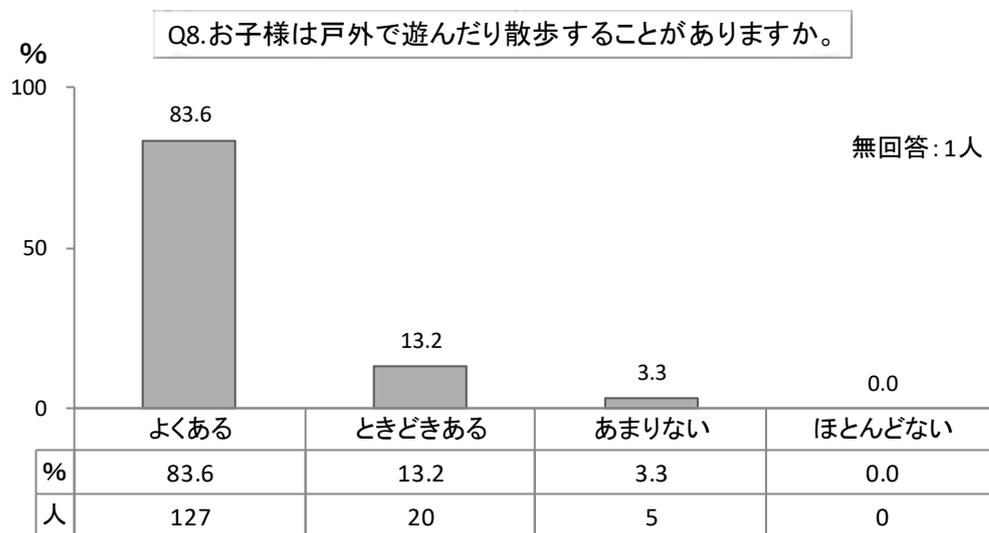
Q7. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない



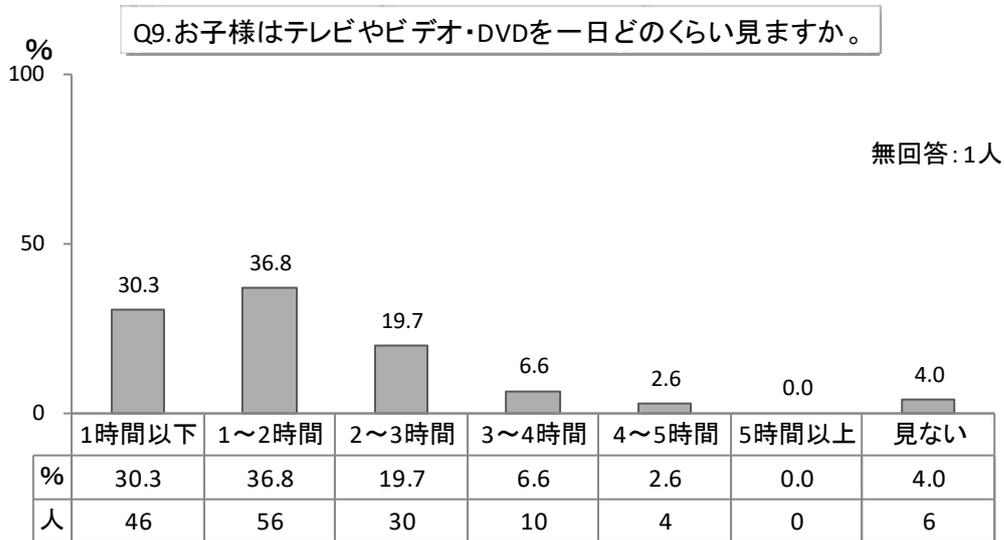
Q8. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない



Q9. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

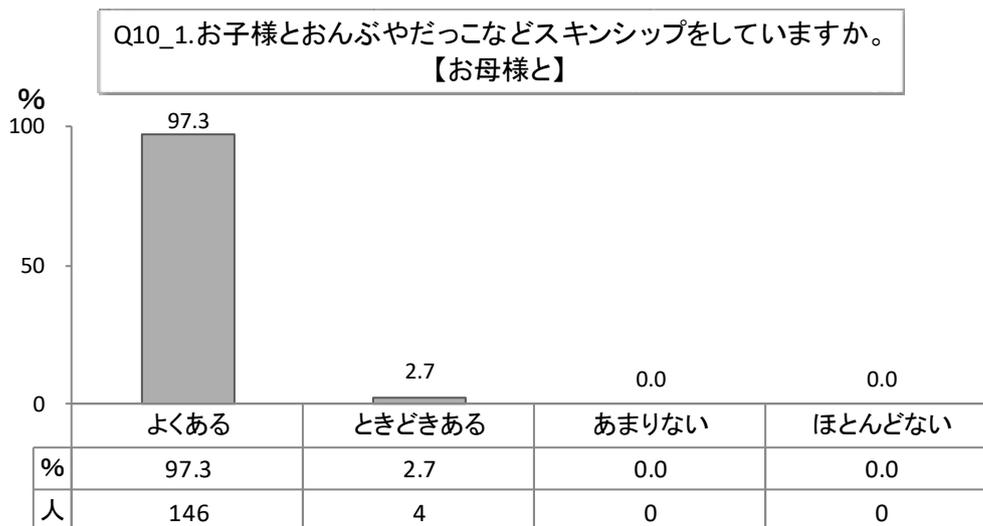
1. 1時間以下 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間
5. 4～5時間 6. 5時間以上 7. 見ない



Q10. お母様は、お子様とおんぶやだっこなどスキンシップをしていますか。お母様とお母様以外の人とについてそれぞれお答えください。

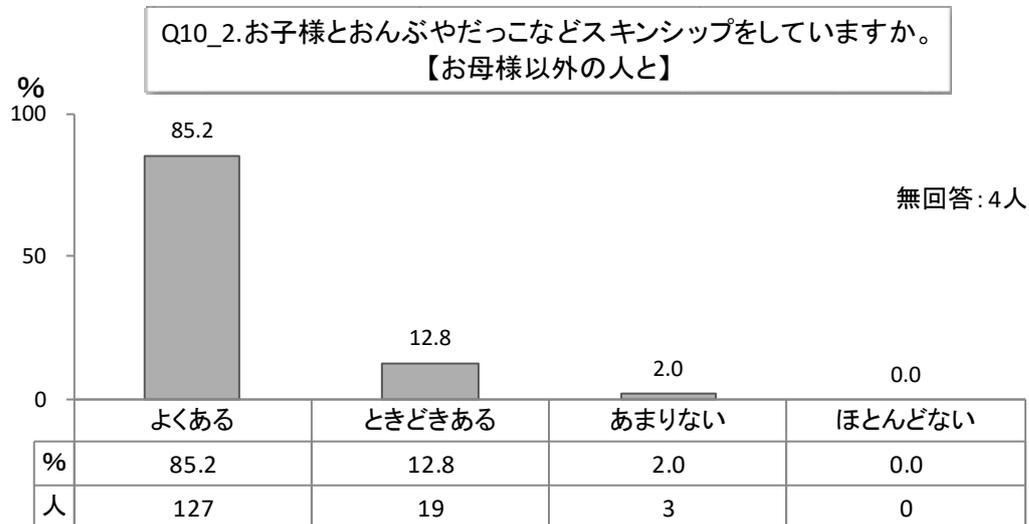
10-1. お母様とはどうですか

1. よくある 2. ときどきある
3. あまりない 4. ほとんどない



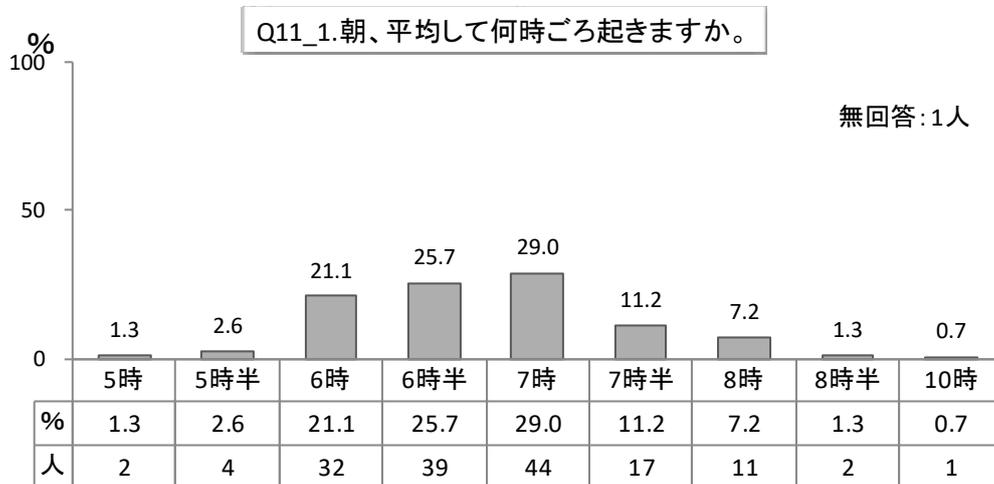
10-2. お母様以外の人とはどうですか

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない

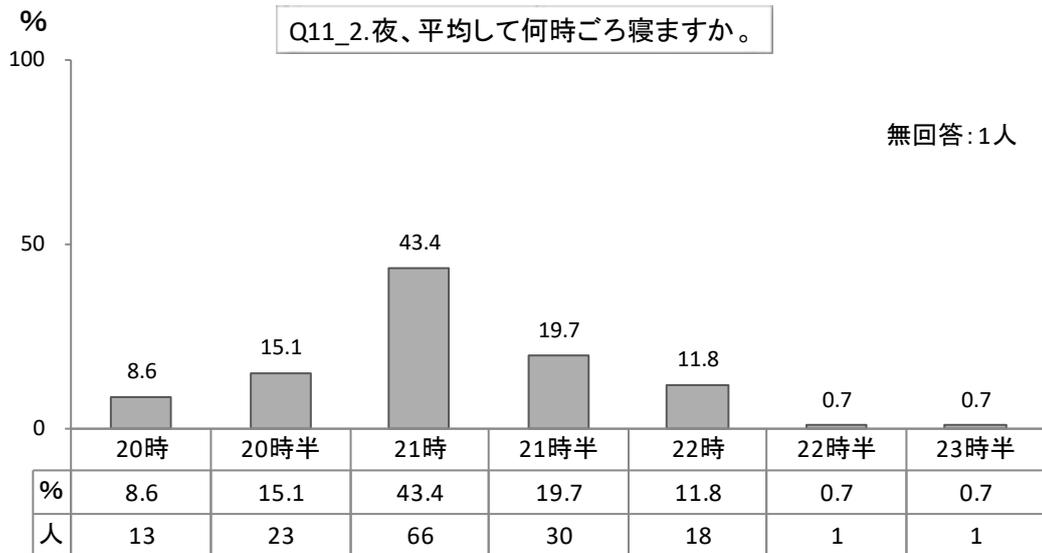


Q11. お子様の起床・就寝など睡眠の様子についてうかがいます。

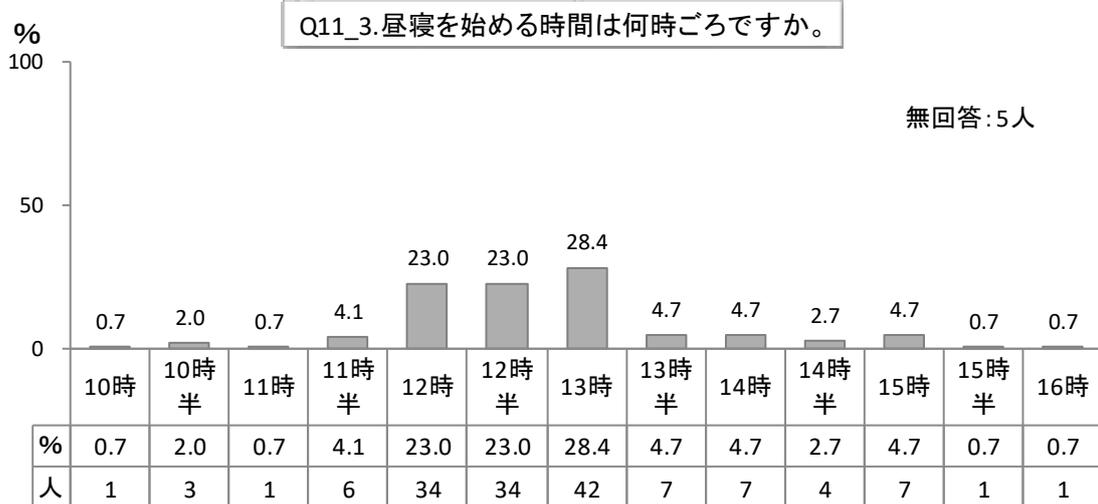
11-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時 () 分ころ



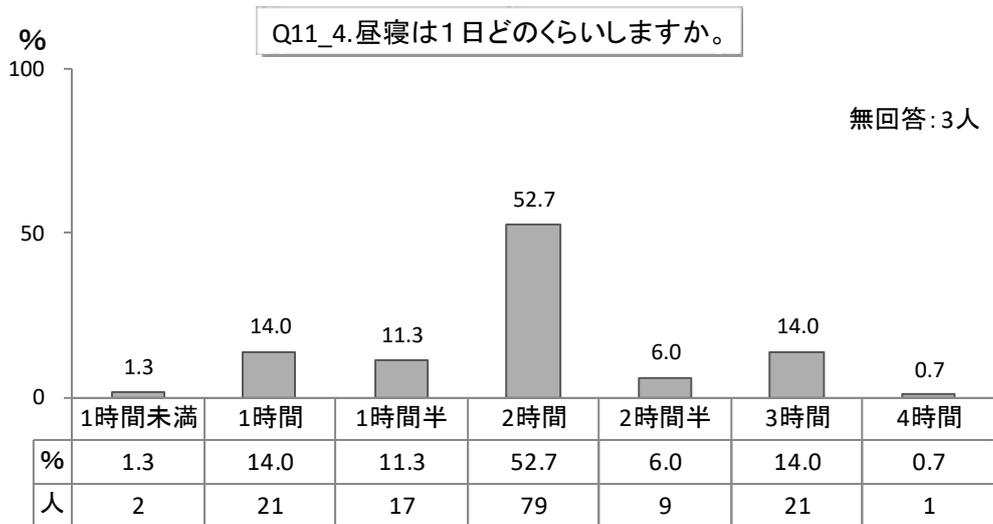
11-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時 () 分ころ



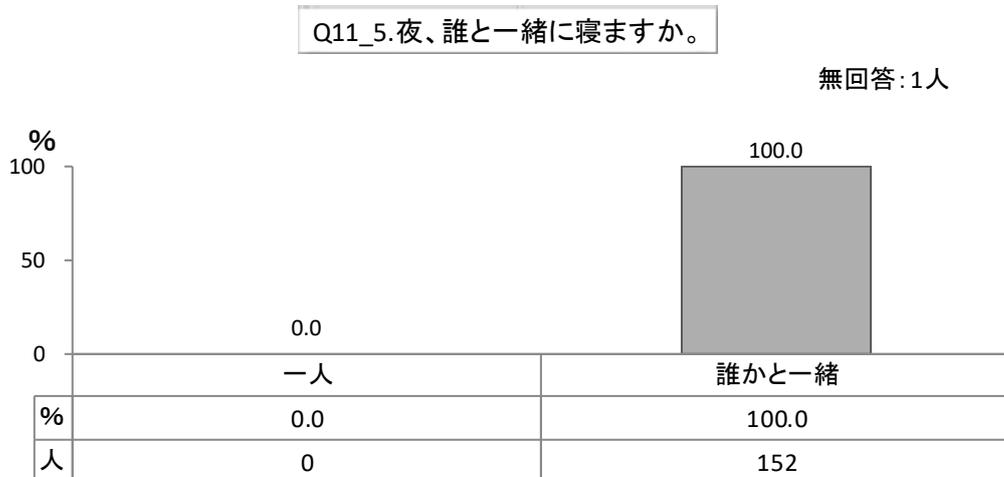
11-3. 昼寝を始める時間は何時ごろですか () 時 () 分ころ



11-4. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位

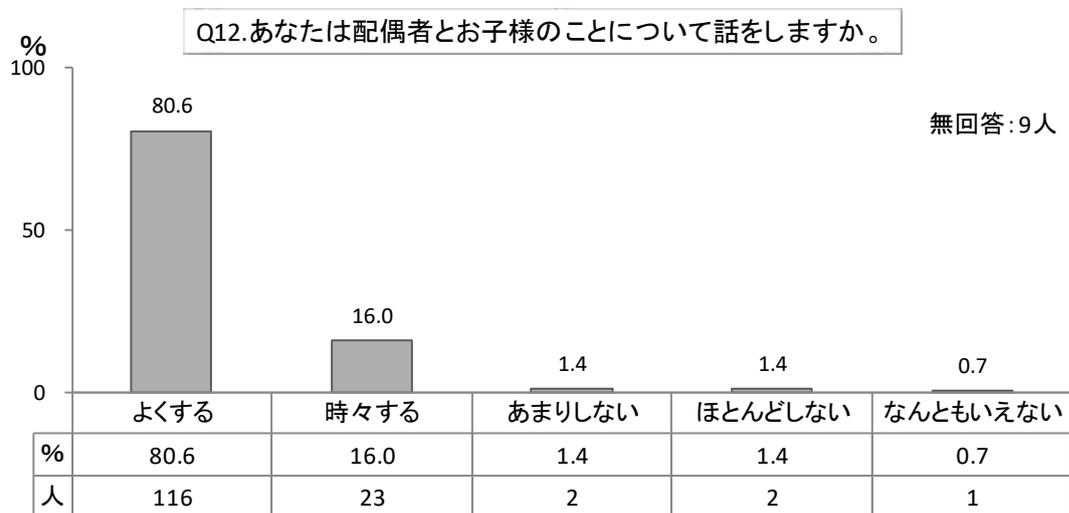


11-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰 :)



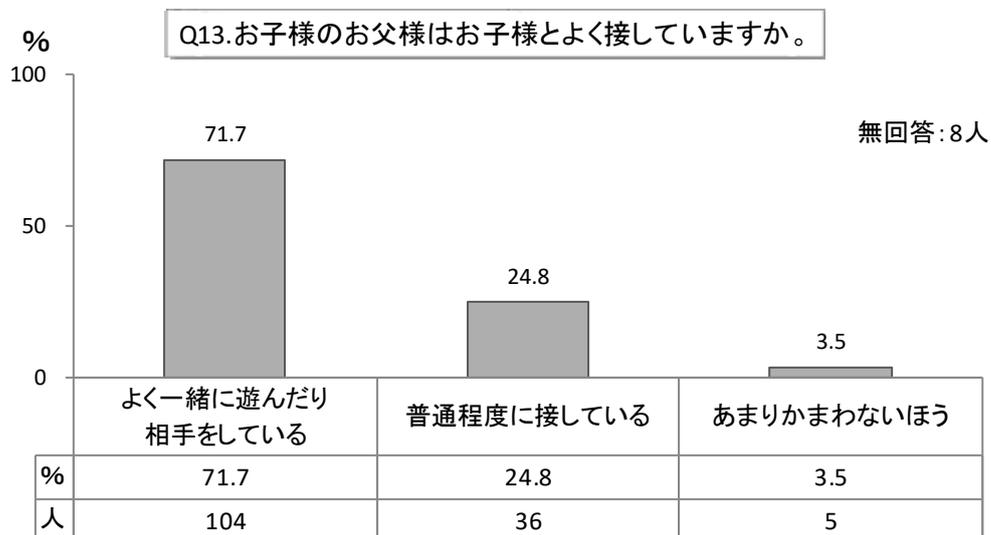
Q12. あなたは配偶者とお子様のことについて話をしますか。

1. よくする 2. 時々する 3. あまりしない
4. ほとんどしない 5. なんともいえない



Q13. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである



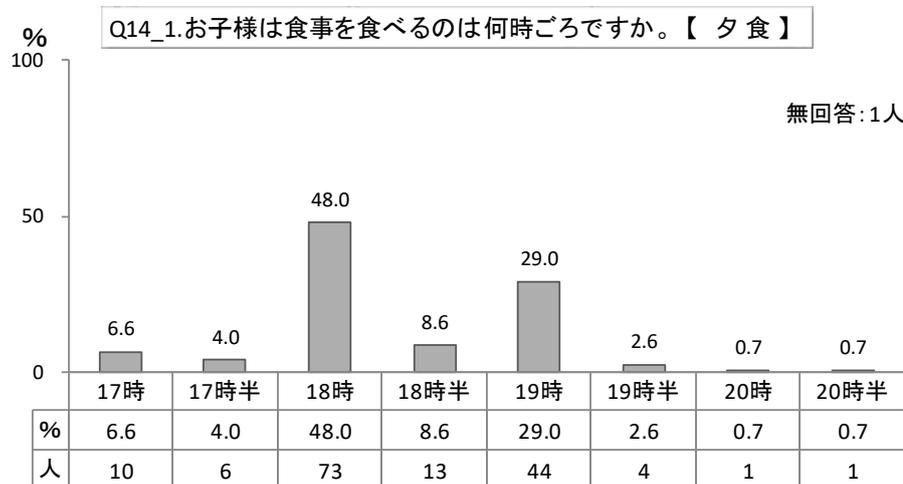
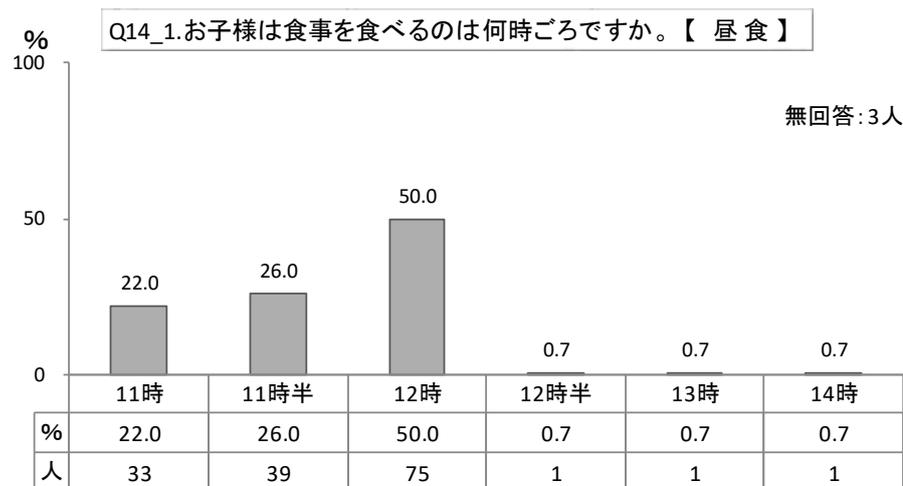
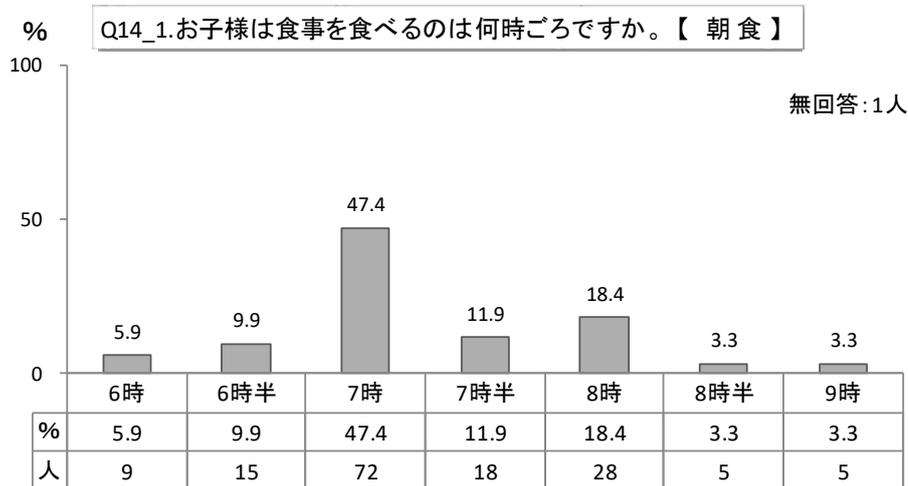
Q14. お子様の食事について伺います。

14-1. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか。平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

朝食 () 時 ころ

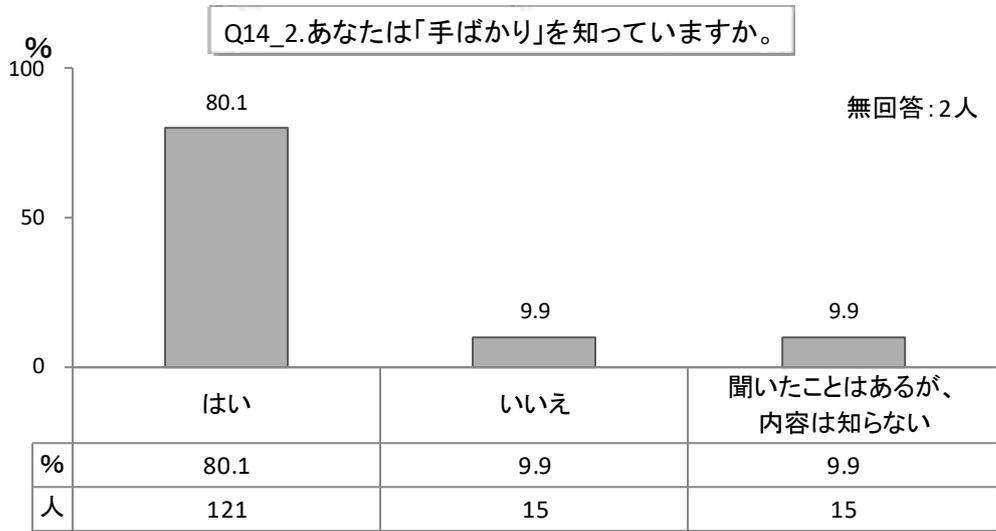
昼食 () 時 ころ

夕食 () 時 ころ



14-2. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

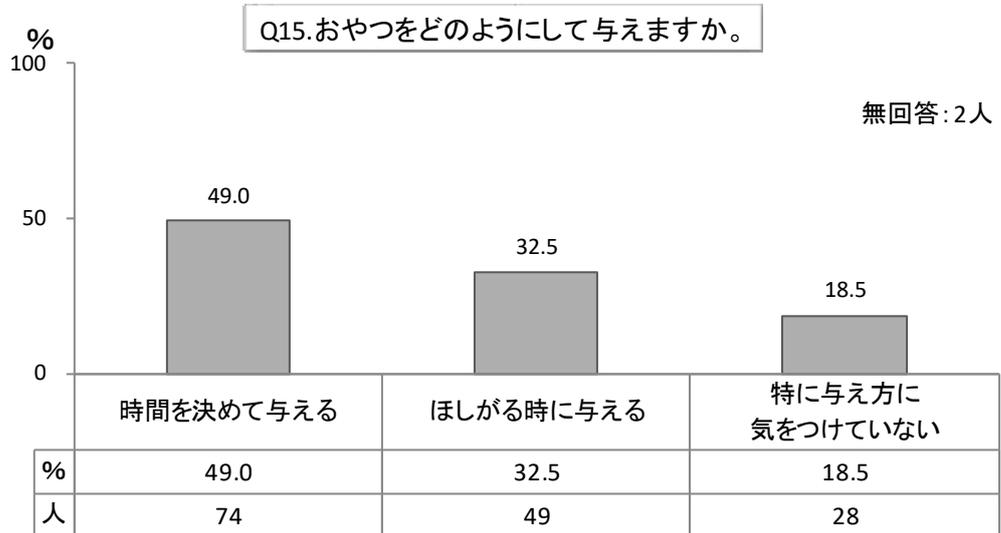
1. はい 2. いいえ 3. 聞いた事はあるが、内容は知らない



Q15. お子様のおやつ（食事以外のおかし、飲物、果物など）をどのようにして与えますか。

(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい。)

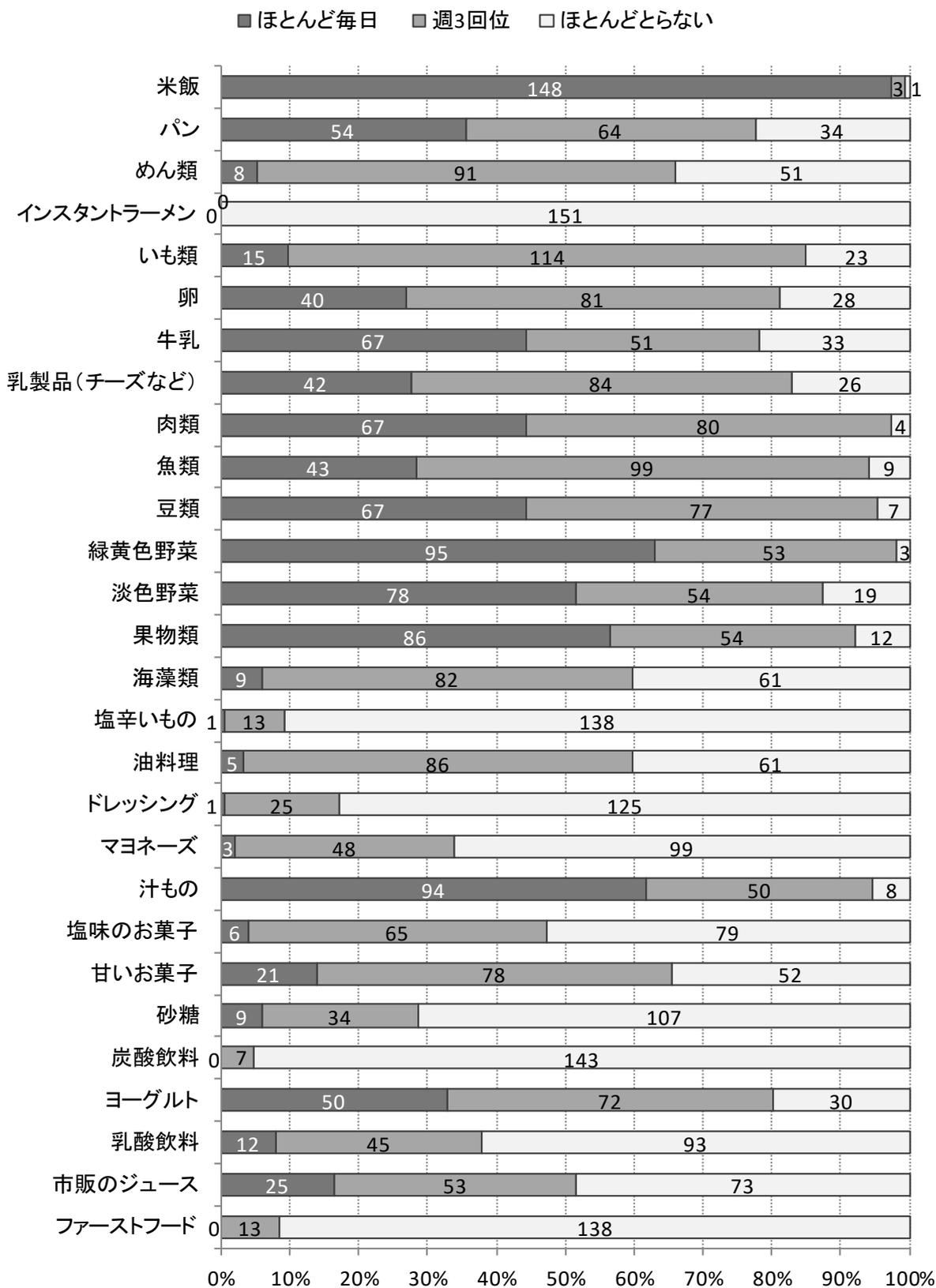
1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない



Q16.お子様の食事について、核当する番号に○をつけて下さい。

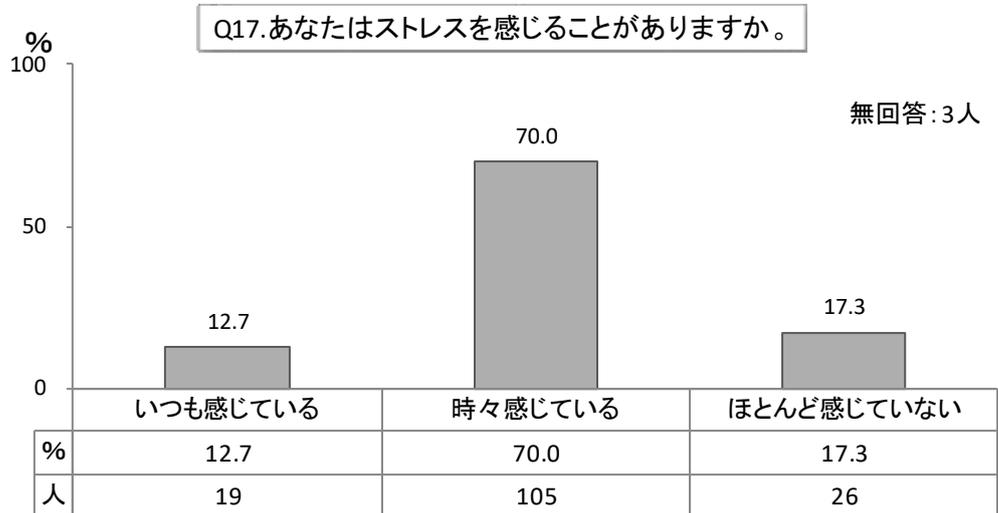
	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に入れる ものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q16.お子様の食事について該当する番号に○をつけて下さい。



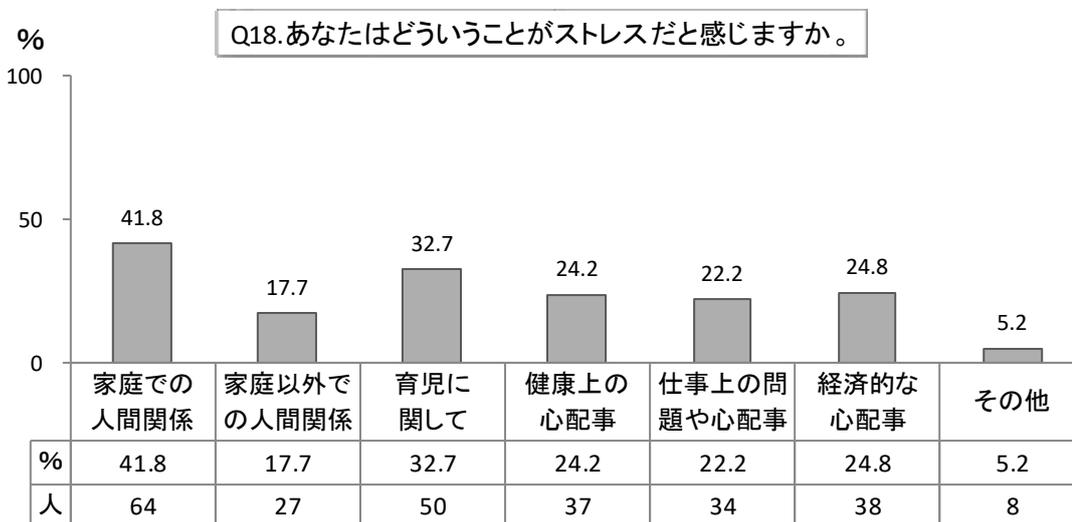
Q 17. あなたはストレスを感じることがありますか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じていない

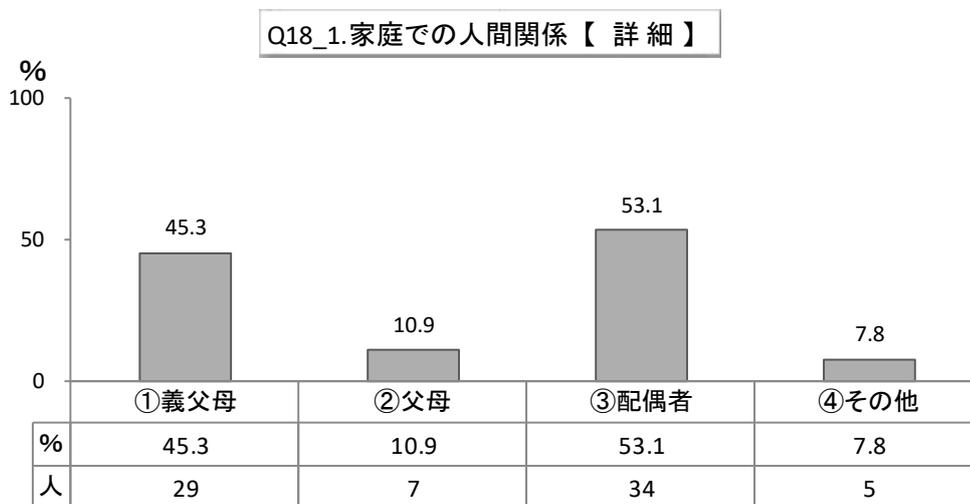


Q18. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることにすべてに○をつけてください。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

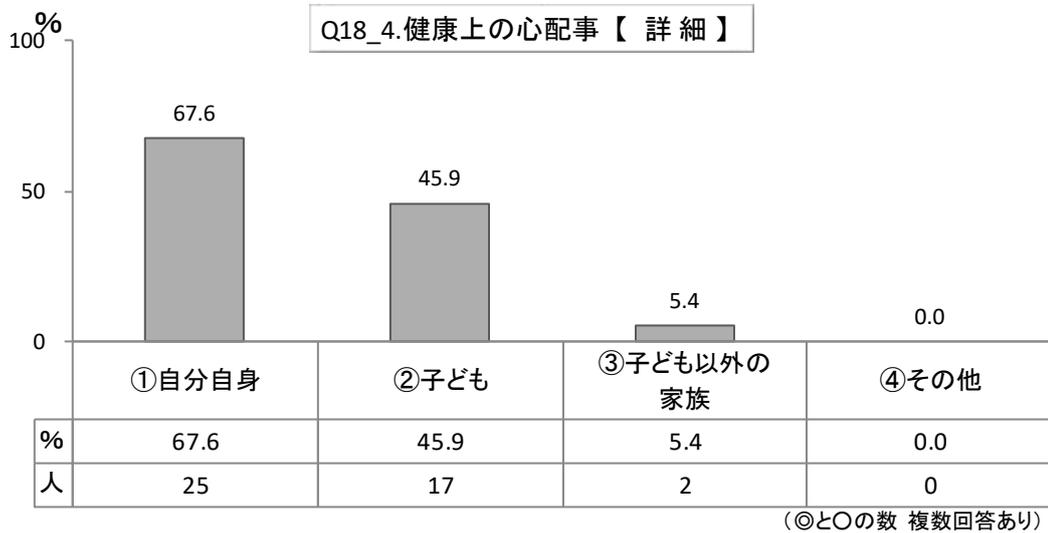
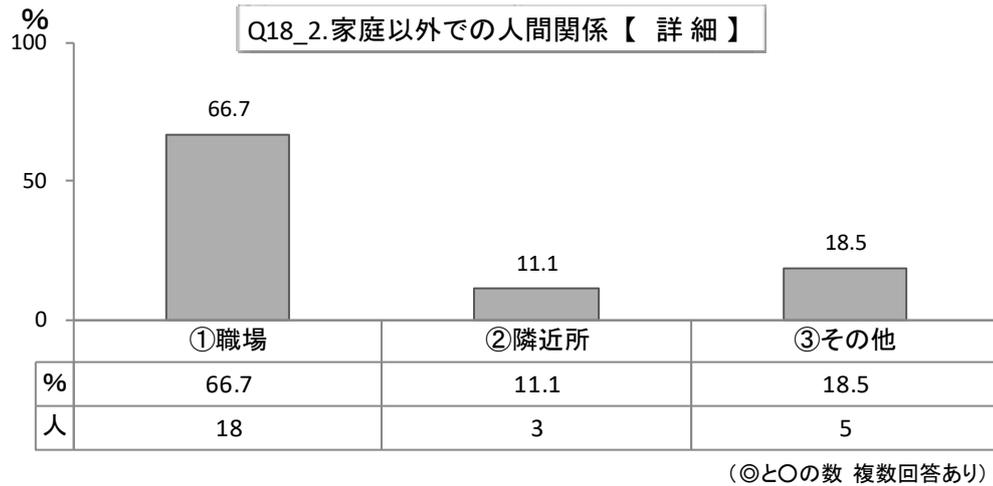
1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③配偶者
 - ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()



(◎と○の数 複数回答あり)

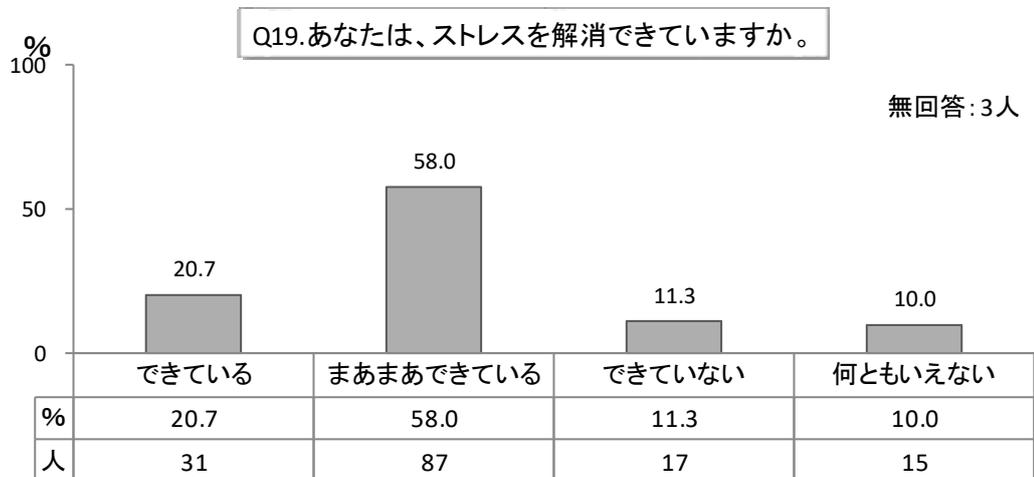


(◎と○の数 複数回答あり)



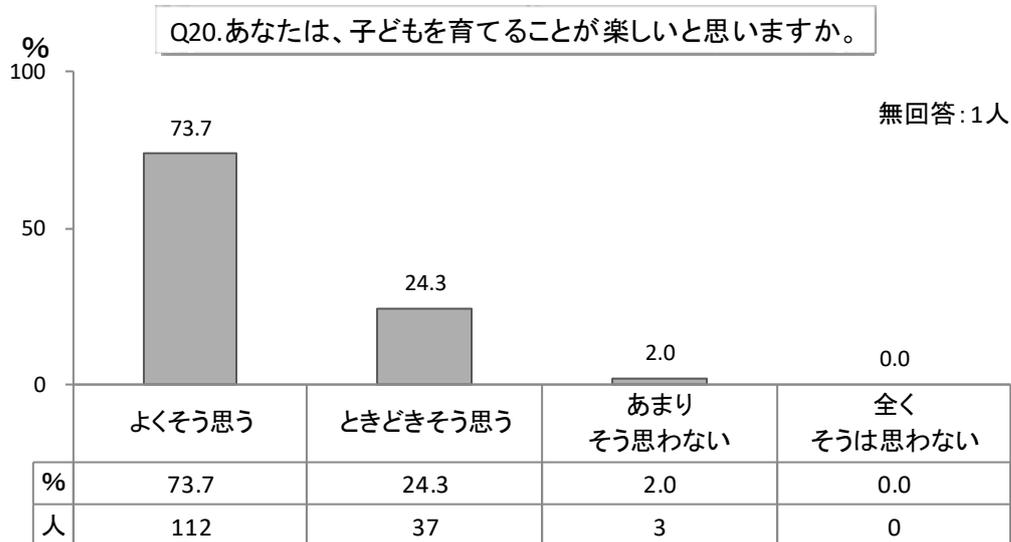
Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない



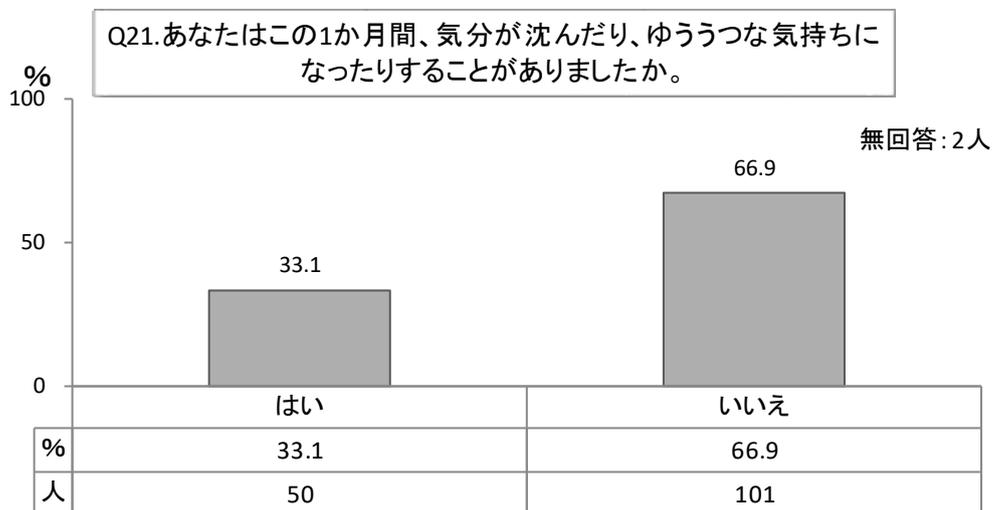
Q20. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそう思わない
4. 全くそうは思わない



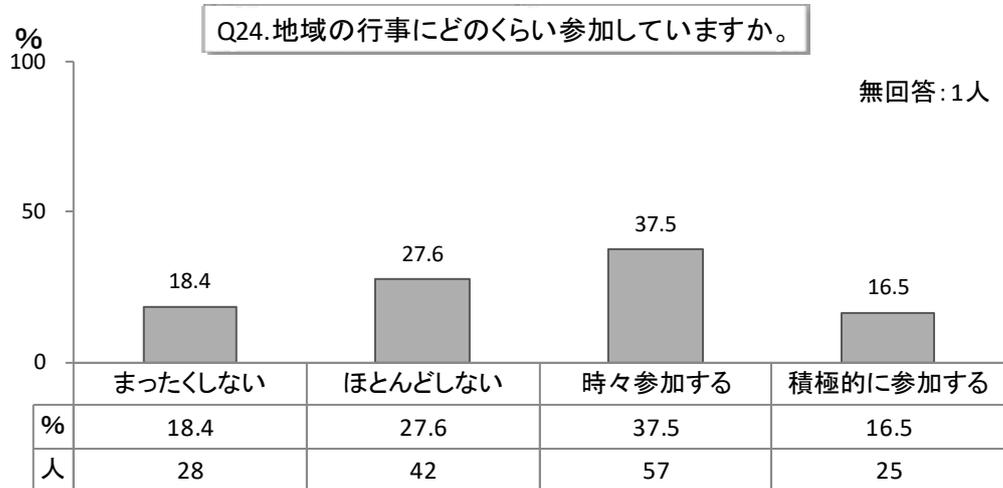
Q21. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

1. はい
2. いいえ



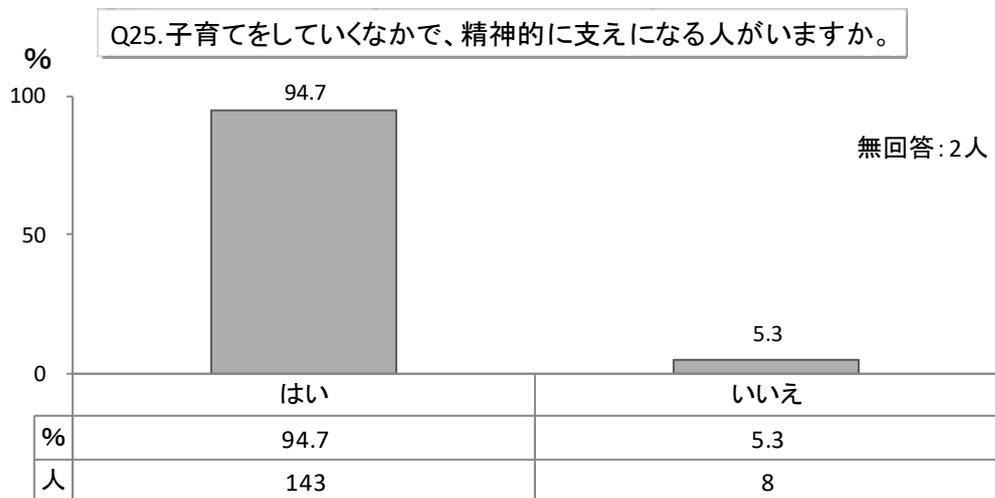
Q24. 地域の行事（区や組の行事）にどのくらい参加していますか。

- 1. まったくしない
- 2. ほとんどしない
- 3. 時々参加する
- 4. 積極的に参加する



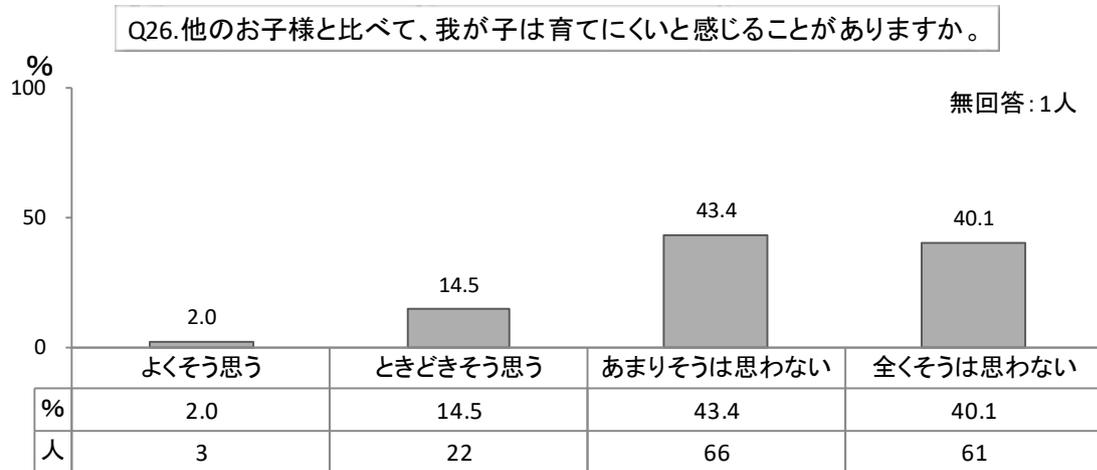
Q25. 子育てをしていくなかで、あなたにとって誰か精神的に支えになる人がいますか。

- 1. はい
- 2. いいえ



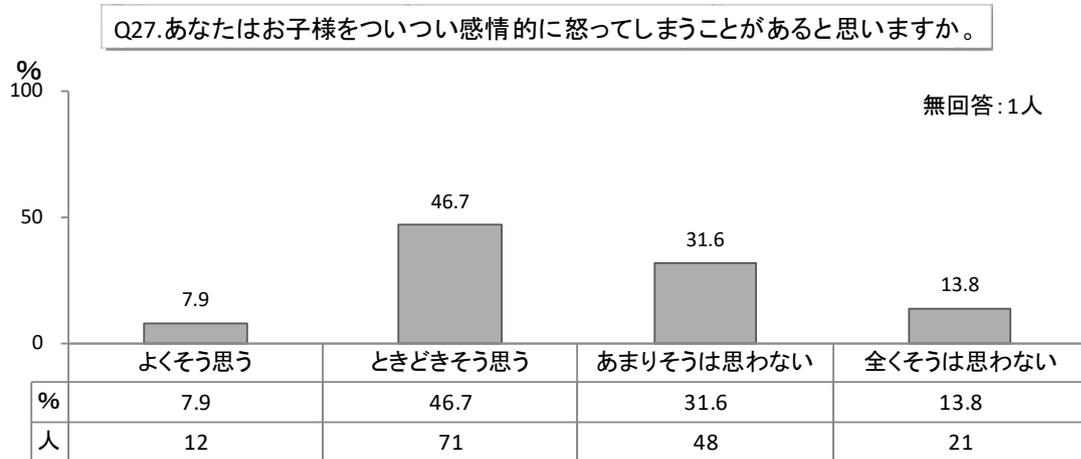
Q26. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない



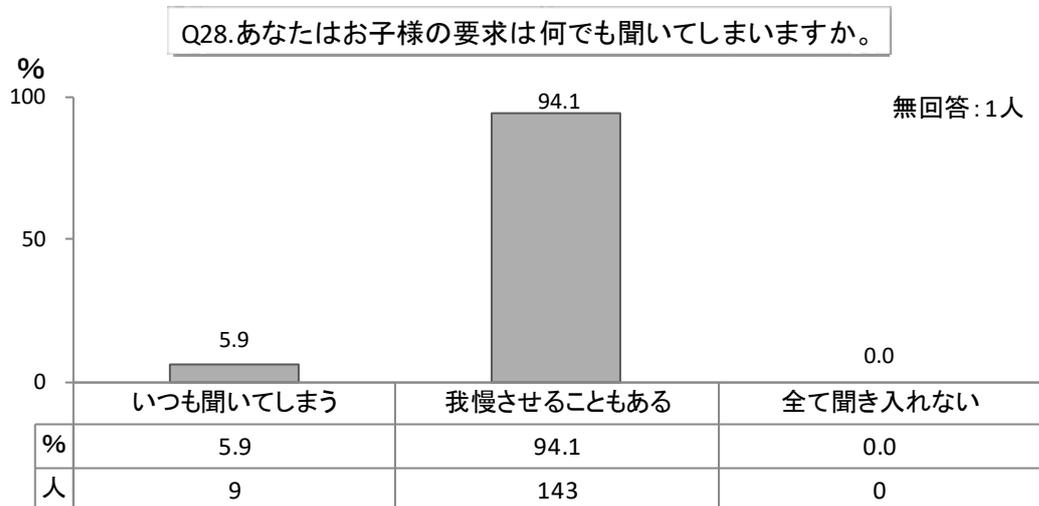
Q27. あなたはお子様をついつい感情的に怒ってしまうことがあると思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない



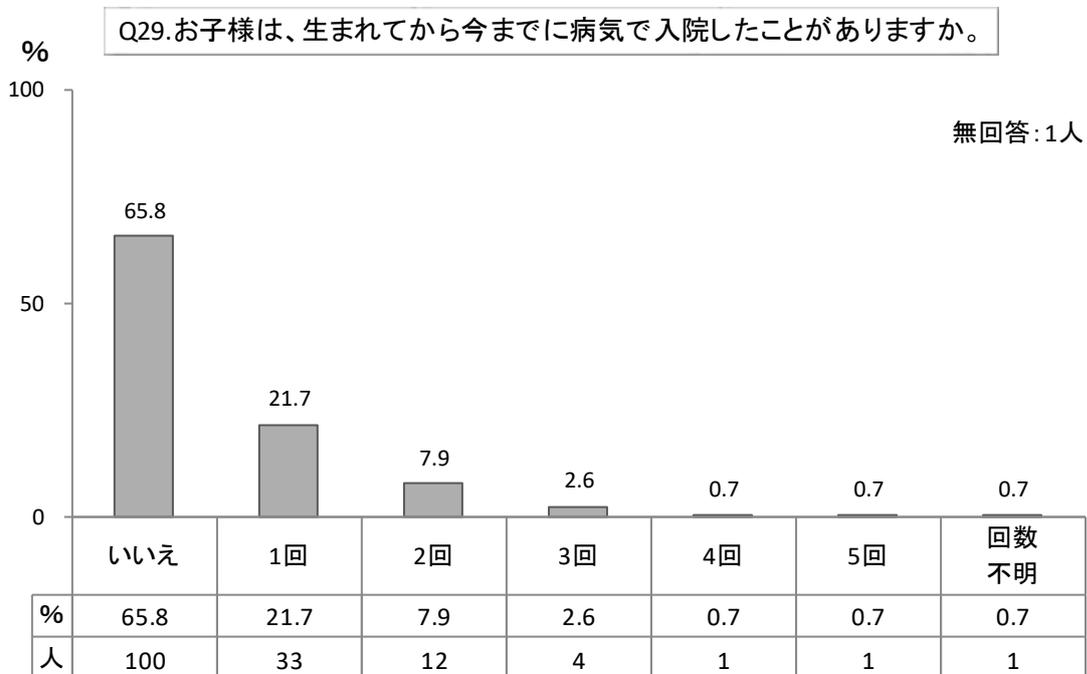
Q28. あなたはお子様の要求は何でも聞いてしまいますか。

1. いつも聞いてしまう
2. 我慢させることもある
3. 全て聞き入れない



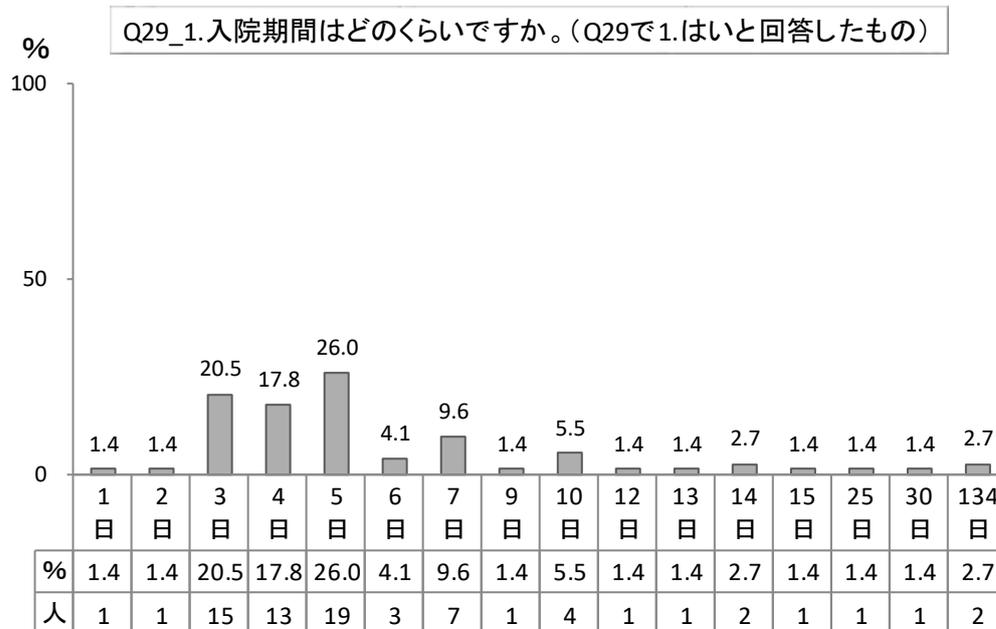
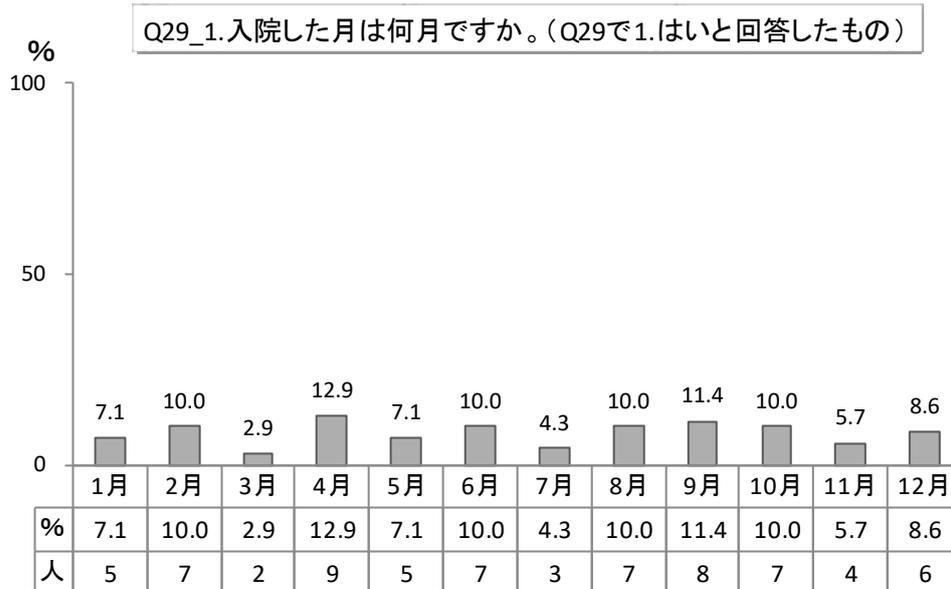
Q29. お子様は、生まれてから今までに病気で入院したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ



29-1. 上記で「1. はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入ください。

	1回目	2回目	3回目
入院年月日	年 月 日頃	年 月 日頃	年 月 日頃
入院期間	(日間)	(日間)	(日間)
病名	()	()	()
医療機関名	()	()	()



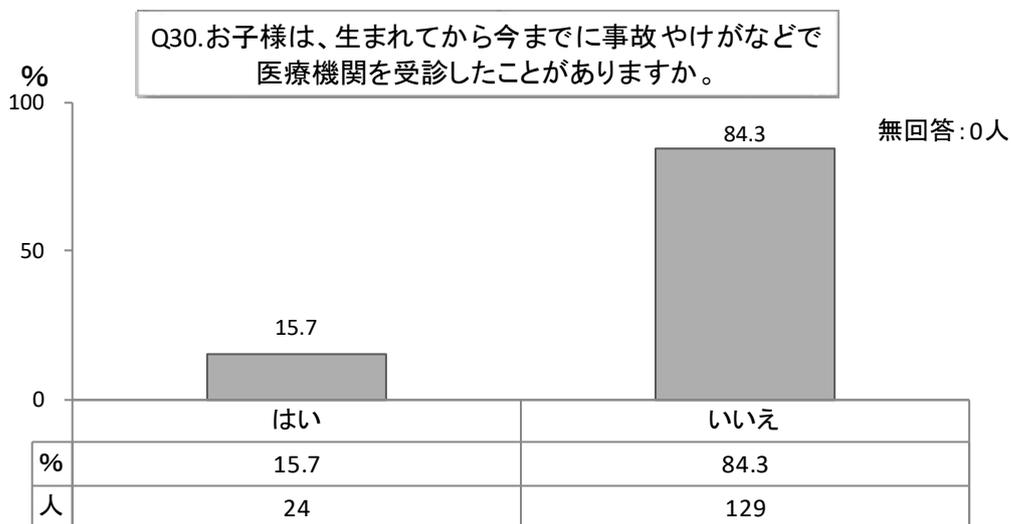
IV. 調査結果 (2.1歳6ヶ月児健診時)

入院病名	人
RSウイルス	16
肺炎	10
川崎病	5
気管支炎	4
熱性けいれん	4
胃腸炎	3
ヒトメタニューモウイルス	2
ロタウイルス	2
気管支肺炎	2
気管支喘息	2
早産	2
尿路感染症	2
発熱	2
風邪	2
アレルギー	1
クループ	1
ノロウイルス	1
一過性多呼吸	1
黄疸	1
呼吸不全	1
徐脈	1
消化管出血	1
新生児黄疸	1
鼠径ヘルニア手術	1
多指症手術	1
中耳炎	1
突発性発疹	1
尿膜帯遺残	1
哺乳過多	1
不明	1

Q30. お子様は、生まれてから今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。

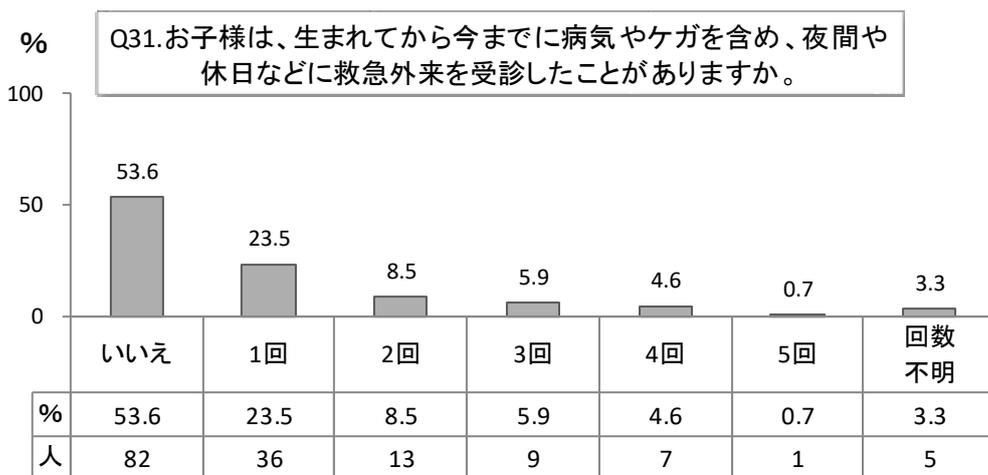
(注：タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどをした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含まれます。)

1. はい
2. いいえ



Q31. お子様は、生まれてから今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ



31-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
()	()
()	()
()	()
()	()

救急病名	人
発熱	22
風邪	21
インフルエンザ	7
突発性発疹	6
胃腸炎	5
RSウイルス	4
熱傷	4
クループ症候群	3
ヘルパンギーナ	3
蕁麻疹	3
ウイルス性胃腸炎	2
咽頭結膜熱	2
気管支炎	2
誤飲	2
熱性けいれん	2
発疹	2
ロタウイルス	1
外傷	1
咳嗽	1
血便	1
後頸部腫脹	1
口腔内外傷	1
歯牙外傷	1
手足口病	1
川崎病	1
脱臼	1
頭部切創	1
頭部打撲	1
肺炎	1
便異常	1
卵アレルギー	1
裂創	1
嘔吐	1

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、ご自由にお書きください。



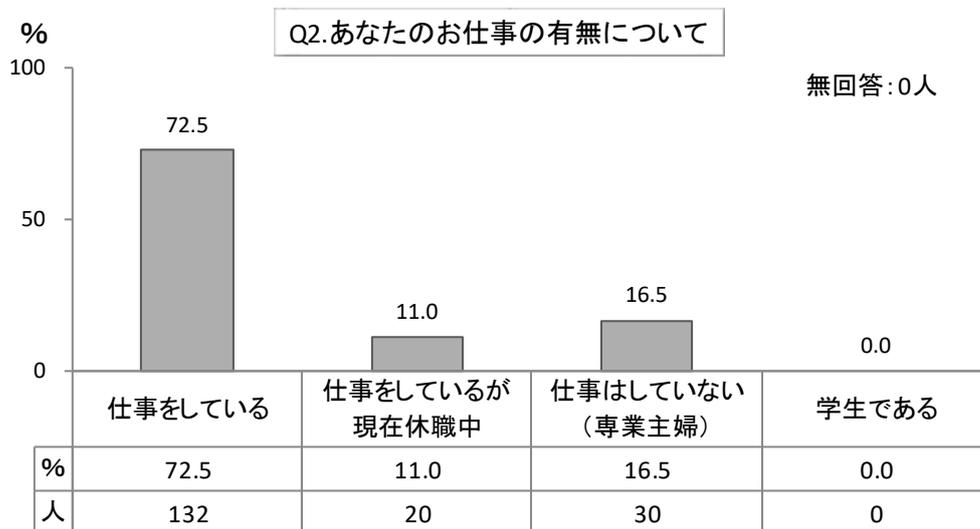
以上です。ご協力ありがとうございました。

IV-3.3 歳児健診時

Ⅳ. 調査結果 (3.3 歳児健診時)

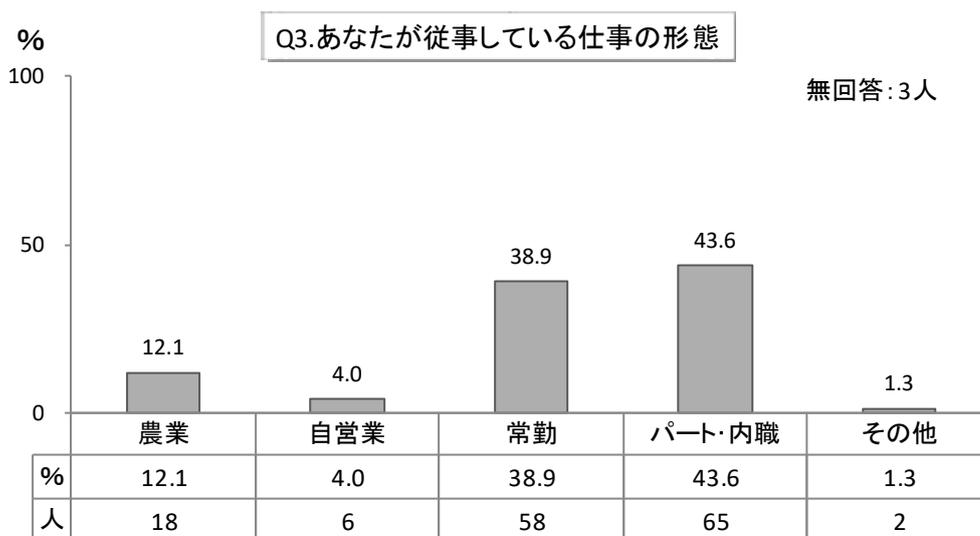
Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選び下さい。

- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
 - 4. 学生である
- 3. 4. と答えた方は
Q4. へお進みください

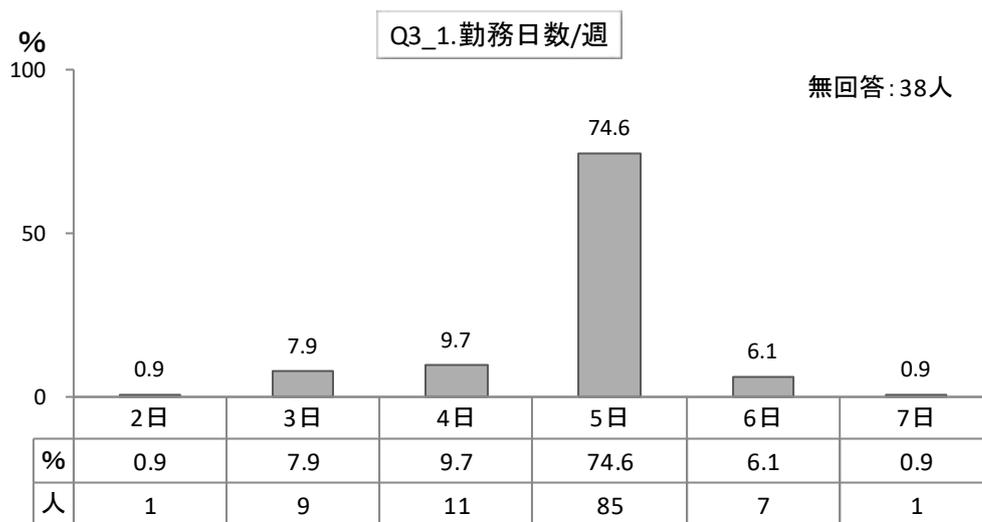
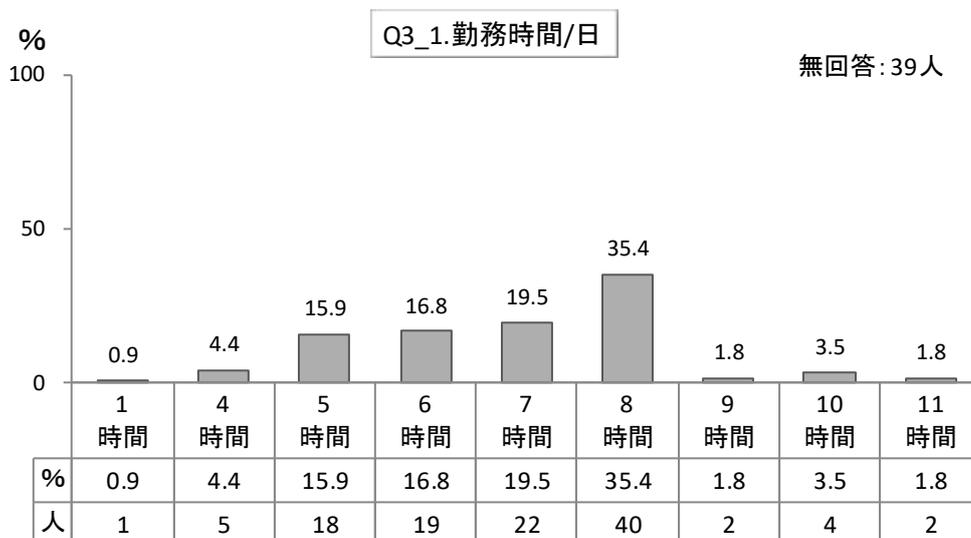


Q3. あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選び下さい。

- 1. 農業
- 2. 自営業
- 3. 常勤
- 4. パート・内職
- 5. その他 ()

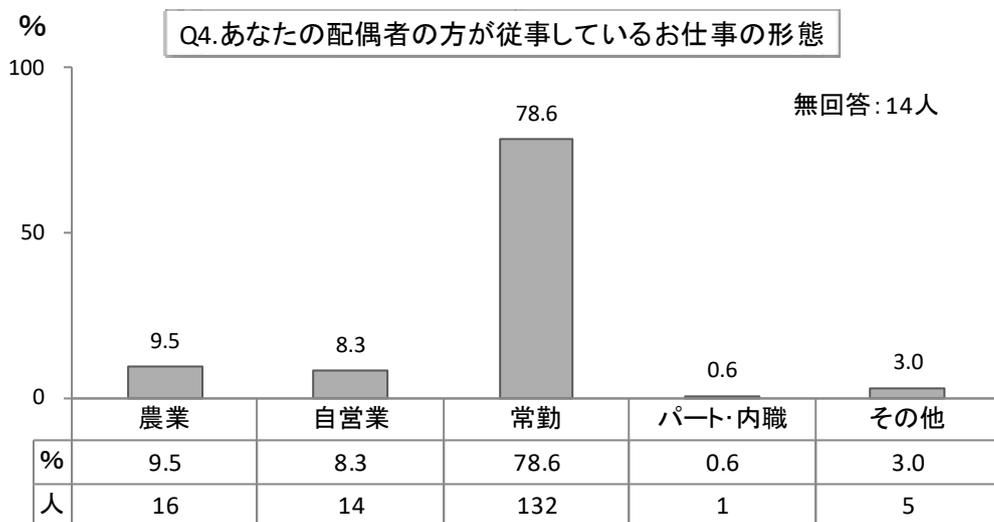


3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

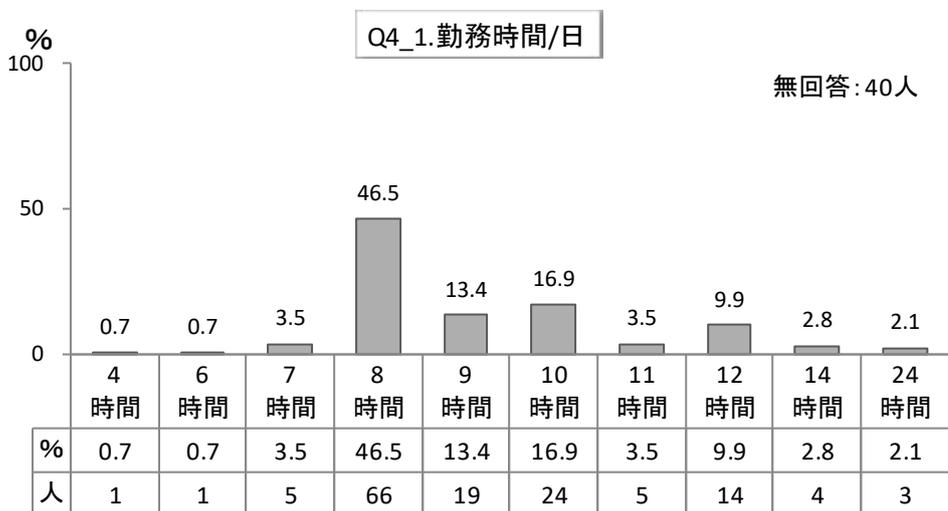


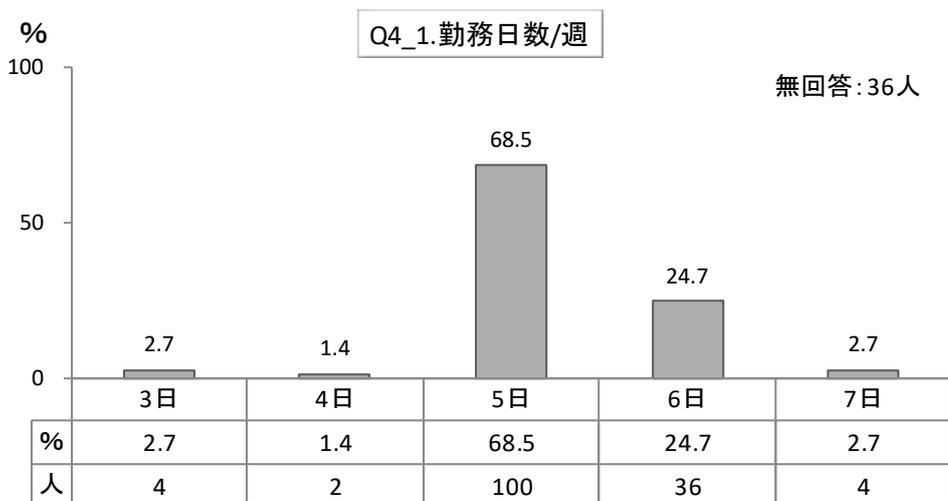
Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選び下さい。

1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
5. その他 ()

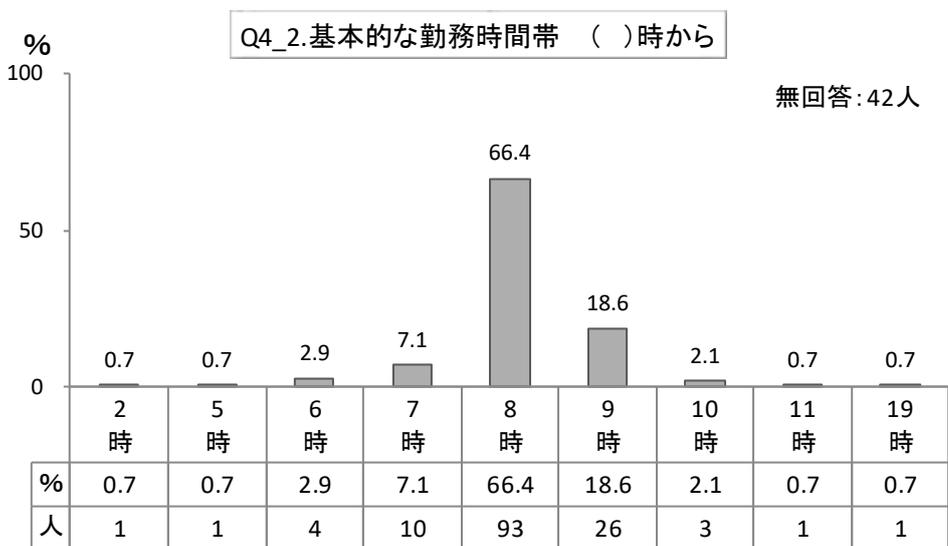


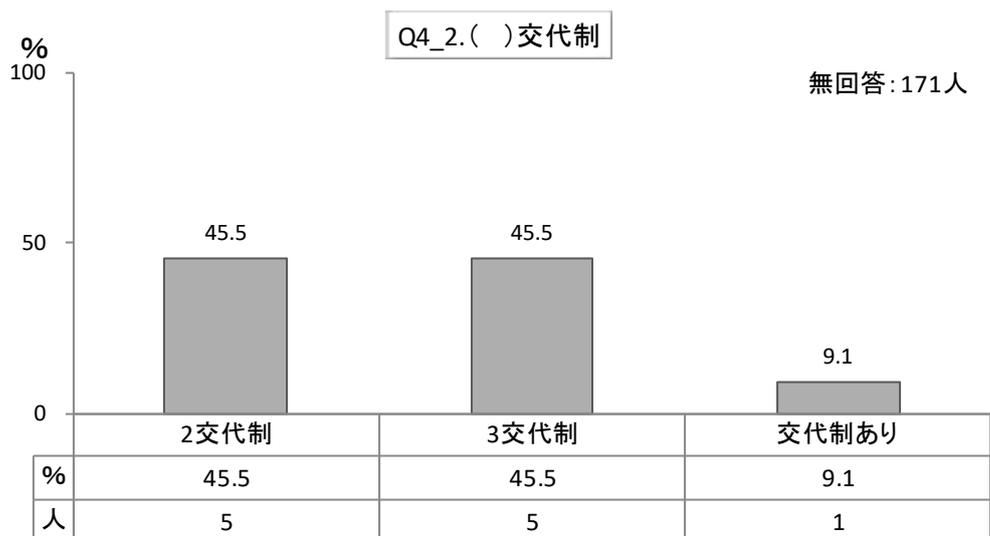
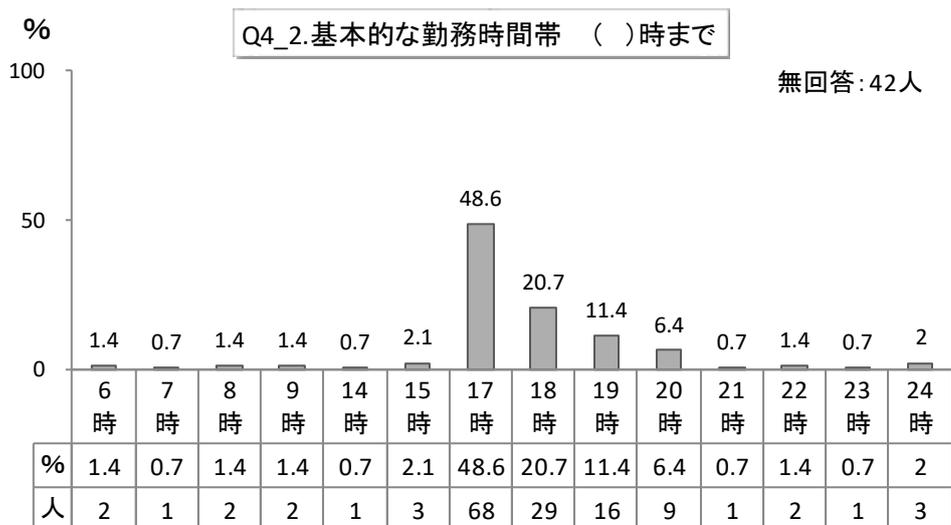
4-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務





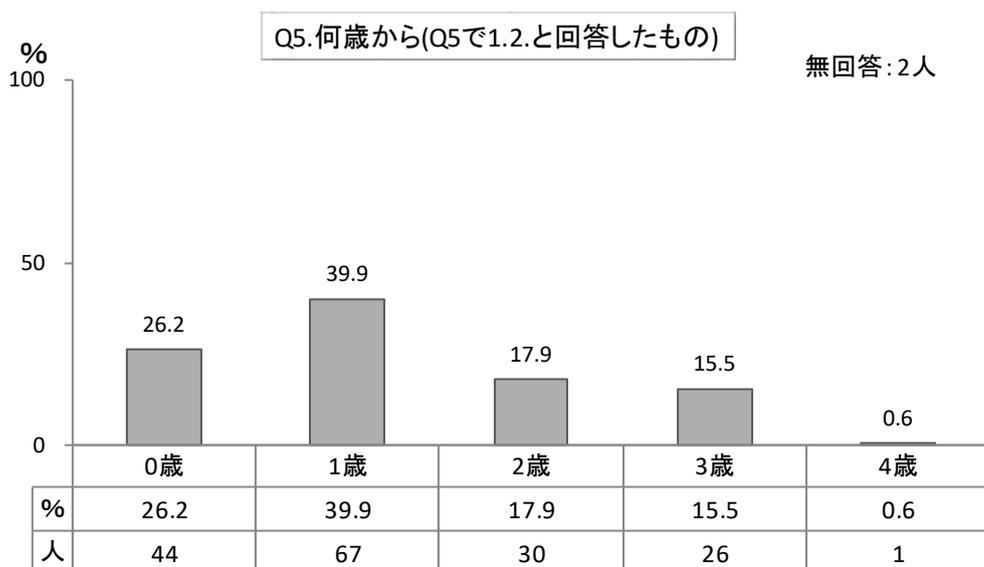
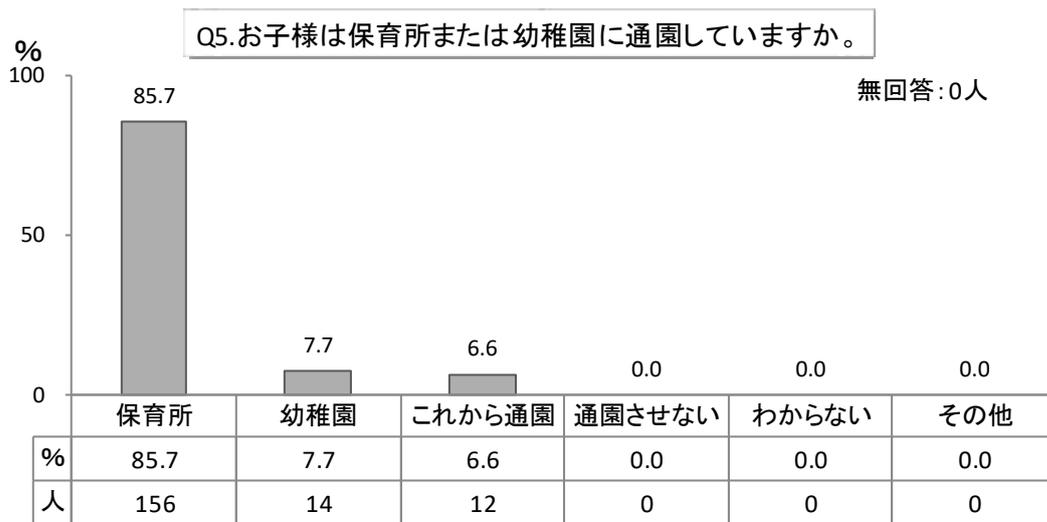
4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。 () 時～ () 時 () 交代制





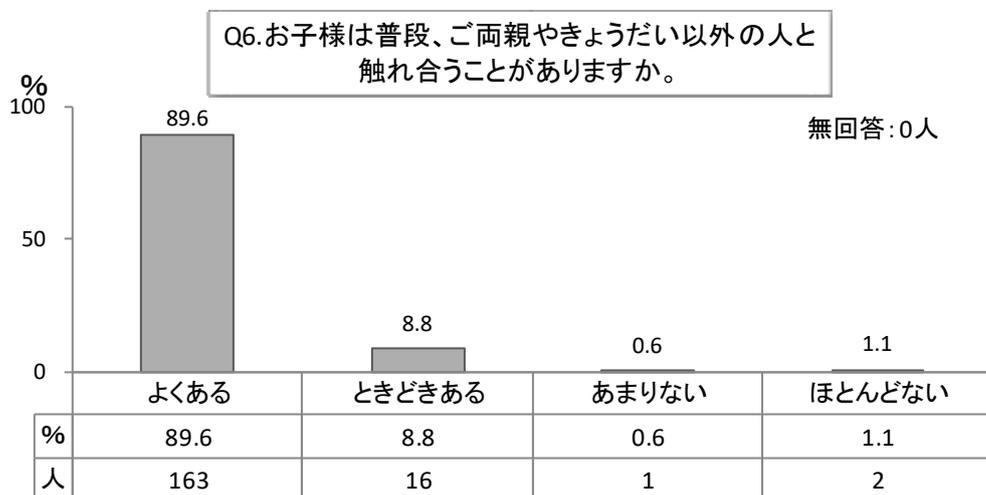
Q5. お子様は保育所または幼稚園に通園していますか。

1. 保育所に通園している (歳から)
2. 幼稚園に通園している (歳から)
3. 通園していないが、これから通園させたい (歳から)
4. ずっと通園させないつもりである
5. わからない／なんともいえない
6. その他



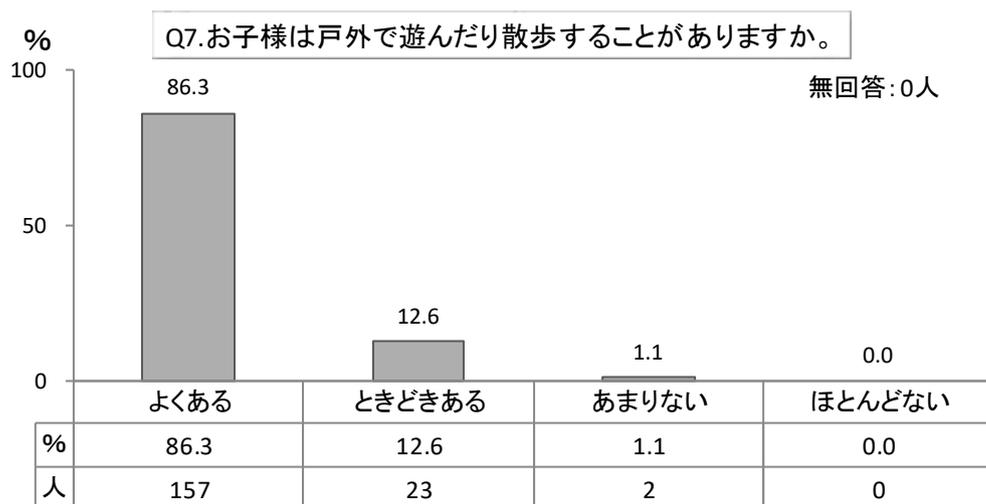
Q6. お子様は普段、ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない



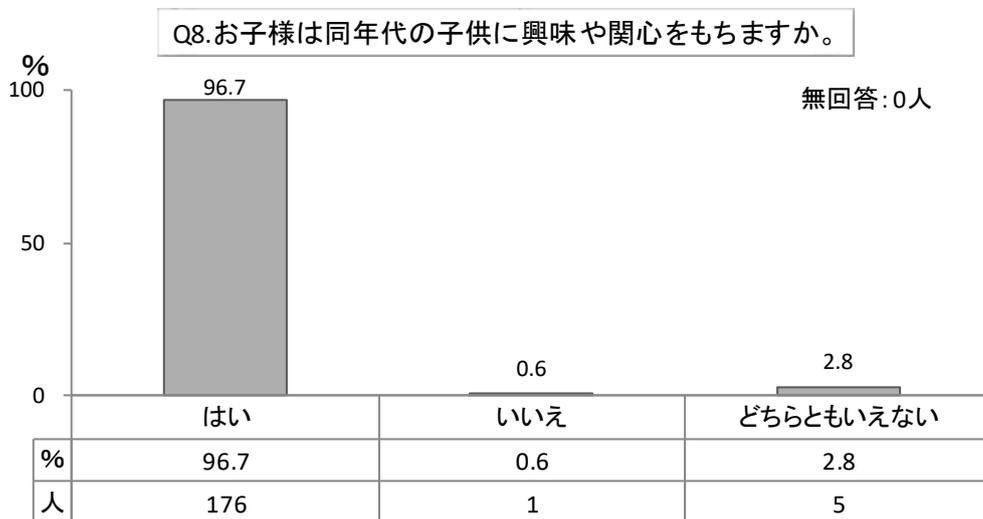
Q7. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない



Q8. お子様は同年代の子どもに興味や関心を持ちますか。

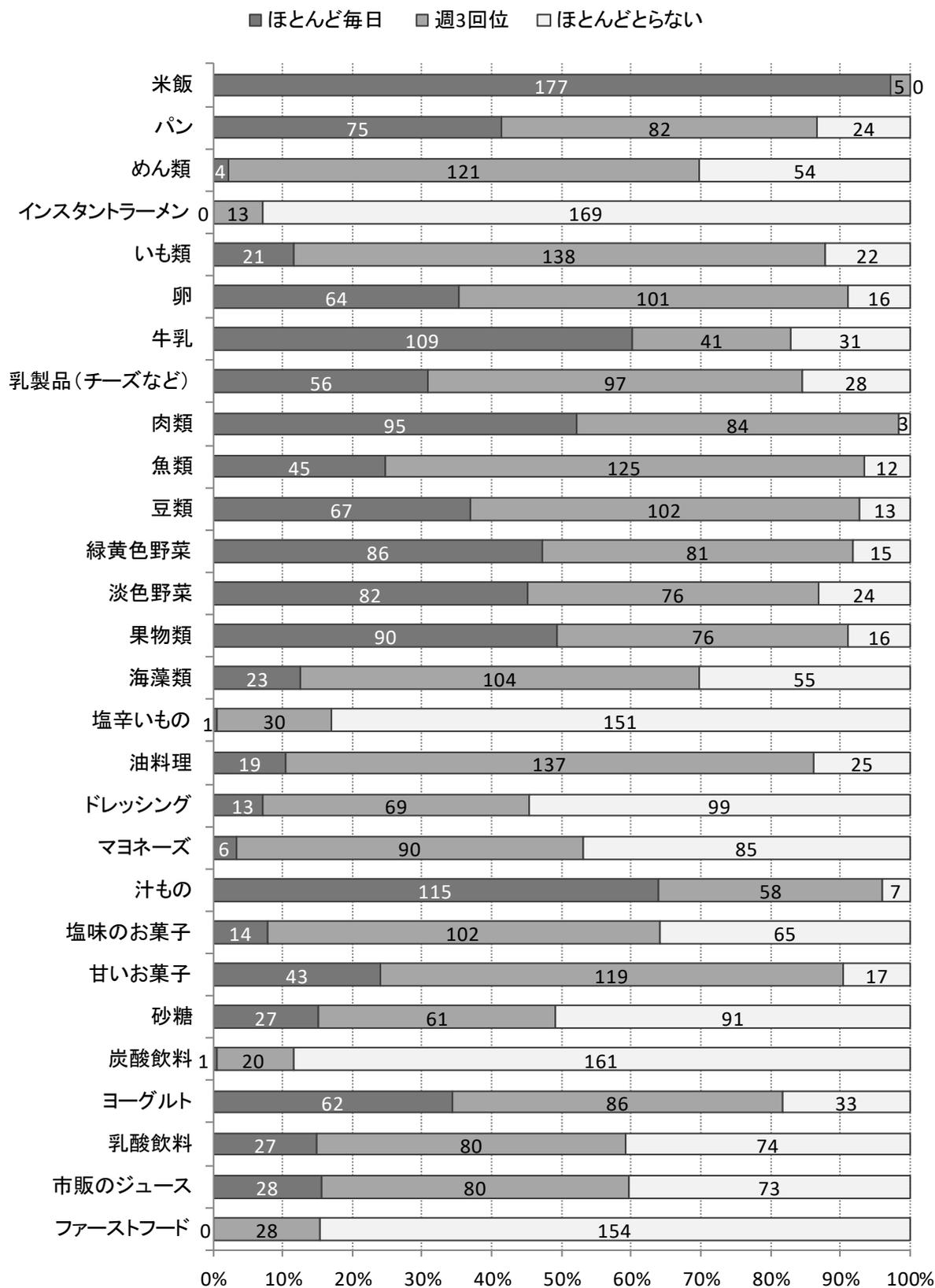
1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



Q9. お子様の食事について、該当する番号に○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

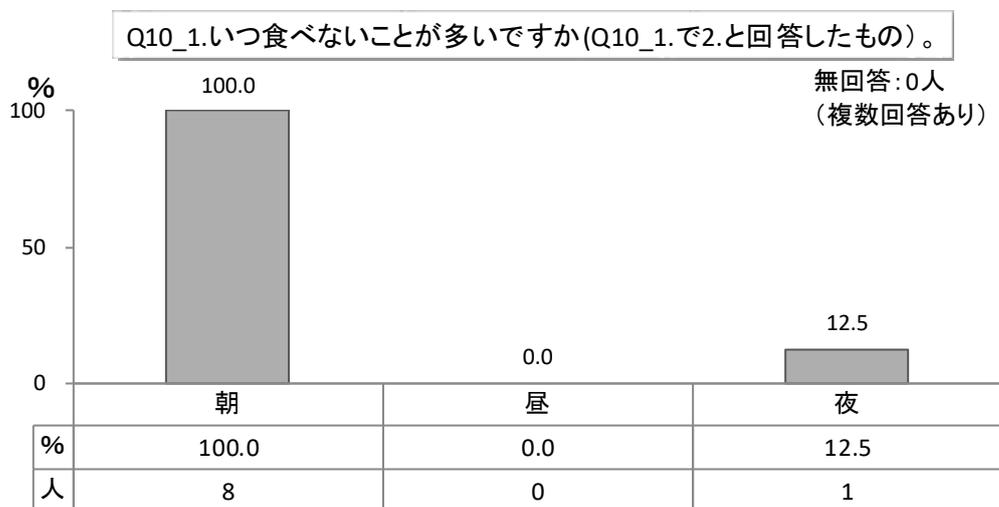
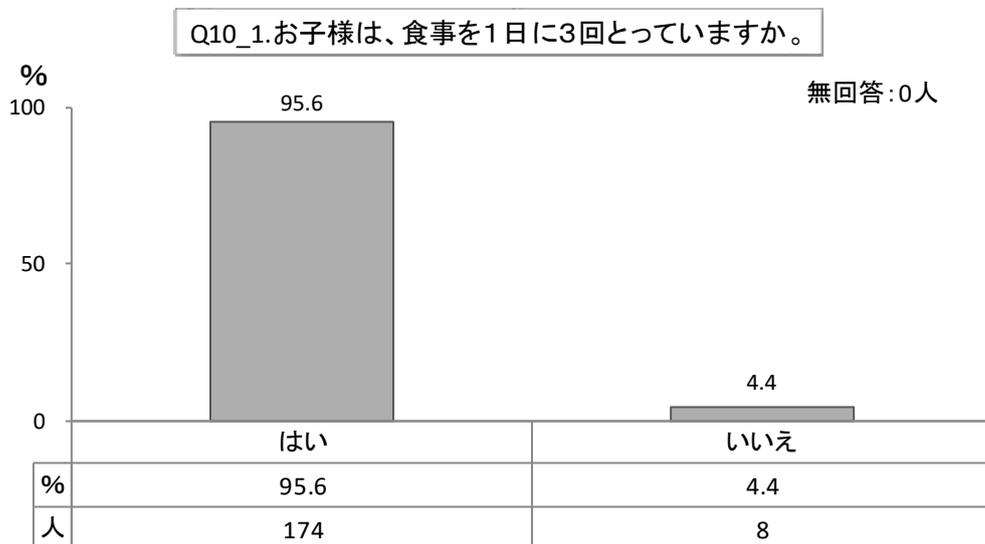
Q9.お子様の食事について該当する番号に○をつけて下さい。



Q10. お子様の食事について伺います。

10-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

1. はい
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか： 朝 ・ 昼 ・ 夜)

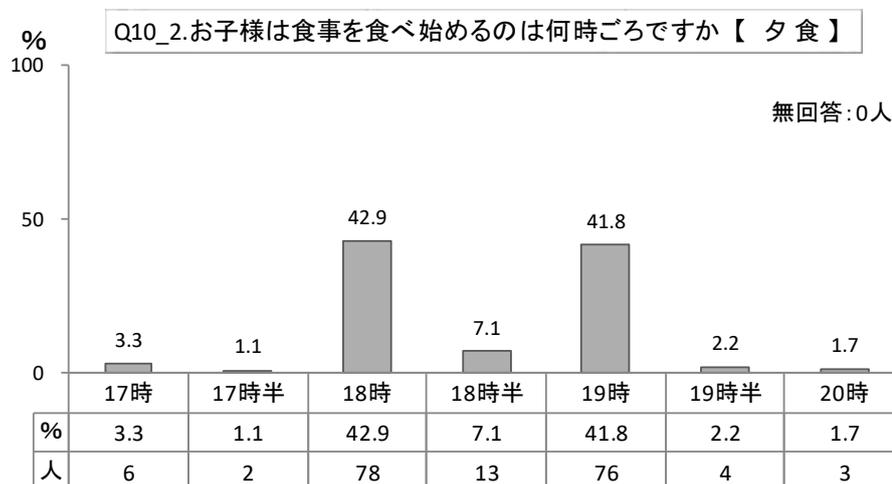
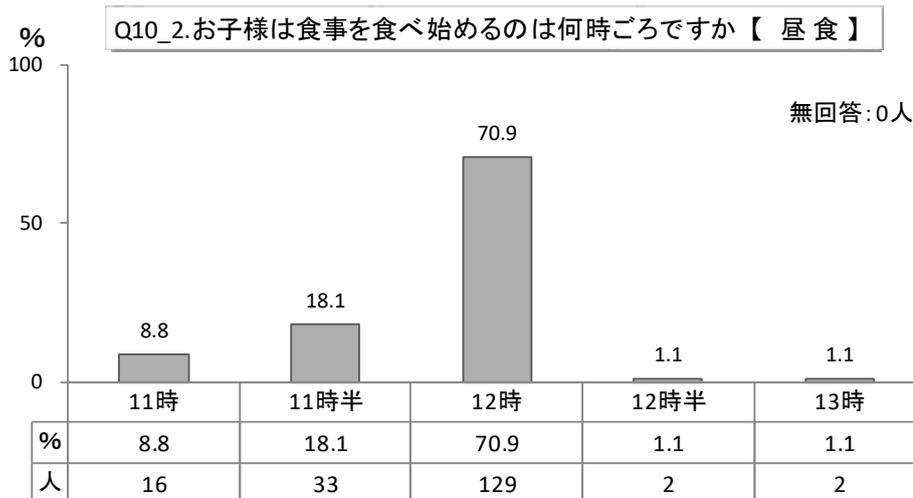
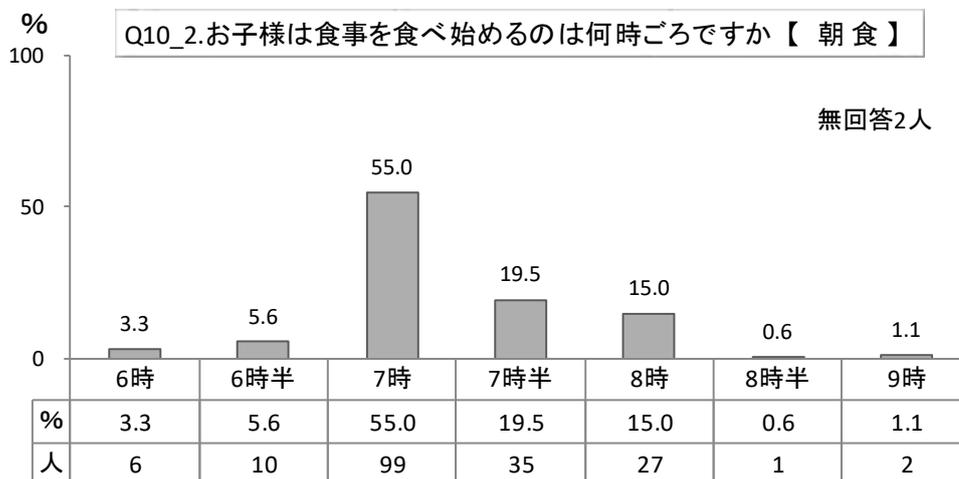


10-2. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べ始めるのは何時ごろですか。平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

朝食 () 時 ころ

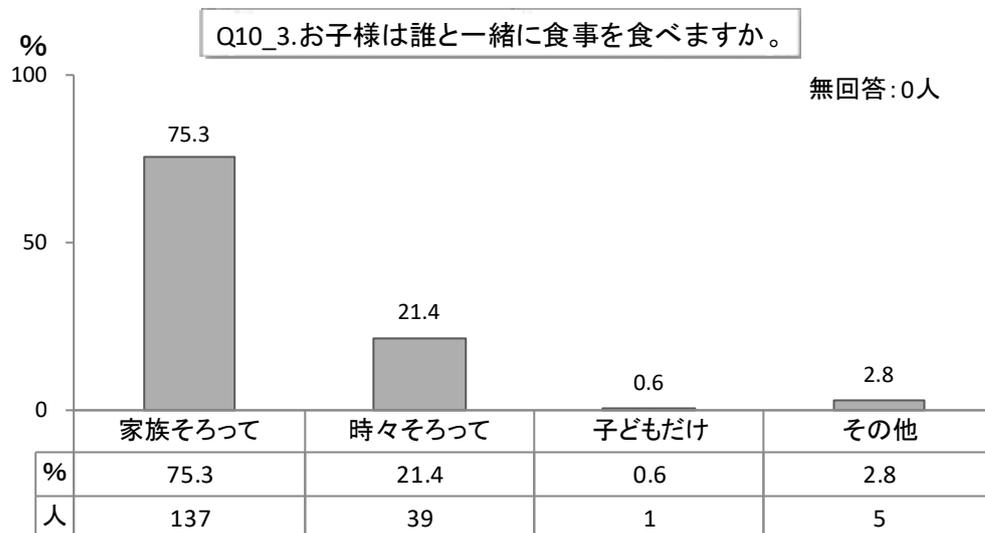
昼食 () 時 ころ

夕食 () 時 ころ



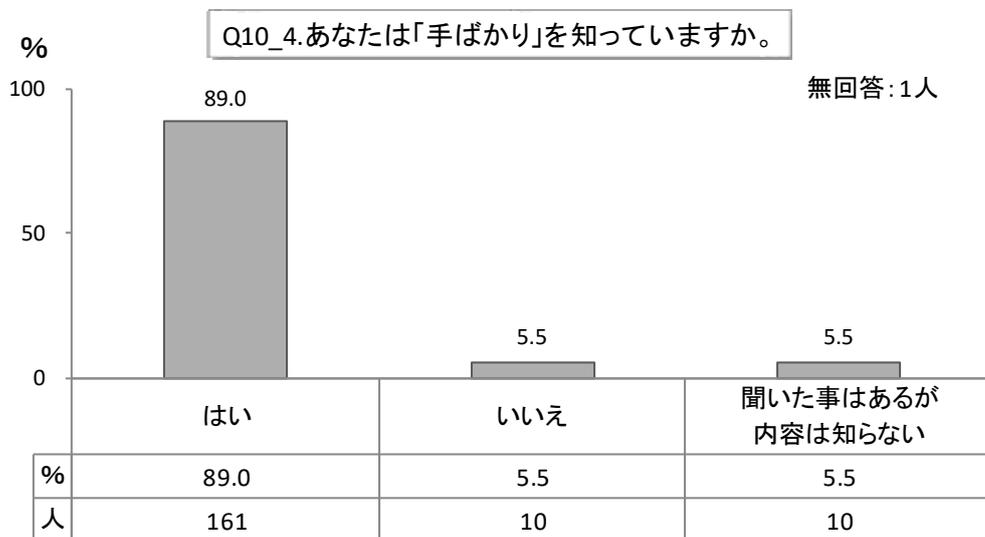
10-3. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

- 1. だいたい家族そろって
- 2. 時々家族そろって
- 3. だいたい子どもだけ
- 4. その他 ()



10-4. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

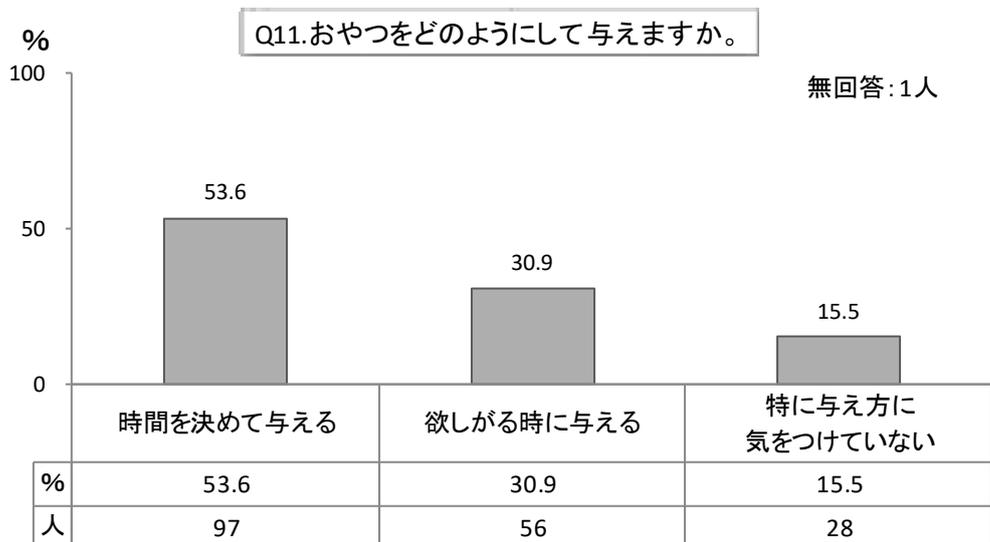
1. はい 2. いいえ 3. 聞いた事はあるが、内容は知らない



Q11. お子様のおやつ（食事以外のおかし、飲物、果物など）はどのようにして与えますか。

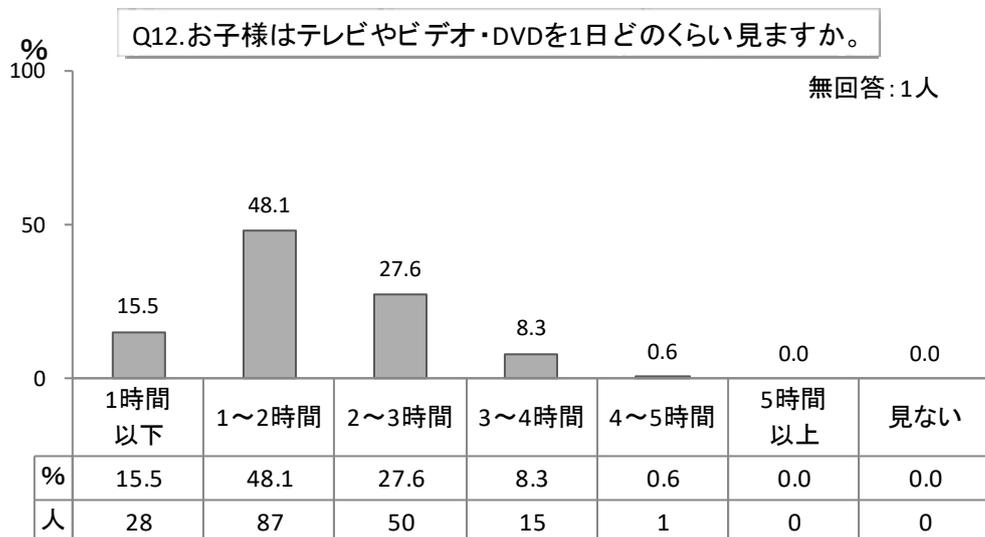
(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない



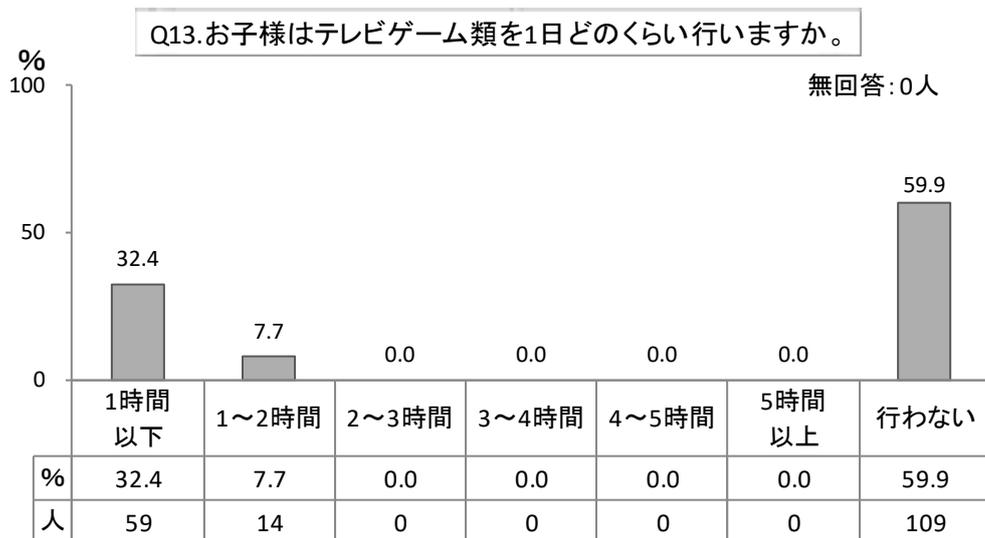
Q12. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

1. 1時間以下 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間
 5. 4～5時間 6. 5時間以上 7. 見ない



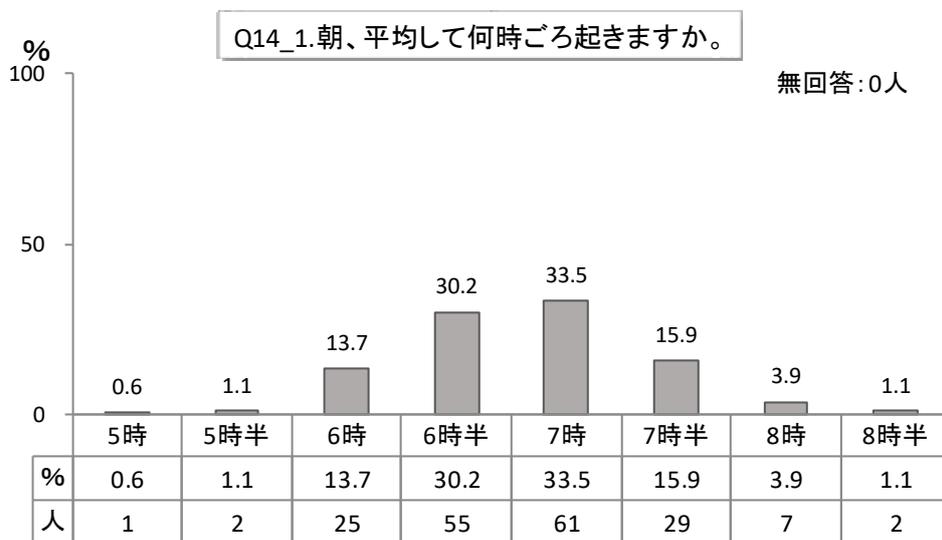
Q13. お子様はテレビゲーム類 (ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピューターゲーム等も含む)を一日どのくらい行いますか。

1. 1時間以下 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間
 5. 4～5時間 6. 5時間以上 7. 行わない

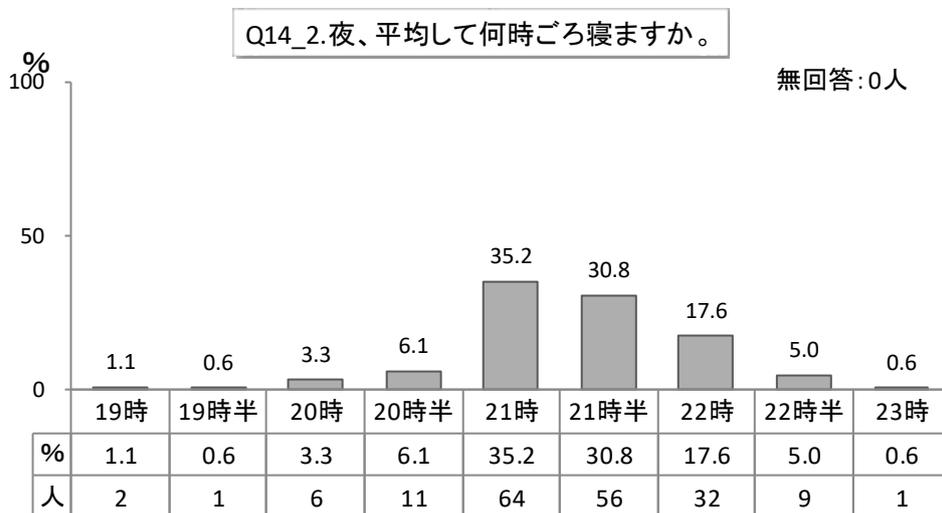


Q14. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

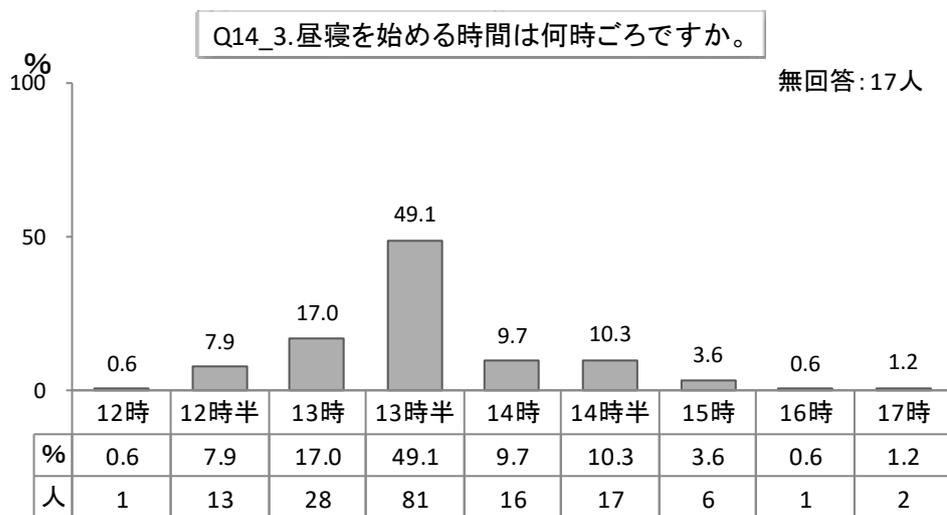
14-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時 () 分ころ



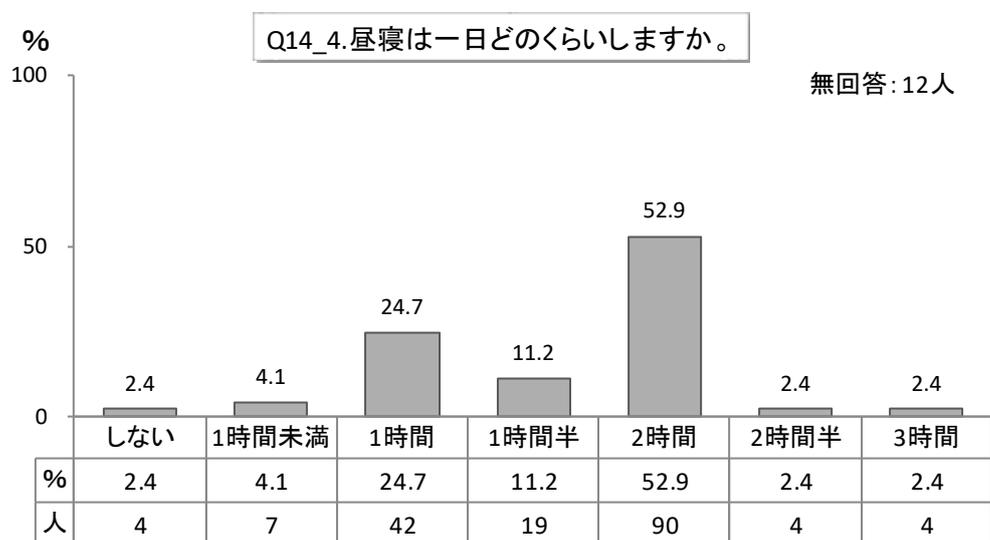
14-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時 () 分ころ



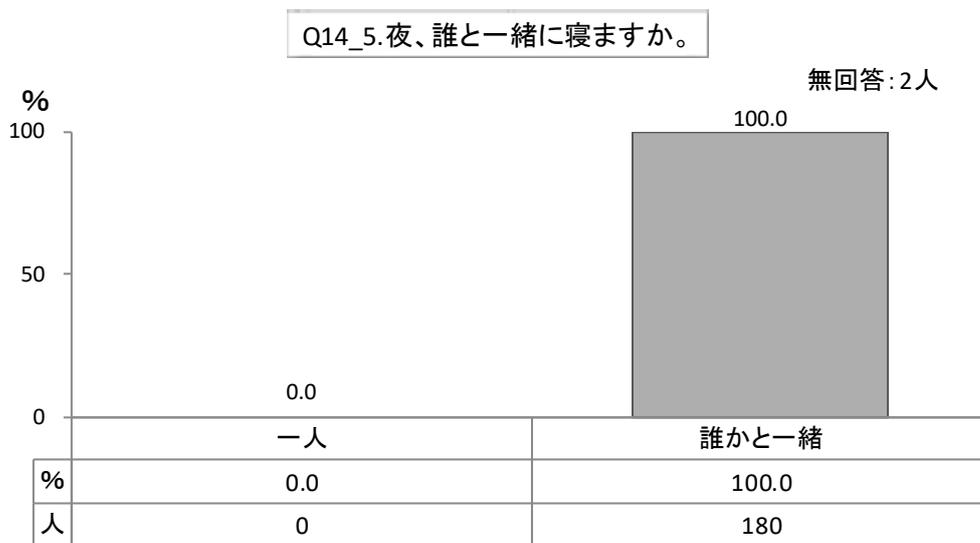
14-3. 昼寝を始める時間は何時ごろですか () 時 () 分ころ



14-4. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位

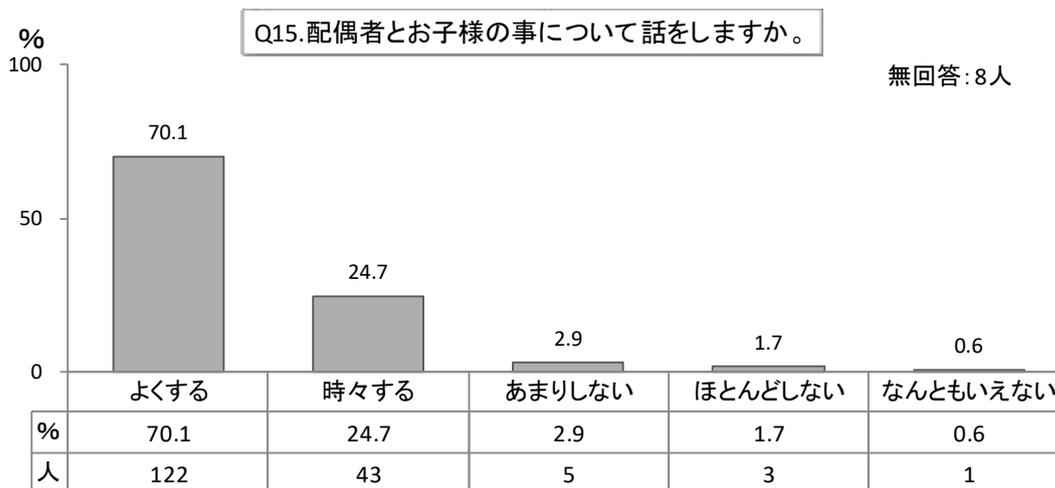


14-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰 :)



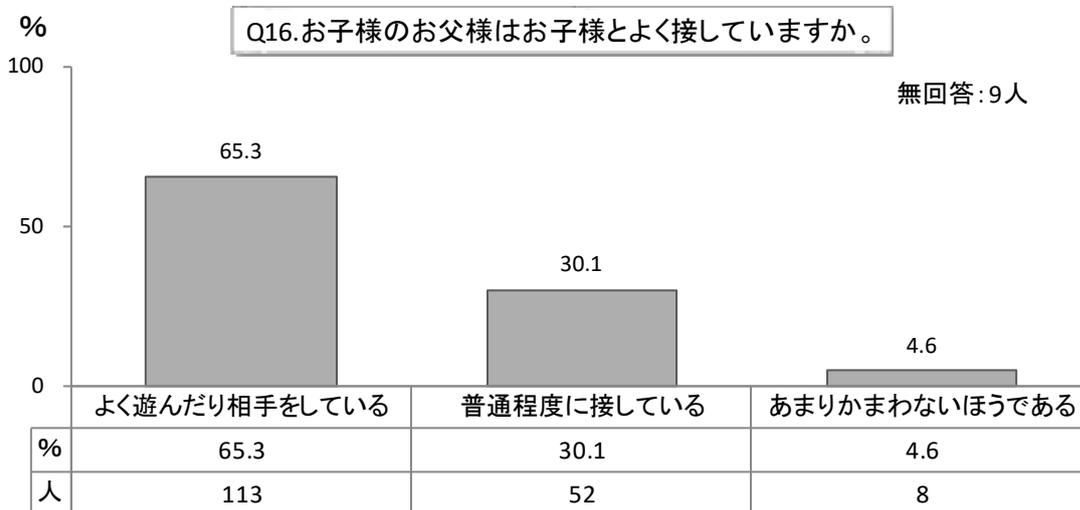
Q15. あなたは配偶者とお子様の事について話をしますか。

- 1. よくする
- 2. 時々する
- 3. あまりしない
- 4. ほとんどしない
- 5. なんともいえない



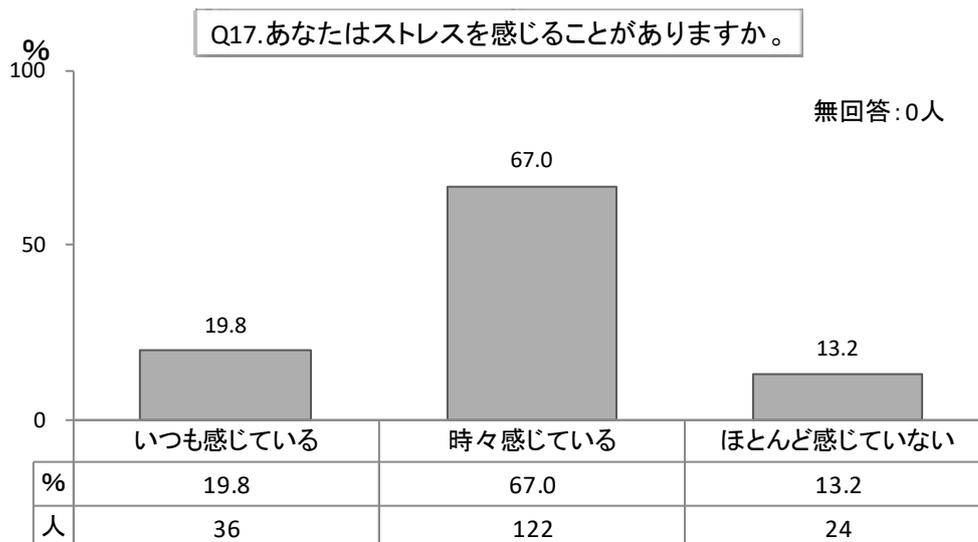
Q16. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

1. よく遊んだり、相手をしている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである



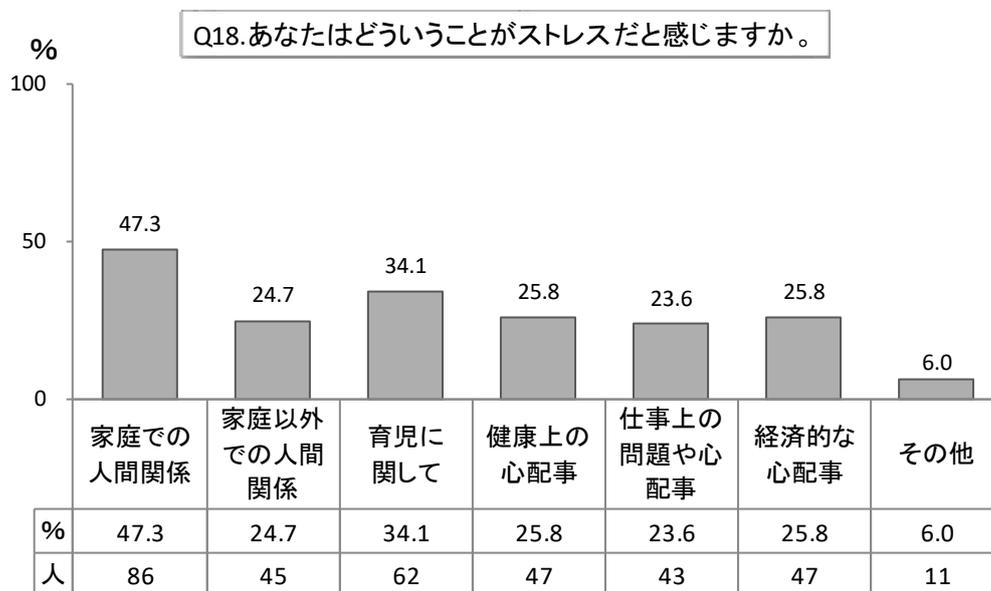
Q17. あなたはストレスを感じることはありませんか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じていない

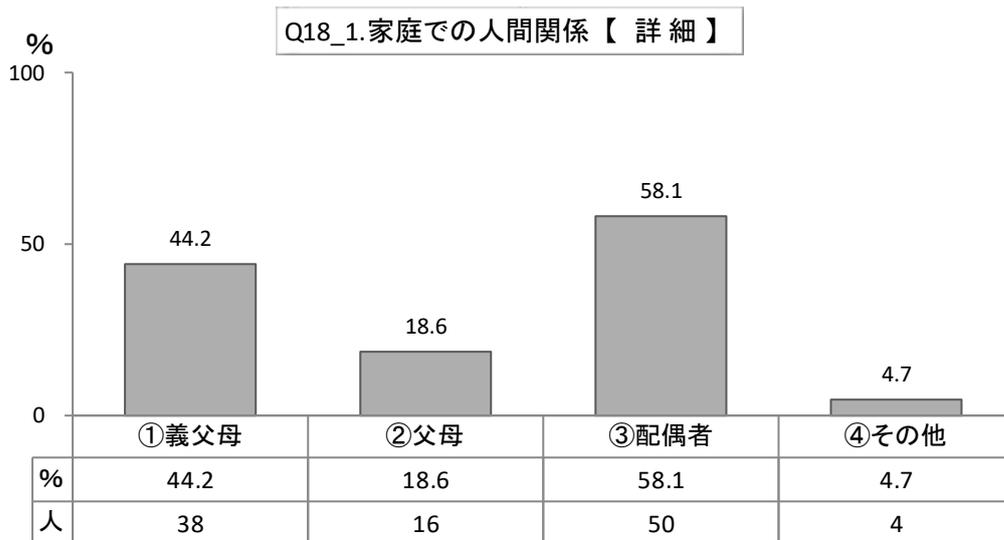


Q18. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることにすべてに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

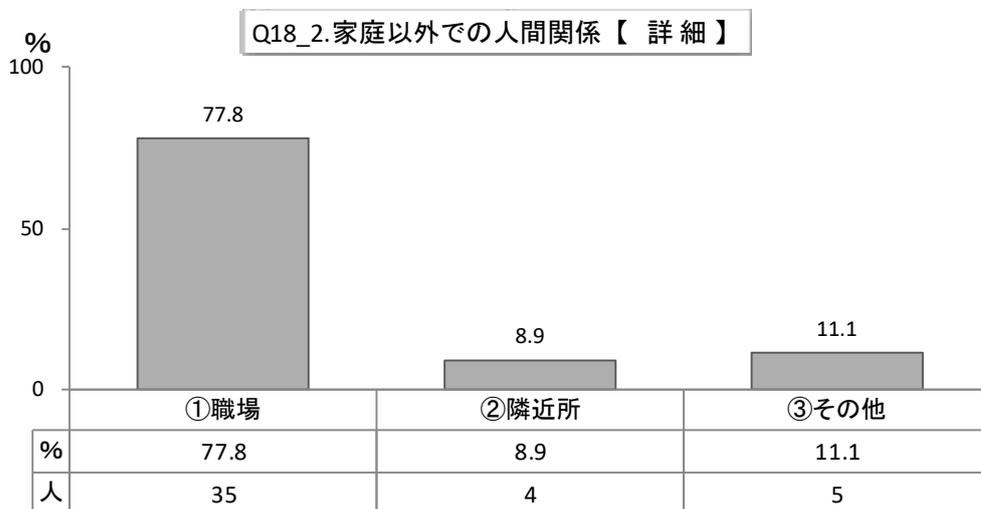
1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③配偶者
 - ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()



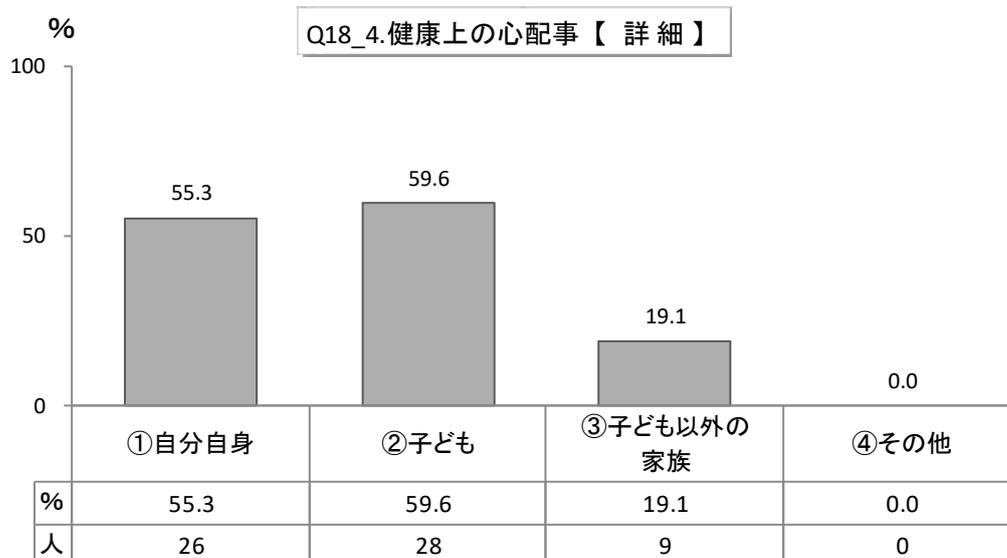
(◎と○の数 複数回答あり)



(◎と○の数 複数回答あり)



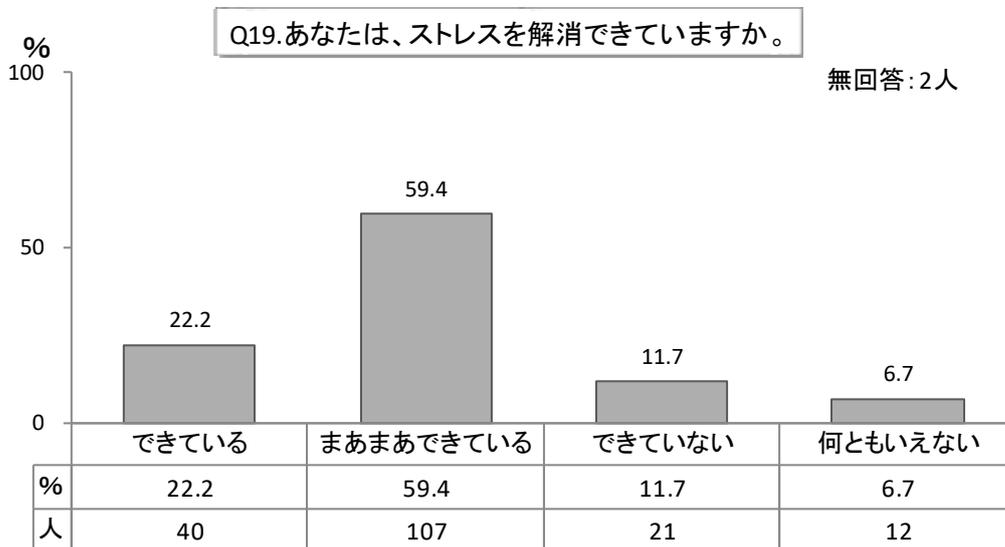
(◎と○の数 複数回答あり)



(◎と○の数 複数回答あり)

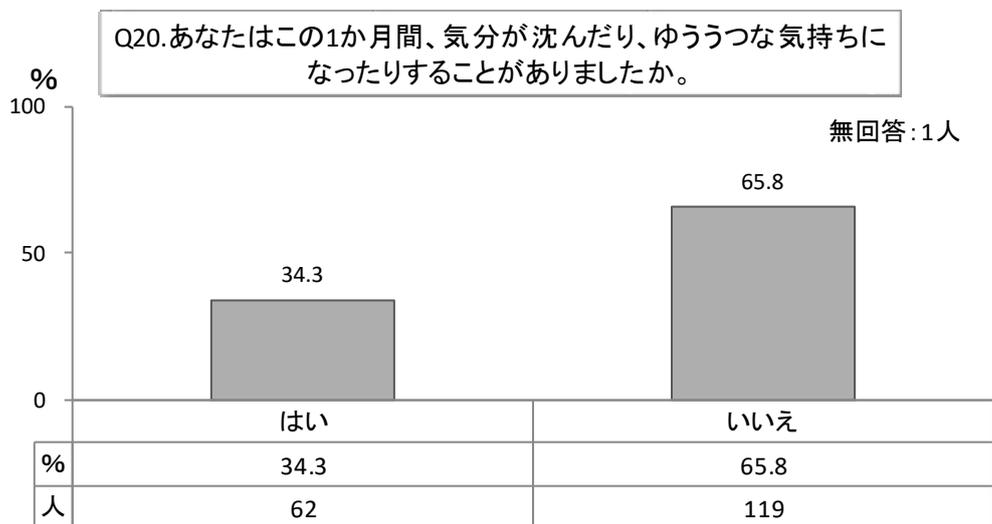
Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている
2. まあまあできている
3. できていない
4. 何ともいえない



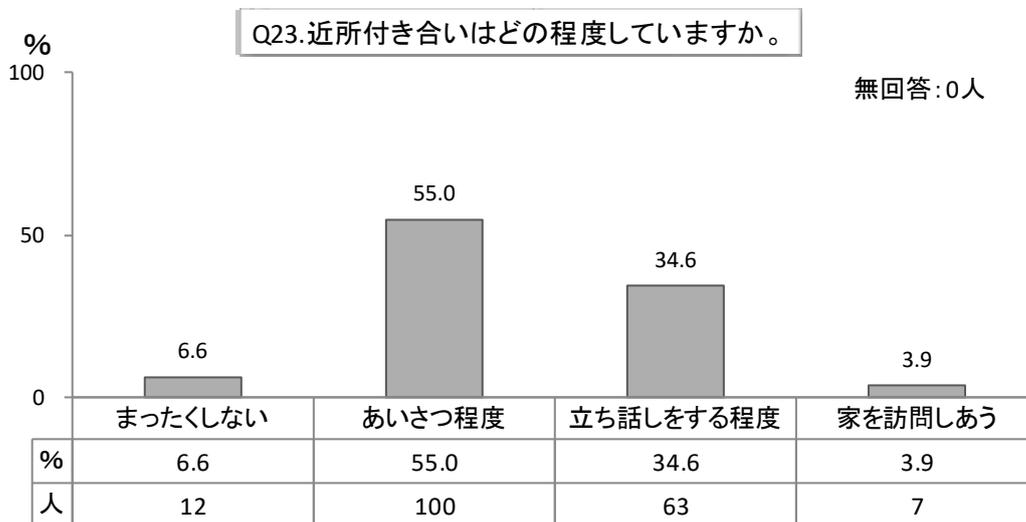
Q20. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

1. はい
2. いいえ



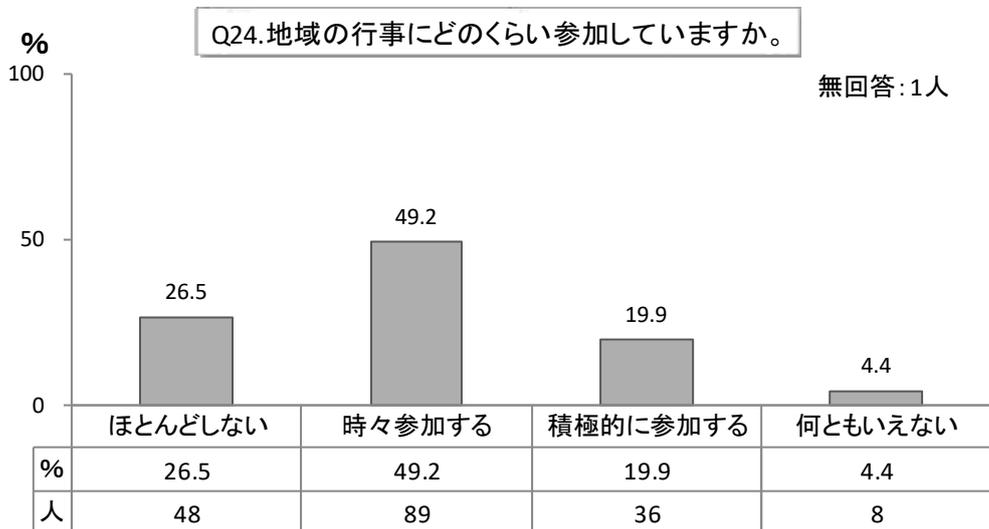
Q23. 近所付き合いはどの程度していますか。

- 1. まったくしない
- 2. あいさつ程度
- 3. 立ち話しをする程度
- 4. 家を訪問しあう



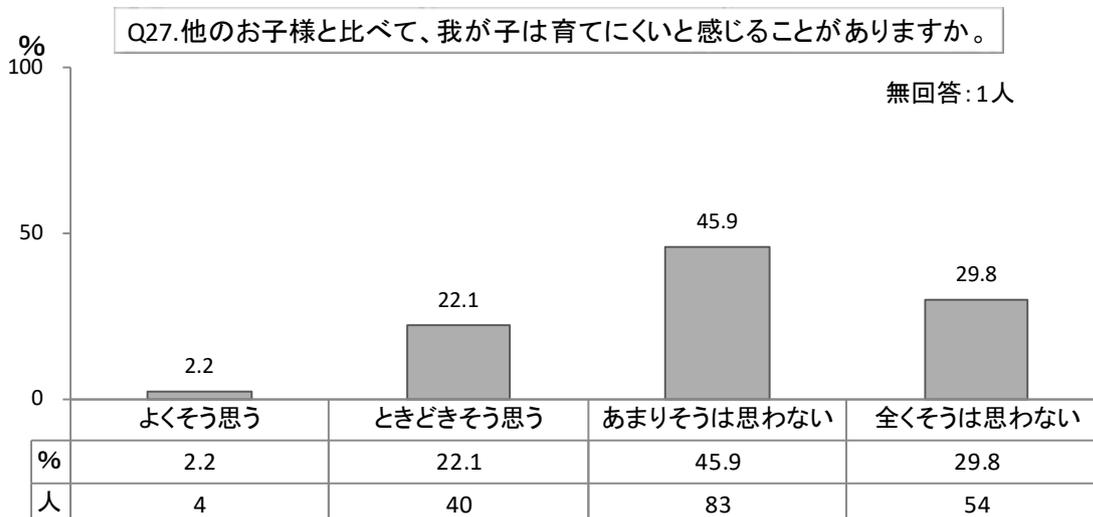
Q24. 地域の行事（区や組の行事）にどのくらい参加していますか。

- 1. ほとんどしない
- 2. 時々参加する
- 3. 積極的に参加する
- 4. 何ともいえない



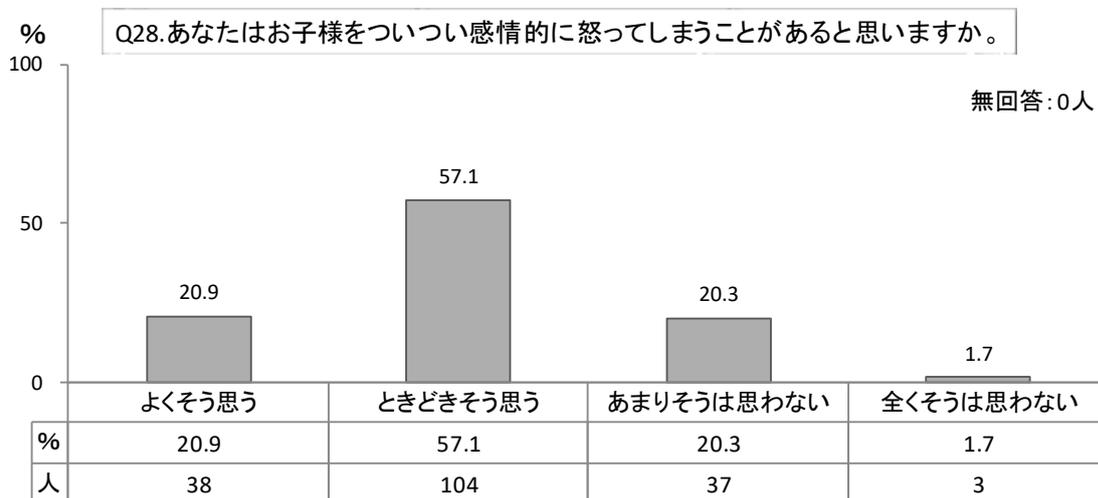
Q27. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない



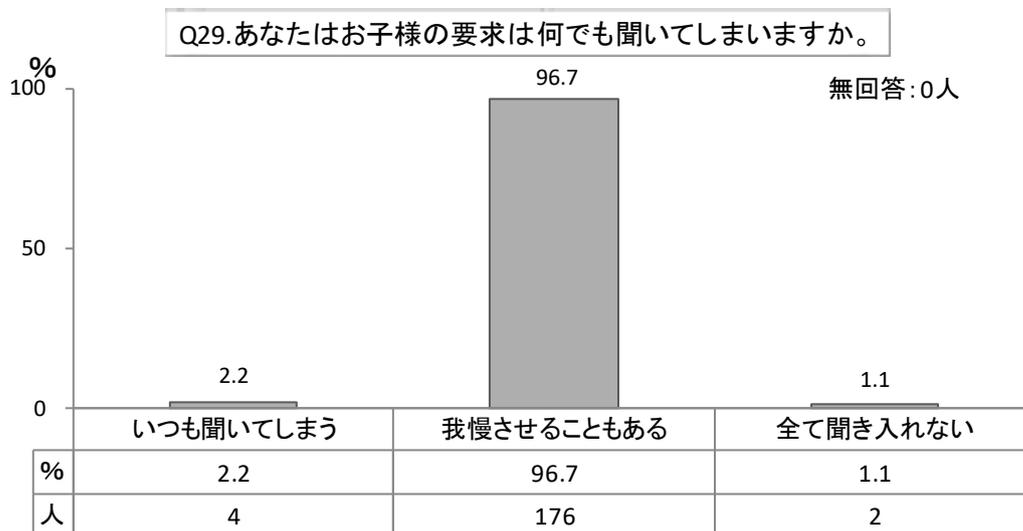
Q28. あなたはお子様をじっくり感情的に怒ってしまうことがあると思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない



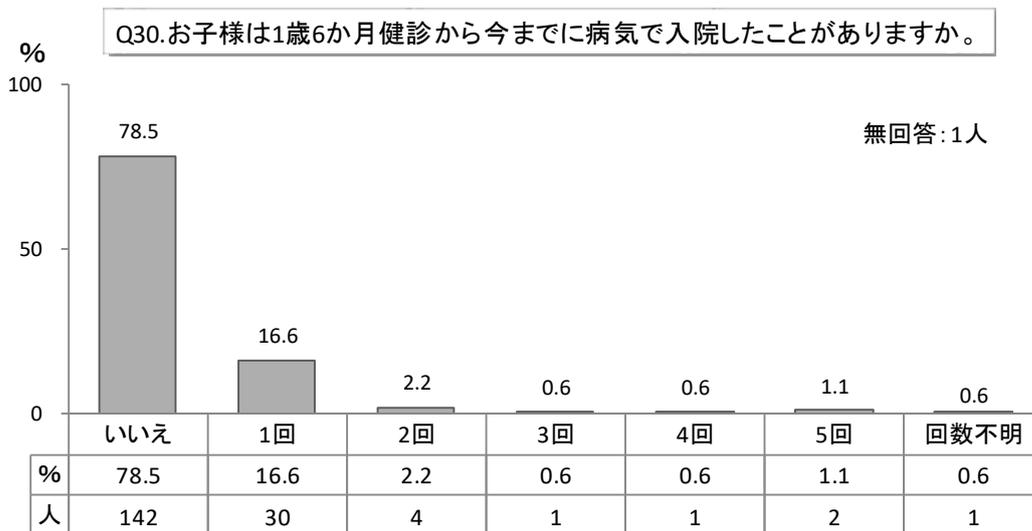
Q29. あなたはお子様の要求は何でも聞いてしまいますか。

1. いつも聞いてしまう
2. 我慢させることもある
3. 全て聞き入れない



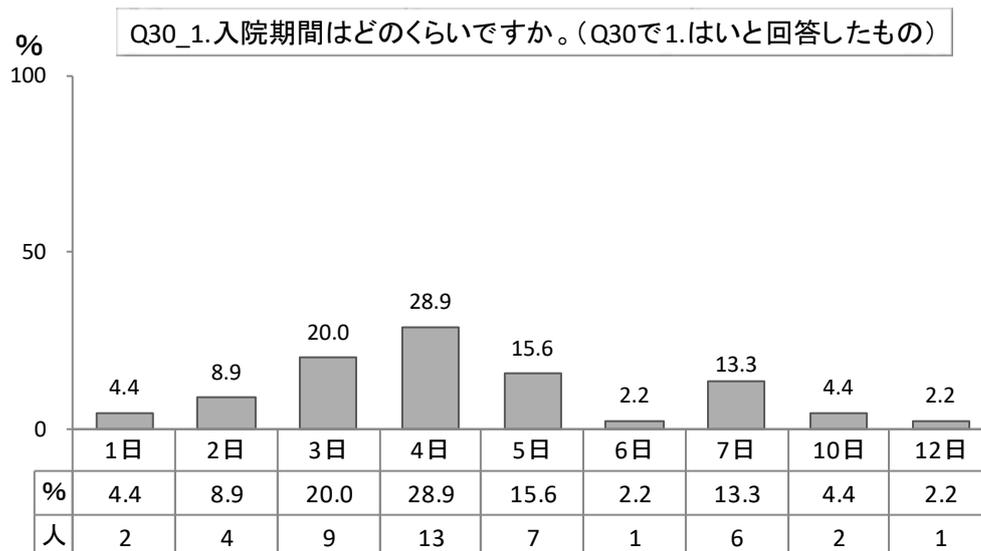
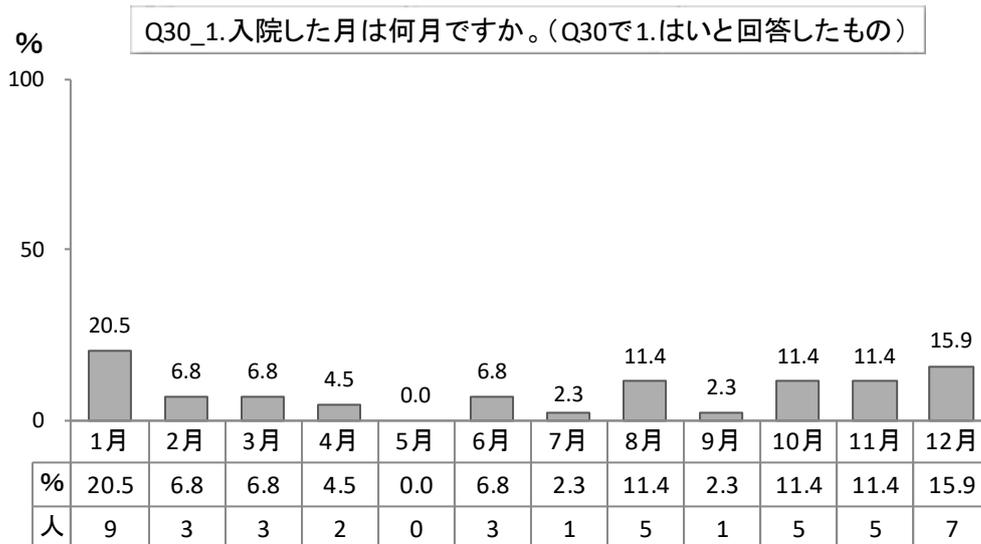
Q30. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気で入院したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ



30-1. 上記で「1. はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入下さい

	1 回目	2 回目	3 回目
入院年月日	年 月 日頃	年 月 日頃	年 月 日頃
入院期間	(日間)	(日間)	(日間)
病名	()	()	()
医療機関名	()	()	()

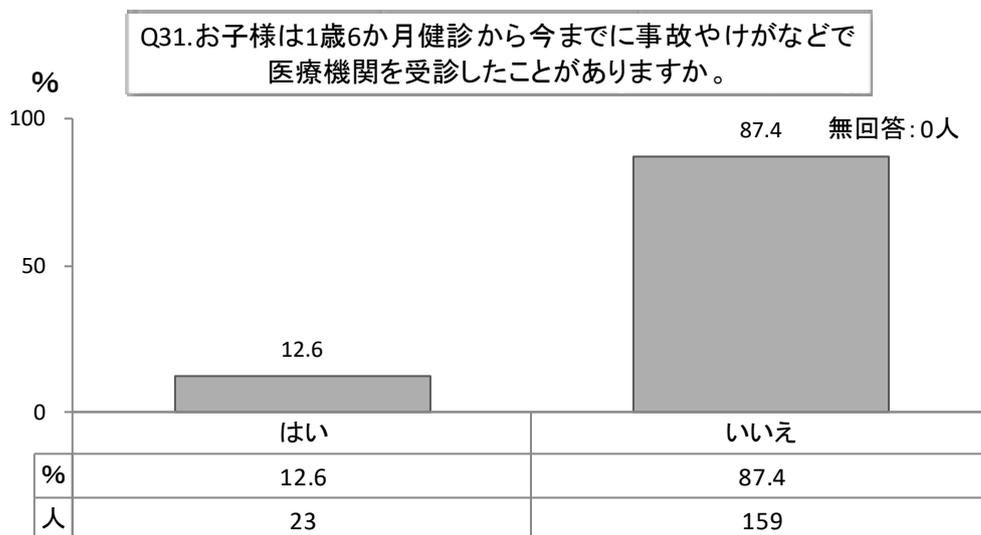


入院病名	人
肺炎	10
RSウイルス	7
ノロウイルス	4
胃腸炎	3
気管支喘息	3
川崎病	2
脱水	2
熱性けいれん	2
アデノウイルス	1
アナフィラキシーショック	1
ウイルス性気管支炎	1
マイコプラズマ肺炎	1
リンパ節炎	1
気管支炎	1
気管支肺炎	1
口内炎 歯肉ヘルペス	1
斜視	1
先天性耳ろう孔手術	1
鼠径ヘルニア	1
突発性発疹	1
突発性発疹と手足口病	1

Q31. お子様は、1歳6か月健診から今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。

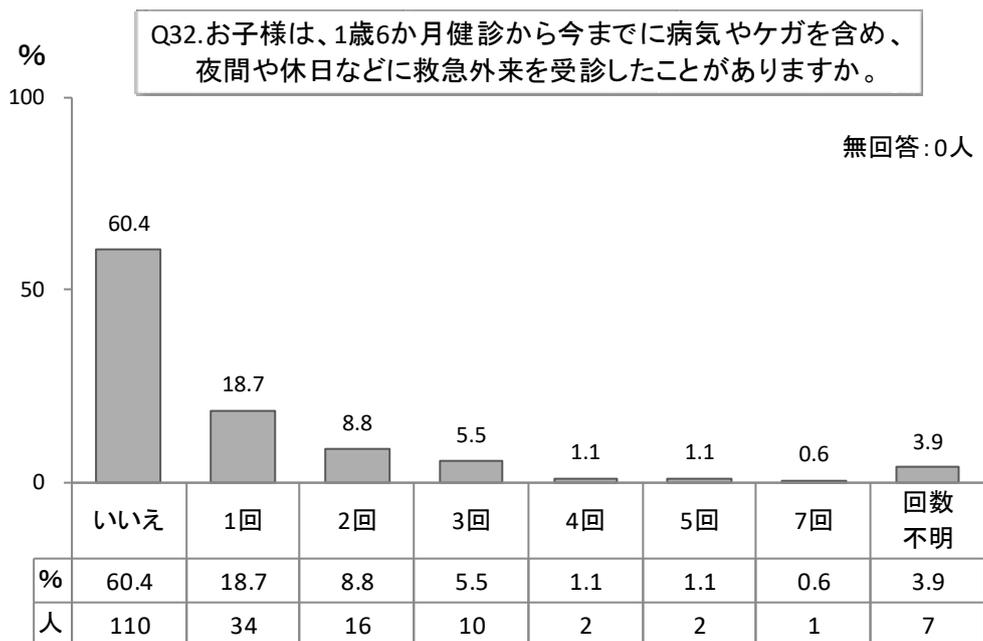
(注：タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含みます)

1. はい
2. いいえ



Q32. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ

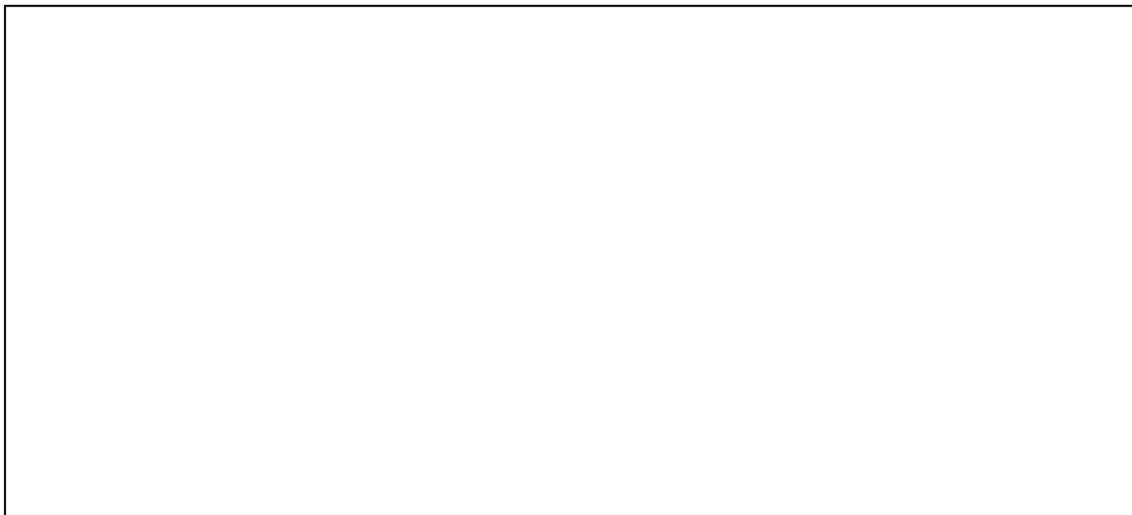


32-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
()	()
()	()
()	()
()	()

救急病名	人
発熱	19
インフルエンザ	10
風邪	10
胃腸炎	5
突発性発疹	4
じんましん	3
高熱	3
肘内障	3
不明	3
クループ	2
ノロウイルス	2
咳嗽	2
肘内症	2
嘔吐	2
けいれん	1
ヘルパンギーナ	1
咽頭異物	1
右手骨折	1
外傷	1
気管支炎	1
誤飲	1
指外傷	1
川崎病	1
打撲	1
転落	1
頭部切創	1
頭部打撲	1
熱傷	1
熱性けいれん	1
肺炎	1
発疹	1
鼻異物	1
便秘	1
卵アレルギー	1
喘息	1

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、自由にお書きください。



以上です。ご協力ありがとうございました。

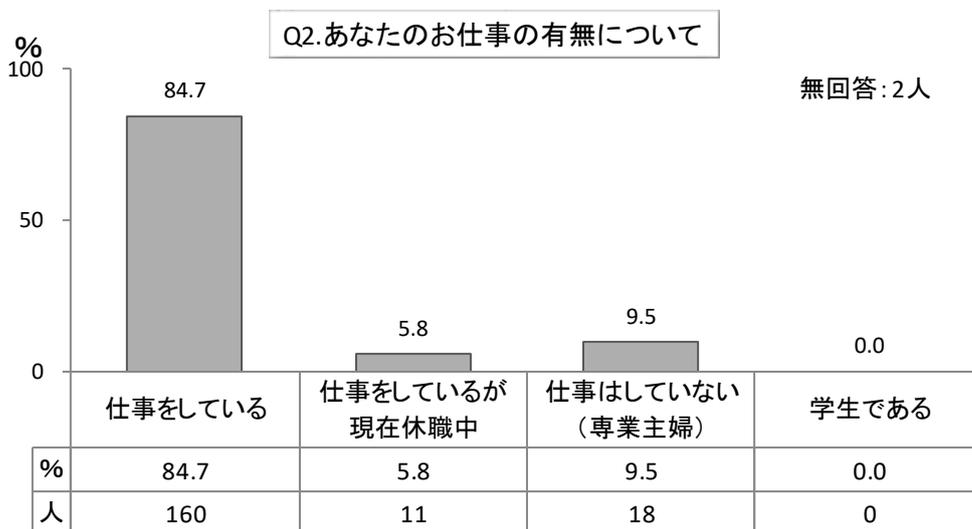
Ⅳ. 調査結果 (3.3 歳児健診時)

IV-4.5 歳児健診時

IV. 調査結果（4.5 歳児健診時）

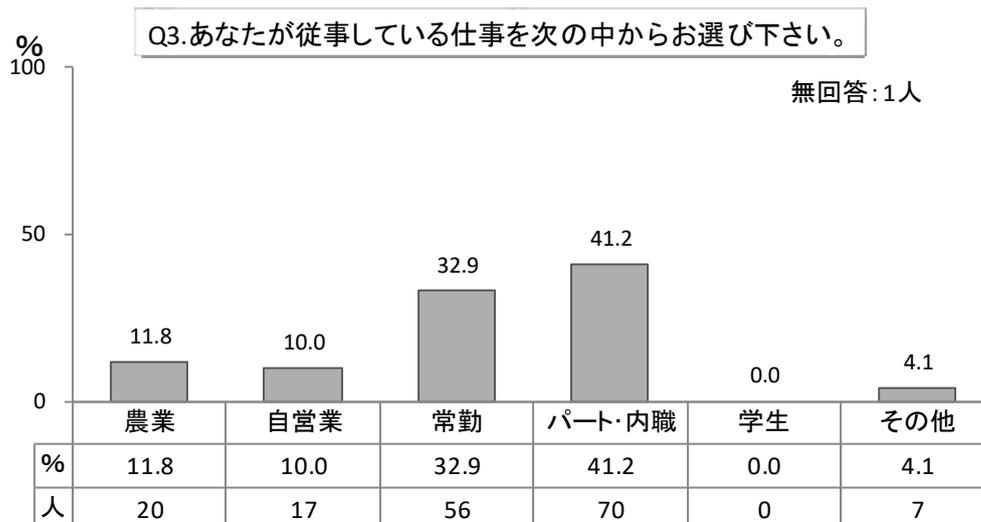
Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選び下さい。

- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
 - 4. 学生である
- 3. 4. と答えた方は
Q4. へお進みください

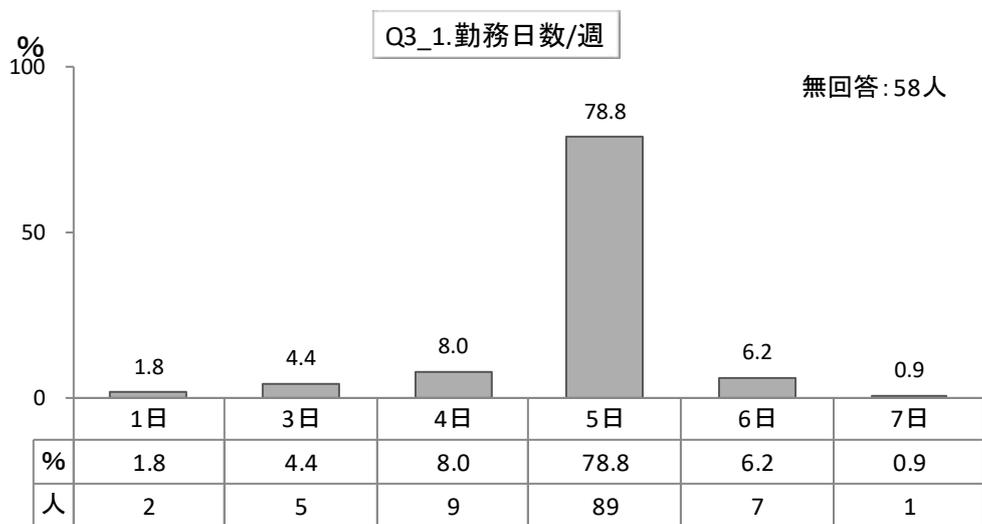
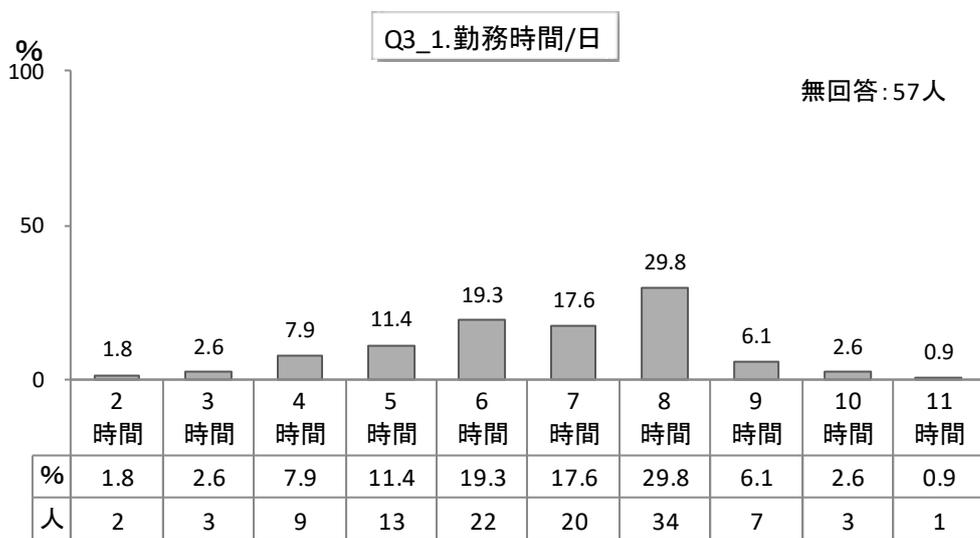


Q3. あなたが従事している仕事を次の中からお選び下さい。

- 1. 農業
- 2. 自営業
- 3. 常勤
- 4. パート・内職
- 5. 学生
- 6. その他 ()

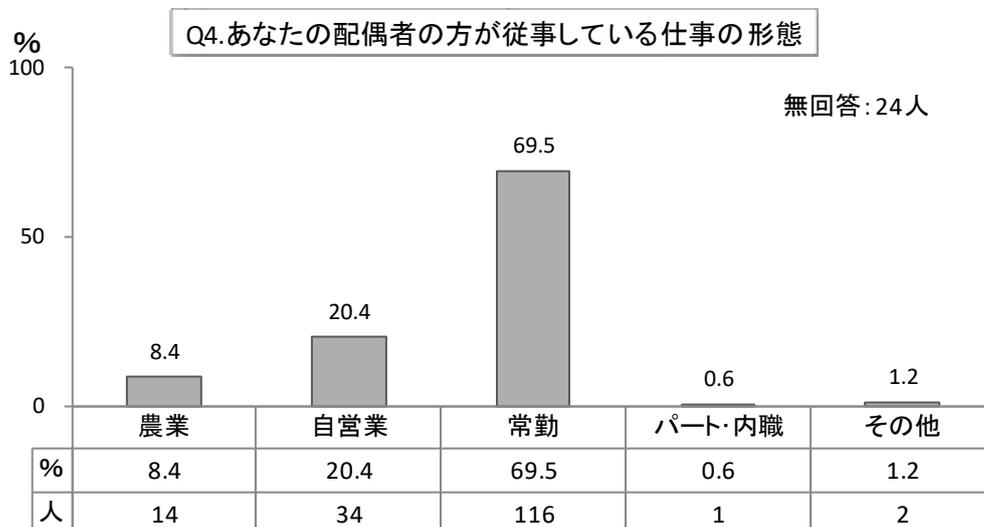


3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

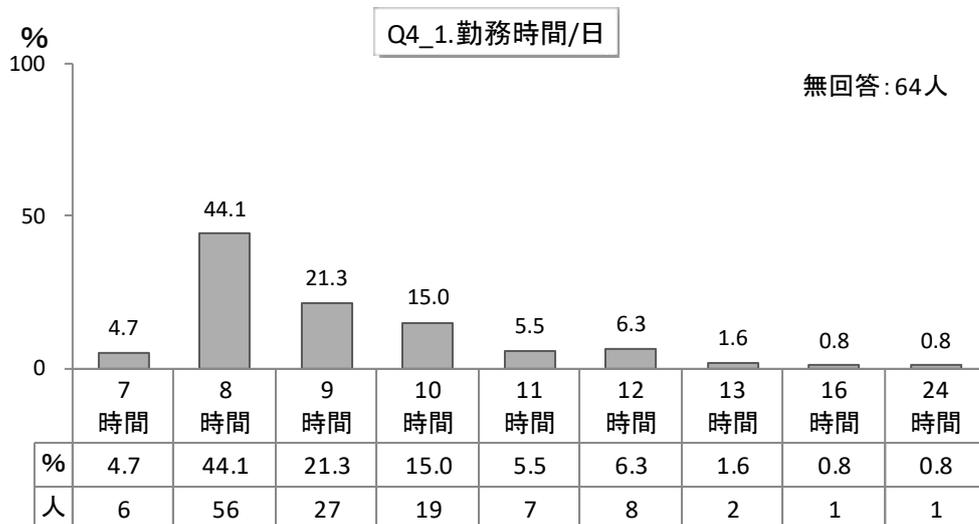


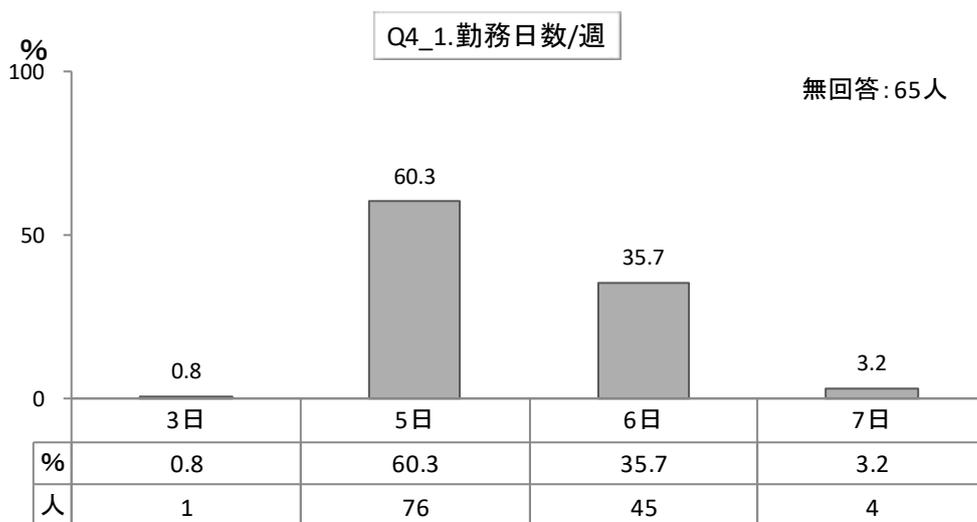
Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選び下さい。

1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
5. その他 ()

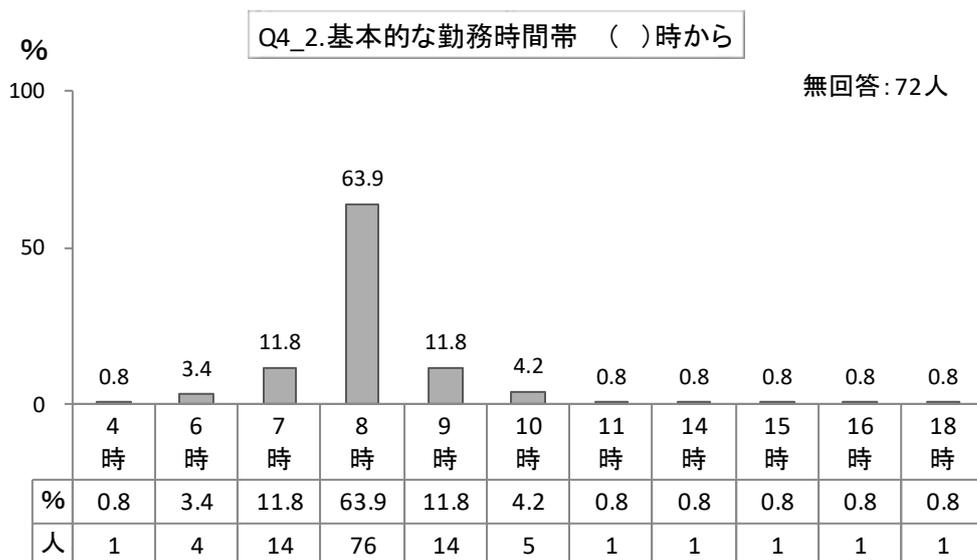


4-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

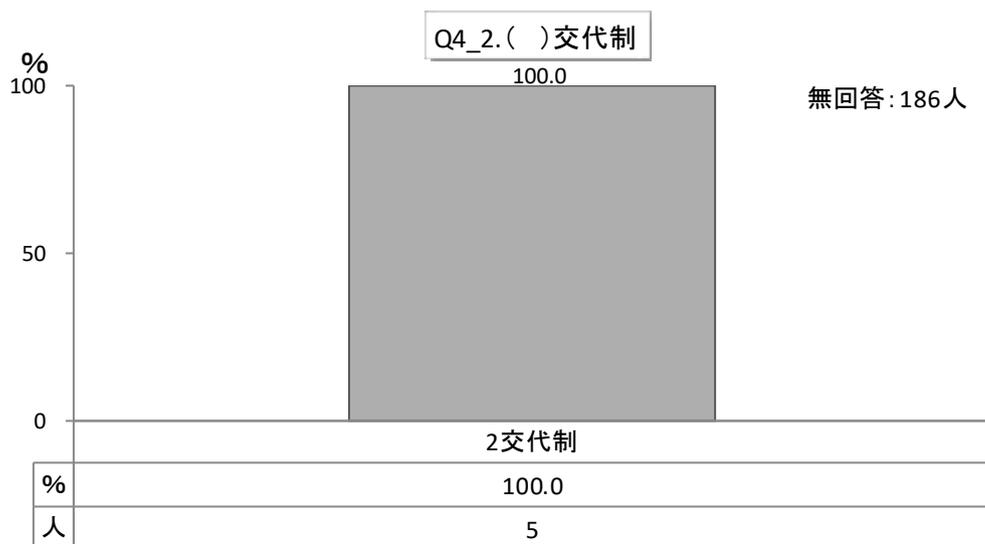
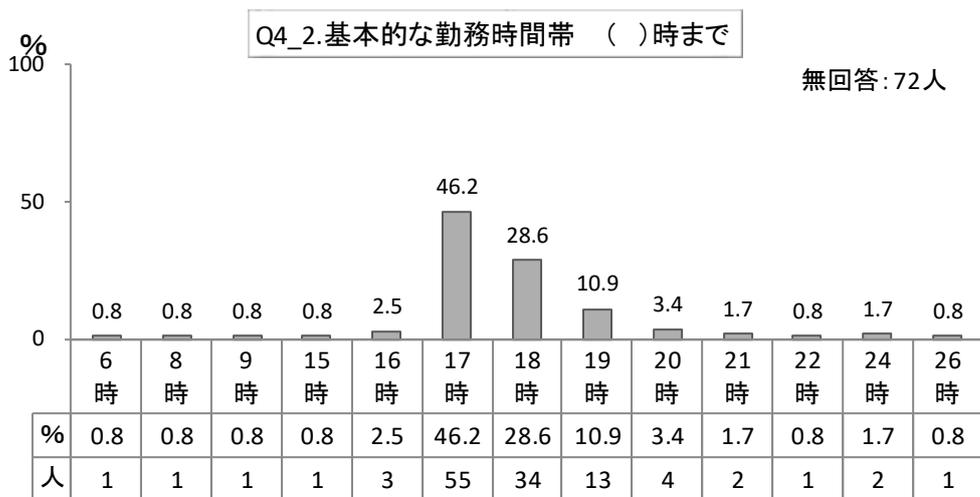




4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。 () 時～ () 時 () 交代制

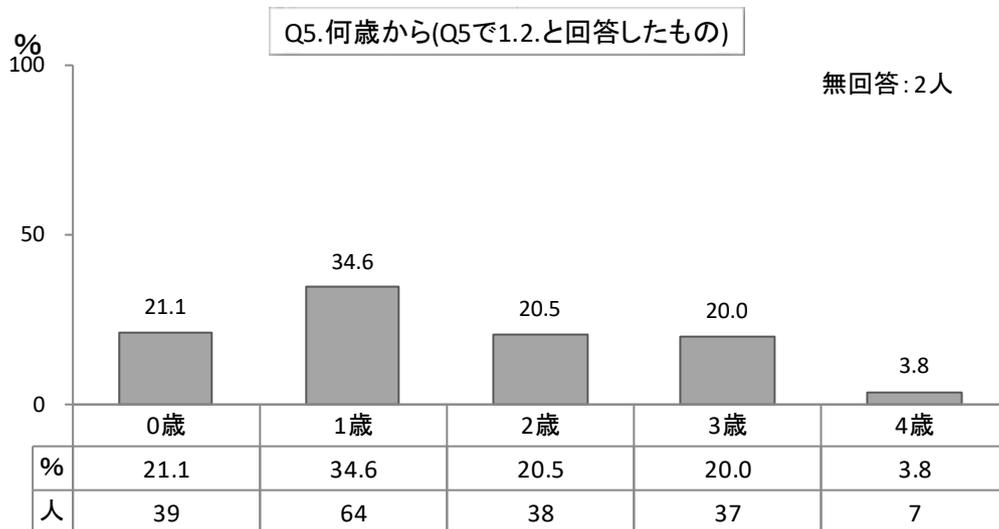
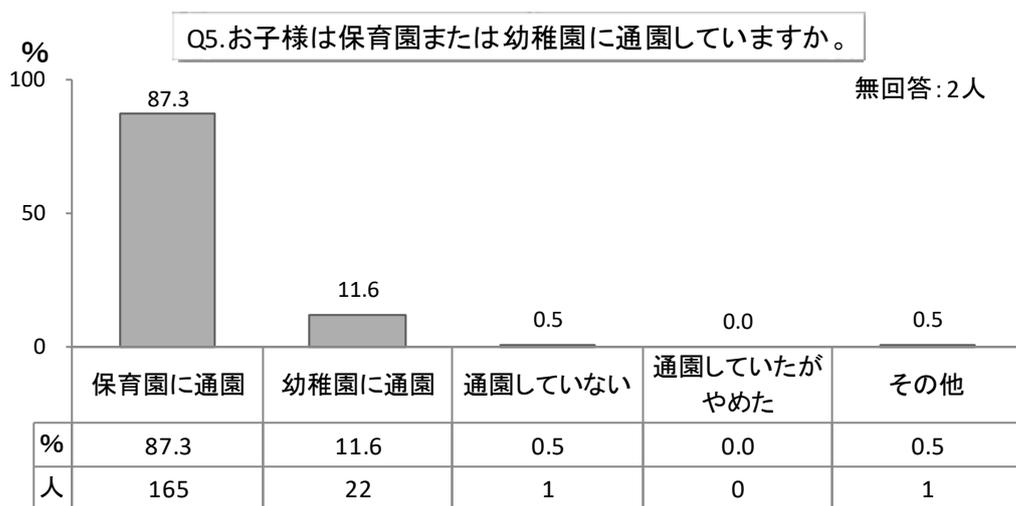


IV. 調査結果 (4.5 歳児健診時)



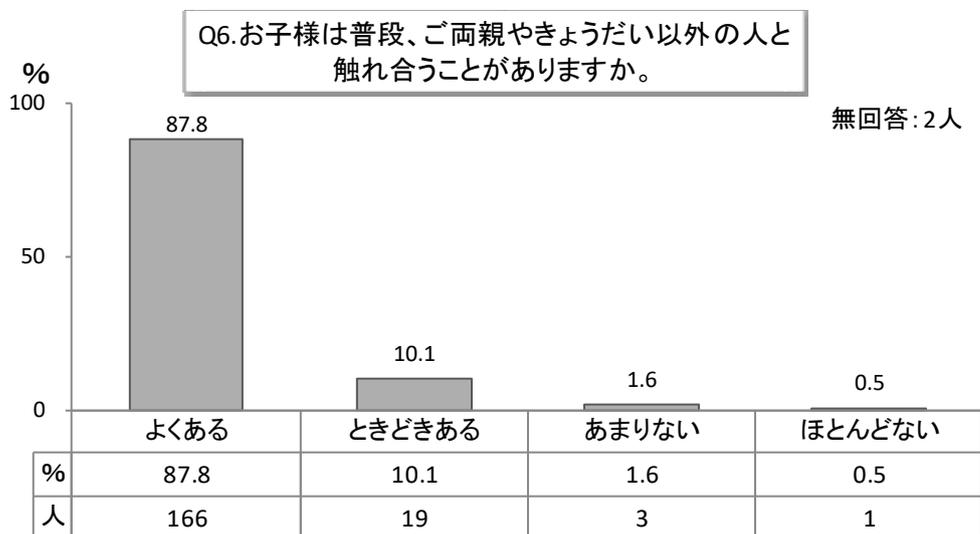
Q5. お子様は保育園または幼稚園に通園していますか。

1. 保育園に通園している (歳から)
2. 幼稚園に通園している (歳から)
3. 通園していない
4. 通園していたがやめた
5. その他 ()



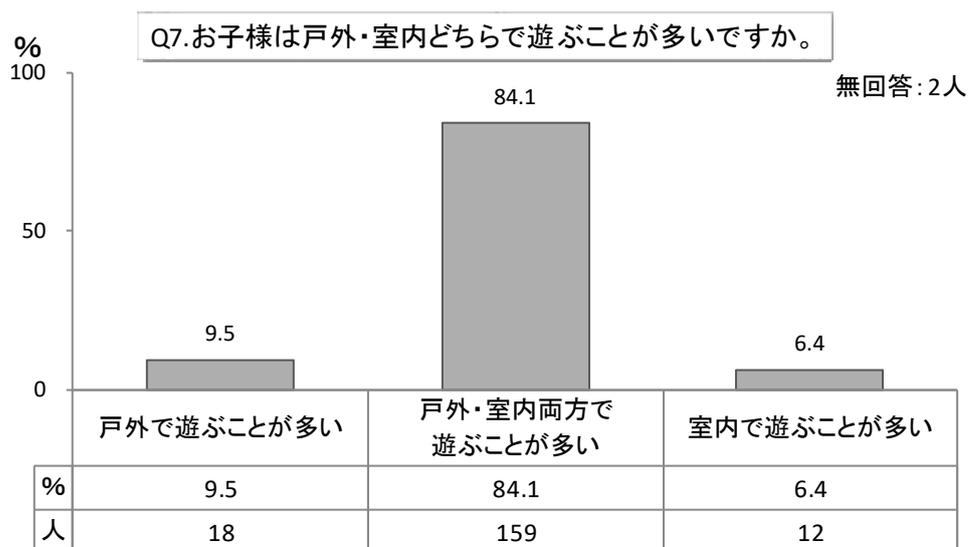
Q6. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ほとんどない



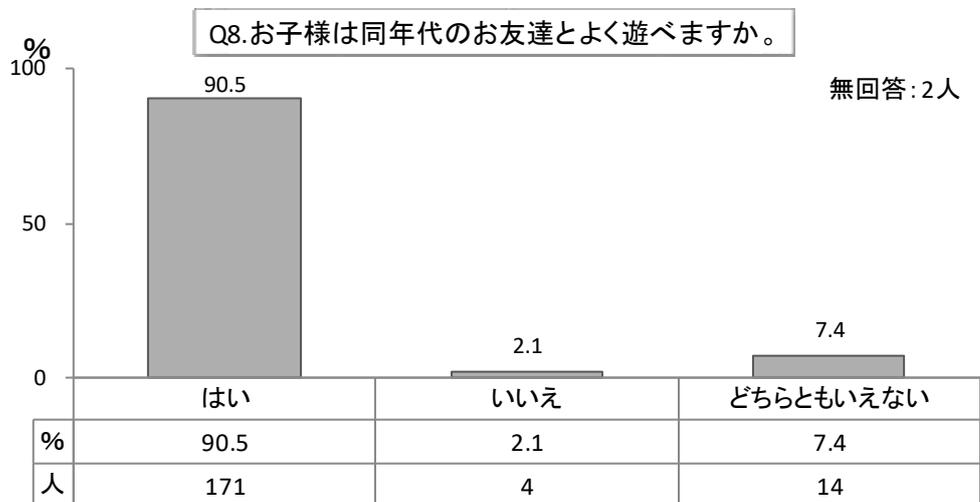
Q7. お子様は戸外・室内どちらで遊ぶことが多いですか。

1. 戸外で遊ぶことが多い。
2. 戸外・室内両方で遊ぶことが多い。
3. 室内で遊ぶことが多い。



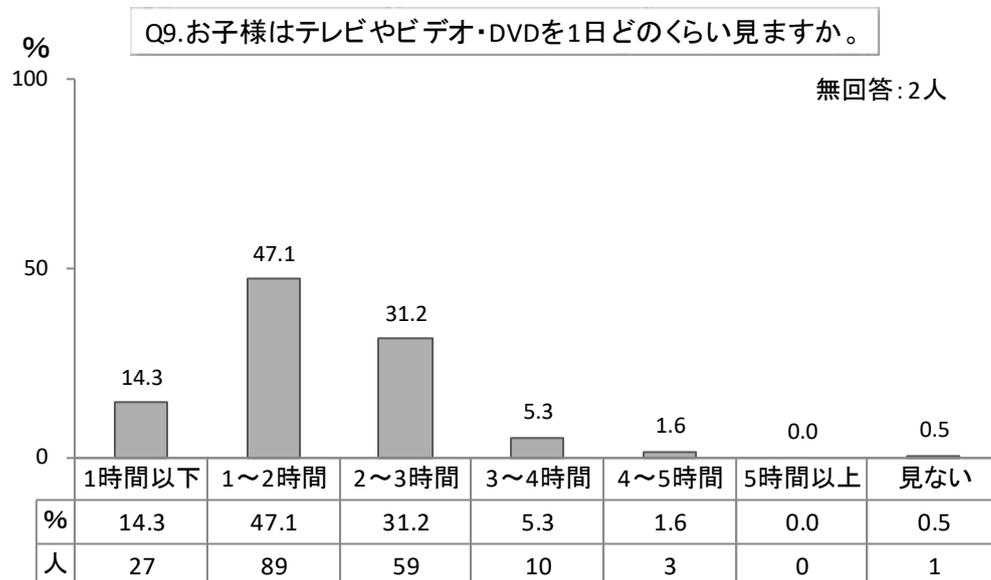
Q8. お子様は同年代のお友達とよく遊べますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



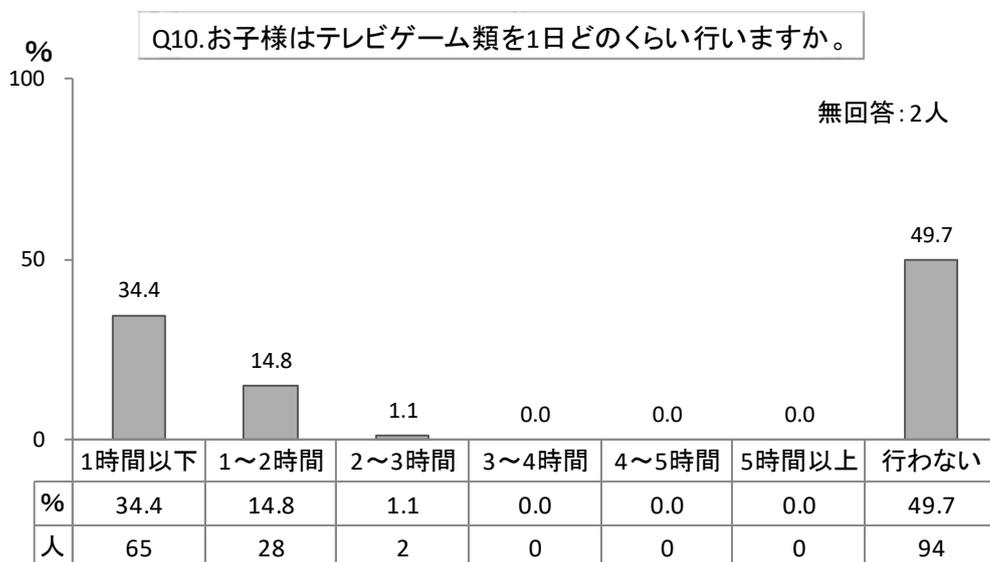
Q9. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

1. 1時間以下 2. 1~2時間 3. 2~3時間 4. 3~4時間
5. 4~5時間 6. 5時間以上 7. 見ない



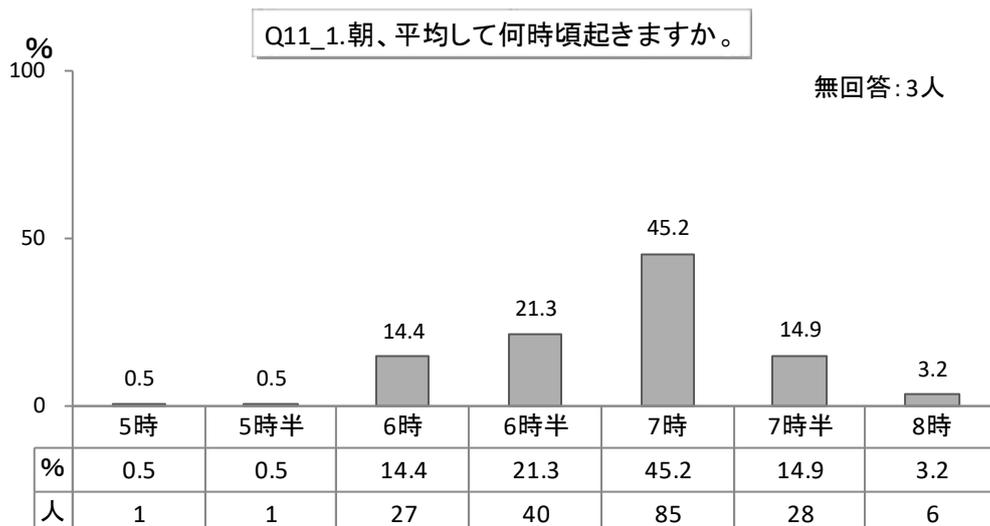
Q10. お子様はテレビゲーム、テレビゲーム類 (ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピューターゲーム等も含む) を一日どのくらい行いますか。

1. 1時間以下 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間
 5. 4～5時間 6. 5時間以上 7. 行わない

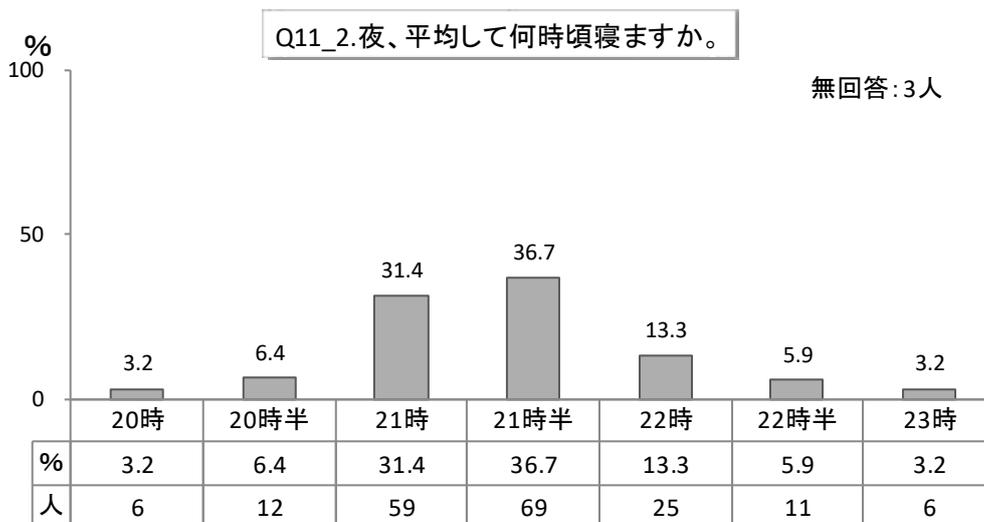


Q11. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

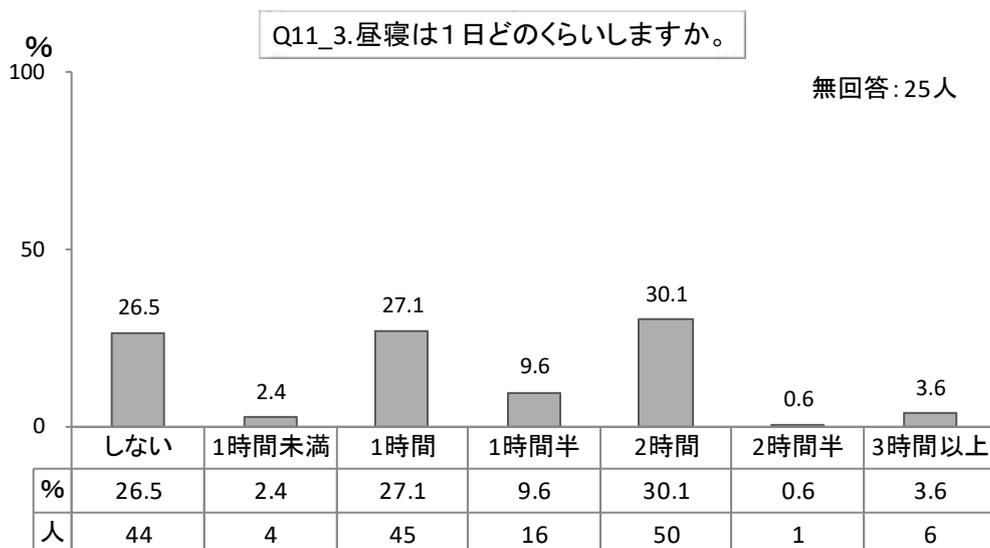
11-1. 朝、平均して何時頃起きますか () 時 () 分ころ



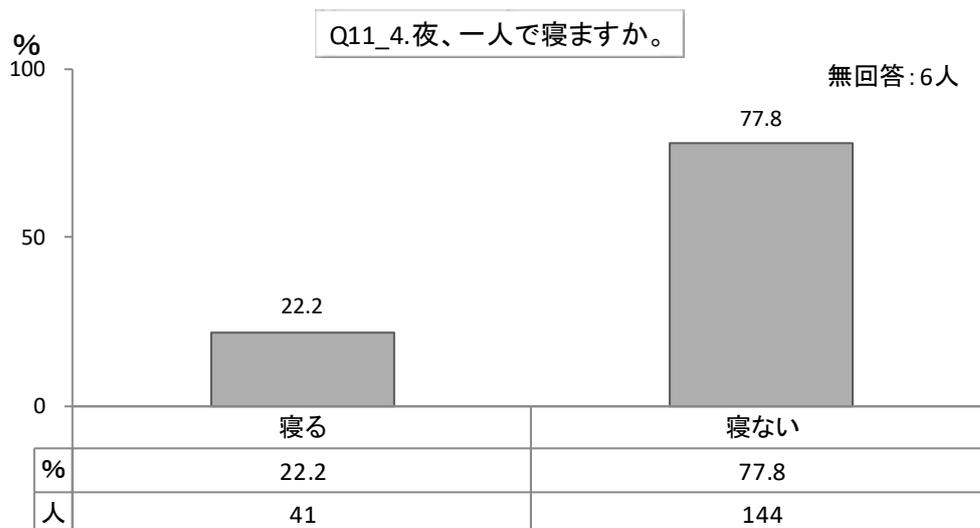
11-2. 夜、平均して何時頃寝ますか () 時 () 分ころ



11-3. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位



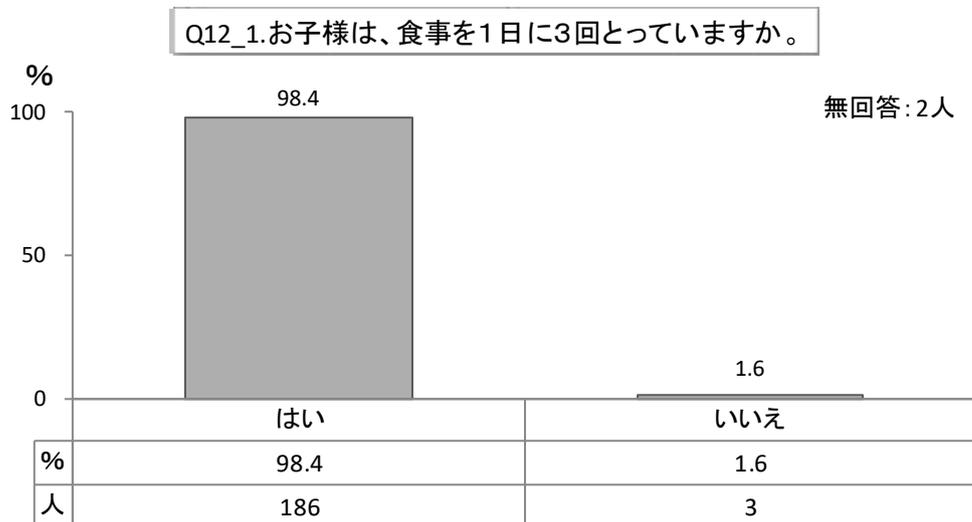
11-4. 夜、一人で寝ますか → ①寝る ②寝ない (誰と:)



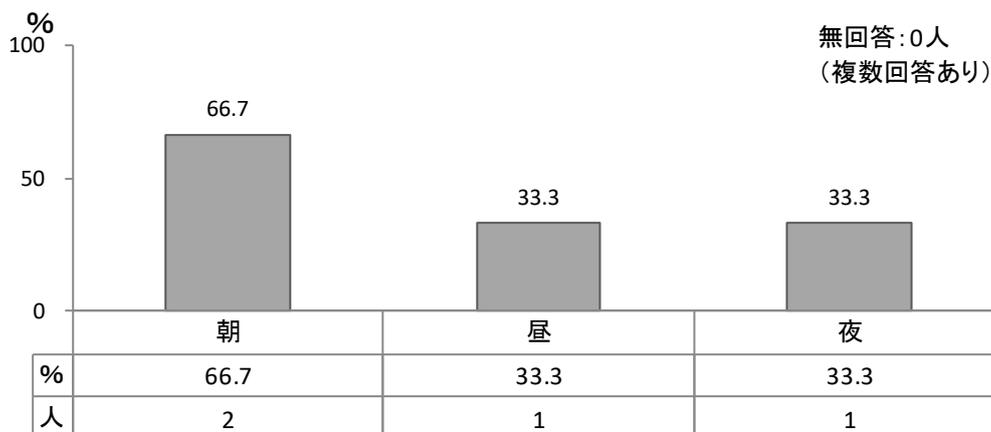
Q12. お子様の食事について伺います。

12-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

1. はい
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか: 朝・昼・夜)



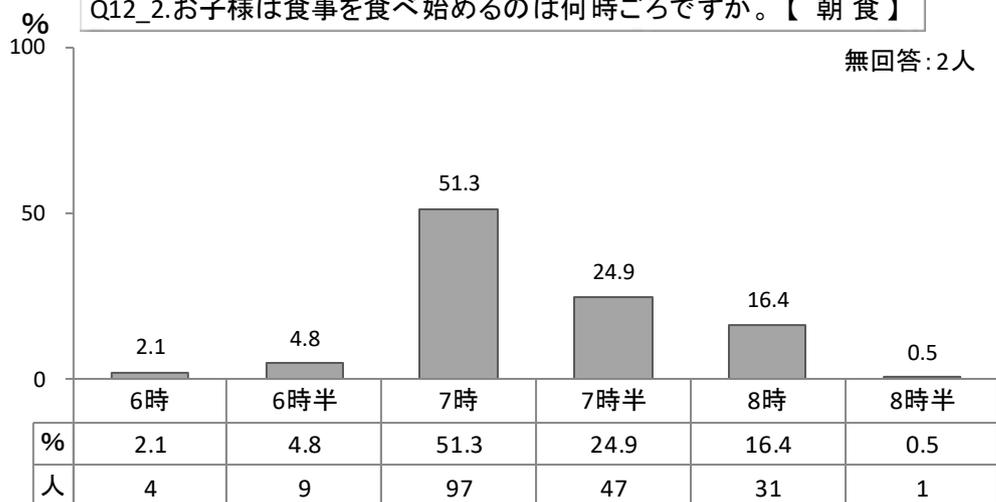
Q12_1.いつ食べないことが多いですか(Q12_1.で2と回答したもの)。

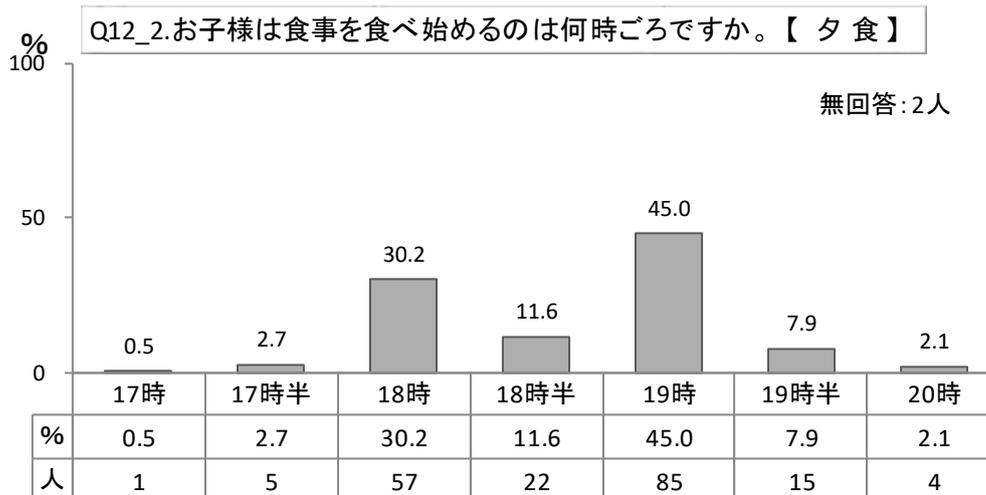
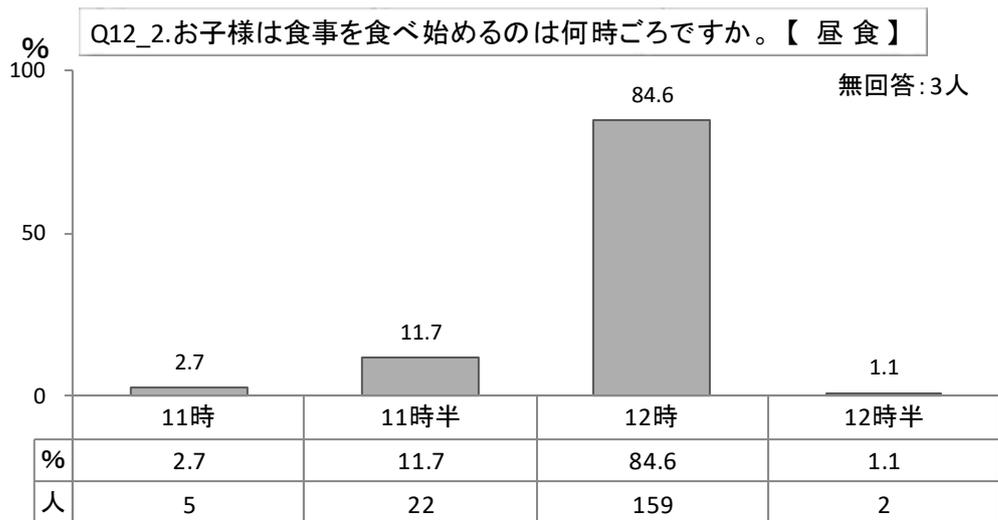


12-2. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか。平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

朝食 () 時 ころ
 昼食 () 時 ころ
 夕食 () 時 ころ

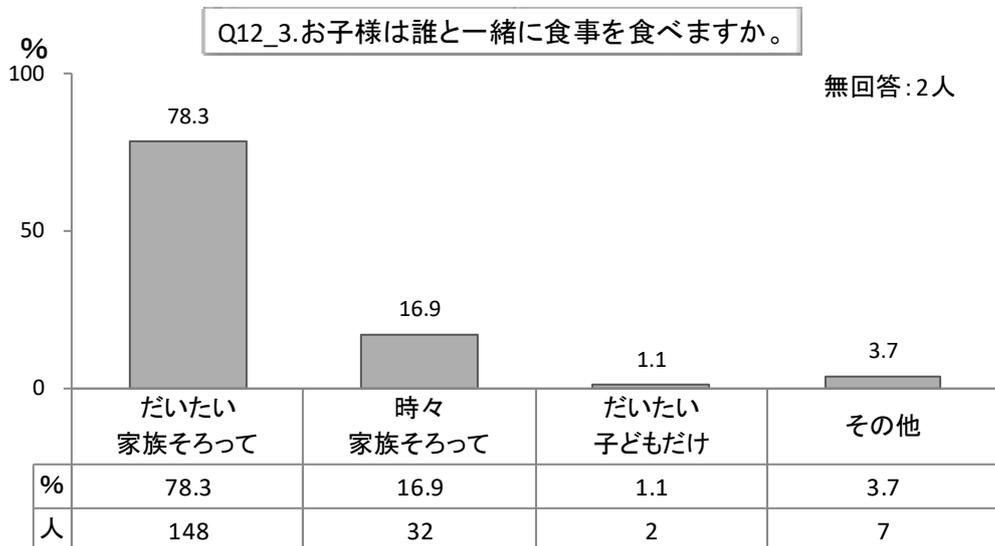
Q12_2.お子様は食事を食べ始めるのは何時ごろですか。【朝食】





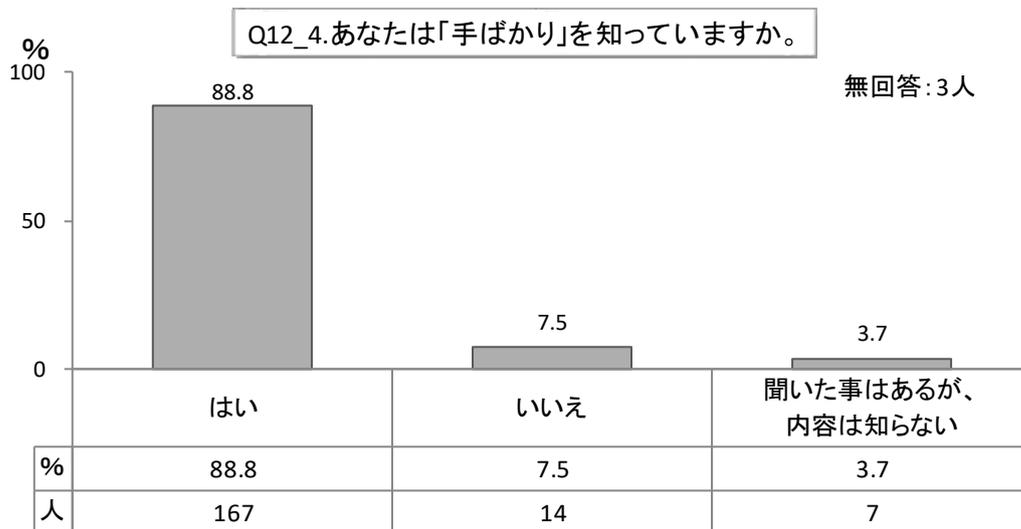
12-3. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって
2. 時々家族そろって
3. だいたい子どもだけ
4. その他 ()



12-4. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

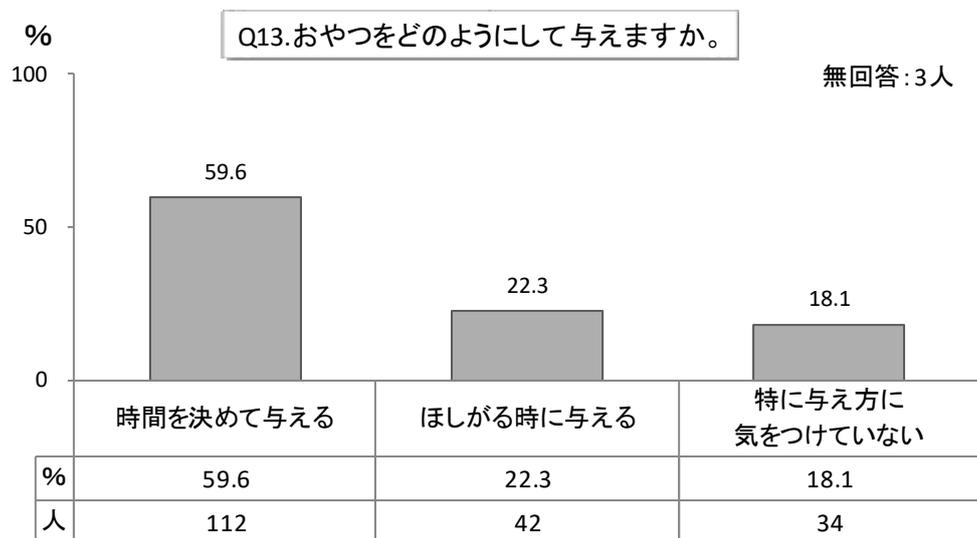
1. はい
2. いいえ
3. 聞いた事はあるが、内容は知らない



Q13. お子様のおやつ（食事以外のおかし、飲物、果物など）はどのようにして与えますか。

(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

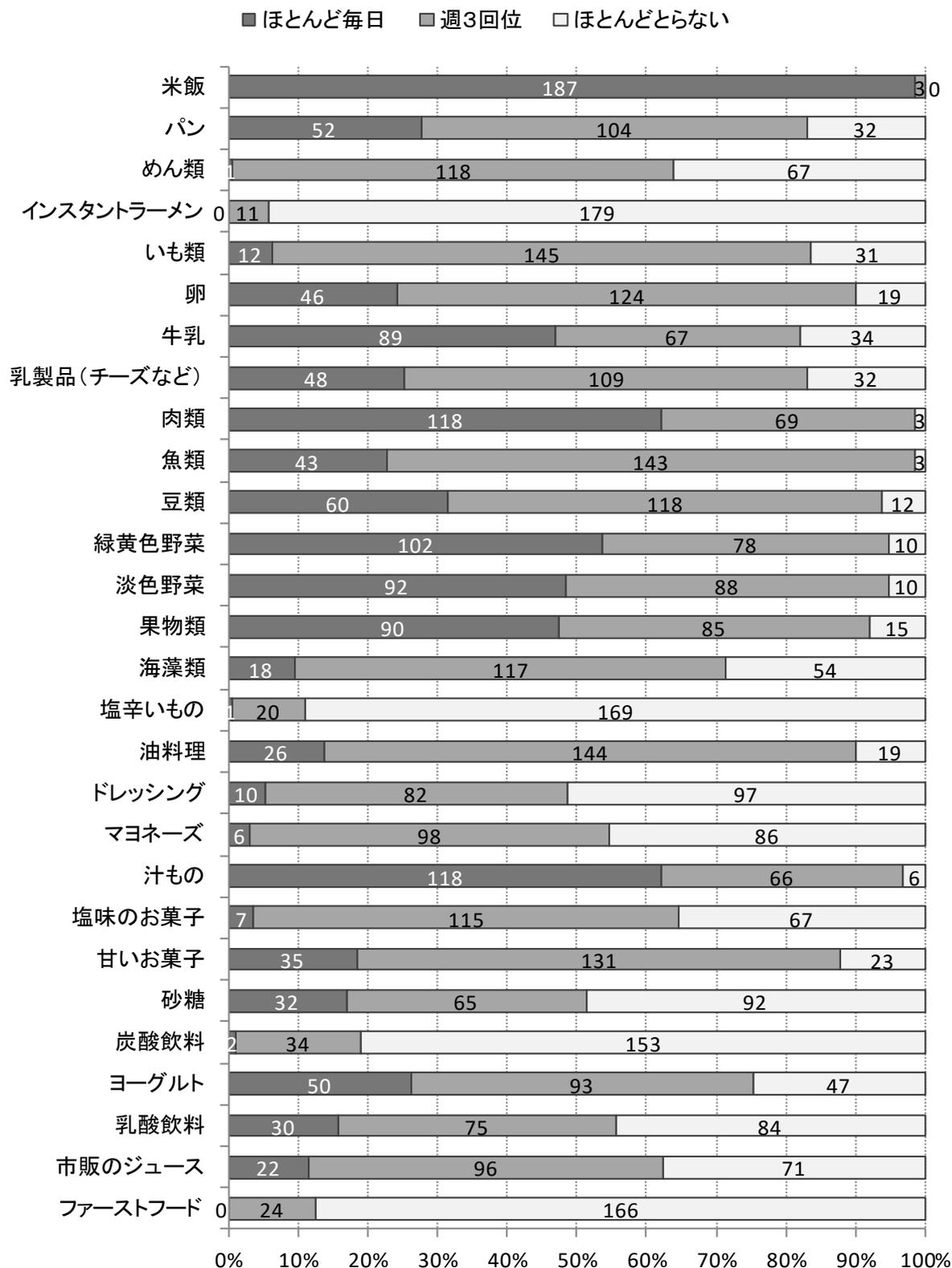
1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない



Q14. お子様の食事について、核当する番号に○をつけて下さい。

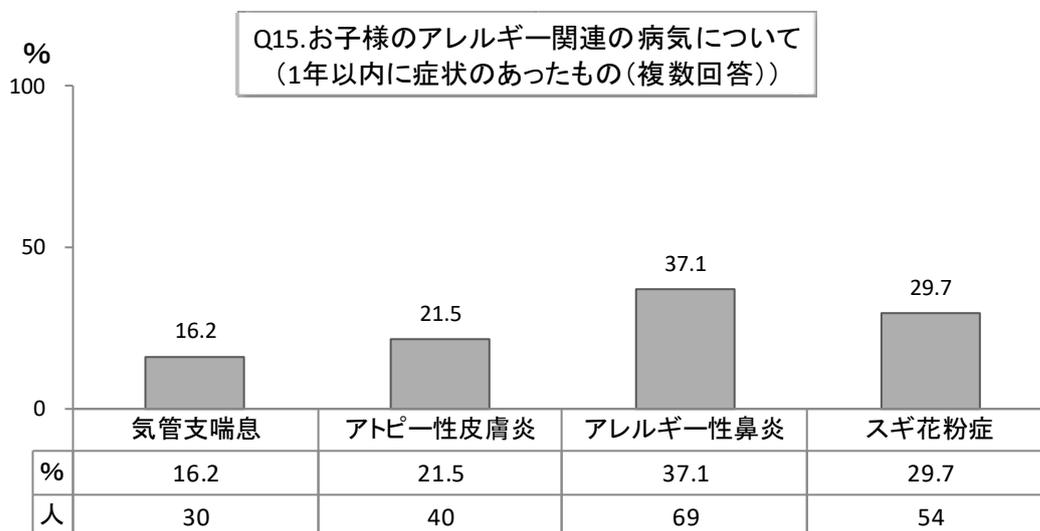
	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q14. お子様の食事について該当する番号に○をつけて下さい。

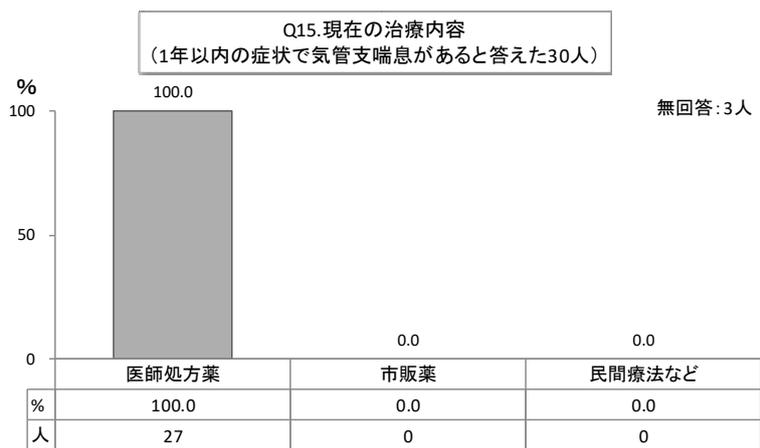
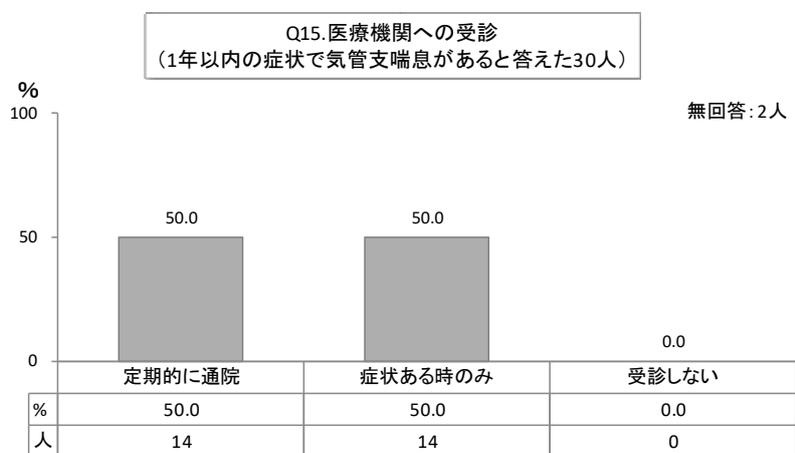
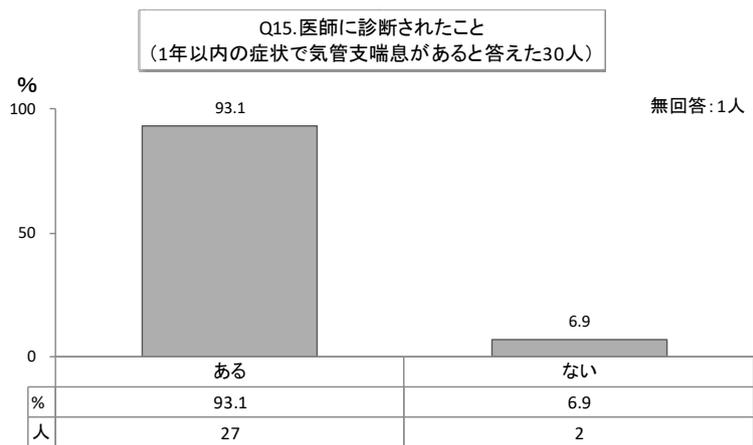


Q15. お子様のアレルギー関連の病気について、該当する番号に○をつけて下さい。

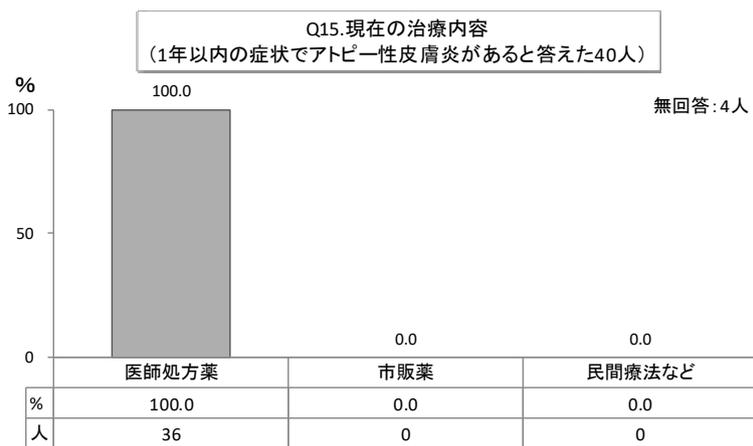
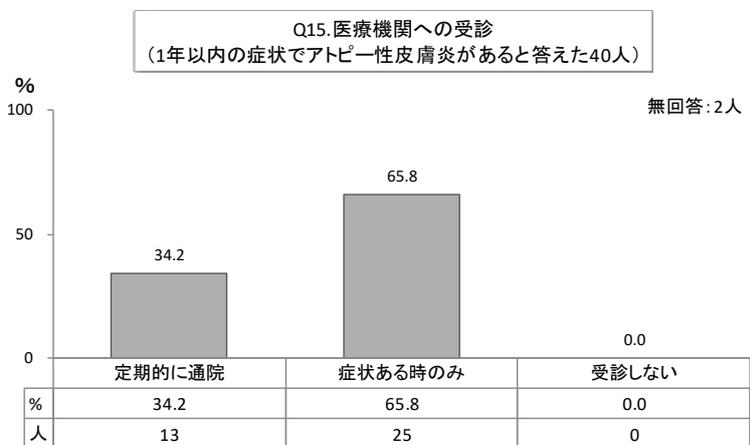
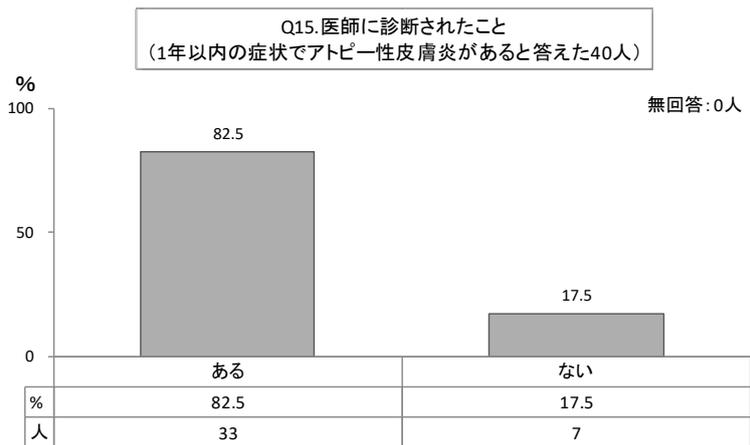
	1年以内の症状	医師に診断されたこと	医療機関への受診	現在の治療内容
気管支喘息	1 ある 2 ない (ゼーゼー・ヒューヒュー)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など
アトピー性皮膚炎	1 ある 2 ない (かゆみを伴った湿疹)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など
アレルギー性鼻炎(花粉症含む)	1 ある 2 ない (カゼ以外のくしゃみ・鼻水・鼻づまり)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など
スギ花粉症(スギ花粉の時期の鼻炎)	1 ある 2 ない (カゼ以外のくしゃみ・鼻水・鼻づまり)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など



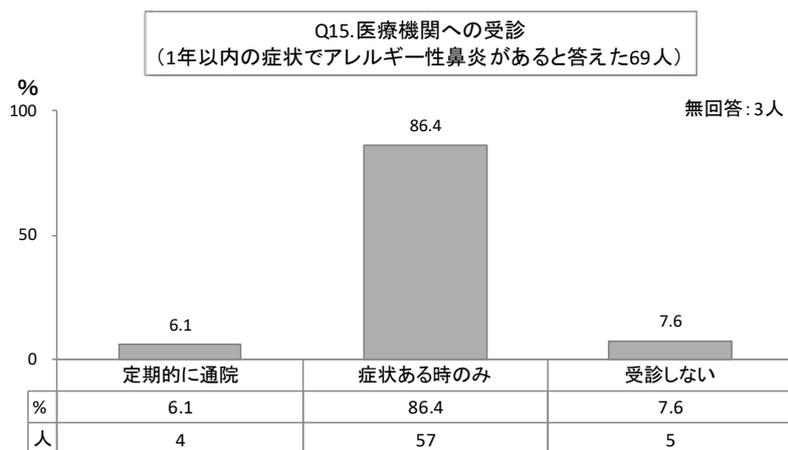
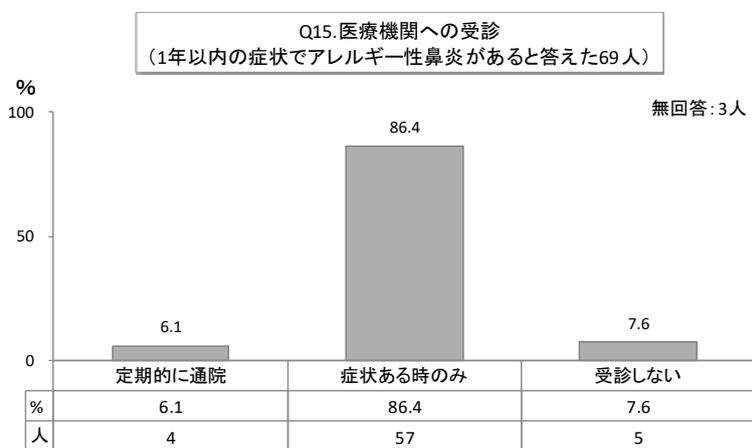
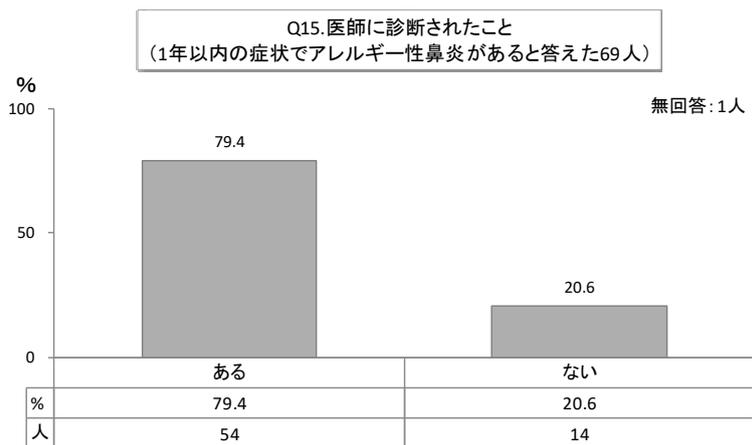
IV. 調査結果 (4.5 歳児健診時)



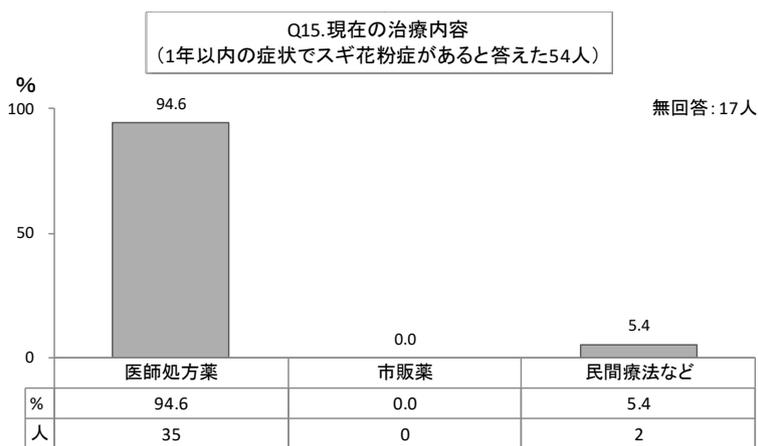
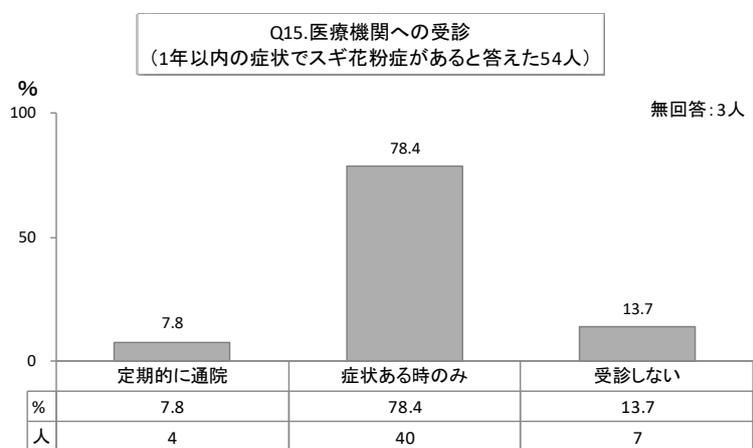
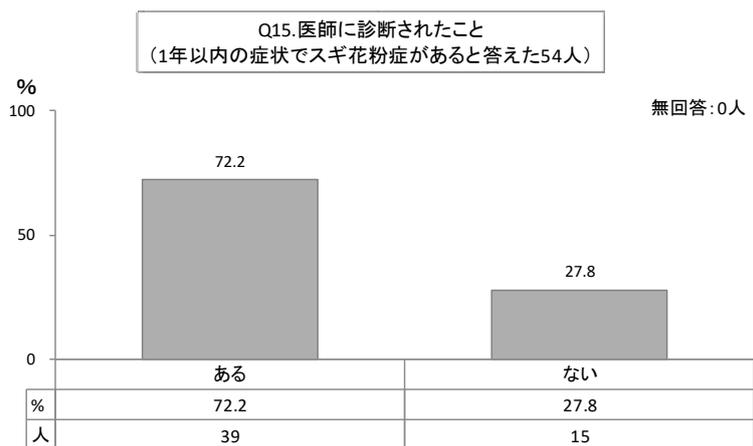
IV. 調査結果 (4.5 歳児健診時)



IV. 調査結果 (4.5 歳児健診時)



IV. 調査結果 (4.5 歳児健診時)



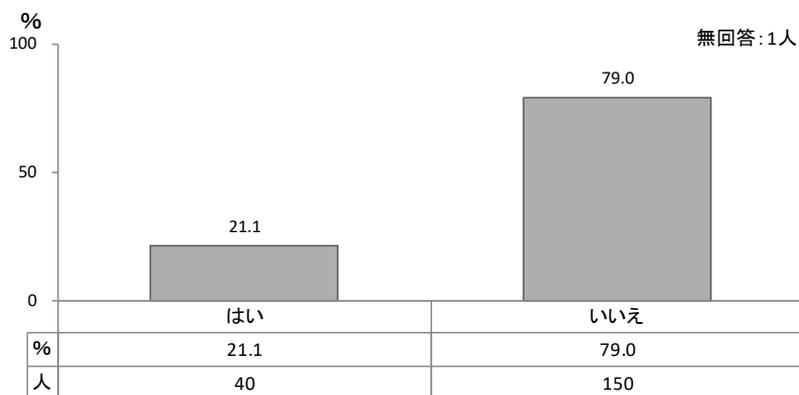
Q16. お子様は、食物アレルギーを起こしたことがありますか。

1. はい

2. いいえ

→2. と答えた方は Q18. へお進みください

Q16. お子様は食物アレルギーを起こしたことがありますか。

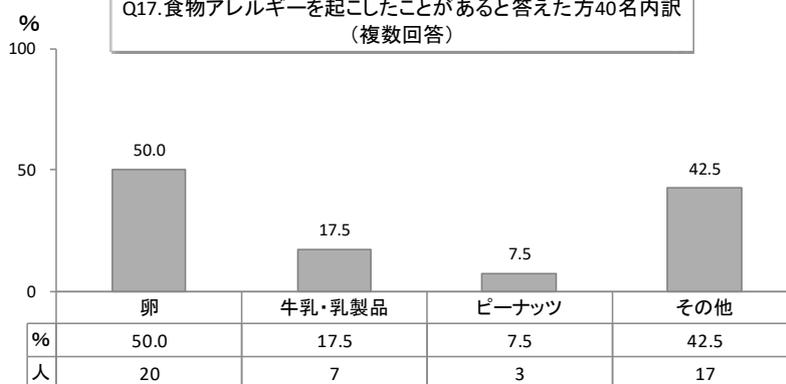


Q17. 食物アレルギーについて、アレルギー症状（じんましん・唇の腫れなど）を起こす食物で該当する番号に○または数字を記入して下さい。

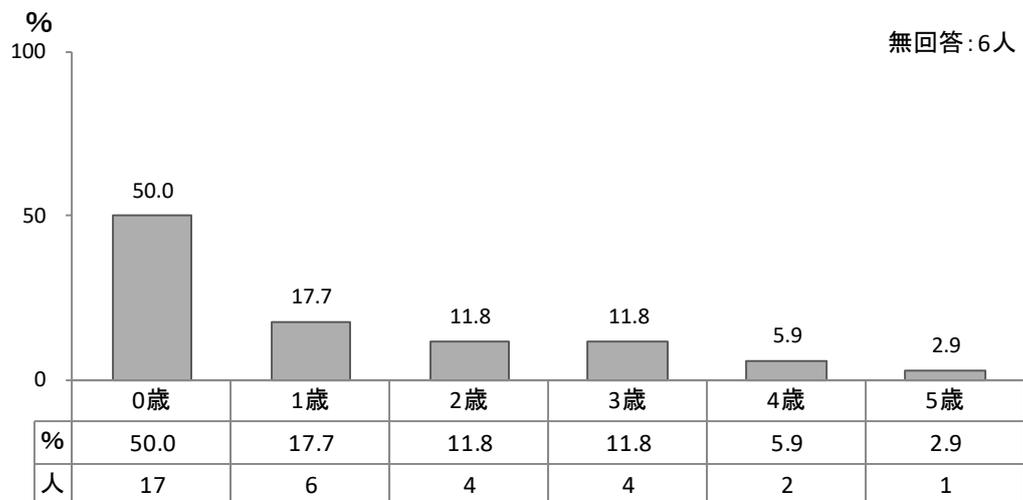
	初めて症状があった年齢	医師に診断されたこと	今も食べると症状が出る
1 卵	() 歳 () カ月	1 ある	1 はい 2 いいえ → () 歳から食べられる 3 分からない
2 牛乳・乳製品		2 ない	
3 ピーナッツ			
4 その他 ()			

*複数のアレルギー原因食物がある場合は欄外に記入をお願いします。

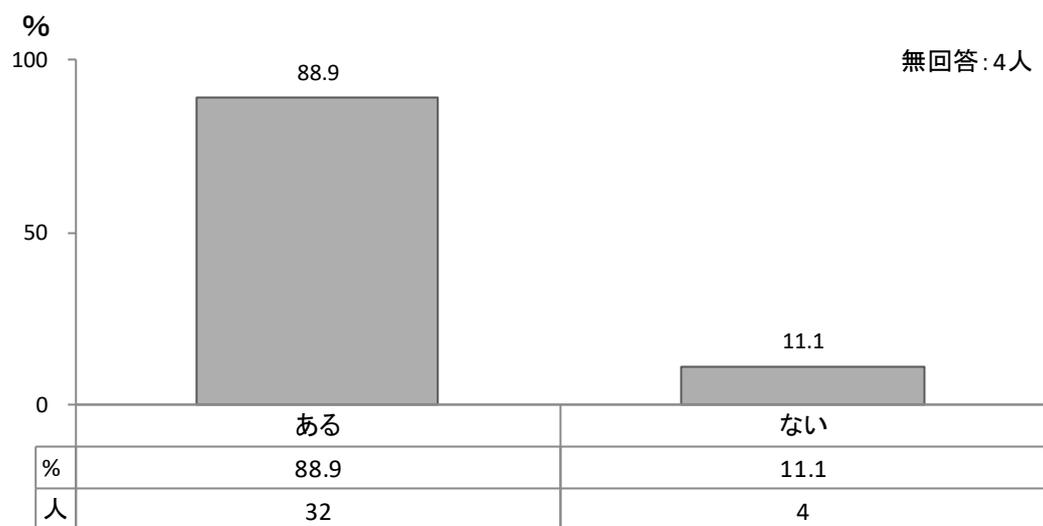
Q17. 食物アレルギーを起こしたことがあると答えた方40名内訳 (複数回答)



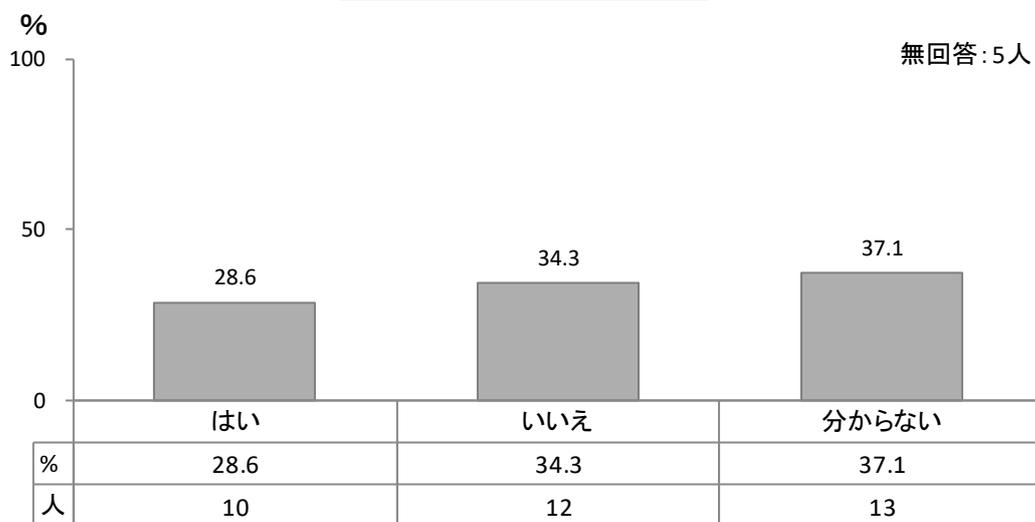
Q17.初めて症状があった年齢



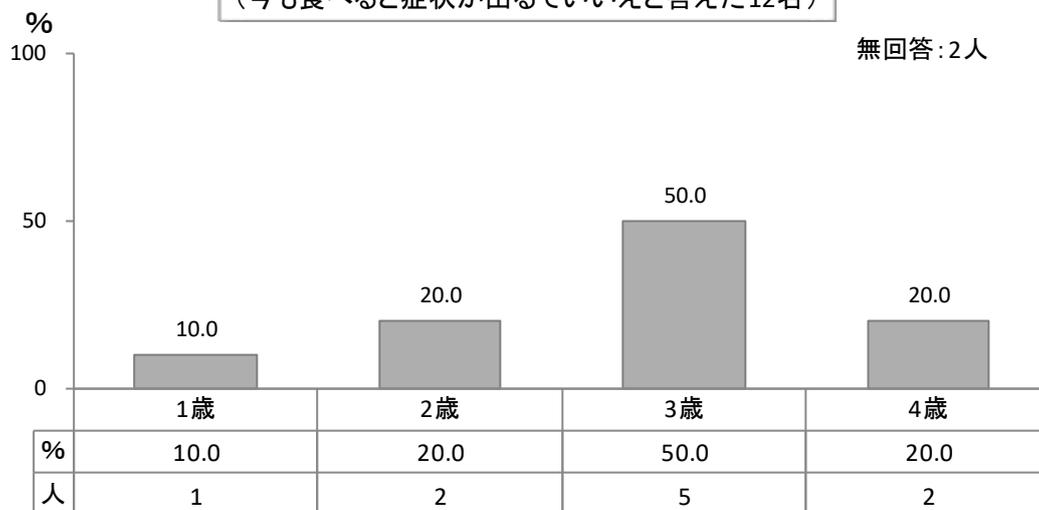
Q17.医師に診断されたこと



Q17.今も食べると症状が出る

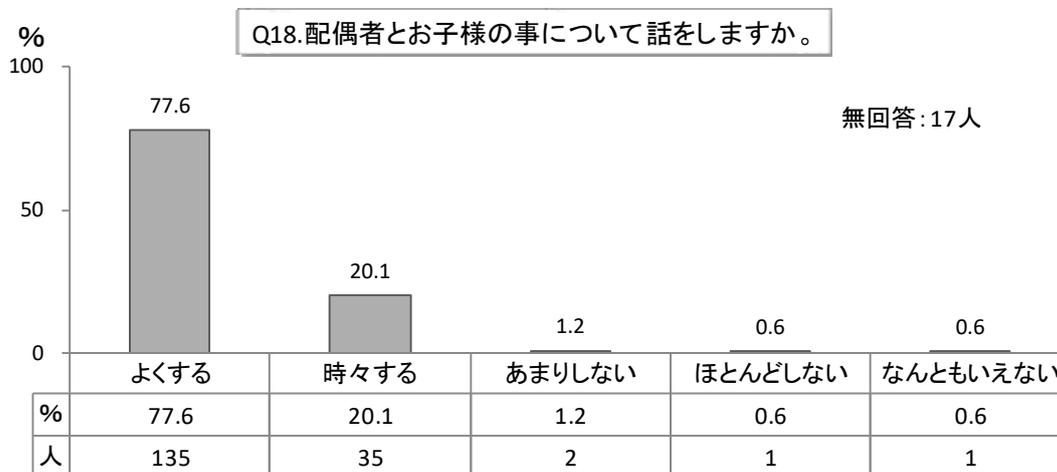


Q17.何歳から食べられるか
(今も食べると症状が出るでいいえと答えた12名)



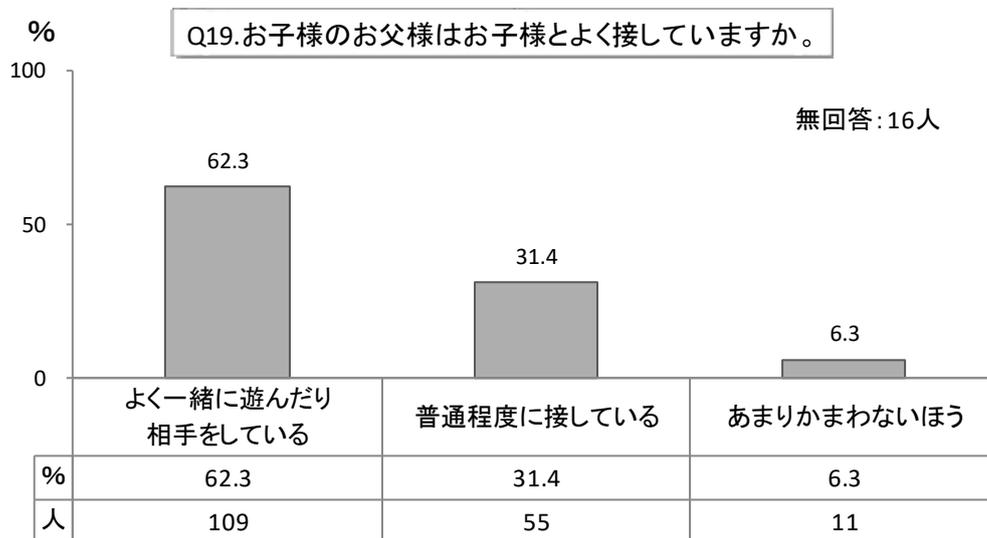
Q18. あなたの配偶者とお子様の事について話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない



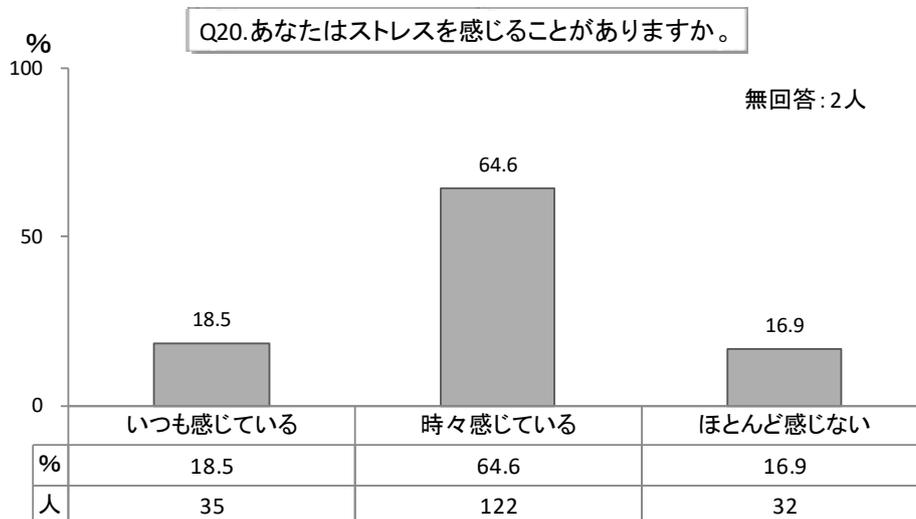
Q19. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである



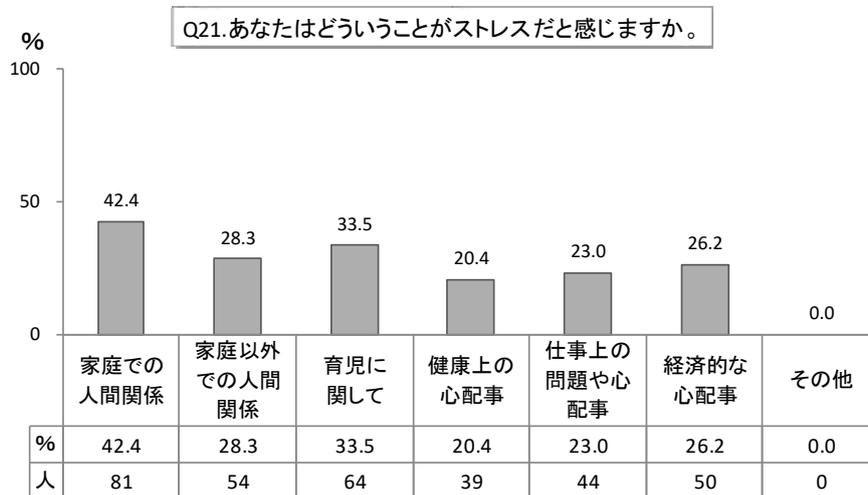
Q20. あなたはストレスを感じるがありますか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じない

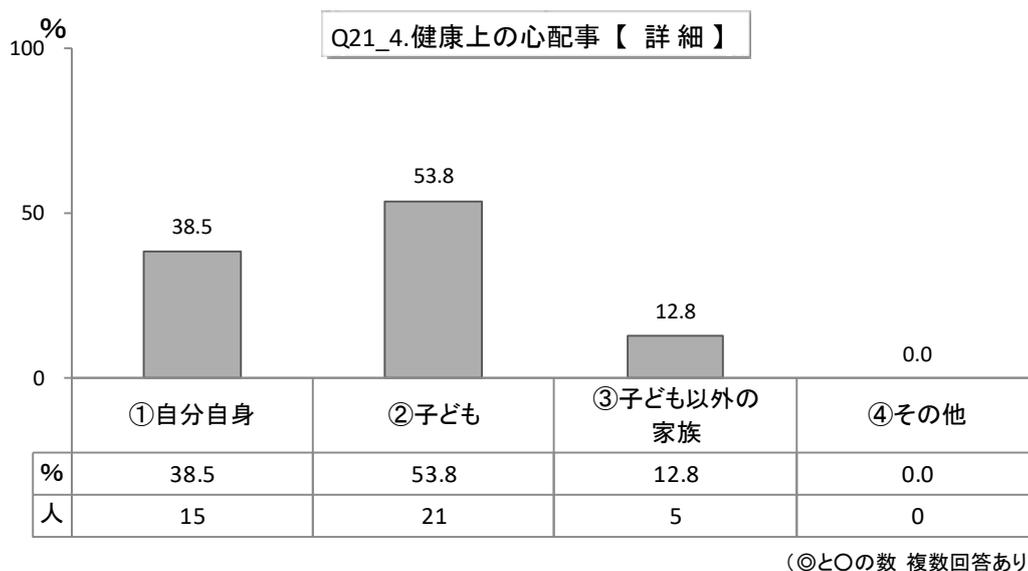
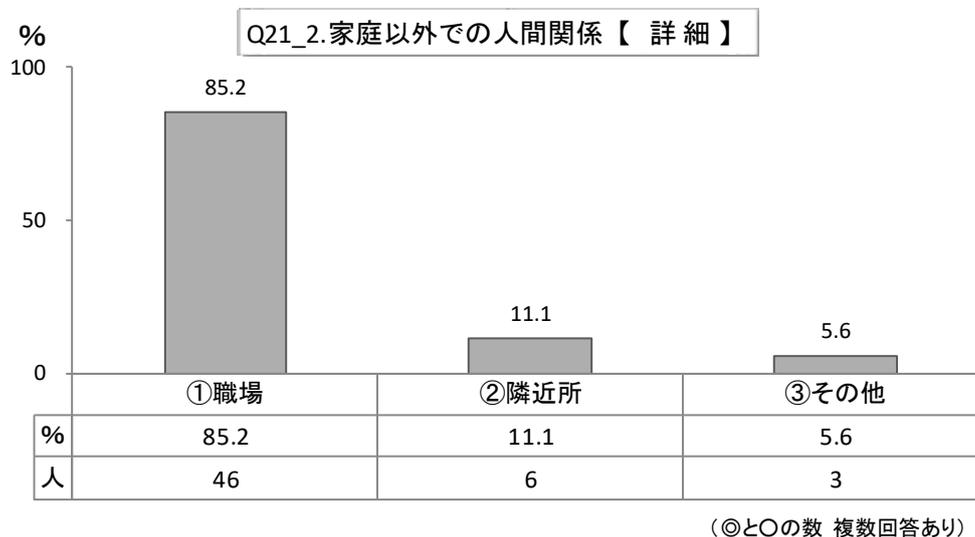
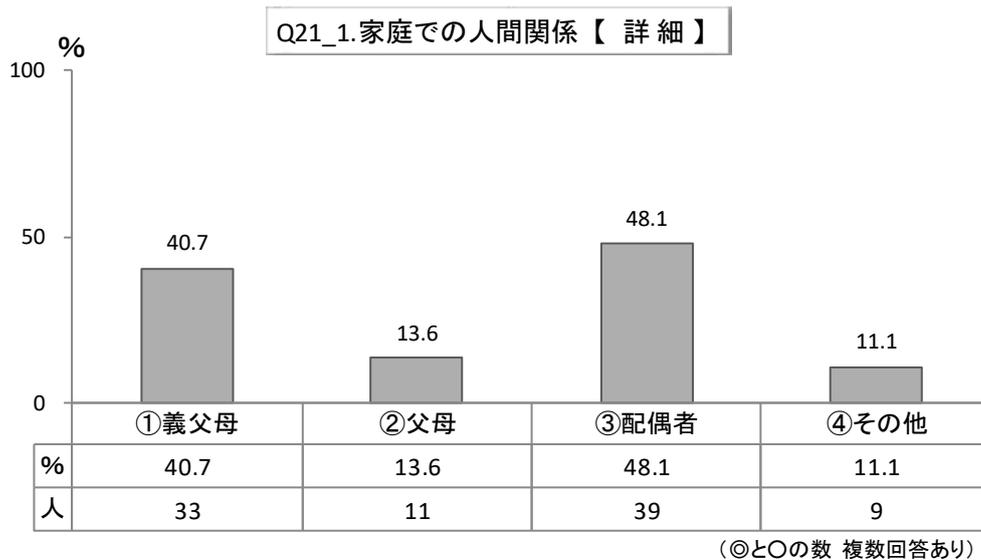


Q21. あなたはどういうことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることにすべてに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③配偶者
 - ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()

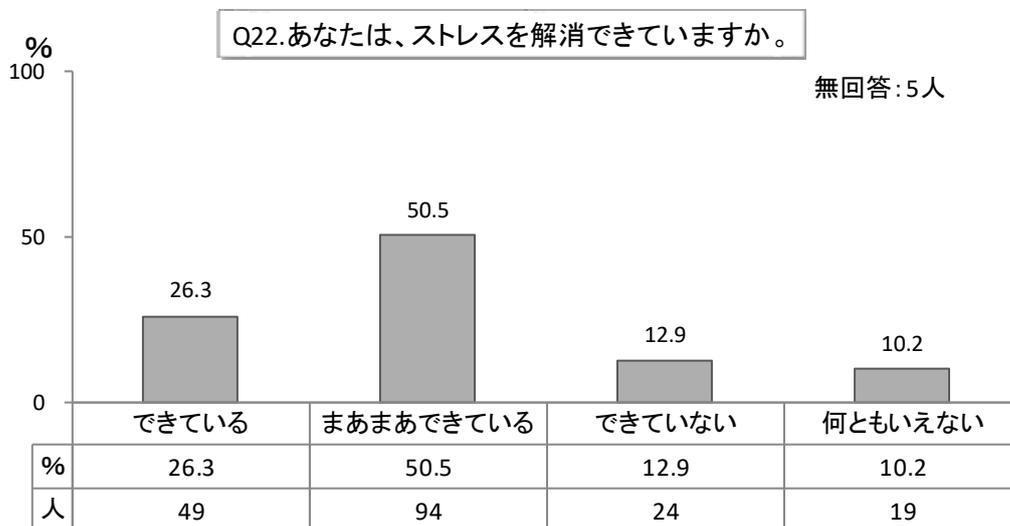


(◎と○の数 複数回答あり)



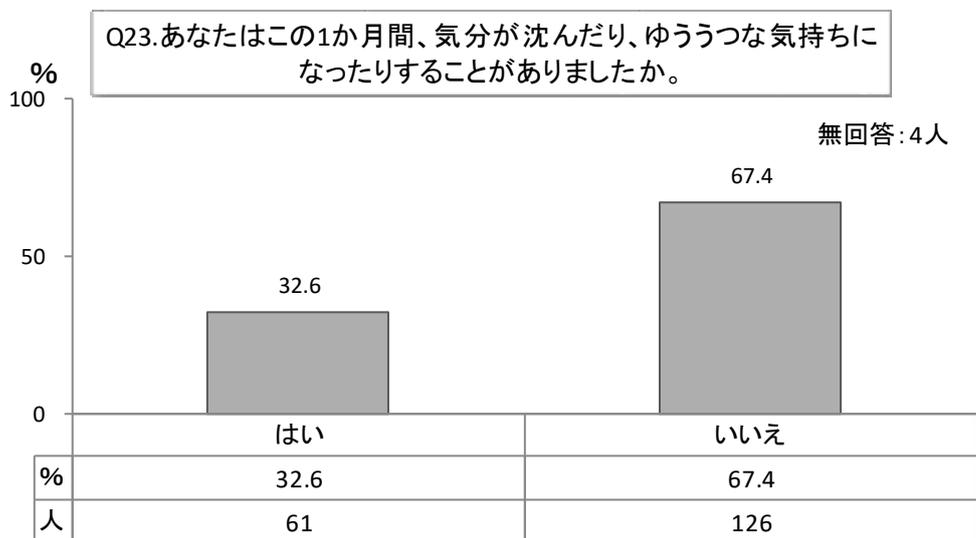
Q22. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている
2. まあまあできている
3. できていない
4. 何ともいえない



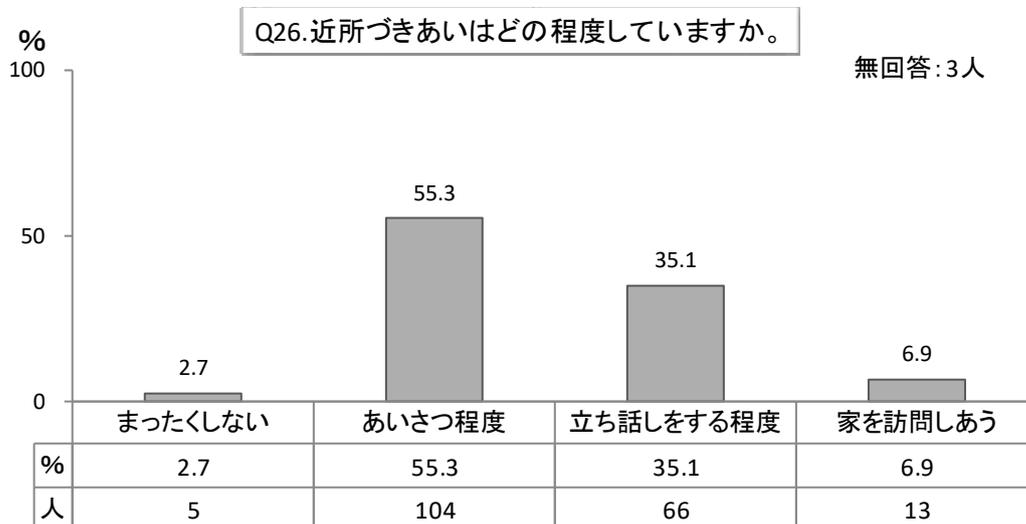
Q23. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

1. はい
2. いいえ



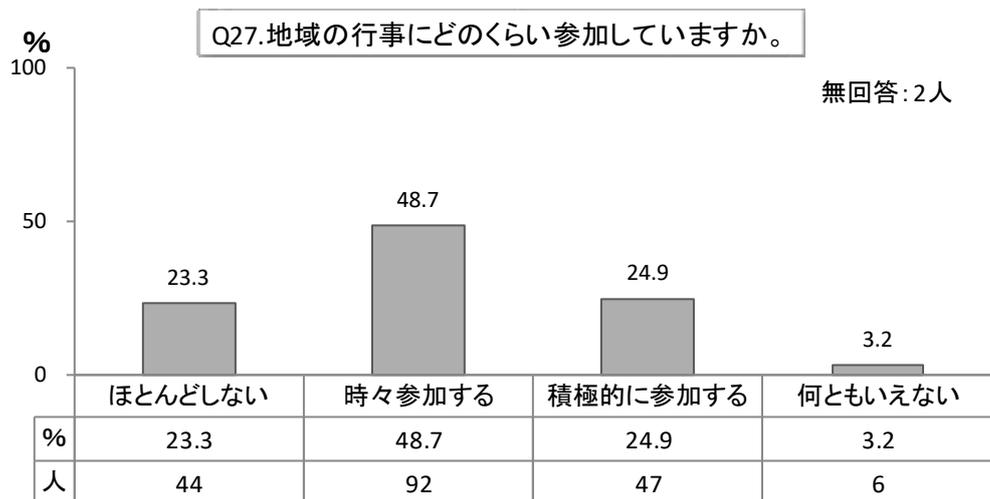
Q26. 近所付き合いはどの程度していますか。

- 1. まったくしない
- 2. あいさつ程度
- 3. 立ち話をする程度
- 4. 家を訪問しあう



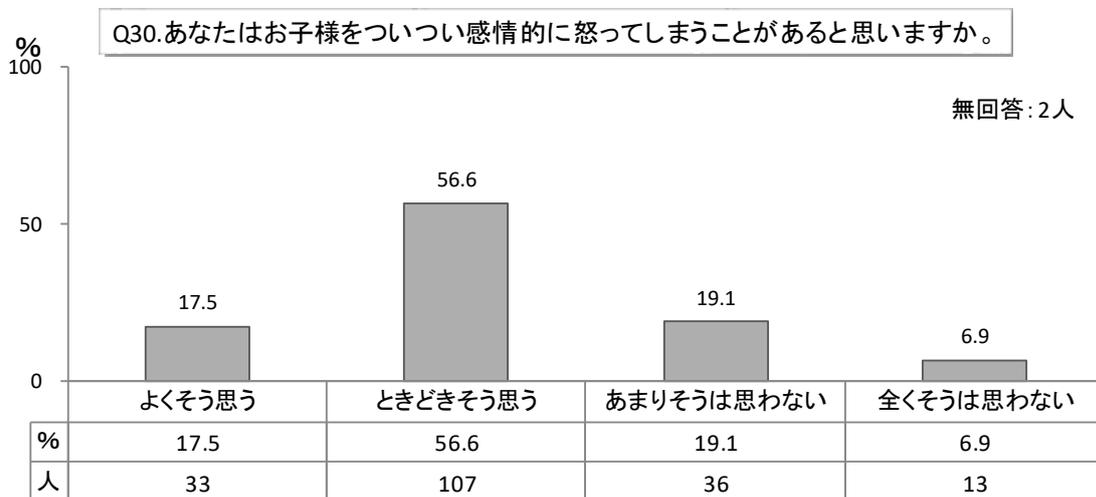
Q27. 地域の行事（区や組の行事）にどのくらい参加していますか。

- 1. ほとんどしない
- 2. 時々参加する
- 3. 積極的に参加する
- 4. 何ともいえない



Q30. あなたはお子様をついつい感情的に怒ってしまうことがありますか。

- 1. よくそう思う
- 2. ときどきそう思う
- 3. あまりそうは思わない
- 4. 全くそうは思わない



今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、自由にお書きください。

以上です。御協力ありがとうございました。

V. 調査票

母子健康手帳の交付を受けられる方へ (H22～)

妊娠おめでとうございます。新しい生命の誕生に向け、期待に胸をふくらませていることと思います。

さて、甲州市 (健康増進課) では皆様方が妊娠中の生活を健やかに送れますように、様々な方面から健康支援に努めております。より健やかにお子様のご誕生を迎えられるよう、皆様方と一緒に考えていくために、アンケート調査を行っています。このアンケートの結果は、山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、皆様の妊娠中の健康支援に役立たせると共に、将来妊娠される方々の保健指導にも生かしていきたいと思っております。

記入された個々の内容に関しては、秘密が守られますので、ありのままにお答えください。

甲州市役所 健康増進課
世帯 _____
個人 _____

注：妊娠された本人以外の方が母子健康手帳を受け取る場合は、窓口の指示により本アンケート用紙を家庭に持ち帰り、必ず本人が記入したうえで早急に健康増進課まで届けてください。
(記入法：各質問に対し、該当する番号に○印や記入をしてください。)

氏名 _____

出産予定日	年	月	日
記入年月日	年	月	日

Q1. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

- 1. 仕事をしている
- 2. 仕事はしているが現在休職中である
- 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
- 4. 学生である

→3. 4 と答えた方は
Q3. へお進みください

Q2. Q1 で 1. 2. と答えた方のみお答えください。

あなたが従事している仕事の形態を次からお選びください。

- 1. 農業
 - 2. 自営業
 - 3. 常勤
 - 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 2-1. 仕事をされる時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

Q3. あなたのお配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業
 - 2. 自営業
 - 3. 常勤
 - 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 3-1. 仕事をされる時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務
- 3-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。 () 時～ () 時 () 交代制

Q4. 妊娠とわかった時の気持ちちはどんなでしたか。

- SQ1. あなた自身 ↓
- 1. うれしかった
 - 2. なんとなく照れくさかった
 - 3. 特になんとも感じなかった
 - 4. 困ったと思った
 - 5. その他 ()
- SQ2. 夫 ↓
- 1. うれしかった
 - 2. なんとなく照れくさかった
 - 3. 特になんとも感じなかった
 - 4. 困ったと思った
 - 5. その他 ()

Q5. 今回の妊娠は計画的な妊娠ですか。

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. どちらともいえない

Q6. 子どもは全部で何人くらい希望しますか。

- 6-1. 自分は ① () 人 ② わからない
- 6-2. 夫は ① () 人 ② わからない

Q7. あなたはタバコを吸いますか。

- 1. 吸う (一日平均 _____ 本、今まで _____ 年間吸っている)
- 2. 妊娠する前からやめていた (以前一日平均 _____ 本、今まで _____ 年間吸った)
- 3. 妊娠を契機にやめた (以前一日平均 _____ 本、今まで _____ 年間吸った)
- 4. 以前から全く吸わない

Q8. Q7 で 1. と答えた方のみお答えください。

あなたはタバコの本数を減らしたい、あるいはやめたいと思っていますか。

- 1. いつも思っている
- 2. ときどき思う
- 3. 思わない

Q9. あなたの夫はタバコを吸いますか。

- 1. 吸う (一日平均 _____ 本)
- 2. 妊娠する前からやめていた
- 3. 妊娠を契機にやめた
- 4. 以前から全く吸わない

Q10. ご主人以外の同居のご家族の中で、喫煙される方はいますか。

- 1. いない
- 2. いる (どなたですか?) :

Q11. あなたはお酒を飲みますか。

- 1. 飲む (月平均 _____ 日、 _____ 年間飲んでいる)
- 2. 妊娠する前からやめていた (以前、月平均 _____ 日、 _____ 年間飲んでいた)
- 3. 妊娠を契機にやめた (以前、月平均 _____ 日、 _____ 年間飲んでいた)
- 4. 以前から全く飲まない

Q15. 妊娠前、以下に挙げる食品について、普通1週間にどのくらい食べていましたか。当てはまる箇所には○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップスなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

(Q11 で1と答えた方のみお答えください。)
 11-1. 飲むお酒の種類は何ですか。一番多いものひとつに○をつけて、一回に飲むお酒の量を記入してください。

1. ビール (大びん__本) 2. 日本酒 (__合) 3. ワイン (__合)
 4. ウイスキー・ブランデー (水割り__杯) 5. しょうちゅう (水割り等__杯)
 6. その他 ()

11-2. あなたは、お酒をひかえたり、やめようと思っていますか。

1. いつも思っている 2. ときどき思う 3. 思わない

Q12. 妊娠前、通常の1週間で運動 (体力の維持・向上を目的として、計画的・意図的に実施するウォーキングやスポーツなど) を、1週間にどのくらい行いましたか。

1. ほとんどしない 2. 1時間未満 3. 1～2時間未満
 4. 2～6時間未満 5. 6時間以上

12-1. 行っているという方はどのような内容ですか。具体的にお書きください。
 ()

Q13. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q14. 妊娠前の食事に関してうかがいます。

※妊娠前とは、おおよそ妊娠する1年間くらい前までのこととお考えください。

14-1. 栄養のバランスを考えていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

14-2. カロリーをとりすぎないようにしていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

14-3. 野菜をたべるようにしていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

14-4. 食品を選ぶ時、無農薬・添加物などを意識して選んでいましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

14-5. 朝食を食べていましたか。

1. 毎日食べる 2. 週3～5回 3. 週1～2回 4. 食べない

Q16. 妊娠前のあなたの平日（土、日を除く）の起床・就寝時間についてうかがいます。

1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時ころ
2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時ころ
3. 平均して何時間寝ますか () 時間位

Q17. 現在ストレスを感じることはありませんか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じていない

Q18. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることすべてに○をつけてください。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係
 - ①義父母 ②父母 ③夫 ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場 ②隣近所 ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身 ②子ども ③子ども以外の家族 ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()

Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている
2. まあまあできている
3. できていない
4. 何ともいえない

Q20. 近所つきあいほどの程度していませんか。

1. まったくしない
2. あいさつ程度
3. 立ち話しをする程度
4. 家を訪問しあう

Q21. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか？

1. はい
2. いいえ

Q22. あなたはこの11か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか？

1. はい
2. いいえ

以上です。ご協力ありがとうございました。

1 歳6 ヶ月か月児健康診査に来られる保護者の皆様へ (H22～)

1 歳6 ヶ月を迎えられたお子様のご様子はいかがでしょうか。ご家族の愛情にはぐくまれ、健やかにご成長のことと思います。

さて甲州市(健康増進課)では、お子様が心身ともに一層健やかにご成長されますよう、保護者の皆様と一緒に考えていくために、1歳6ヶ月児に関するアンケート調査を行っています。このアンケートの結果は山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、お子様のこれからの健康支援に役立つ大切なものです。また記入された内容につきましては、固く秘密がまらめますので、どうぞご安心の上、ありのままにお答えください。

甲州市役所 健康増進課
世帯
個人

【この調査用紙は、保護者様ご自身で記入の上、健診会場にお持ち下さい。】
(記入法：各質問の該当する番号に○印や記入をしてください。)

記入年月日 → ()年()月()日 記入者続柄【 父 母 その他() 】
お子様のお名前 () 生年月日 ()年()月()日生

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ()
 - ②性格のこと 1. ない 2. ある ()
 - ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ()
 - ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ()
 - ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ()
- あると答えた方はどのようなことですか当てはまるもの全てに○を付けてください。
- ① 食べ方にむらがある 2. 食事が多い 3. 丸のみ(良く噛まない)
 - ④ 偏食 5. 間食が多い 6. 遊び食べ 7. その他 ()
 - ⑥ 睡眠のこと 1. ない 2. ある ()
 - ⑦ お友達のこと 1. ない 2. ある ()
 - ⑧ しつけについて (トイレトレーニング含む) 1. ない 2. ある ()
 - ⑨ 保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ()
 - ⑩ 祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ()
 - ⑪ 住居環境のこと 1. ない 2. ある ()
 - ⑫ その他 1. ない 2. ある ()

Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない(専業主婦である)
 - 4. 学生である
- 3. 4 と答えた方は Q4 へお進みください

Q3. Q2で1. 2 と答えた方のみお答えください。

あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 3-1. 仕事をされる時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 4-1. 仕事をされる時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務
- 4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。() 時～() 時 () 交代制

Q5. たばこについてお答えください。

- 5-1. 現在あなたはたばこを吸っていますか。 1. はい 2. いいえ

5-2. 現在あなたの配偶者はたばこを吸っていますか。

- 1. はい 2. いいえ

Q6. お子様は保育所に通園していますか。

- 1. 通園している () 歳 月から) 2. 通園していない

Q7. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある 2. ときどきある
- 3. あまりない 4. ほとんどない

Q8. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

- 1. よくある 2. ときどきある
- 3. あまりない 4. ほとんどない

Q9. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

- 1. 1時間以下 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間
- 5. 4～5時間 6. 5時間以上 7. 見ない

Q16. お子様の食事について、該当する番号に○をつけて下さい。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉砂めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップスなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q10. お母様は、お子様とおんぶやだっこなどスキンシップをしていますか？お母様とお母様以外の人についてそれぞれお答えください。

- 10-1. お母様とはどうですか
1. よくある
 2. ときどきある
 3. あまりない
 4. ほとんどない
- 10-2. お母様以外の人とはどうですか
1. よくある
 2. ときどきある
 3. あまりない
 4. ほとんどない

Q11. お子様の起床・就寝など睡眠の様子についてうかがいます。

- 11-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時 () 分 ころ
- 11-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時 () 分 ころ
- 11-3. 起床を始める時間は何時ごろですか () 時 () 分 ころ
- 11-4. 起床は一日どのくらいしますか () 時間位
- 11-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰：)

Q12. あなたは配偶者とお子様のことについて話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない

Q13. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないうほうである

Q14. お子様の食事について伺います。

14-1. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか？平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

- 朝食 () 時 ころ
- 昼食 () 時 ころ
- 夕食 () 時 ころ

14-2. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい
2. いいえ
3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q15. お子様のおやつ (食事以外のおかし、飲物、果物など) をどのようにして与えますか。(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない

- Q25. 子育てをしていくなかで、あなたにとって誰か精神的に支えになる人がいますか。
 1. はい 2. いいえ
- Q26. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。
 1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそうは思わない
 4. 全くそうは思わない
- Q27. あなたはお子様をいつい感情的に怒ってしまうことがあると思いますか。
 1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそうは思わない
 4. 全くそうは思わない
- Q28. あなたはお子様の要求は何でも聞いてしまいますか。
 1. いつも聞いてしまう
 2. 我慢させることもある
 3. 全て聞き入れない
- Q29. お子様は、生まれてから今までに病気で入院したことがありますか。
 1. はい () 回
 2. いいえ

29-1. 上記で「1. はい」と答えられた方は、その時の詳しい内容をご記入ください

入院年月日	1回目			2回目			3回目		
	年	月	日	年	月	日	年	月	日
入院期間	()	()	()	()	()	()	()	()	()
病名	()	()	()	()	()	()	()	()	()
医療機関名	()	()	()	()	()	()	()	()	()

- Q30. お子様は、生まれてから今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。
 (注：タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどをした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含まれます)
 1. はい
 2. いいえ

- Q17. あなたはストレスを感じることはありませんか。
 1. いつも感じている 2. 時々感じている 3. ほとんど感じていない
- Q18. あなたはどういうことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることに○をつけてください。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。
 1. 家庭での人間関係
 ①義父母 ②父母 ③配偶者 ④その他 ()
 2. 家庭以外での人間関係
 ①職場 ②隣近所 ③その他 ()
 3. 育児に関して
 4. 健康上の心配事
 ①自分自身 ②子ども ③子ども以外の家族 ④その他 ()
 5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
 6. 経済的な心配事
 7. その他 ()

- Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。
 1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない
- Q20. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。
 1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそう思わない
 4. 全くそう思わない

- Q21. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか？
 1. はい 2. いいえ

- Q22. あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか？
 1. はい 2. いいえ

- Q23. 近所付き合いはどの程度していますか。
 1. まったくしない 2. あいさつ程度 3. 立ち話をする程度 4. 家を訪問しあう

- Q24. 地域の行事 (区や組の行事) にどのくらい参加していますか。
 1. まったくしない 2. ほとんどしない 3. 時々参加する 4. 積極的に参加する

Q31. お子様は、生まれてから今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

- 1. はい (回)
- 2. いいえ

31-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
()	()
()	()
()	()
()	()

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

以上です。ご協力ありがとうございました。

Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選び下さい。

1. 仕事をしている
 2. 仕事はしているが現在休職中である
 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
 4. 学生である
- 3. 4. と答えた方は
Q4. へお進みください

Q3. あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選び下さい。

1. 農業
 2. 自営業
 3. 常勤
 4. パート・内職
 5. その他 ()
- 3-1. 仕事をすする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

1. 農業
 2. 自営業
 3. 常勤
 4. パート・内職
 5. その他 ()
- 4-1. 仕事をすする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務
- 4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。() 時～() 時 () 交代制

Q5. お子様は保育所または幼稚園に通園していますか。

1. 保育所に通園している (歳から)
2. 幼稚園に通園している (歳から)
3. 通園していないが、これから通園させたい (歳から)
4. ずっと通園させないつもりである
5. わからない/なんともいえない
6. その他

Q6. お子様は普段、ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ほとんどない

Q7. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ほとんどない

Q8. お子様は同年代の子どもに興味や関心をもちますか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

3 歳児健康診査に来られる保護者様へ (H22～)

3 歳を迎えられたお子様のご様子はいかがでしょうか。ご家族の方の愛情にはぐくまれ、健やかにご成長のことと思います。

さて甲州市 (健康増進課) では、お子様が心身ともに一層健やかにご成長されますよう、保護者の皆様と一緒に考えていくために、3 歳児に関するアンケート調査を行っています。

この調査の結果は山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、お子様の今後の健康支援に生かされる大切なものです。また記入された内容につきましては、固く秘密がまもられますので、どうぞご安心の上、ありのままにお答え下さい。

甲州市役所 健康増進課
世帯 _____
個人 _____

[この調査用紙は、保護者様ご自身で記入の上、健診会場にお持ち下さい。]
(記入法：各質問の該当する番号に○印や記入をしてください。)

記入年月日 → () 年 () 月 () 日 記入者続柄【 父 母 その他 () 】
お子様のお名前 () 生年月日 () 年 月 日 (日生)

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ()
- ②性格のこと 1. ない 2. ある ()
- ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ()
- ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ()

あると答えた方はどのようなことですか当てはまるもの全てに○を付けてください。

1. 食べ方にむらがある
2. 食量 (少ない・多い)
3. 良く噛まない
4. 偏食
5. 間食が多い
6. 遊び食べ
7. その他 ()
- ⑥睡眠のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑦お友達のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑧保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ()
- ⑨しつけについて 1. ない 2. ある ()
- ⑩祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ()
- ⑪住居環境のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑫その他 1. ない 2. ある ()

Q10. お子様の食事について伺います。

Q9. お子様の食事について、該当する番号に○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップスなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

- 10-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。
 1. はい
 2. いいえ (いつ食べないことが多いですか： 朝 ・ 昼 ・ 夜)
- 10-2. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べ始めるのは何時ごろですか？平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。
 朝食 () 時 ころ
 昼食 () 時 ころ
 夕食 () 時 ころ
- 10-3. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。
 1. だいたい家族そろって
 2. 時々家族そろって
 3. だいたい子どもだけ
 4. その他 ()
- 10-4. あなたは「手ばかり」を知っていますか。
 1. はい
 2. いいえ
 3. 聞いた事はあるが、内容は知らない
- Q11. お子様のおやつ (食事以外のおかし、飲物、果物など) はどのようなように与えますか。
 (保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)
 1. 時間を決めて与える
 2. ほしがる時に与える
 3. 特に与え方に気をつけていない
- Q12. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。
 1. 1時間以下
 2. 1~2時間
 3. 2~3時間
 4. 3~4時間
 5. 4~5時間
 6. 5時間以上
 7. 見ない
- Q13. お子様はテレビゲーム類 (ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピュータゲーム等も含む) を一日どのくらい行いますか。
 1. 1時間以下
 2. 1~2時間
 3. 2~3時間
 4. 3~4時間
 5. 4~5時間
 6. 5時間以上
 7. 行わない
- Q14. お子様の起床・就寝についてうかがいます。
 14-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時 () 分 ころ
 14-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時 () 分 ころ
 14-3. 昼寝を始める時間は何時ごろですか () 時 () 分 ころ
 14-4. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位
 14-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰：)

- Q22. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。
1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそうは思わない
 4. 全くそうは思わない
- Q23. 近所付き合いはどの程度していますか。
1. まったくしない
 2. あいさつ程度
 3. 立ち話しをする程度
 4. 家を訪問しあう程度
- Q24. 地域の行事 (区や組の行事) にどのくらい参加していますか。
1. ほとんどしない
 2. 時々参加する
 3. 積極的に参加する
 4. 何ともいえない
- Q25. あなたには、子ども連れで親同士が集まれる場所がありますか。
1. はい
 2. いいえ
- Q26. 子育てをしていくなかで、あなたにとって精神的に支えになる人がいますか。
1. はい
 2. いいえ
- Q27. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。
1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそうは思わない
 4. 全くそうは思わない
- Q28. あなたはお子様をいつい感情に怒ってしまうことがありますか。
1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそうは思わない
 4. 全くそうは思わない
- Q29. あなたはお子様の要求は何でも聞いてしまいますか。
1. いつも聞いてしまう
 2. 我慢させることもある
 3. 全て聞き入れない

- Q15. あなたは配偶者とお子様の事について話をしますか。
1. よくする
 2. 時々する
 3. あまりしない
 4. ほとんどしない
 5. なんともいえない
- Q16. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。
1. よく遊んだり、相手をしている
 2. 普通程度に接している
 3. あまりかまわないほうである
- Q17. あなたはストレスを感じることがありますか。
1. いつも感じている
 2. 時々感じている
 3. ほとんど感じていない
- Q18. あなたはどういうことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることすべてに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。
1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③配偶者
 - ④その他 ()
 2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
 3. 育児に関して
 4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
 5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
 6. 経済的な心配事
 7. その他 ()
- Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。
1. できている
 2. まあまあできている
 3. できていない
 4. 何ともいえない
- Q20. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか?
1. はい
 2. いいえ
- Q21. あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか?
1. はい
 2. いいえ

Q30. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気で入院したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ

30-1. 上記で「はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入下さい

	1回目		2回目		3回目	
入院年月日	年	月	年	月	年	月
入院期間	()	()	()	()	()	()
病名	()	()	()	()	()	()
医療機関名	()	()	()	()	()	()

Q31. お子様は、1歳6か月健診から今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。

(注：タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含みます)

1. はい
2. いいえ

223

Q32. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ

32-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
()	()
()	()
()	()

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

5 歳児健康診査に来られる保護者様へ (H30～)

5 歳を迎えられたお子様のご様子はいかがでしょうか。ご家族の愛情にはぐくまれ、健やかにご成長のことと思います。

さて甲州市 (健康増進課) では、お子様が心身ともに一層健やかにご成長されますよう、保護者の皆様と一緒に考えていくために、5 歳児に関するアンケート調査を行っています。

この調査の結果は、山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、お子様の今後の健康支援に生かされる大切なものです。また記入された内容につきましては、固く秘密がまもられますので、どうぞご安心の上、ありのままにお答え下さい。

甲州市役所 健康増進課
世帯 _____
個人 _____

[この調査用紙は、保護者様ご自身で記入の上、健診会場にお持ち下さい。]
(記入法：各質問の該当する番号に○印や記入をしてください。)

記入年月日 → 平成()年()月()日 記入者続柄【 父 母 その他() 】
お子様のお名前 () 生年月日 () 年 月 日生

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ()
- ②性格のこと 1. ない 2. ある ()
- ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ()
- ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ()

あると答えた方はどのようなことですか当てはまるもの全てに○を付けてください。

- ① 食べ方にむらがある 2. 食量 (少ない・多い) 3. 良く噛まない
- ④ 偏食 5. 間食が多い 6. 遊び食べ 7. その他 ()

- ⑥睡眠のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑦お友達のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑧保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ()
- ⑨しつけについて 1. ない 2. ある ()
- ⑩祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ()
- ⑪住居環境のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑫その他 1. ない 2. ある ()

Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選び下さい。

- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
 - 4. 学生である
- 3. 4. と答えた方は Q4. へお進みください

Q3. あなたが従事している仕事を次の中からお選び下さい。

- 1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
 - 5. 学生 6. その他 ()
- 3-1. 仕事をされる時間はどのくらいですか。 1 日 () 時間 週 () 日勤務

Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 4-1. 仕事をされる時間はどのくらいですか。 1 日 () 時間 週 () 日勤務
4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。() 時～() 時 () 交代制

Q5. お子様は保育園または幼稚園に通園していますか。

- 1. 保育園に通園している () 歳から
- 2. 幼稚園に通園している () 歳から
- 3. 通園していない
- 4. 通園していたがやめた
- 5. その他 ()

Q6. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある 2. ときどきある
- 3. あまりない 4. ほとんどない

Q7. お子様は戸外・室内どちらで遊ぶことが多いですか。

- 1. 戸外で遊ぶことが多い。
- 2. 戸外・室内両方で遊ぶことが多い。
- 3. 室内で遊ぶことが多い。

Q8. お子様は同年代のお友達とよく遊べますか。

- 1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

Q9. お子様はテレビやビデオ・DVD を一日どのくらい見ますか。

- 1. 1 時間以下 2. 1～2 時間 3. 2～3 時間 4. 3～4 時間
- 5. 4～5 時間 6. 5 時間以上 7. 見ない

Q14. お子様の食事について、該当する番号に○をつけて下さい。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップスなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q10. お子様はテレビゲーム類 (ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピューターゲーム等も含む) を一日どのくらい行いますか

1. 1時間以下 2. 1~2時間 3. 2~3時間 4. 3~4時間
5. 4~5時間 6. 5時間以上 7. 行わない

Q11. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

- 11-1. 朝、平均して何時頃起きますか () 時 () 分 ころ
11-2. 夜、平均して何時頃寝ますか () 時 () 分 ころ
11-3. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位
11-4. 夜、一人で寝ますか → ①寝る ②寝ない (誰と:)

Q12. お子様の食事について伺います。

12-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

1. はい
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか: 朝・昼・夜)

12-2. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか? 平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

- 朝食 () 時 ころ
昼食 () 時 ころ
夕食 () 時 ころ

12-3. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって 2. 時々家族そろって
3. だいたい子どもだけ 4. その他 ()

12-4. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q13. お子様のおやつ (食事以外のおかし、飲物、果物など) はどのようなようにして与えますか。

(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない

Q15. お子様のアレルギー関連の病気になるにつれて、該当する番号に○をつけて下さい。

	1年以内の症状	医師に診断されたこと	医療機関への受診	現在の治療内容
気管支喘息	1 ある 2 ない (ゼーゼー・ヒューヒュー)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など
アトピー性皮膚炎	1 ある 2 ない (かゆみを伴った湿疹)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など
アレルギー性鼻炎(花粉症含む)	1 ある 2 ない (カゼ以外のくしゃみ・鼻水・鼻づまり)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など
スギ花粉症(スギ花粉の時期の鼻炎)	1 ある 2 ない (カゼ以外のくしゃみ・鼻水・鼻づまり)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など

Q16. お子様は、食物アレルギーを起こしたことがありますか。

1. はい
2. いいえ

→2. と答えの方はQ18. へお進みください

Q17. 食物アレルギーについて、アレルギー症状(じんましん・唇の腫れなど)を起こす食物で該当する番号に○または数字を記入して下さい。

	初めて症状があつた年齢	医師に診断されたこと	今も食べると症状が出る
1 卵	() 歳 () カ月	1 ある 2 ない	1 はい 2 いいえ → () 歳から食べられる 3 分からない
2 牛乳・乳製品			
3 ビーナッツ			
4 その他 ()			

*複数のアレルギー原因食物がある場合は欄外に記入をお願いします。

Q18. あなたの配偶者とお子様の事について話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない

Q19. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわなないほうである

Q20. あなたはストレスを感じることがありますか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じない

Q21. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることすべてに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係
①義父母 ②父母 ③配偶者 ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
①職場 ②隣近所 ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
①自分自身 ②子ども ③子ども以外の家族 ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()

Q22. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない

Q23. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか？

1. はい 2. いいえ

Q24. あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか？

1. はい 2. いいえ

Q25. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない

Q26. 近所付き合いはどの程度していますか。

1. まったくしない
2. あいさつ程度
3. 立ち話をする程度
4. 家を訪問しあう

Q27. 地域の行事 (区や組の行事) にどのくらい参加していますか。

1. ほとんどしない
2. 時々参加する
3. 積極的に参加する
4. 何ともいえない

Q28. 子育てをしていくなかで、あなたにとって精神的に支えになる人がいますか。

1. はい
2. いいえ

Q29. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない

Q30. あなたはお子様をついつい感情的に怒ってしまうことがあると思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

以上です。御協力ありがとうございました。

VI. 個別研究

原著

1 ■ Kojima Reiji, Sato Miri, Akiyama Yuka, Shinohara Ryoji, Mizorogi Sonoko, Suzuki Kota, Yokomichi Hiroshi, Yamagata Zentaro. Problematic Internet use and its associations with health-related symptoms and lifestyle habits among rural Japanese adolescents. *Psychiatry Clin Neurosci*. 2019; 73: 20–26

PCN Psychiatry and
Clinical Neurosciences

REGULAR ARTICLE

Problematic Internet use and its associations with health-related symptoms and lifestyle habits among rural Japanese adolescents

Reiji Kojima, MD, PhD ^{1,*}, Miri Sato, PhD,² Yuka Akiyama, MS,¹ Ryoji Shinohara, RN, SW, PhD,³ Sonoko Mizorogi, MD, PhD,^{1,4} Kohta Suzuki, MD, PhD, MPH ⁵, Hiroshi Yokomichi, MD, PhD, MPH, DPH¹ and Zentaro Yamagata, MD, PhD^{1,2}

Aim: There have been concerns about the increase in problematic Internet use (PIU) and its impact on lifestyle habits and health-related symptoms, given the rapid spread of smartphones. This study aimed to clarify PIU prevalence over 3 years in the same area and investigate lifestyle and health-related factors related to PIU among junior high-school students in Japan.

Methods: Each year during 2014–2016, a survey was conducted with junior high-school students from a rural area of Japan (2014, $n = 979$; 2015, $n = 968$; 2016, $n = 940$). Young's Internet Addiction Test was used to assess participants' PIU. Students scoring 40 or higher on the Internet Addiction Test were classified as showing PIU in this study. The associations between PIU and lifestyle factors (e.g., exercise habits, weekday study time, and sleep time) and health-related symptoms (depressive symptoms and orthostatic dysregulation [OD] symptoms) were studied by logistic regression analyses.

Results: Over the 3 years, the prevalence of PIU was 19.9% in 2014, 15.9% in 2015, and 17.7% in 2016 without significant change. PIU was significantly associated with skipping breakfast, having a late bedtime (after midnight), and having OD symptoms among students from all grades. Sleepiness after awakening in the morning, less studying time, and depressive symptoms had significant positive associations with PIU, except among 1st grade junior high-school students.

Conclusion: Our results suggest that PIU is related to decreased time spent sleeping, studying, and exercising and increased symptoms of depression and OD. Further investigations are needed to develop preventive measures for PIU.

Keywords: adolescents, depression, orthostatic dysregulation, problematic Internet use, sleep.

<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/pcn.12791/full>

As part of the progress made in the field of information and communication technology in recent years, the Internet has offered many societal benefits, such as its usefulness as a tool for learning. Nevertheless, adverse effects of technology, such as Internet addiction or problematic Internet use (PIU), are becoming social concerns. Although 'Internet gaming disorder' has been included as a condition for further study in the DSM-5,¹ the definition of 'Internet addiction' or PIU has not yet been definitively established. Among the reasons, some claim that people become addicted not to the medium itself but to online activities or that evidence regarding PIU is lacking compared with Internet gaming disorder.² In this study, those with a score of 40 or higher on Young's Internet Addiction Test (IAT) were defined as showing PIU. Studies on the negative health effects of PIU, such as sleep deprivation³ and visual display terminal syndrome⁴ or poor academic performance and school refusal, have been reported.⁵ Previous studies have also suggested that PIU co-occurs with a broad range of psychiatric disorders, including attention deficit hyperactivity disorder, impulse control disorders, and depression.^{6–10} Such findings are clinically important. Moreover, adolescents have

been reported to be especially vulnerable to behavioral control, because of the tremendous emotional and social stress experienced in this period, as well as structural and functional developmental changes in the brain.^{10,11}

Since 2012, the ownership rate of multifunctional and high-performance smartphones has increased rapidly among adolescent students in Japan, with junior high-school students approaching 51.7% and that among high-school students approaching 94.8% of all students in 2016.¹² As smartphones can connect to the Internet anytime and anywhere, there have been concerns that the prevalence of PIU among adolescent students will rise, although the Japan Pediatric Health Care Council proposed recommendations for ICT issues among children in 2015.¹³ We hypothesized that PIU is on an increasing trend. However, few studies have investigated the PIU trend in the same area in Japan.

Given the current status of PIU among junior high-school students in Japan, a large-scale survey to obtain descriptive statistics was conducted by the Ministry of Health, Labour and Welfare in 2012¹⁴ and the Ministry of Internal Affairs and Communications in 2015,¹⁵

¹ Department of Health Sciences, School of Medicine, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan

² Center for Birth Cohort Studies, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan

³ Department of Physical Therapy, Faculty of Health Sciences, Health Science University, Yamanashi, Japan

⁴ Department of Pediatrics, Nirasaki Municipal Hospital, Yamanashi, Japan

⁵ Department of Health and Psychosocial Medicine, Aichi Medical University School of Medicine, Aichi, Japan

* Correspondence: Email: kojimar@yamanashi.ac.jp

2 ■ Junka Nakagawa Kang, Yuko Unnai Yasuda, Takuya Ogawa, Miri Sato, Zentaro Yamagata, Takeo Fujiwara, Keiji Moriyama. Association between Maternal Smoking during Pregnancy and Missing Teeth in Adolescents. *International Journal of Environmental Research and Public Health* 2019; 16: 4536



Article

Association between Maternal Smoking during Pregnancy and Missing Teeth in Adolescents

Junka Nakagawa Kang¹, Yuko Unnai Yasuda¹, Takuya Ogawa¹, Miri Sato², Zentaro Yamagata², Takeo Fujiwara^{3,*} and Keiji Moriyama^{1,*}

¹ Department of Maxillofacial Orthognathics, Tokyo Medical and University, Tokyo 113-8510, Japan; junka14@yahoo.co.jp (J.N.K.); yuko.unnai.yasuda@gmail.com (Y.U.Y.); t-ogawa.mort@tmd.ac.jp (T.O.)

² Department of Health Sciences, Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Engineering, University of Yamanashi, Yamanashi 409-3898, Japan; miris@yamanashi.ac.jp (M.S.); zenymgt@yamanashi.ac.jp (Z.Y.)

³ Department of Global Health Promotion, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo 113-8519, Japan

* Correspondence: fujiwara.hlth@tmd.ac.jp (T.F.); k-moriyama.mort@tmd.ac.jp (K.M.); Tel.: +81-3-5803-5187 (T.F.); +81-3-5803-5533 (K.M.)

Received: 16 October 2019; Accepted: 13 November 2019; Published: 16 November 2019



Abstract: Tooth agenesis and disturbance of tooth eruption is the most prevalent oral defect, and is possibly caused by the interaction of genetic and environmental factors. We hypothesized that prenatal factors may affect tooth development. The objective of this study was to examine whether smoking during pregnancy was associated with missing teeth in the offspring during adolescence. The study population comprised pregnant women and their children registered ($N = 1052$) at Kosu city, Japan. When the expectant mothers visited the city office for pregnancy registration, a survey was conducted to ascertain their lifestyle habits. Data on missing teeth in the children were obtained from the compulsory dental health checkup during junior high school years. Multivariate logistic regression models were fitted to assess the association between missing teeth and lifestyle habits. A total of 772 children were studied. The prevalence of missing teeth in these children was 4.9%. Children whose mothers smoked six cigarettes or more per day were 4.59 (95% CI: 1.07–19.67) times more likely to present with missing teeth than those children whose mothers did not smoke, after adjustment for possible confounders. Our findings indicate that smoking during pregnancy can be a risk factor for missing teeth in the offspring.

Keywords: cohort studies; Hypodontia; malocclusion; tobacco

1. Introduction

Malocclusion, which is a developmental disorder of the jaws and teeth, can play an important role in both social interactions and functions [1]. A disproportionate number of teeth, which is one type of malocclusion, induces an unharmonious arrangement, such as crowding or spacing, in the dental arch, which clinicians must consider when making orthodontic and other treatment plans [2]. It also affects appearance, which may affect an individual's self-esteem, communication, and quality of life [3,4]. Patients with missing teeth may suffer from further complications, such as periodontal damage, lack of alveolar bone growth, impaired chewing ability, and inaccurate pronunciation [5,6]. Malocclusion has also been associated with common physical symptoms, such as headache [7], and poor academic performance among adolescents [8].

The etiology of missing teeth, that is, a disturbance of tooth development (i.e., tooth agenesis or disturbance of tooth eruption), especially of the permanent teeth, remains unknown. The etiology of tooth agenesis includes genetic factors, environmental factors, or a combination thereof [9–12], while the etiology of a disturbance of tooth eruption may include systemic factors, local factors,

3 ■ Mitsuya Yamakita, Daisuke Ando, Yuka Akiyama, Miri Sato, Kohta Suzuki, Zentaro Yamagata. Association of objectively measured physical activity and sedentary behavior with bone stiffness in peripubertal children. *Journal of Bone and Mineral Metabolism* 2019; 37: 1095-1103

Journal of Bone and Mineral Metabolism (2019) 37:1095–1103
<https://doi.org/10.1007/s00774-019-01021-z>

ORIGINAL ARTICLE



Association of objectively measured physical activity and sedentary behavior with bone stiffness in peripubertal children

Mitsuya Yamakita¹ · Daisuke Ando² · Yuka Akiyama³ · Miri Sato⁴ · Kohta Suzuki⁵ · Zentaro Yamagata^{3,4}

Received: 24 April 2019 / Accepted: 7 June 2019 / Published online: 18 June 2019
 © Springer Japan KK, part of Springer Nature 2019

Abstract

Introduction Physical activity (PA) is a key factor of bone mass acquisition in peripubertal children. Sedentary behavior (SB) has been shown to influence bone outcomes. This study aimed to examine the association between objectively measured PA and SB and bone stiffness in Japanese children.

Materials and Methods Participants were fifth-grade children aged 10–11 years from Project Koshu. The stiffness index (SI) of the calcaneus was measured by quantitative ultrasound; PA and SB were evaluated by an accelerometer. Each PA parameter was divided into sex-specific tertile or stratified by recommended PA guideline [≥ 60 min/day of moderate-to-vigorous PA (MVPA)]. The SI was compared among PA and SB through analysis of covariance with Bonferroni correction.

Results Of 174 children, complete data were obtained from 134 (60 boys and 74 girls). The SI in boys was higher in the highest tertile of MVPA than that in the other groups. A similar association was found in girls but was not significant. Children who met the PA guideline had higher SI than those who did not, but there was no significant difference. A negative relation was observed in girls, with the SI gradually decreasing along with increasing SB (p for trend = 0.038). This association was not observed among boys.

Conclusion This study suggests that MVPA is positively associated with bone stiffness in Japanese schoolchildren in boys and SB is negatively associated with that in girls. Reducing SB might be a brief modifiable factor for preventing lower peak bone mass in girls, in addition to increasing MVPA.

Keywords Physical activity · Sedentary time · Quantitative ultrasound · Schoolchildren · Bone stiffness

Electronic supplementary material The online version of this article (<https://doi.org/10.1007/s00774-019-01021-z>) contains supplementary material, which is available to authorized users.

✉ Mitsuya Yamakita
yamakita@kitasato-u.ac.jp

¹ College of Liberal Arts and Sciences, Kitasato University, Sagamihara, Kanagawa 252-0373, Japan

² Division of Human Sciences, Faculty of Education, Graduate School Department of Interdisciplinary Research, University of Yamanashi, Kofu, Yamanashi, Japan

³ Division of Medicine, Department of Health Sciences, Basic Science for Clinical Medicine, Graduate School Department of Interdisciplinary Research, University of Yamanashi, Chuo, Yamanashi, Japan

⁴ Center for Birth Cohort Studies, Graduate School Department of Interdisciplinary Research, University of Yamanashi, Chuo, Yamanashi, Japan

⁵ Department of Health and Psychosocial Medicine, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Aichi, Japan

Introduction

Osteoporosis is an important public health problem for Japan and other countries with rapidly aging populations. One of the strong predictors for osteoporosis risk in old age is the optimization of peak bone mass (PBM) during the growth period. Acquiring a high PBM may decrease the risk of osteoporotic fractures in later life by 50% [1]. The peripubertal stage is an important period for attaining PBM [2, 3], in which a 5–10% change may result in a 25–50% difference in hip fracture later in life [4]. Although non-modifiable genetic factors have been shown to mainly contribute to PBM, environmental and lifestyle factors are estimated to influence 20–40% of adult PBM [5–7].

Physical activity (PA), particularly high-impact PA such as weight bearing, has been identified as the most important modifiable factors associated with improved bone health outcomes [5–9]. However, globally, 81% of school-age children and adolescents aged 11–17 years do not meet the

学会・研究会等

第 66 回日本小児保健協会学術集会. 2019 年 6 月 20 日～22 日. タワーホール船堀（東京都江戸川区）

4 ■ 山縣然太郎、秋山有佳、小島令嗣：地域の母子保健縦断調査 30 年の歩み — 甲州プロジェクト —

地域の母子保健縦断調査 30 年の歩み— 甲州プロジェクト —

山縣然太郎、秋山有佳、小島令嗣

山梨大学大学院 総合研究部 医学域社会医学講座

【目的】 地域保健活動を基盤にした出生コホート研究の意義を検討することを目的とする。

【方法】 山梨県甲州市で実施している母子保健縦断調査（甲州プロジェクト）について経緯と主な成果を記述する。

【結果】 甲州プロジェクトは旧塩山市で 1988 年開始し、2005 年に隣接する勝沼町、大和村と合併して甲州市となり、現在に至っている。甲州市は甲府盆地の東部に位置し、人口 3.2 万人、出生数は 191 人、高齢化率 33.2% で、ぶどう、桃などの果樹栽培を主な産業としている。プロジェクトの開始は市の保健師から大学への健康情報の分析の相談がきっかけである。調査対象と方法は、妊娠届出、乳児健診、1 歳 6 か月児、3 歳児、5 歳児健診の自記式の調査票と出生体重等の記載を加えて縦断的に突合したデータセットを作り分析を行った。2007 年から思春期調査を加えて、身長・体重のデータとともに突合している。調査は市の保健活動であり、研究利用について調査票に記載し山梨大学医学部の倫理委員会の承認を得ている。妊娠期から思春期までの縦断データを用いて妊娠中の喫煙が幼児期や思春期の肥満のリスク要因であることをわが国で初めて明らかにし（Obesity, 2007）、DOHaD 研究としても注目された。環境省のエコチル調査に参加する基盤ともなった。成果に基づいて乳幼児健診時の啓発パンフレットを作成したり、市の広報に結果を掲載したりしている。また、母子保健計画や健康増進計画の作成、評価にこの調査結果を活用している。

【結論】 日常の地域保健活動で得られる情報は住民の個益とともに事業の精度管理や PDCA サイクルなどに活用できる。個人情報保護、結果の還元など課題はあるが、甲州市と山梨大学は包括的連携協定を結ぶことで最も大きな課題である継続の基盤を得た。保健活動の情報の研究への利活用は基盤整備とともに、住民の理解と協力なしにはなしえない。

第 74 回日本体力医学会大会. 2019 年 9 月 19 日～21 日. つくば国際会議場 (茨城)

5 ■杉田勇人、山北満哉、佐藤美理、秋山有佳、鈴木孝太、山縣然太郎、安藤大輔：小学生における加速度計を用いて測定した中高強度身体活動と肥満の関連

小学生における加速度計を用いて測定した中高強度身体活動と肥満の関連

杉田勇人¹、山北満哉²、佐藤美理¹、秋山有佳¹、鈴木孝太³、山縣然太郎¹、安藤大輔¹

¹山梨大学、²北里大学、³愛知医科大学

【背景】小学生を対象に客観的な測定による身体活動と肥満の関連については十分な検討がなされていない。

【目的】小学生を対象に、加速度計を用いて測定した中高強度身体活動 (MVPA) と肥満の関連を検討すること。

【方法】山梨県甲州市の全小学校 13 校の 5 年生 287 人を対象とした。身体活動は一軸加速度計 (ライフコーダ GS) を用いて測定し、MVPA が平均して 1 日 60 分以上と 60 分未満の 2 群に分類した。定期健康診断で測定された身長、体重、および年齢、性、身長別標準体重から肥満度を算出し、20% 以上を肥満とした。月齢、および家庭の社会経済状況を調整したポアソン回帰分析により、MVPA と肥満の関連を男女別に検討した。

【結果】分析対象とした 226 人 (男子 100 人、女子 126 人) のうち、肥満と判定された児童は男子で 11.0%、女子で 9.5% であり、MVPA が 1 日平均 60 分未満の児童は男子で 34.0%、女子で 49.2% であった。男子では、MVPA が 1 日 60 分未満では、60 分以上と比較して肥満者の割合が有意に多かった (PR: 3.51, 95%CI: 1.09-11.30)。女子では有意な関連はみられなかった (PR: 2.09, 95%CI: 0.63-6.94)。

【結論】小学 5 年生の男子において MVPA が 1 日平均 60 分未満であることと、肥満の間には関連が認められた。

第 78 回日本公衆衛生学会総会. 2019 年 10 月 23 日～25 日. 高知県高知市

6 ■ 小島令嗣、横道洋司、秋山有佳、篠原亮次、山縣然太郎：中学生におけるインターネット依存の軌跡 甲州思春期調査より

中学生におけるインターネット依存の軌跡 甲州思春期調査より

小島令嗣、横道洋司、秋山有佳、篠原亮次、山縣然太郎
山梨大学大学院 総合研究部 社会医学講座

【背景・目的】 インターネット依存 (internet addiction 以下、IA) は、睡眠不足、学業成績低下などの影響があり、急速なスマートフォンなどの普及とともに社会問題となっている。中学生における IA の経時変化とその背景を検討した。

【方法】 甲州市の中学 1 年生を対象に、2014 年から 3 年間毎年自記式質問紙調査を行った。質問項目は Young の Internet Addiction Test 20 項目 (IAT ; 範囲 20-100 点)、うつ傾向 (Birlerson Depression Self-Rating Scale for Children)、OD 症状、朝食摂取状況、運動習慣、就寝時刻、勉強時間、携帯電話の有無、インターネット利用時間などとした。IAT の経時的得点よりトラジェクトリー解析を行い、得られたトラジェクトリーの群ごとに生活習慣などの分布を検討した。

【結果】 3 年間のうち 2 回以上 IAT の値がある 326 名を解析対象とした。トラジェクトリー解析の結果、経時変化は 4 群に分かれた。経年的に IAT の値が 25 前後を維持している非 IA 群は 80.0%、60 以上で持続している IA 持続群は 3.1%、経年的に悪化する IA 悪化群は 9.9%、経年的に改善する IA 改善群は 7.0%であった。群ごとに経時的な生活習慣などの分布を検討したところ、習慣的運動をしないや 24 時以降の就寝、長時間のインターネット利用時間などの不適切な生活習慣やうつ、OD 症状の割合の経時的な分布は、各群の IAT の値の経時変化と同様の分布であった。

【結論】 IAT のトラジェクトリー解析を行った結果 4 群に分かれ、不適切な生活習慣やうつ、OD 症状の割合の経時的な分布は、各群の IAT の値の経時変化と同様の分布であった。

7■秋山有佳、山縣然太郎：思春期における食事バランスと1年後の抑うつ症状との関連

思春期における食事バランスと1年後の抑うつ症状との関連

秋山有佳、山縣然太郎

山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座

【背景】現在、世界的に小児及び思春期のメンタルヘルスが注目されており、日本でも小児の気分障害の患者数が増加傾向にあるなど、喫緊の課題である。抑うつ症状と栄養に関しては、ビタミンやミネラル等の様々な栄養素、魚や野菜、果物、海藻等の食品群で、摂取量が多い方が抑うつ症状がないという報告がされている。しかし、日常の食生活では、様々な食物を組み合わせて摂取していることから、食事バランスとの関連を検討する必要がある。食事バランスと抑うつ症状との関連に関する報告の多くが成人期であり、思春期における報告は数少ない。

【目的】児童における食事バランスと抑うつ症状との関連を縦断的に検討すること。

【方法】研究対象は、山梨県甲州市において毎年6～7月に実施されている「児童生徒の心の健康と生活習慣に関する調査」（以下、思春期調査）に参加し、さらに2016年度にスーパー食育スクール事業の実施校となった小学校に在籍する小学4～6年生の児童とした。調査は、2016年7月に簡易型自記式食事歴質問票を実施し、思春期調査は2016年と2017年のデータを用いた。解析方法は、2016年の思春期調査時点で児童用抑うつ性尺度（36点満点、16点以上抑うつ症状あり）得点にて抑うつ症状ありとされた児童を除外し、児童用抑うつ性尺度得点を目的変数、食事バランスガイドの推奨基準に準じた得点（食事バランスガイド遵守得点：70点満点、高得点＝バランスが良い）を説明変数とした。調整変数は、学年、性別、BMI、運動習慣、平日の就寝時刻、朝食欠食状況、現在の体型に対するなりたい体型とし、単変量分析によって有意差がみられた変数を用いて多重ロジスティック回帰分析を行った。

【結果】解析対象者は122名（男子50名、女子72名）であり、抑うつ症状ありの割合は4.2%であった。単変量分析の結果、調整変数とした変数とはいずれも有意な関連がみられなかったため、属性の項目（学年と性別）のみを多変量分析に用いた。多重ロジスティック回帰分析の結果、食事バランスガイド遵守得点が高くなるに従い1年後の抑うつ症状に対して予防的方向に関連がみられた（オッズ比：0.89、95%信頼区間：0.79-0.99）。

【結論】食事バランスガイド遵守得点が高くなるに従い、1年後の抑うつ症状を予防する可能性が示唆された。

8 ■ 山北満哉、安藤大輔、杉田勇人、佐藤美理、秋山有佳、山口香、横道洋司、山縣然太朗：
1ヶ月間の短時間の運動遊びプログラムは子どもの自制心に影響を及ぼすのか？

1ヶ月間の短時間の運動遊びプログラムは子どもの自制心に影響を及ぼすのか？

山北満哉¹、安藤大輔²、杉田勇人²、佐藤美理³、秋山有佳³、山口香⁴、横道洋司³、
山縣然太朗^{3,5}

¹北里大学一般教育部人間科学教育センター健康科学単位、²山梨大学大学院総合研究部教育学域人間科学系、³山梨大学大学院総合研究部医学域基礎医学系社会医学講座、⁴筑波大学大学院人間総合科学研究科、⁵山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

【目的】子どもの頃の自制心は将来の学業成績や対人関係、労働市場の成功に影響するものとして、その重要性が示唆されている。また、子どもの頃の運動・スポーツ経験が将来の労働市場の成功と関連することも報告されている。これまでに、自制心と運動習慣は正の関連を示すことが報告されているが、横断研究に限られているため、その因果関係は明らかになっていない。また、子どもを対象とした報告はなく、小学生における関連についてはわかっていない。本研究は、短時間の運動遊びプログラムによる小学生の自制心に対する影響を検討することを目的とした。

【方法】研究デザインは小学校を対象としたクラスターランダム化比較試験であり、山梨県甲州市内の全小学校の4、5年生(277名)を対象とした。全13校中9校(69.2%)に所属する264名(95.3%)が2018年12月のベースライン調査に参加し、5校(149名)が介入群、4校が対照群(115名)に割り付けられた。介入群には、2019年1月から2月の1ヶ月間、短時間で実施可能な運動遊びの提供を行った。プログラムは、2人以上で行う1回10秒程度のジャンプを伴う運動遊びであり、自主的に1日5回以上(1日1分程度)行うことを目指すよう促した。また、飽きずにプログラムを継続できるよう人間の損失回避性に着目したランクアップダウン制を取り入れた記録カードを用いた。自制心は尾崎らにより邦訳された13項目のBrief Self-Control Scale (BSCS)を用いて評価した(65点満点)。解析には、クラスター(学校)の影響を考慮した一般化線形混合モデルを用い、12月と2月の変化量を群間で比較することにより運動遊びプログラムの効果を検討した。

【結果】介入群と対照群のBSCS得点の変化量に有意な差は認められなかったものの($p=0.097$)、介入群では0.52点(95%信頼区間:-0.81-1.85)増加し、対照群では-1.10点(95%信頼区間:-2.58-0.39)減少していた。

【結論】1ヶ月間の短時間の運動遊びプログラムによる小学4、5年生の自制心への影響は確認されなかったものの、介入群において自制心得点の増加がみられた。今後は、より長期的な介入効果の検討を行う。

9 ■ 徳良裕子、山縣然太郎、小島令嗣、秋山有佳：スマートフォンなどの ICT（Internet communication technology）端末を用いた子育ての実態調査

スマートフォンなどの ICT（Internet communication technology）端末を用いた子育ての実態調査

徳良裕子¹、山縣然太郎²、小島令嗣²、秋山有佳²

¹ 甲州市役所健康増進課、² 山梨大学大学院総合研究部社会医学講座

【背景】 スマートフォンなどの ICT（Internet communication technology）端末の利用が身近になり、子育てに利用されている場面を目にする。

【目的】 子育て中の保護者へアンケート調査を行い、幼児がスマートフォンを使用する機会や時間の実態を把握し、今後の子育て支援の在り方について検討する。

【方法】 幼児健診（1歳6か月・2歳・3歳児健診）を受診者した保護者に健診会場でアンケートを配布・回収する。調査内容は子どもが1日にスマートフォン利用する時間と利用内容、保護者が子どもにスマートフォンを利用させる場面、スマートフォンが子どもに与える影響への意識、スマートフォンを利用させる際に気を付けていること、保護者のスマートフォン利用時間、自由記載でその他スマートフォンを利用する際の心配事を聞いた。

【結果】 令和元年5月に実施した幼児健診受診者60名に実施、回収率100%であった。

子どもが1日にスマートフォン利用する時間は1時間以内が29人（48.3%）、全く使わない21人（35%）が多く、利用内容は動画を見る35人、写真を見る23人が多かった。保護者が子どもにスマートフォンを利用させる場面は家事で手が離せない時が15人、外出先での待ち時間14人、子どもが使いたいとき11人、子どもが静かにしない時10人が多く、スマートフォンが与える影響についてはどちらともいえない43人（71.7%）、悪影響14人（23.3%）、良い影響2人（3.3%）であった。スマートフォンを利用させる際に気を付けていることは長時間見せない42人、明るさや距離など環境を整える27人、寝る前にみせない26人が多かった。保護者のスマートフォン利用時間は1時間以内22人（36.3%）、1—2時間15人（25%）、2—3時間10人（16.7%）が多かった。自由記載では視力の悪化を心配しているとの記載が多かった。

【結論】 スマートフォンなどのメディアが子どもに良い影響を与えると感じている保護者は少ないが、家事で手が離せない時や、子どもを静かに過ごさせたいときに利用している現状が見えた。今後、保護者の育児不安や負担の増加にならないような保健指導を実施していくことが課題である。

10 ■ 佐藤美理、山縣然太郎：青少年のインターネット依存：甲州市思春期調査での結果から

"子どものインターネット依存：

モニタリングレポート委員会 親子保健・学校保健グループ報告"

青少年のインターネット依存：甲州市思春期調査での結果から

佐藤美理、山縣然太郎

山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座

山梨大学社会医学講座では、山梨県甲州市と共同で、30年以上にわたって乳幼児健診や学校健診の機会を利用した出生コホート研究を共同で行っている。この研究の中で、小中学生を対象とした「児童生徒の心の健康と生活習慣に関する調査」（思春期調査）は市内全域の小学4年生から中学3年生までのおよそ2000人を対象に2008年から毎年実施されている。

思春期調査では、開始当初から携帯電話の所有の有無やゲームをしている時間の調査項目があったが、学校側からの要望もあり、近年ではインターネットの使用方法やリテラシーに関する項目、インターネット依存度テストなども調査票により実施している。また、本調査では、心の健康（抑うつ尺度、起立性調節障害）や生活習慣（睡眠、食事、運動）に関する項目があり、インターネット依存度との関連を検討することができる。学校における保健部会においても、この調査の結果を利用して養護教諭自らが検討を行い、研究会で発表をしている。

今回は、実際の調査内容について報告するとともに、インターネット依存に関する項目の経年変化を示し、抑うつ症状との縦断的検討や依存度テストの男女差などについて紹介する。加えて、他の地域で保護者と小中学生を対象に実施されたインターネット依存に関する調査の結果も報告する。

第 30 回日本疫学会学術総会. 2020 年 2 月 20 日~2 月 22 日. 京都大学 (京都市)

11 ■ 小島令嗣、横道洋司、秋山有佳、篠原亮次、山縣然太郎：中学生におけるインターネット依存の軌跡 中学 3 年間の生活習慣に焦点を当てて

中学生におけるインターネット依存の軌跡 中学 3 年間の生活習慣に焦点を当てて

小島令嗣、横道洋司、秋山有佳、篠原亮次、山縣然太郎
山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座

【背景・目的】インターネット依存 (internet addiction 以下、IA) は、睡眠不足、学業成績低下などの影響があり、急速なスマートフォンなどの普及とともに社会問題となっている。中学生における IA の経時変化について分類してその特徴を記述する。

【方法】2014 年から 2016 年の甲州市の中学 1 年生を対象に、3 年間毎年自記式質問紙調査を行った。質問項目は Young の Internet Addiction Test 20 項目 (IAT ; 範囲 20-100 点)、うつ傾向 (Birlson Depression Self-Rating Scale for Children)、起立性調節障害 (OD) 症状、朝食摂取状況、運動習慣、就寝時刻、勉強時間、携帯電話の有無、インターネット利用時間などとした。IAT の得点をアウトカムとした潜在クラス付き成長曲線モデルにて解析 (トラジェクトリー解析) を行い、得られた潜在クラスごとに生活習慣の特徴をみた。

【結果】3 年間のうち 2 回以上 IAT の値がある 945 名を解析対象とした。トラジェクトリー解析の結果、IAT の経時変化は 5 群に分かれた。経年的に IAT の値が 25 前後を維持している非 IA 群は 66.7%、60 以上で持続している IA 持続群は 3.5%、経年的に悪化する IA 悪化群は 6.5%、経年的に改善する IA 改善群は 4.9%、30 から 40 に悪化する軽度 IA 悪化群 18.3%であった。群ごとの習慣的運動をしないことや 24 時以降の就寝、長時間のインターネット利用時間などの不適切な生活習慣やうつ、OD 症状の割合は、IA 改善群では経時的に割合が少なくなっていたが、IA 悪化群では増えていた。

【結論】中学生の 3 年間の IAT のトラジェクトリー解析を行った結果 5 群に分かれ、不適切な生活習慣やうつ、OD 症状の割合は、IA 改善群では経時的に割合が少なくなっていたが、IA 悪化群では増えていた。

令和元年度
甲州市母子保健調査報告書

令和3年3月発行

山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座
山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター
〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

編集・発行 株式会社プリメドジャパン